

---

データヘルス計画に基づく高齢者保健事業の実態調査等及び  
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の実施状況調査等事業一式 業務

# 高齢者の保健事業と介護予防の 一体的な実施に係る実施状況調査

---

## 報告書

令和7年(2025年)3月

株式会社三菱総合研究所

## 目 次

1. 調査の目的 .....	1
2. 調査概要 .....	1
3. 主な調査項目 .....	2
4. クロス集計の分析軸の概要 .....	4
5. 過去調査の概要 .....	5
6. 市町村ヒアリングの概要 .....	6

## 1. 調査の目的

- 高齢者は、複数の慢性疾患に加え、認知機能や社会的な繋がりが低下するといったいわゆるフレイル状態になりやすいなど、疾病予防と生活機能維持のニーズを有しているが、後期高齢者医療制度の保健事業は後期高齢者医療広域連合(以下「広域連合」という。)が主体として実施し、介護予防の取組は市町村が主体として実施していたため、健康状態や生活機能の課題に対応できていなかった。このため、住民により身近な市町村が高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を行うための枠組みが「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」(令和元年5月に可決・成立)により整備され、令和2年4月より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」(以下「一体的実施」という。)が開始された。
- 一体的実施は、健康寿命延伸プランにおいて、令和6年度までに全ての市町村において実施することが求められており、市町村が取組に早期に着手するための支援を検討するため、一体的実施の実施に向けた広域連合及び都道府県による取組状況や市町村の実施状況を把握、分析する必要がある。
- このため、全市町村での展開を目指すマイルストーンとしていた令和6年度時点における、最新の実施状況及び準備状況の確認、実施段階と準備段階ごとの課題等の把握を行う。その結果から取組の現状と課題をとらえるとともに、事業の更なる充実、今後の円滑な実施に向けて求められる支援等の内容を明らかにすることを目的とした。
- なお、都道府県も調査対象として調査を実施した。

## 2. 調査概要

- 広域連合、市町村、都道府県に対して、下記の調査概要のとおり調査を実施した。
- 

### ■調査概要

調査対象	広域連合	市町村	都道府県
主な回答者	・一体的実施の担当者		
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Web フォーム入力(※問題が発生した場合は Excel への自記式、メール回収)</li> <li>・広域連合に対して広域連合用 Web フォームを電子メールにて配布し、市町村用 Web フォームは広域連合から構成市町村へ電子メールにて配布した</li> <li>・都道府県に対しては厚生労働省から直接依頼した</li> <li>・市町村は広域連合に提出報告、広域連合・都道府県は地方厚生(支)局に提出報告することにより、提出状況を取りまとめた</li> <li>・Web フォーム提出をもって回収とした</li> </ul>		
調査期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年11月15日(金)~2024年11月27日(水)</li> <li>※2024年12月4日回収分まで集計に加えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年11月11日(月)~2024年11月27日(水)</li> <li>※2024年12月12日回収分まで集計に加えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年11月11日(月)~2024年11月27日(水)</li> <li>※2024年12月3日回収分まで集計に加えた</li> </ul>
配付・回収状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・全数(47票、100.0%)を回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・全数(1,741票、100.0%)を回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆調査</li> <li>・全数(47票、100.0%)を回収</li> </ul>

### 3. 主な調査項目

- 広域連合、市町村、都道府県の主な調査項目は下記のとおりとした。
- 市町村票は、一体的実施の受託状況に応じて詳細を把握するために、受託/受託予定と受託未定で一部の調査項目を分けて設計した。

#### ■広域連合の調査項目

調査区分	設問内容
取組体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職種別職員数</li> <li>・連携する関係機関、連携内容、連携状況、連携が図られていない場合の課題</li> <li>・連携結果</li> </ul>
一体的実施の実施・委託に向けた取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村への委託状況</li> <li>・未実施市町村の把握・広域連合が行う支援</li> <li>・市町村への働きかけ・支援</li> <li>・一体的実施に関する研修会の開催</li> <li>・ICT 機器を活用した支援</li> <li>・市町村へ委託している保健事業の管理・運営等の状況(目標や成果の設定状況)</li> <li>・一体的実施の取組による効果</li> <li>・広域連合による効果測定</li> <li>・一体的実施の実施に向けた課題</li> </ul>
第3期 DH 計画の策定状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運用状況・策定時のプロセス</li> <li>・標準化に向けた取組の内容(共通様式の活用、共通評価指標の設定、方針等の市町村への説明・調整状況 等)</li> <li>・標準化に向けた課題</li> <li>・標準化に向けて今後実施予定の事項(共通評価指標を用いた市町村の取り組みの評価・分析)</li> <li>・他計画との調整</li> <li>・後期高齢者の健康診査(医療機関からの診療情報の活用状況、後期高齢者の質問票の取り扱い・システム等への入力状況、健診対象除外者)</li> </ul>
ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版</li> <li>・「一体的実施・KDB 活用支援ツール」</li> <li>・「一体的実施・KDB 活用支援ツール」の抽出条件の考え方と保健事業への活用 Ver.1</li> <li>・「一体的実施・実践支援ツール」</li> <li>・一体的実施計画書集約レポート</li> </ul>

■市町村の調査項目

調査区分	一体的実施「受託中/令和7年度より受託予定」の市町村	一体的実施「未受託・受託中止」の市町村
【共通】 取組体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内組織体制、人員数</li> <li>・市内連携の状況</li> <li>・関係機関との連携状況、連携内容、連携状況、連携が図られていない場合の課題</li> </ul>	
【固有】 事業実施状況/ 事業実施に向けた準備状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施している事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）</li> <li>・対象者抽出方法（データ・ツール）</li> <li>・実施体制</li> <li>・実施上の課題</li> <li>・評価指標の設定状況</li> <li>・実施している事業の効果検証/評価の取組状況</li> <li>・一体的実施の実施による効果</li> </ul>	<p>≪未受託≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託に向けた課題</li> <li>・検討状況</li> </ul> <p>≪受託中止≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託中止の理由</li> <li>・受託再開に向けた課題</li> <li>・受託再開の検討状況</li> <li>・受託再開に向けて必要な支援</li> <li>・継続して実施している/実施を中止した事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）</li> </ul>
【共通】 広域連合、都道府県、国保連からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受けている支援・有効だった支援</li> <li>・今後求める支援</li> </ul>	
【共通】 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域連合からの運用に当たっての説明・事業実施への支援状況</li> <li>・運用中の計画に対する理解度、標準化に関する認識</li> <li>・計画策定時における意見の反映状況</li> <li>・後期高齢者の健康診査（データ化の状況、医療機関からの診療情報の活用状況、後期高齢者の質問票の取り扱い・システム等への入力状況、健診対象除外者）</li> </ul>	
【共通】 後期高齢者の質問票の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用場面・目的</li> <li>・データ化とデータ活用の状況</li> <li>・活用していない理由</li> </ul>	
【共通】 ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版</li> <li>・「一体的実施・KDB活用支援ツール」</li> <li>・「一体的実施・KDB活用支援ツール」の抽出条件の考え方と保健事業への活用Ver.1</li> <li>・「一体的実施・実践支援ツール」</li> </ul>	

## ■都道府県の調査項目

調査区分	設問内容
広域連合・市町村への支援状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係部署</li> <li>・市町村への支援状況とその内容、広域連合との協働・連携の状況</li> <li>・具体的な支援内容</li> <li>・市町村の人材不足の課題に対する支援策</li> <li>・市町村の健康課題等の分析</li> <li>・糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定状況</li> </ul>
第4期医療費適正化計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適正化計画に記載する予定の一体的実施関連の事項</li> </ul>
広域連合が策定する第3期 DH 計画への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援内容、運用への関与の状況</li> <li>※令和5年11月～令和6年11月の1年間を対象</li> </ul>
ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版</li> </ul>

## 4. クロス集計の分析軸の概要

- 本報告書で掲載している市町村結果のクロス集計の分析軸の概要は次のとおりである。

### ■クロス集計の分析軸の概要

名称	軸の種類	軸のサンプル数 (全1,741市町村の場合)
①市町村規模別	市町村の総人口(住民基本台帳、令和4年1月1日時点)の規模別 ※市町村数がおおよそ3等分に近くなるように区切りを設定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模:人口5万人以上</li> <li>・中規模:人口1.5万人～5万人未満</li> <li>・小規模:人口1.5万人未満</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模:525市町村</li> <li>・中規模:523市町村</li> <li>・小規模:693市町村</li> </ul>
②受託中/受託予定の別	一体的実施を受託中と受託予定の別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託中:令和6年度までに受託開始</li> <li>・受託予定:令和7年度から受託予定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託中:1,709市町村</li> <li>・受託予定:19市町村</li> </ul>
③受託中・受託予定/未受託・受託中止の別	一体的実施を受託(予定含む)有無の別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受託中・受託予定:令和6年度までに受託開始または令和7年度から受託開始予定</li> <li>・未受託・受託中止:調査時点で受託しておらず受託予定なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託中・受託予定:1,728市町村</li> <li>・未受託・受託中止:13市町村</li> </ul>
④未受託/受託中止の別	一体的実施を未受託と受託中止の別 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未受託:令和7年度以降受託未定</li> <li>・受託中止:過去に受託していたが現在は受託中止しており今後も受託未定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未受託:11市町村</li> <li>・受託中止:2市町村</li> </ul>

## 5. 過去調査の概要

- 令和2年度以降、同様の調査を実施しており、一部設問について経年比較結果を掲載している。
- 過去調査の概要は下記のとおり。

### ■過去調査の概要

	令和2年度調査	令和3年度調査	令和4年度/ 令和5年度調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合</li> <li>・ 市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合</li> <li>・ 市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合</li> <li>・ 都道府県</li> <li>・ 市町村</li> </ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合に対して、広域連合票と市町村票を電子メールにて配布し、市町村票は広域連合から構成市町村へ電子メールにて配布した</li> <li>・ 回収は、広域連合が市町村票をとりまとめのうえ、事務局に提出した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自記式(Excelの電子ファイルに回答)、メール配布・メール回収</li> <li>・ 地方厚生(支)局を通じ、広域連合に対して広域連合票と市町村票を電子メールにて配布し、市町村票は広域連合から構成市町村へ電子メールにて配布した</li> <li>・ 回収は、市町村票は広域連合がとりまとめを行い、地方厚生(支)局が広域連合票、市町村票をとりまとめ、事務局に提出した</li> </ul>	(令和3年度同様)
配付・回収状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査</li> <li>・ 全数を回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査</li> <li>・ 全数を回収</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査</li> <li>・ 全数を回収</li> </ul>

## 6. 市町村ヒアリングの概要

- データヘルス計画との連携も含め、市町村が一体的実施の取組を進める上での課題やその対応・解決策があれば、先進的な事例として紹介することを目的にヒアリングを実施し、事例集としてまとめた。
- 本委託事業の中で実施した「高齢者の保健事業実施計画(データヘルス計画)に係る有識者会議」に参加いただいた4広域連合の中から、R5年度実施状況調査で把握されたハイリスクアプローチ実施事業数が4つ以上かつR2年度から一体的実施を開始、を満たす市町村(※一部条件変更あり)を中心に、9市町村を選定した。

### ■調査対象

広域連合	市町村	市町村規模	特記事項
福島	磐梯町	小規模	福島広域からの推薦
	鮫川村	小規模	福島広域からの推薦
埼玉	秩父市	大規模	ハイリスクアプローチで4項目の事業実施
	新座市	大規模	ハイリスクアプローチで6項目と県内最多の事業実施
	小鹿野町	小規模	ハイリスクアプローチで4項目の事業実施
奈良	香芝市	大規模	ハイリスクアプローチで5項目と県内最多の事業実施 ※R3年度から一体的実施を開始
	田原本町	中規模	ハイリスクアプローチで3項目の事業実施
熊本	宇城市	大規模	ハイリスクアプローチで6項目と県内最多の事業実施
	錦町	小規模	ハイリスクアプローチで6項目と県内最多の事業実施

### ■調査の概要

カテゴリ	事前把握または質問項目
データヘルス計画との連携における工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域連合との連携における具体的な工夫</li> <li>・ データヘルス計画との整合性を図るために注意・工夫した内容</li> </ul>
一体的実施の現状・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一体的実施により感じている成果・効果</li> <li>・ 事業の継続を踏まえて実感している成果・効果</li> </ul>
保健事業推進のための取組み・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的な事業推進のために実施している具体的な取組み 例)周知・広報、人材育成・専門職確保の取組み、情報共有、事務手順書の作成、ノウハウのマニュアル化 など</li> <li>・ プロセス・ストラクチャーの内容と独自の工夫 → 広域連合・都道府県・周辺市町村との関係、庁内外との連携</li> </ul>
一体的実施の課題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 解決された課題とその解決方法</li> <li>・ 一体的実施開始後のオペレーション変更点とその理由 → PDCA サイクルでの工夫 (目標・評価指標の設定、事業評価・効果検証)</li> </ul>

## 別紙

別紙1-1 広域連合調査票

別紙1-2 市町村調査票

別紙1-3 都道府県調査票

別紙2-1 実施状況調査(広域連合)の調査結果

別紙2-2 実施状況調査(市町村)の調査結果

別紙2-3 実施状況調査(都道府県)の調査結果

別紙2-4 市町村ヒアリング結果

～調査結果を利用するにあたって～

- 図・表中の  $N(n)$ とは、基数となる実数のことである(全数回答の場合は「 $N$ 」、それ以外は「 $n$ 」と記載)。
- 回答は $n$ を 100%として百分率で算出してある。小数点以下第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が全体を示す数値と一致しないことがある。
- 複数回答ができる質問では、回答比率の合計が 100%を超える場合がある。
- 図・表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

## 別紙 1-1 広域連合調査票

---

# 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」－広域連合票－

## 【調査項目】

本調査は、次の4項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いするものです。

1. 取組体制等
2. 一体的実施の実施・委託に向けた取組の状況
3. 第3期データヘルス計画の運用について
4. ガイドラインの活用状況

## 【ご回答にあたって】

- ※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。
- ※本調査は、特に注意書きがない場合は、令和6年11月現在の状況についてお答えください。
- ※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。
- ※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。
- ※Webフォーム上の設問番号とは異なるためご注意ください。

<回答欄について>			
単一回答のセル	:		… プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください
複数回答のセル	:		… 当てはまるものすべてに「○」を入れてください
自由記載のセル	:		… 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください

## 【回答期限】

2024年11月27日（水）

## 【提出方法】

Webフォームに回答を入力し、完了ボタンを押して提出してください。  
※本Excelの提出は不要です。参考としてご自由にご使用ください。

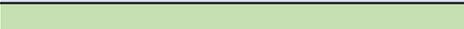
## 【お問い合わせ先】

(株) 三菱総合研究所 担当：馬杉、高見、森田、望月  
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局  
〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3  
TEL：0120-958-972（平日10-17時 ※12-13時除く）  
MAIL：ittaiteki-survey2024@ml.mri.co.jp

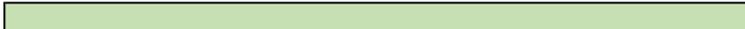
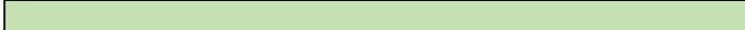
回答者情報をご入力のうえ、「調査票」シートにお進みください。

## ■回答者情報

- 広域連合についてお答えください。※プルダウンからお選びください

広域連合名	
構成市町村数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	



⑧ 栄養士会											
⑨ リハビリ機能団体											
⑩ 歯科衛生士会											
⑪ 医療機関											
⑫ 外部有識者											
⑬ その他											

⑬ その他 (機関名称: )

■ 連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、各関係機関にかかる連携の内容をお答えください。  
(連携先の関係機関と連携の内容: 自由記述)

Q5. 市町村における「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑫の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

- i) 連携が十分に図られているか、また、
- ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。(自由記述)
- iii) i)で「3.あまり連携できていない」「4.全く連携できていない」「5.連携する必要はない」と回答した場合、課題を具体的にお答えください。(自由記述)

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携にあたり工夫したこと/ iii) 連携の課題
①国保連合会		
②都道府県		
③保健所		
④医師会		
⑤歯科医師会		
⑥薬剤師会		
⑦看護協会		
⑧栄養士会		
⑨リハビリ機能団体		
⑩歯科衛生士会		
⑪医療機関		
⑫外部有識者		

【Q5で、「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q5-1. 連携が十分に図られたことで、どのような効果がありましたか。(複数回答)

- 1 市町村支援の充実
- 2 関係機関との協力体制強化
- 3 役割分担の明確化

- 4 医療専門職不足の補完
- 5 医療専門職のモチベーションアップ
- 6 その他 (  )

Q6. 貴広域連合において、一体的実施の取組における強みはありますか。(複数回答)

- 1 担当者の職種や人数等が充実している
- 2 担当者のスキルが高い
- 3 マニュアル等を整備しており、スキル不足等を補完できている
- 4 研修会等の機会が確保されており、スキル不足等を補完できている
- 5 市町村との調整等がしやすい
- 6 市町村と活発な意見交換が可能な関係性にある
- 7 県の担当窓口が明確で調整等がしやすい
- 8 県や保健所による助言等の支援が得られる
- 9 県や保健所から実施の際の協力が得られる
- 10 関係団体からの助言等の支援が得られる
- 11 関係団体から実施の際の協力が得られる
- 12 関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している
- 13 その他 (  )

## 2. 一体的実施の実施・委託に向けた取組の状況

未実施市町村・受託中止市町村に対する取組について、全ての広域連合にお伺いします

Q7. 広域連合では、市町村における一体的実施の実施状況をどのように把握していますか。(複数回答)

- 1 実施計画書や実績報告書を確認
- 2 集約レポートの内容を確認
- 3 独自に実施したアンケート等調査を確認
- 4 メールや電話での相互連絡を実施
- 5 会議・打ち合わせを実施
- 6 その他 (  )

Q8. 広域連合では、令和7年度末までに一体的実施を実施していない市町村(未実施市町村)または受託を中止した市町村はありますか。

- 1 未実施市町村または受託を中止した市町村がある
- 2 未実施市町村または受託を中止した市町村はない

【Q8で「1.未実施市町村または受託を中止した市町村がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q8-1. 広域連合では、未実施・受託中止市町村の今後の一体的実施に対する意向を把握していますか。

- 1 把握している
- 2 一部把握している
- 3 把握していない

Q8-2. 広域連合では、未実施・受託中止市町村の一体的実施が未実施である理由を把握していますか。

- 1 把握している
- 2 一部把握している
- 3 把握していない

【Q8-2で「1.把握している」「2.一部把握している」と回答した広域連合にお伺いします】

Q8-3. 未実施市町村の一体的実施が未実施である、または受託を中止した理由を市町村ごとに具体的にご記載ください。

未実施市町村名	未受託/ 受託中止	一体的実施が未実施である/受託を中止した理由



市町村への働きかけ・支援について、全ての広域連合にお伺いします

Q10. 令和6年度時点で、①一体的実施に係る市町村への働きかけや支援として実施しているものについてお答えください。  
 「実施の有無」(実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」)は今年度の見込みを含めてお答えください。(複数回答)  
 ①のうち、全ての構成市町村ではなく、②一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施している支援がある場合は、該当するもの(該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」)をお答えください。(複数回答)

	①実施の有無	
	①実施の有無	②一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施している支援
1 契約手続き		
2 計画書の作成		
3 市町村の基本方針の作成		
4 健康課題の分析(市町村間の比較など)		
5 関係団体への説明・調整		
6 一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催		
7 市町村における保健事業の取組状況等の整理・把握・分析を行っている		
8 一体的実施の事業評価のために、評価方法・評価指標を提示している		
9 その他 ( )		
10 特に実施していない		

【Q10で、「6.一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」について実施「○」と回答した広域連合にお伺いします】

Q10-1. i) 研修会の内容をお答えください。(複数回答)  
 ii) 各研修会の主催と共催をお答えください。なお、複数パターンがある場合、最も一般的なものをお答えください。  
 1 広域連合  
 2 都道府県  
 3 国保連合会  
 4 医師会  
 5 その他 ( )  
 6 共催なし

	実施内容	主催	共催					
			①	②	③	④	⑤	⑥
1	一体的実施に関する国の動き・制度							
2	市町村における一体的実施の取組の進め方 (特別調整交付金申請方法等も含む)							
3	データヘルス計画の内容							
4	都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の 一体的実施の方向性について							
5	都道府県内の市町村における高齢者の保健事業と介護予防の現状							
6	高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用							
7	広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介							
8	一体的実施を行うための高齢者の特性に関する知識や支援方法							
9	広域連合その他関係機関が実施している一体的実施に関する支援							
10	事業評価の方法・考え方について							
11	その他 ( )							

【Q10で、「6.一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」について実施「○」と回答した広域連合にお伺いします】

Q10-2. 研修会の開催頻度として最も近いものをお答えください。複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。

( )

- 1 年に1回
- 2 半年に1回
- 3 3-4か月に1回

- 4 隔月1回
- 5 毎月1回

Q10-3. 研修会の実施方法をお答えください。

複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。

なお、併用している場合は複数をご選択ください。

例) オンラインで実施し、後日アーカイブ配信 → 「オンライン」「録画映像の配信」の両方を選択

- 1 対面
- 2 オンライン
- 3 録画映像の配信
- 4 その他 (  )

ICT機器を活用した支援について、全ての広域連合にお伺いします

Q11. 保健事業実施にあたり、ICT機器を活用した支援をしていますか。

- 1 支援をしている
- 2 支援をしていない

【Q11で、「1.ある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q11-1. ICT機器を活用した支援を行っている理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の内容の均てん化を図るため
- 3 保健指導の質の向上のため
- 4 感染症拡大予防のため
- 5 移動にかかるコスト削減のため
- 6 その他(  )

Q11-2. どのようにICT機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- 1 オンライン上での保健指導の実施
- 2 オンライン上での研修会、説明会・事業相談、第三者支援評価の実施
- 3 データ取載に向けたシステムへの入力促進の必要性の周知
- 4 データの把握や分析の方法や手順の提示
- 5 KDBデータ活用のための統一システム(アプリ等)の開発・提示・導入促進(特定健診等データ管理システムや国保中央会の二次活用ツール等を除く)
- 6 その他(  )

【Q11で、「2.ない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q11-3. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください(複数回答)

- 1 財源の確保が困難
- 2 適切に機器を扱える人員がいない
- 3 導入方法がわからない
- 4 検討したことがない
- 5 その他(  )

市町村への委託についてお伺いします

Q12. 現時点で全構成市町村へ委託済または全構成市町村で委託目的が立っていますか。

- 1 全構成市町村へ委託済または委託目的が立っている
- 2 一部構成市町村で委託目的が立っていない

【Q12で、「1.全構成市町村へ委託済または委託目的が立っている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q12-1 全構成市町村への委託を進めるにあたり、工夫したことや効果のあった支援内容及びその取組による変化をお答えください。(自由記述 ※任意回答)



Q13. 一体的実施の目標の設定状況をお答えください。(複数回答)

- 1 一体的実施の委託市町村数を設定している
- 2 事業(栄養、口腔、服薬等)毎に設定している
- 3 事業毎にアウトプットあるいはアウトカムを目標を設定している
- 4 短期/中長期の視点で設定している
- 5 費用対効果を基に設定している
- 6 目標は設定していない

Q14. 市町村に委託する保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。(複数回答)

- 1 健康課題の重大性
- 2 保健事業対象者の規模
- 3 保健事業の効果
- 4 実行可能性
- 5 費用対効果
- 6 構成市町村からの希望
- 7 その他( )
- 8 特に優先順位はつけていない

Q15. i) 以下の事業について広域連合として実施している場合に○を、実施していない場合に×を付けてください。  
ii) 事業者等への委託(市町村への委託を除く)をしている場合に○を、していない場合に×を付けてください。

	i) 広域連合として実施	ii) 事業者への委託
1 事業評価のための研究分析等の事業		
2 保健事業に係る市町村等との連絡・調整等の事業		
3 一体的実施の推進のための事業(研修会開催や市町村支援等)		
4 健康教育・健康相談等の事業		
5 医療資源に限られた地域の保健事業		
6 被保険者の健康増進のために必要と認められる事業		
7 広域連合が実施する低栄養・重症化予防の取組		
8 広域連合が行う重複投薬・多剤投与等への相談・指導の取組		

一体的実施の取組について、全ての広域連合にお伺いします

Q16. 広域連合と構成市町村が一体的実施に取り組んだことで、これまでどのような効果があったと感じますか。(複数回答)

- 1 広域連合としての高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった
- 2 高齢者の保健事業を実施するうえでの市町村との連携ができるようになった
- 3 広域連合として、市町村の課題把握ができるようになった
- 4 国保保健事業と高齢者保健事業の接続ができる環境が整った
- 5 地域支援事業(介護保険)と高齢者保健事業を一体的に取り組める環境が整った
- 6 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった
- 7 高齢者の健康課題に適切に対応する保健事業の実施につながった
- 8 その他( )
- 9 特になし

Q17. 一体的実施を委託した内容を含む全体について、広域連合として年度単位で事業評価していますか。

- 1 評価している ⇒Q17-1△
- 2 評価していない ⇒Q18△
- 3 評価を行う予定 ⇒Q17-1△
- 4 その他( ) ⇒Q18△
- 5 分からない ⇒Q18△

【Q17で、「1.評価している」と回答した広域連合にお伺いします】

Q17-1 広域連合による事業評価で、昨年度実施したストラクチャー評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 事業の実施にあたり、関係者（都道府県・国保連）にデータヘルス計画を説明し、協議を実施した |
| <input type="checkbox"/> | 2 地域の関係団体・関係機関との連携体制が構築できた（既にできていた）            |
| <input type="checkbox"/> | 3 市町村との連携が深まった（既に深まっていた）                       |
| <input type="checkbox"/> | 4 データ分析、保健指導に必要な人材が確保できた（既にできていた）              |
| <input type="checkbox"/> | 5 地域を担当する医療専門職等に対し、研修・意見交換会も実施できた（内・外含め）       |
| <input type="checkbox"/> | 6 事業実施計画書、実施マニュアル、保健指導教材の準備ができた（既にできていた）       |
| <input type="checkbox"/> | 7 委託先（市町村）と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた            |
| <input type="checkbox"/> | 8 委託先（事業者）と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた            |
| <input type="checkbox"/> | 9 その他（ <input type="text"/> ）                  |

Q17-2 広域連合による事業評価で、昨年度実施したプロセス評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 全体のスケジュール管理を行った                       |
| <input type="checkbox"/> | 2 KDB等活用して、健康課題の分析、対象者の抽出ができた           |
| <input type="checkbox"/> | 3 概ね計画どおり、事業の実施や市町村支援をすることができた          |
| <input type="checkbox"/> | 4 市町村の意見、取組状況などを評価できた                   |
| <input type="checkbox"/> | 5 状況の変化に応じて、マニュアルやスケジュールの修正を行うなどの対応ができた |
| <input type="checkbox"/> | 6 その他（ <input type="text"/> ）           |

Q17-3 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトプット評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 各市町村の通いの場の参加率を把握した                                   |
| <input type="checkbox"/> | 2 各市町村の健診受診率を把握した                                      |
| <input type="checkbox"/> | 3 各市町村の歯科健診の実施状況を把握した                                  |
| <input type="checkbox"/> | 4 各市町村における質問票を活用したハイリスク者把握に基づく保健事業の実施状況を把握した           |
| <input type="checkbox"/> | 5 一体的実施における各取組区分の実施市町村数・割合を把握した                        |
| <input type="checkbox"/> | 6 各市町村での一体的実施の取組における各取組区分の実施状況を日常生活圏域のカバー率として把握した      |
| <input type="checkbox"/> | 7 ツールで把握した対象者の中で、実際に介入できた人数を把握した（ハイリスクアプローチ）           |
| <input type="checkbox"/> | 8 各市町村での通いの場等における、質問票の活用状況や支援の実施人数を把握した（ポピュレーションアプローチ） |
| <input type="checkbox"/> | 9 その他（ <input type="text"/> ）                          |

Q17-4 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトカム評価について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 各市町村の平均自立期間を確認した                      |
| <input type="checkbox"/> | 2 各市町村の健診受診率を確認した                       |
| <input type="checkbox"/> | 3 各市町村の歯科健診の実施状況を確認した                   |
| <input type="checkbox"/> | 4 各市町村の個別事業の評価指標を確認した                   |
| <input type="checkbox"/> | 5 各市町村の一人当たり医療費（入院）を確認した                |
| <input type="checkbox"/> | 6 各市町村の一人当たり医療費（外来）を確認した                |
| <input type="checkbox"/> | 7 レセプトで疾病別医療費を確認した                      |
| <input type="checkbox"/> | 8 各市町村の透析導入患者率を確認した                     |
| <input type="checkbox"/> | 9 各市町村の要介護認定率を確認した                      |
| <input type="checkbox"/> | 10 各市町村の居宅一人当たり介護給付費を確認した               |
| <input type="checkbox"/> | 11 各市町村の一体的実施における各取組区分のハイリスク者人数、割合を確認した |
| <input type="checkbox"/> | 12 その他（ <input type="text"/> ）          |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q18. i) 一体的実施に取り組むに当たって、広域連合として課題となっていることをお答えください。（複数回答）

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 一体的実施の制度や趣旨に関する知識が不足している               |
| <input type="checkbox"/> | 2 市町村から一体的実施に取り組む趣旨・目的等の理解が得られない         |
| <input type="checkbox"/> | 3 国からの広域連合や市町村に対する説明が不足している              |
| <input type="checkbox"/> | 4 地域の健康課題の分析に基づいた一体的実施の事業の方向性の整理が困難      |
| <input type="checkbox"/> | 5 市町村における専門職等の人員体制の確保への支援が困難             |
| <input type="checkbox"/> | 6 高齢者保健事業の企画・調整が困難                       |
| <input type="checkbox"/> | 7 市町村の実情に応じた委託内容の調整が困難                   |
| <input type="checkbox"/> | 8 特別調整交付金の交付基準・内容が不明確                    |
| <input type="checkbox"/> | 9 他の広域連合・市町村の取組状況に関する情報が不足している           |
| <input type="checkbox"/> | 10 一体的実施で実施するハイリスクアプローチの取組内容がイメージできない    |
| <input type="checkbox"/> | 11 一体的実施で実施するポピュレーションアプローチの取組内容がイメージできない |

- 12 広域連合の一体的実施に係る人員体制の確保
- 13 一体的実施の取組にかかる業務において、相談先（相談できる医療専門職）がない
- 14 その他（  ）
- 15 課題はない

Q18で、○と回答した選択肢についてお伺いします

Q19. ii) 一体的実施に取り組むに当たっての課題解決に向けて行っている取組について、具体的にお答えください。

	課題解決に向けて行っている取組
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	

Q20. 委託済市町村の支援にあたり、広域連合として課題となっていることをお答えください。（複数回答）

- 1 市町村の負担軽減の方法
- 2 広域連合としての質向上に向けた取組
- 3 取組状況や成果の見える化
- 4 専門職不足への対応
- 5 市町村毎に取組が異なる等による評価の困難さ
- 6 市町村への助言支援の充実
- 7 費用対効果を踏まえた事業評価の困難さ
- 8 その他（  ）

Q21. 広域連合として一体的実施を委託したことを年度単位で事業評価し、構成市町村に対しフィードバックをしていますか。

- 1 個別にフィードバックをしている
- 2 研修会・説明会等の機会にまとめてフィードバックしている。
- 3 その他（  ）

Q22. 広域連合として行う具体的な事業評価方法についてお答えください。（複数回答）

- 1 健診データの変化
- 2 受診状況の変化
- 3 市町村毎の医療・介護関連データの確認
- 4 ハイリスク者数・割合の変化
- 5 医療費の変化
- 6 生活習慣病等の患者数・割合の変化
- 7 取組状況と成果
- 8 介入者と非介入者の比較
- 9 実施市町と未実施市町の比較
- 10 その他（  ）
- 11 事業評価を行っていない

### 3. データヘルス計画の運用

【運用状況・策定時のプロセスについて、全ての広域連合にお伺いします】

Q23. 第3期データヘルス計画の策定について、下図の i ~ vii における事業者等への委託の範囲（予定含む）をお答えください。



- 1 全て委託する ⇒Q23-2へ
- 2 一部委託する ⇒Q23-1へ
- 3 委託はしていない ⇒Q24へ

【Q23で、「2.一部委託する」と回答した広域連合にお伺いします】

Q23-1. 事業者等へ委託している範囲を教えてください。（複数回答）

- i 現状の整理
- ii 健康課題の抽出
- iii 評価指標・目標の設定
- iv 事業評価、事業見直し・検討
- v 会議体の運営
- vi 計画案の作成（会議体に提示する資料作成を含む）
- vii 印刷（文字/デザインの校正含む）
- viii その他（  ）

【Q23で、「1.全て委託する」あるいは「2.一部委託する」と回答した広域連合にお伺いします】

Q23-2. 事業者等に委託した理由を教えてください。（複数回答）

- 1 専門的な知識・ノウハウ等の支援を受けるため
- 2 広域連合の人材不足を補うため
- 3 委託できない業務に集中して取り組むため
- 4 その他（  ）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q24. データヘルス計画として公表しているものをお答えください。（複数回答）

- 1 計画様式
- 2 本編（計画様式以外の様式）
- 3 概要（計画様式以外の様式）
- 4 その他（  ）

Q25. データヘルス計画策定において、計画様式をどのように利用しましたか。

- 1 当初から利用（計画様式のみ作成した場合）
- 2 計画検討のための整理資料として当初から利用  
（計画様式以外の様式を作成した場合や、概要資料として計画様式を公開した場合も含む）
- 3 計画様式以外の様式で先に作成し、記載事項の網羅性等の確認用として利用
- 4 国に提出するためのみに利用

Q26. 計画策定時、目標値の設定にあたって何を根拠に設定しましたか。（複数回答）

- 1 国などの目標値を参考に設定した
- 2 他の広域連合の目標値を参考に設定した
- 3 既存の事業実績の推移を基に設定した
- 4 最終的な目標値から逆算して設定した
- 5 その他（  ）

Q27. 計画の中間・最終評価では、どのような視点で評価を実施する予定ですか。（複数回答）

- 1 ストラクチャー/プロセス/アウトプット/アウトカムの4つの視点
- 2 達成/未達成の要因
- 3 改善すべき事項
- 4 今後の取組の方向性
- 5 その他（  ）

Q28. 計画の評価をするうえでの課題をお答えください。（複数回答）

- 1 計画で設定した指標・目標が評価しづらい
- 2 評価方法が分からない
- 3 評価結果の妥当性を担保する仕組み（有識者等への相談先を含む）がない
- 4 評価後の計画および保健事業の見直し方が分からない
- 5 その他（  ）

6 特でない

Q29. 計画に記載している保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。(複数回答)

- 1 保健事業対象者の規模
- 2 健康課題の重大性
- 3 保健事業の効果
- 4 費用対効果
- 5 その他 (  )
- 6 特に優先順位はつけていない(すべてを優先としている)

Q30. i) 保健事業の優先順位をつけるうえでの課題はありましたか。

- 
- 1 ある
  - 2 ない

【Q30で、「1.ある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q30-1. ii) 課題があった場合、具体的にどのような課題がありましたか。(自由記述)

【全ての広域連合にお伺いします】

Q31. データヘルス計画の策定にあたり、前期計画から特に強化した保健事業があれば教えてください。(自由記述 ※任意回答)

例：歯科健康診査事業、二次骨折予防事業 等

Q32. i) データヘルス計画の策定にあたり、地域資源の把握・質的情報の分析を行いましたか。

※地域資源：住民組織、民間企業、専門職団体等

※質的情報：日頃の保健活動における住民の声、地域の状況について課題と感じていることや思いについて、  
数値では把握できないもの

- 
- 1 実施した
  - 2 実施していない

【Q32で、「1.実施した」と回答した広域連合にお伺いします】

Q32-1. ii) 実施した場合、分析・把握した内容を具体的に教えてください。(自由記述)

【Q32で、「2.実施していない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q32-2. iii) 実施しなかった理由を具体的に教えてください。(自由記述)

【全ての広域連合にお伺いします】

Q33. データヘルス計画策定にあたって整合性を図った“他の法定計画等”を教えてください。また、整合性を図ることで、データヘルス計画の記載事項で見直し(追加も含む)を行ったことがあれば、具体的に教えてください。

(複数回答、具体的事項は自由記述 ※任意回答)

1 医療費適正化計画 ↓具体的に

2 医療計画 ↓具体的に

--	--

3 介護保険事業（支援）計画 ↓具体的に

--	--

4 健康増進計画 ↓具体的に

--	--

5 その他の計画 ↓具体的に

--	--

Q34. 第3期データヘルス計画を策定するにあたっては、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮することとされていますが、具体的にどのような取組をしていましたか。（複数回答）

- |  |  |
|--|--|
|  | 1 都道府県の関係者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定<br>(医療計画・医療費適正化計画・健康増進計画・介護保険事業支援計画)   |
|  | 2 市町村の関係者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定 (健康増進計画・介護保険事業計画)   |
|  | 3 他の保険者と定期的な情報共有及び意見交換の機会を設定 (データヘルス計画)  |
|  | 4 データヘルス計画策定方針や概要が整理できた時点、有識者からのご意見を御得て修正をした時点等必要なタイミングで広域連合から都道府県関係者及び構成市町村関係者に情報提供 (医療計画・医療費適正化計画・健康増進計画・介護保険事業(支援)計画) |
|  | 5 有識者から情報や助言を得る  |
|  | 6 その他( )   |

Q35. 第3期データヘルス計画を策定する際、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮するにあたっての課題はありますか。（複数回答）

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
|  | 1 同時並行に策定作業が進められていたため、共有がしにくかった |
|  | 2 関係者や関係部局が多様なため、対象者の限定が困難だった   |
|  | 3 関係者や関係部局が多様なため、方針の調整が煩雑だった    |
|  | 4 整合を図る観点での確認点がわからなかった          |
|  | 5 情報共有や意見交換の時間が確保できなかった         |
|  | 6 その他( )                        |
|  | 7 課題は特になかった                     |

Q36. 第3期データヘルス計画の策定段階において、構成市町村の保健事業を標準化するにあたり、広域連合としてどのような取組を行っていましたか。（複数回答）

- |  |                                   |
|--|-----------------------------------|
|  | 1 広域連合として取り組む共通の評価指標及び目標値の提示      |
|  | 2 広域連合として特に優先して取り組むべきと整理した事業内容の提示 |
|  | 3 個別事業の評価指標例の提示                   |
|  | 4 ハイリスク者割合等の現状値の提示                |
|  | 5 市町村への説明会の開催 (標準化の意図等)           |
|  | 6 市町村個別での説明の機会の設定 (標準化の意図等)       |
|  | 7 その他( )                          |

Q37. 第3期データヘルス計画の策定にあたり、広域連合の方針等の理解を促すため、市町村に対してどのような取組を実施しましたか。（複数回答）

- |  |                                |
|--|--------------------------------|
|  | 1 市町村との直接対話                    |
|  | 2 課題分析、実施方法等に関する助言や指導          |
|  | 3 広域連合が開催するセミナー・研修会の機会の周知・出席依頼 |
|  | 4 研修等への広域連合職員等の派遣              |
|  | 5 広域連合による市町村の健康課題の分析           |
|  | 6 広域連合を通じた他市町村との連携の調整          |
|  | 7 広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整        |
|  | 8 広域連合からの有識者等の派遣等              |
|  | 9 その他( )                       |

【第3期データヘルス計画の標準化・他計画との調整について、全ての広域連合にお伺いします】

Q38. 第3期データヘルス計画により、広域連合内で標準化を進めていくにあたってどのような課題があると考えていますか。

(複数回答)

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1 構成市町村が独自の抽出基準や評価基準を使用しているため、標準化を求める説明が困難     |
| <input type="checkbox"/> | 2 構成市町村が使用している独自の抽出基準や評価基準について、使用の妥当性に関して判断が困難 |
| <input type="checkbox"/> | 3 構成市町村が標準化の必要性に関して理解が不足している                   |
| <input type="checkbox"/> | 4 広域連合が標準化することのメリットについて理解が不足しているため説明が困難        |
| <input type="checkbox"/> | 5 構成市町村が助言を求めている有識者が標準化の必要性に関して理解が不足している       |
| <input type="checkbox"/> | 6 その他( )                                       |
| <input type="checkbox"/> | 7 課題は特にな                                       |

Q39. 標準化を進めるにあたっての課題について、国や国保連合会、都道府県、有識者等により必要な支援がある場合は、誰にどのような支援をしてもらいたいのか具体的にご記載ください。(自由記述 ※任意回答)

Q40. 第3期データヘルス計画の標準化を進めることにより、広域連合ではどのような効果を期待していますか。

(複数回答)

- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 構成市町村内での効率化や負担軽減が図られる           |
| <input type="checkbox"/> | 2 市町村間の比較が容易になる                   |
| <input type="checkbox"/> | 3 各市町村における健康課題が明確になる              |
| <input type="checkbox"/> | 4 効果的な保健事業をパターン化できる               |
| <input type="checkbox"/> | 5 成果を高めるための方法・体制の検討に役立てられる        |
| <input type="checkbox"/> | 6 実施率を高めるための方法・体制の検討に役立てられる       |
| <input type="checkbox"/> | 7 広域連合で効果的に引継ぎできる、関係団体への説明がしやすくなる |
| <input type="checkbox"/> | 8 その他( )                          |

Q41. データヘルス計画の策定【特に標準化】によって見込まれる変化について、お答えください。(複数回答)

- |                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 データに基づき、事業対象者を設定できるようになる            |
| <input type="checkbox"/> | 2 データに基づき、事業内容を設定できるようになる             |
| <input type="checkbox"/> | 3 データに基づき、事業の優先順位付けを検討できるようになる        |
| <input type="checkbox"/> | 4 データに基づいた事業評価ができるようになる               |
| <input type="checkbox"/> | 5 市町村の好事例の把握が容易になる                    |
| <input type="checkbox"/> | 6 第三者の視点を盛り込んだ計画策定ができるようになる           |
| <input type="checkbox"/> | 7 構成市町村とのより緊密な関係を構築できるようになる           |
| <input type="checkbox"/> | 8 国保連合会とのより緊密な関係を構築できるようになる           |
| <input type="checkbox"/> | 9 事業に関する進捗管理を明確化できるようになる              |
| <input type="checkbox"/> | 10 PDCAサイクルを意識した事業を実施できるようになる         |
| <input type="checkbox"/> | 11 医療費適正化の意識を事業担当者(委託先を含む)で共有できるようになる |
| <input type="checkbox"/> | 12 健康づくりが目的であることを明確化できるようになる          |
| <input type="checkbox"/> | 13 その他( )                             |
| <input type="checkbox"/> | 14 特にな                                |
| <input type="checkbox"/> | 15 分からない                              |

Q42. データヘルス計画を策定する際に、受けた支援内容を教えてください。(複数回答)

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 データ分析方法の助言・相談          |
| <input type="checkbox"/> | 2 質的情報の分析方法の助言・相談        |
| <input type="checkbox"/> | 3 把握したデータの解釈についての説明・補足   |
| <input type="checkbox"/> | 4 分析に必要なデータの提供           |
| <input type="checkbox"/> | 5 アウトプット指標及び目標値の設定の助言・相談 |
| <input type="checkbox"/> | 6 アウトカム指標及び目標値の設定の助言・相談  |
| <input type="checkbox"/> | 7 事業の優先順位付けの方法の助言・相談     |
| <input type="checkbox"/> | 8 評価方法の助言・相談             |

- 9 保健事業の委託先である構成市町村との連携の促進
- 10 医師会・医療機関等との連携の促進
- 11 その他(  )
- 12 特にない

Q43. 今後の中間見直しや次期データヘルス計画を策定するうえで、支援を受けたい内容を教えてください。(複数回答)

- 1 データ分析方法の助言・相談
- 2 質的情報の分析方法の助言・相談
- 3 把握したデータの解釈についての説明・補足
- 4 分析に必要なデータの提供
- 5 アウトプット指標及び目標値の設定の助言・相談
- 6 アウトカム指標及び目標値の設定の助言・相談
- 7 事業の優先順位付けの方法の助言・相談
- 8 評価方法の助言・相談
- 9 保健事業の委託先である構成市町村との連携の促進
- 10 医師会・医療機関等との連携の促進
- 11 その他(  )
- 12 特にない

Q44. データヘルス計画の策定のために、広域連合の担当職員にはどのようなスキルが必要だと考えますか。(複数回答)

- 1 データ分析
- 2 健康課題の抽出
- 3 保健事業の企画
- 4 指標・目標の設定
- 5 保健事業や計画の評価
- 6 疾病等の専門知識
- 7 関連制度の理解
- 8 その他(  )
- 9 特にない
- 10 分からない

Q45. 計画様式の提示や共通評価指標の設定条件や各種ツール等により、負荷が軽減されたスキルを教えてください。

- 1 データ分析
- 2 健康課題の抽出
- 3 保健事業の企画
- 4 指標・目標の設定
- 5 保健事業や計画の評価
- 6 疾病等の専門知識
- 7 関連制度の理解
- 8 その他(  )
- 9 特にない
- 10 分からない

Q46. 『高齢者保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き』（令和5年3月30日改正）のなかで、「2. 計画に記載すべき事項」や計画様式において見直し（例示の追加も含む）を図ってほしい事項があるか教えてください。

見直しを図ってほしい事項がある場合には、見直しを図ってほしい事項とその具体的な内容を記載してください。

（具体的事項は自由記述 ※任意回答）

※適宜、以下事務連絡での周知内容についてもご参照の上、ご回答ください。

- ・第3期データヘルス計画策定における国保データベース（KDB）システム及び一体的実施・KDB活用支援ツールの活用における留意点等について（令和5年12月4日付）
- ・第3期データヘルス計画の進捗状況管理における国保データベース（KDB）システム及び一体的実施・KDB活用支援ツールの活用について（令和6年4月5日付）
- ・高齢者の保健事業の効率的・効果的な実施のための一体的実施・KDB活用支援ツール及び一体的実施・実践支援ツールの活用について（令和6年4月26日付）

1 基本的事項 ↓具体的に

--	--

2	現状の整理	↓具体的に	
3	健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出	↓具体的に	
4	目標	↓具体的に	
5	保健事業の内容	↓具体的に	
6	計画の評価・見直し	↓具体的に	
7	計画の公表・周知	↓具体的に	
8	個人情報の取扱い	↓具体的に	
9	地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	↓具体的に	
10	計画様式 様式Ⅰ	↓具体的に	
11	計画様式 様式Ⅱ	↓具体的に	
12	計画様式 様式Ⅲ	↓具体的に	
13	計画様式 様式Ⅳ	↓具体的に	
14	計画様式 様式Ⅴ	↓具体的に	
15	その他( )	↓具体的に	

Q47. 第3期データヘルス計画の運用に向けて、策定したデータヘルス計画の内容及び広域連合の方針について、構成市町村や関係者等に周知するために実施した事項をお答えください。(複数回答)

- |                          |                                |
|--------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 ホームページや広報誌等における周知            |
| <input type="checkbox"/> | 2 計画の要旨等をまとめた概要版を作成する等の工夫      |
| <input type="checkbox"/> | 3 市町村や関係者、関係団体等に計画やその概要等の送付    |
| <input type="checkbox"/> | 4 市町村担当者に対し、説明会・研修会の開催または個別の説明 |

- 5 他の計画策定者等の関係部局に対し、課題や優先して取り組む課題、対応策、目標について説明及び目標達成のための協力依頼
- 6 関係団体に対する説明、関係団体を経由した医療機関等への周知依頼
- 7 その他(  )
- 8 特に実施していない

【後期高齢者の健康診査について、全ての広域連合にお伺いします】

Q48. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を広域連合として統一して実施していますか。

- 1 構成されている全ての市町村で実施
- 2 構成されている一部の市町村で実施
- 3 実施していない

【Q48で、「1.構成されている全ての市町村で実施」「2.構成されている一部の市町村で実施」と回答した広域連合にお伺いします】

Q48-1. 広域連合として、統一して診療情報を健康診査の結果として活用する（いわゆるみなし健診）を実施するためにどのような取組を行っていますか。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を、構成市町村、医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 広報被保険者に対し、診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の概要について周知・広報
- 8 その他(  )

【全ての広域連合にお伺いします】

Q49. 健康診査（診療情報を健康診査の結果として活用する場合（いわゆるみなし健診）を含む）において、後期高齢者の質問票をどのように取り扱っていますか。

- 1 全市町村で使用
- 2 一部の市町村で使用（みなし健診の実施の有無により異なる）
- 3 一部の市町村で使用（みなし健診の実施の有無によらない）
- 4 市町村に健診を委託しているため把握していない
- 5 全市町村で使用していない

【Q49で、「1.全市町村で使用」「2」「3」（一部の市町村で使用）と回答した広域連合にお伺いします】

Q49-1. 質問票を活用している場合、質問票の結果について被保険者本人に対して面談や文書等によるフィードバックをしていますか。

- 1 全受診者に実施
- 2 一部の受診者に対し実施（みなし健診の実施の有無により異なる場合）
- 3 一部の受診者に対し実施（みなし健診の実施の有無によらず、希望者のみとするなど市町村により異なる場合）
- 4 市町村に健診を委託しているため把握していない
- 5 全受診者に対し、実施していない

Q49-2. 後期高齢者の質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。それぞれの場面についてお答えください。

	質問票を使用する市町村の全てで入力	質問票を使用する市町村の一部で入力	質問票を使用する市町村の全てで入力していない	把握していない
1 健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 かかりつけ医（医療）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 通いの場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4) ( )

【Q49-2で、「質問票を使用する市町村の全てで入力」もしくは「質問票を使用する市町村の一部で入力」と回答した広域連合にお伺いします】

Q49-3. 別のシステム等への入力を行っていますか。（複数回答）

- |  |                   |
|--|-------------------|
|  | 1 市町村独自のシステムへの入力  |
|  | 2 広域連合独自のシステムへの入力 |
|  | 3 エクセル等への入力・管理    |
|  | 4 その他( )          |

【Q48で、「3.実施していない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q48-2. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していない理由をお答えください。（複数回答）

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
|  | 1 関係団体・医療機関との調整が困難          |
|  | 2 経費の調整が困難                  |
|  | 3 実施の方法・手順が不明               |
|  | 4 本人の同意が得られないと考えたため         |
|  | 5 健診項目の内容が不足しており補うことができないため |
|  | 6 不要と判断したため→（その理由： ）        |
|  | 7 その他( )                    |

Q48-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）について、今後の意向についてお答えください。

- |  |                     |
|--|---------------------|
|  | 1 実施に向けて準備中         |
|  | 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中 |
|  | 3 実施の予定はない          |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q50. 後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。

- |  |  |
|--|--|
|  | 1 同一である  |
|  | 2 同一でない→（具体的に： ）<br>（※対象除外者または対象者が具体的にわかるように記載ください。） |

Q51. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- |  |                                       |
|--|---------------------------------------|
|  | 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している             |
|  | 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している           |
|  | 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している           |
|  | 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している         |
|  | 5 通知していない                             |
|  | 6 市町村に健診事業を委託しており、広域連合による健診事業は実施していない |

【Q51で、「2」または「4」（一部の項目について通知をしている）と回答した広域連合にお伺いします】

Q51-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。（複数回答）

- |  |  |
|--|--|
|  | 1 既往歴  |
|  | 2 自覚症状及び他覚症状の有無                                  |
|  | 3 身長、体重  |
|  | 4 BMI  |
|  | 5 血圧   |
|  | 6 AST、ALT、γ-GT（肝機能検査）                            |
|  | 7 血清トリグリセライド（中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロール（血中脂質検査） |
|  | 8 血糖検査   |
|  | 9 尿中の糖及び蛋白の有無（尿検査）                               |
|  | 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの                          |

【全ての広域連合にお伺いします】

Q52. 健診受診対象者に対して、広域連合が統一して受診券の送付をしていますか。（事業者による委託の場合を含む）

- 
- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
  - 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
  - 3 個別の受診券の送付はしていない
  - 4 市町村が直接健診事業を実施しており、広域連合による健診事業は実施していない
  - 5 その他（  ）

Q53. 健診受診率向上のために、広域連合としてどのような取組をしていますか。（複数回答）

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
  - 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
  - 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
  - 4 SNS等を活用した周知
  - 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
  - 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
  - 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
  - 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
  - 9 自己負担なし
  - 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
  - 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
  - 12 その他（  ）

#### 4. ガイドラインの活用状況

【高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、全ての広域連合にお伺いします】

Q54. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

- 
- 1 活用している
  - 2 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

Q55. 厚生労働省のホームページに掲載されているガイドライン（第3版）の解説動画を視聴しましたか。

- 
- 1 視聴した
  - 2 視聴していない

【Q55で、「1.視聴した」と回答した広域連合にお伺いします】

Q55-1. ガイドライン（第3版）について、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- 
- 1 開催した
  - 2 開催していない
  - 3 開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した

【全ての広域連合にお伺いします】

Q56. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 1 高齢者の保健事業の実施に当たっての基本的な考え方
  - 2 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
  - 3 取組の推進に向けた体制整備
  - 4 効果的な実施に向けた取組内容の検討
  - 5 取組を推進するための環境整備
  - 6 関連事項

- 7 その他(  )
- 8 確認したい事項は特にない

**以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です**

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、広域連合の名称等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細 [https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo\\_koreisya](https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya)

【国保中央会・研究班等の作成資料について、全ての広域連合にお伺いします】

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q57. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない ⇒Q58^
- 4 未定 ⇒Q58^

【Q57「1.ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2.使うことを検討中である」と回答した広域連合にお伺いします】

Q57-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（複数回答）

- 1 事業計画の立案（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（  ）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q58. 国保中央会作成の一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

Q59. 構成市町村に対し、一体的実施・KDB活用支援ツール活用に関する支援を行っていますか。

- 1 支援を行っている
- 2 支援を行っていない

【Q59で、「1.支援を行っている」と回答した広域連合にお伺いします】

Q59-1. どのような支援を行っていますか。（複数回答）

- 1 説明会・研修会の実施
- 2 個別指導（訪問）の実施
- 3 個別指導（WEB）の実施
- 4 対象者リスト提供の実施
- 5 相談・質問対応の実施
- 6 その他（  ）

【Q59で、「2.支援を行っていない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q59-2. 支援を行っていない理由をお答えください。（自由記述 ※任意回答）

Q59-3. 貴広域連合がツールを使用されるにあたり、困っていることがあればご記入ください。（自由記述 ※任意回答）

【Ⅱ. 研究班が作成した資料について、全ての広域連合にお伺いします】

Q60. 「一体的実施・実践支援ツール」を活用していますか

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

Q61. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q60で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q60-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（複数回答）

- 1 事業計画の立案
- 2 対象者の抽出・絞り込み
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 実施内容・結果の記録
- 5 実施内容・結果を活用した事業評価
- 6 その他（  ）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q62. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」を活用していますか。

※「活用していない」を選択した場合の理由は任意回答です

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q62で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q62-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（自由記述 ※任意回答）

Q63. 一体的実施の保健事業計画や一体的実施・KDB活用支援ツールのツール活用の上で、本解説書（抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1）は役に立っていますか。

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q63で「1.役立つ」、「2.まあまあ役立つ」、「3.あまり役立たない」、「4.全く役立たない」と回答した広域連合にお伺いします】

Q63-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。（自由記述）

■ 解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【全ての広域連合にお伺いします】

Q64. 厚生労働省・国保中央会共催の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」における動画を活用して、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- 1 開催した
- 2 開催していない
- 3 開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した

■ 現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Ⅲ. 集約レポートについて、全ての広域連合にお伺いします】

Q65. 実施計画書の集約レポートを活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■ 現在活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q65で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】

Q65-1. どのような場面で使っていますか（予定を含む）。（自由記述）

- |  |   |
|--|---|
|  | 1 市町村への説明（説明会、研修会）  |
|  | 2 事業実施状況の評価・分析のため   |
|  | 3 関係機関・関係団体への説明   |
|  | 4 好事例の把握  |
|  | 5 その他（ <span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 100px; height: 15px;"></span> ） |

Q66. 集約ツールを利用した上で、お気づきの点があればお知らせください。（自由記述 ※任意回答）

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。  
フェイスシートで、エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください

## 別紙 1-2 市町村調査票

---

# 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」 一市町村票一

## 【調査の目的】

令和6年度時点における、最新の実施状況や、実施段階ごとの課題等の把握を行い、事業の更なる充実、円滑な実施に向けて求められる支援等の内容を明らかにすることを目的として、全ての市町村を対象に実施するものです。

## 【調査項目】

本調査は、次の7項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いします。  
一体的実施の受託開始時期により、回答する調査票が異なりますのでご注意ください。

調査区分	設問内容		対象区分	設問内容	
取組体制等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁内組織体制、人員数</li> <li>● 庁内連携の状況</li> <li>● 関係機関との連携状況、連携内容、連携状況、連携が図られていない場合の課題</li> </ul>		<b>【受託中・令和7年度より受託予定】</b> <<交付金非申請事業>> 事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施している事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）</li> <li>● 対象者抽出方法（データ・ツール）</li> <li>● 実施体制</li> <li>● 実施上の課題</li> <li>● 評価指標の設定状況</li> <li>● 実施している事業の効果検証/評価の取組状況</li> <li>● 一体的実施の実施による効果</li> </ul>	
実施の有無、計画状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実施の有無・実施予定時期</li> <li>● 事業の評価と見直し</li> <li>● 取組方針、位置づけ等</li> <li>● ICT機器の活用状況</li> </ul>	→ 分岐		<b>【未受託・受託中止】</b>	<<令和7年度以降受託未定>> 事業実施に向けた準備状況等
広域連合、都道府県、国保連からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受けている支援・有効だった支援</li> <li>● 今後求める支援</li> </ul>			<<受託中止>> 事業実施に向けた準備状況等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受託に向けた課題</li> <li>● 検討状況</li> <li>● 受託中止の理由</li> <li>● 受託再開に向けた課題</li> <li>● 受託再開の検討状況</li> <li>● 受託再開に向けて必要な支援</li> <li>● 継続して実施している/実施を中止した事業の内容（ハイリスク/ポピュレーション）</li> </ul>
第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広域連合からの運用に当たっての説明・事業実施への支援状況</li> <li>● 運用中の計画に対する理解度、標準化に関する認識</li> <li>● 計画策定に対する意見の反映</li> <li>● 後期高齢者の健康診査（データ化の状況、医療機関からの診療情報の活用状況、後期高齢者の質問票の取り扱い・システム等への入力状況、健診対象除外者）</li> </ul>				
後期高齢者質問票の使用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用場面・目的</li> <li>● データ化とデータ活用の状況</li> <li>● 活用していない理由</li> </ul>				
ガイドライン等の活用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版</li> <li>● 「一体的実施・KDB活用支援ツール」</li> <li>● 「一体的実施・KDB活用支援ツール」の抽出条件の考え方や保健事業への活用Ver.1</li> <li>● 「一体的実施・実践支援ツール」</li> </ul>				

## 【ご回答にあたって】

- ※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。
- ※本調査は、特に注意書きがない場合は、**令和6年11月現在**での状況についてお答えください。
- ※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。
- ※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。
- ※**Webフォーム上ではA票・B票に分かれておらず、設問番号が異なることにご注意ください。**

<回答欄について> 単一回答のセル： <span style="background-color: #d9e1f2; border: 1px solid #ccc; padding: 2px;"> </span> … プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください 複数回答のセル： <span style="background-color: #fff2cc; border: 1px solid #ccc; padding: 2px;"> </span> … 当てはまるもの <b>すべてに「○」</b> を入れてください 自由記載のセル： <span style="background-color: #d9ead3; border: 1px solid #ccc; padding: 2px;"> </span> … 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください ※グレーで網掛けになっているセルは一定の条件を入力すると回答できる仕組みになっています	
---	--

## 【回答期限】

**2024年11月27日（水）**

## 【お問い合わせ先】

**（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、高見、森田、望月**  
 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局  
 〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3  
 TEL：0120-958-972（平日10-17時 ※12-13時除く）  
 MAIL：ittaiteki-survey2024@ml.mri.co.jp

回答者情報、一体的実施の受託状況をご入力の上、該当する「調査票」シートにお進みください。

## ■ 回答者情報

- 都道府県及び市町村名についてお答えください。※プルダウンからお選びください

都道府県名	
市町村名	
保険者番号(8桁)	
日常生活圏域数	

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名	
役職	
氏名	
電話番号	
E-mail	

## ■ 一体的実施の事業受託開始時期

- Q1. 一体的実施に関する広域連合からの事業受託開始時期についてお答えください。

受託開始時期		ご回答いただく調査票の種類
1. 令和6年度までに受託開始している ⇒ Q1-1 ^	⇒	【A】調査票シートにご回答ください。
2. 令和7年度受託予定		
3. 令和7年度以降受託未定	⇒	【B】調査票シートにご回答ください。
4. 過去に受託していたが、現在は中止 (今後も未定)		

※WebフォームではAとBに分かれていません。共通のフォームにご回答いただきます。

- Q1-1 一体的実施の受託開始時期をお答えください。

- 1 令和2年度から
- 2 令和3年度から
- 3 令和4年度から
- 4 令和5年度から
- 5 令和6年度から

# 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査—市町村票【調査票A】—

※Webフォーム上ではA票・B票に分かれておらず、設問番号が異なることにご注意ください。

## 1. 一体的実施の受託の状況・取組体制

【一体的実施に関わる庁内組織についてお伺いします】

Q2. i) 一体的実施について**企画・調整を行う担当者**の職種別人数（実人数とし常勤換算等は不要）をお答えください。

なお、人件費が特別調整交付金の対象になっているか否かに関わらず、実態を回答してください。

「3. 令和7年度以降受託未定」「4. 過去に受託していたが、現在は中止（今後も未定）」を選択した場合は、一体的実施の取組に向けてなど、高齢者の健康づくり・重症化予防の取組のための体制についてお答えください。（数値を入力）

※既定値は0人に設定されています。

ii) 兼務において、一体的実施に割く業務時間の割合はどの程度がお答えください。複数名いる際は、平均してご回答ください。

- 1 8割以上
- 2 半分以上8割未満
- 3 2割以上半分未満
- 4 2割未満

職種	i) 人数	左記のうち、他業務と兼務している担当者の人数	
		ii) 兼務割合	
医師	0名	0名	
保健師	0名	0名	
管理栄養士	0名	0名	
その他 ( )	0名	0名	
合計 (自動計算)	0名	0名	

【Q2 i) で、一つでも人数が1人以上と回答した市町村にお伺いします】

Q2-1. 医療専門職が効率的・効果的に対応するための工夫はありますか。（複数回答）

- 1 ツールやコンテンツの共有
- 2 取組前の研修による理解促進
- 3 定期的な意見交換の機会の確保
- 4 多職種での方針決定や役割分担の相談・調整の機会の確保
- 5 その他 ( )

Q3. 企画・調整を行う医療専門職の確保にあたり、工夫した点があればお答えください。（複数回答）

- 1 専任でなく兼務での配置
- 2 採用、増員
- 3 健康増進部門等からの異動で対応
- 4 既存業務の見直し
- 5 組織体制変更
- 6 保健師の配置見直し
- 7 管理栄養士の配置見直し
- 8 その他 ( )
- 9 特になし

Q4. 一体的実施に関連する業務の関係部署を挙げ、担当業務や連携内容について該当するものをお答えください。

（複数回答）

部署名(※1)	担当業務(※2)				一体的実施に関する連携内容(※3)					
	国民健康保険(後期高齢者医療)	保健衛生	介護保険	その他	の事業実施体制・内容・方法	を事業有し実施している状況について情報	る事業運営・実施に参画している	検討に参画し、課題や対策の	討域の参加している共有や対策の	その他の連携
主担当										
連携部署										

※1 最初の行に、一体的実施の主担当部署を記入してください。

※2 直営の地域包括支援センターについては、介護保険担当の連携部署としてご記入ください。

※3 1行目の主担当部署と連携している内容について該当するものをお答えください。

【関係機関との連携についてお伺いします】

Q5. 庁外の関係機関との一体的実施に関する連携内容をお答えください。（複数回答）

いずれの連携も行っていない場合は「連携なし」に○をつけてください。

関係機関	一体的実施に係る連携内容										連携なし
	情報の共有	健康課題の分析への参加	実施方法・体制検討への参加	事業実施への参加（委託を含む）	職等への派遣・医療専門	の強会の派遣・セミナー等	加・研究会、会議への参加	事業の評価への参加	その他の連携		
① 広域連合											
② 都道府県											
③ 国保連合会											
④ 医師会											
⑤ 歯科医師会											
⑥ 薬剤師会											
⑦ 看護協会											
⑧ 栄養士会											
⑨ リハビリ職能団体 ※1											
⑩ 歯科衛生士会											
⑪ 医療機関											
⑫ 地域包括支援センター ※2											
⑬ 社会福祉協議会											
⑭ 大学・研究機関等											
⑮ 商工会議所・商工会											
⑯ その他 ( )											

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由記述）

Q6. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

i) 連携が十分に図られているか、また、

ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由記述）

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか	ii) 連携にあたり工夫したこと
① 広域連合		
② 都道府県		
③ 国保連合会		
④ 医師会		
⑤ 歯科医師会		
⑥ 薬剤師会		
⑦ 看護協会		
⑧ 栄養士会		
⑨ リハビリ職能団体		
⑩ 歯科衛生士会		
⑪ 医療機関		
⑫ 地域包括支援センター		

⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合

⑬ 社会福祉協議会		
⑭ 大学・研究機関等		
⑮ 商工会議所・商工会		
⑯ その他		
⑰ その他の機関名		

Q7. 貴市町村において、一体的実施の取組における強みはありますか。(複数回答)

- 1 担当者の職種や人数等が充実している
- 2 担当者のスキルが高い
- 3 マニュアル等を整備しており、スキル不足等を補完できている
- 4 研修会等の機会が確保されており、スキル不足等を補完できている
- 5 近隣市町村と情報交換ができています
- 6 広域連合と活発な意見交換が可能な関係性にある
- 7 広域連合からの支援が充実している(研修会や個別相談対応等)
- 8 国保連合会からの支援が充実している(研修会や個別相談対応、データの提供・解説等)
- 9 都道府県の担当窓口が明確で調整等がしやすい
- 10 都道府県や保健所による助言等の支援が得られる
- 11 都道府県や保健所から実施の際の協力が得られる
- 12 関係団体からの助言等の支援が得られる
- 13 関係団体から実施の際の協力が得られる
- 14 関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している
- 15 その他 ( )

## 2. 一体的実施の事業実施状況

【令和6年度までに受託開始している市町村は実施状況を回答・令和7年度受託予定の市町村は実施予定を回答してください】

【一体的実施の事業受託についてお伺いします】

Q8. 一体的実施の事業受託にあたり、広域連合から委託料の交付を受けていますか。また受託予定の市町村については、受ける予定がありますか。

- 1 受けている(受ける予定がある)
- 2 受けていない(受ける予定がない)

【ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチの状況(※)についてお伺いします】

※ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチは、「後期高齢者医療の調整交付金の交付額の算定に関する 省令第6条第9号に関する交付基準について」

(令和5年4月7日付け保高発0407第1号)に示す高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)及び通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)の取組を指す。

【ハイリスクアプローチについてお伺いします】

Q9. 今年度中の実施の有無(実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」)、実施体制、実施圏域数をご記入ください。また、実施している場合は委託による実施か、対象者の抽出についてお答えください。また受託予定の市町村については、申請予定のない事業について、現段階での予定をお答えください。

実施項目	実施の有無	実施圏域数	委託により実施(市町村から外部機関への委託(一部委託含む)で実施)	対象者の抽出について		
				一体的実施KDB活用支援ツール※の初期設定条件で抽出(ツールの初期設定と同一条件での抽出も含む)	一体的実施KDB活用支援ツールの初期設定条件で抽出後、更に絞り込みを実施	オリジナルの抽出基準で抽出
低栄養に関わる相談・指導						
口腔に関わる相談・指導						
服薬に関わる相談・指導						
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導						
生活習慣病等重症化予防(身体的フレイル含む)に関わる相談・指導						
健康状態不明者の状態把握、必要なサービスへの接続						
重複頻回受診者への相談・指導						
その他① ( )						
その他② ( )						

※一体的実施・KDB活用支援ツール：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.p>

【Q9で、「委託により実施」を有と回答した市町村にお伺いします】

Q9-1. 委託により実施している場合、委託先をお答えください。(自由記述)

※事業名と委託先の両方を記載ください。例) 低栄養に関わる相談・指導 … A社

【Q9で、一つでも実施「○」と回答した市町村にお伺いします】

Q9-2. 各事業について、どの指標等で評価していますか。また受託予定の市町村については、評価予定をお答えください。(複数回答)

	ストラクチャー	プロセス	アウトプット	アウトカム	その他
--	---------	------	--------	-------	-----

実施項目	庁内体制	地域連携	保健指導実施体制	その他	実施方法	実施時期	周知方法	その他	支援対象者のうち支援できず者の人数・割合	測定データ（体重、血圧等）の変化	検査データ（血糖値、HbA1c等）の変化	要介護認定状況	受診状況	サービス接続状況	通いの場参加状況	生活習慣の改善状況	質問票データの変化	その他	その他	
低栄養に関わる相談・指導																				
口腔に関わる相談・指導																				
服薬に関わる相談・指導																				
糖尿病性腎症重症化予防に関わる相談・指導																				
生活習慣病等重症化予防（身体的フレイル含む）に関わる相談・指導																				
健康状態不明者の状態把握、必要なサービスへの接続																				
重複頻回受診者への相談・指導																				
その他①（ <input type="text"/> ）																				
その他②（ <input type="text"/> ）																				

■評価指標において「その他」の評価指標をもつ場合は具体的な指標をお答えください。（自由記述）

Q9-3. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなデータを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数回答）

- 1 一体的実施・KDB活用支援ツールで得たデータ
- 2 健診結果（後期高齢者の質問票以外）
- 3 健診等の際に取得した後期高齢者の質問票
- 4 基本チェックリスト
- 5 市町村独自のアンケート調査等
- 6 医療、介護のレセプトデータ
- 7 その他（）

Q9-4. ハイリスクアプローチの対象者の抽出にあたり、どのようなツールを利用していますか。また受託予定の市町村については、利用予定をお答えください。（複数回答）

- 1 KDB
- 2 一体的実施・KDB活用支援ツール
- 3 その他保健指導システム（具体的な名称 ）
- 4 その他（）
- 5 特にツールは使っていない（エクセル等）

Q10. ハイリスクアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。（複数回答）

- 1 対象者の抽出基準・選定方法の決定
- 2 目標・評価指標の設定
- 3 対象者の抽出・リストアップ（KDBシステムの活用等を含む）
- 4 医療機関との連携・調整
- 5 他の部課室の事業等の活用
- 6 予算の確保
- 7 企画・調整を行う医療専門職の確保
- 8 地域を担当する医療専門職の確保
- 9 保健指導に係るノウハウ・知識不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 参加者への周知
- 13 保健指導後のフォローアップ
- 14 事業実施後の評価・改善策の立案
- 15 その他（）
- 16 課題はない

【ポピュレーションアプローチについてお伺いします】

Q11. ポピュレーションアプローチについて、今年度中の実施の有無（実施の場合は「○」、実施なしの場合は「×」）、実施体制をご記入ください。

また受託予定の市町村については、現段階での予定をお答えください。

実施項目	実施の有無	市町村の再委託により実施（市町村から外部機関への委託（一部委託含む）で実施）
健康教育	運動	<input type="checkbox"/>
	栄養	<input type="checkbox"/>

フレイル予防の普及啓発	健康相談	口腔		
		その他 ( )		
	運動			
	栄養			
	その他 ( )			
フレイル状態の高齢者を把握し、低栄養や筋力低下等の状態に応じた保健指導や生活機能向上の支援等				
健康に関する相談や不安等について日常的に気軽に相談が行える環境づくりの実施				
その他 ( )				

Q12. ポピュレーションアプローチの実施上の課題としてあてはまるものをお答えください。また受託予定の市町村については、予想される課題をお答えください。(複数回答)

- 1 目標・評価指標の設定
- 2 他の部課室の事業等の活用
- 3 通いの場に係る情報収集
- 4 通いの場の担い手との連携
- 5 通いの場との関わり方
- 6 参加者への周知
- 7 予算の確保
- 8 医療専門職の確保
- 9 健康教育等や個別支援への接続に関するノウハウ・知識の不足
- 10 委託先の確保
- 11 実施場所の確保
- 12 指導結果のフォロー
- 13 事業実施後の評価・改善策の立案
- 14 その他 ( )
- 15 課題はない

【すべての市町村に、ハイリスクアプローチ／ポピュレーションアプローチの双方についてお伺いします】

Q13. ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチに、地域で実施に関わっている専門職別の人数(実人数とし常勤換算等は不要)と、ハイリスクアプローチ、ポピュレーションアプローチごとの関与の有無をお答えください。

(委託先における専門職の人数は除く) ※規定値は0人になっています

職種	A	B	C
	地域で保健事業に関わる専門職の総数	うち、ハイリスクアプローチに関わる人員の有無	うち、ポピュレーションアプローチに関わる人員の有無
医師			
歯科医師			
保健師			
看護師	0名		
管理栄養士	0名		
栄養士			
歯科衛生士			
薬剤師			
理学療法士			
作業療法士			
言語聴覚士			
その他( )			

【Q14～17は令和6年度までに受託開始している市町村のみお答えください】

Q14. 一体的実施の取組において、事業の評価として行ったことをお答えください。(複数回答)

- 1 庁内連携の状況の確認・課題の抽出
- 2 地域の関係機関・関係団体との連携の状況の確認・課題の抽出
- 3 事業の実施量(実施回数・参加人数等)を用いた分析
- 4 参加者・対象者の満足度・意見に関する分析
- 5 参加者・対象者の状態像の変化の分析
- 6 成果指標(医療費、要介護認定率等)の変化の分析
- 7 報告書での成果の確認(市町村からの委託の場合)
- 8 定性的な成果の分析 (成果の内容 : )
- 9 その他( )
- 10 事業開始間もないため評価ができない
- 11 評価を実施していない

Q15. 一体的実施の取組において、事業の評価の活用、事業報告の状況についてお答えください。(複数回答)

- 1 広域連合と評価結果について情報共有し、改善策等を検討した
- 2 庁内の関係部局間で事業評価を共有した
- 3 関係機関・関係団体に事業評価を共有した
- 4 住民に対して、事業の意義や成果について周知・広報した

- 5 事業評価を踏まえ、次年度の事業の実施計画へ反映した
- 6 事業評価を踏まえ、データヘルス計画等へ反映した
- 7 その他 (  )
- 8 事業評価はしたが、事業報告していない

Q16. 一体的実施の取組において、事業実施後に事業の企画・運営上、課題として挙げたことと、挙げられた課題に対して対策・見直しを講じたかどうか（講じた場合は○、講じていない場合は×）と、対策・見直しを講じた場合の具体的な主な内容（自由記述）をお答えください。

課 題	課題として挙げた	対策・見直しを講じた	対策・見直しを講じた主な内容
事業対象の抽出基準、選定、優先度のつけ方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
実施体制（検討不足、人員不足等）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
事業の実施方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
相談・指導の内容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
事業の実施結果の蓄積、活用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
周知の方法や対象者への連絡方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
その他( <input type="text"/> )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>
事業開始間もない／未実施のため、課題整理ができていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>

Q17. 一体的実施に取り組んだことで、これまでどのような効果があったと感じていますか。（複数回答）

- 1 高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった
- 2 高齢者の保健事業を実施するうえでの後期高齢者医療広域連合との連携ができるようになった
- 3 健康課題が明確化した
- 4 庁内外の関係者間の調整や地域医療関係団体との連携が促進された
- 5 国民健康保険と後期高齢者医療の事業の接続ができる環境が整った
- 6 地域支援事業（介護保険）と後期高齢者医療の事業を一体的に取り組める環境が整った
- 7 事業の効率化が図られた
- 8 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった
- 9 高齢者への個別的な支援が充実した
- 10 通いの場等における健康相談が充実した
- 11 事業目標を課題に基づいて設定できるようになった
- 12 適切に事業の評価が可能となった
- 13 その他 (  )
- 14 特になし

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q18. 保健事業実施にあたり、**ハイリスクアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 活用予定あり

【Q18で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q18-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 (  )

Q19. 保健事業実施にあたり、**ポピュレーションアプローチ**を実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 活用予定あり

【Q19で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 (  )

【Q18かQ19で、「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-2. ICT機器を活用している（活用を予定している）理由についてご回答ください。（複数回答）

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他（  ）

【Q18とQ19の両方で、「2. 活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-3. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください。（複数回答）

- 1 財源の確保が困難
- 2 適切に機器を扱える人員がいない
- 3 導入方法がわからない
- 4 検討したことがない
- 5 その他（  ）

3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q21. 広域連合から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q22へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q22のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q22. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

Q21で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

支援内容	受けた支援		今後受けたい支援
	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	
広域連合との直接対話	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
課題分析、実施方法等に関する助言や指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特別調整交付金の申請に関わる支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合が開催するセミナー・研修会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
研修等への広域連合職員等の派遣	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合による市町村の健康課題の分析	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合を通じた他市町村との連携の調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合を通じた医療関係団体との連携の調整	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
広域連合からの有識者等の派遣等	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他( <input type="text"/> )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

■ その他、広域連合から今後受けたい支援があればお答えください。（自由記述※任意回答）

Q23. 広域連合のセミナー・研修会等で有効だったテーマをお答えください。（複数回答）

- 1 一体的実施に関する国の動き・制度
- 2 データヘルス計画の内容
- 3 当該都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について
- 4 当該都道府県内の市町村での高齢者の保健事業と介護予防の現状
- 5 当該都道府県内の市町村毎の健康課題の現状
- 6 高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用
- 7 広域連合及び市町村による事例報告
- 8 その他（  ）
- 9 セミナー・研修会等を受けていない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q24. 都道府県・国保連合会等から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある ⇒Q25へ
- 2 支援を受けたことはない ⇒Q25のうち、「今後受けたい支援」についてお答えください

Q25. 下記支援内容について、支援内容ごとに、受けた支援、有効だった支援、強化が必要な支援、今後受けたい支援の有無について、該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」でお答えください。

（都道府県と国保連合会等で共催されている場合等については、都道府県、国保連合会等の両方に記入してください。）

Q24で、「2 支援を受けたことはない」と回答した市町村においては、今後受けたい支援についてお答えください。

	都道府県		国保連合会 等	
	受けた支援	今後受けたい支援	受けた支援	今後受けたい支援
<input type="checkbox"/>				

支援内容	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	い支援	うち、有効だった支援	うち、強化が必要な支援	けたい支援
一体的実施に関する国の動きの情報提供、セミナー等						
地域の課題分析手法に関するマニュアル提供、セミナー等						
KDBの活用に関するマニュアル提供、セミナー等						
上記以外のセミナー ※1 (表下の※1にも記入してください)						
保健事業の実施に関する技術的助言・相談						
保健事業の実施のための専門人材の派遣						
医療専門職派遣による指導等						
医療関係団体との調整						
他市町村との調整						
その他 ※2 (表下の※2にも記入してください)						

(※1 上記以外のセミナー : )

(※2 その他 : )

■その他、今後受けたい支援があればお答えください。(自由記述 ※任意回答)

Q26. 国民健康保険中央会の「令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」の動画を視聴しましたか。

出典: <https://www.kokuho.or.jp/hoken/support.html>

- 1 視聴した
- 2 視聴していない

【Q26で、「2. 視聴していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-1. 視聴していない理由をお答えください。

- 1 知らなかった
- 2 忘れていた
- 3 視聴する時間が確保できなかった
- 4 必要ないと判断した
- 5 その他 ( )

Q27. 令和5年度の一体的実施の取組の事業評価・報告をする上で、評価できた内容について回答ください。(複数回答)

※「市町村における『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施』のための進捗チェックリストガイド」(P40)のチェック項目

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/000769100.pdf>

- 1 本事業の実施にあたり、部局横断的な協議ができた
- 2 地域の関係機関との連携体制が構築できた。とくに広域連合との連携が深まった
- 3 データ分析、保健指導に必要な人材が確保でき、研修も実施できた(内・外含め)
- 4 事業実施計画書、実施マニュアル、保健指導教材の準備ができた
- 5 (委託の場合) 委託先と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた
- 6 全体のスケジュール管理をおこなった
- 7 KDB等活用して、健康課題の分析、対象者の抽出などができた
- 8 概ね計画どおり、質問票実施や保健指導・支援することができた
- 9 参加者の満足度、意見、参加状況などを評価した
- 10 状況の変化に対応し、チームで検討の上、マニュアルやスケジュールの修正をおこない、対応できた
- 11 抽出された対象者の中で、実際に関わった人の人数を把握した
- 12 通いの場等での質問票や支援の実施人数を把握した
- 13 質問票や検査データ等で効果を確認した
- 14 要介護認定の状況を確認した
- 15 レセプトで受診状況を確認した
- 16 (委託の場合) 報告書で成果を確認した
- 17 広域連合と評価結果について情報共有した。これをもとに改善策等を話し合った
- 18 関係部局間で、事業評価結果を共有する場を設けた
- 19 本事業に関係した団体等に事業報告した
- 20 地域の協議会などで分析結果の報告や改善策の検討をおこなった
- 21 住民に対し、本事業の意義や成果について情報提供等をおこなった
- 22 今年度の評価を踏まえ、次年度の計画策定をおこなった
- 23 長期的に健診やレセプト情報で評価できる体制を整えた
- 24 年度や担当者が代わっても進捗が滞らないような対策をおこなった

#### 4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

Q28. 広域連合が第3期データヘルス計画を運用するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q29. 運用中のが第3期データヘルス計画の内容について、どの程度理解していると考えていますか。

- 1 十分に理解して事業に活かしている
- 2 十分に理解しているが活かしていない
- 3 概要程度は理解している
- 4 あまり理解していない
- 5 全く分からない

Q30. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の運用に当たり、方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q31. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

【Q31で、「1.受けている」と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1. 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。（複数回答）

- 1 市町村別の健康課題の提示
- 2 国データと広域連合のデータの比較
- 3 共通評価指標の提示
- 4 その他（  ）

Q32. 現在運用中の第3期データヘルス計画について、広域連合に意見具申及び調整の機会がありましたか。また貴市町村からの意見が計画策定に反映されましたか。

- 1 意見具申・調整の機会があり、意見は反映された
- 2 意見具申・調整の機会があったが、意見は反映されなかった
- 3 意見具申・調整の機会があったが、意見しなかった
- 4 意見具申・調整の機会がなかった

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします（R6年11月1日時点）】

Q33. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。（KDBシステム等への登録などを含む）

- 1 保管している
- 2 保管していない

【Q33で、「1. 保管している」と回答した市町村にお伺いします】

Q33-1. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名：（  ）  
会社名：（  ）
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（  ）

Q33-2. データ登録のタイミングをお答えください。

- 1 定期的 →  月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q33で、「2. 保管していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q33-3. データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分
- 5 その他（  ）

Q34. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 健診事業は広域連合が主体として運用しているため、わからない

【Q34で、「1.実施している」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-1. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数：  ）
- 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数：  ）
- 3 把握していない

Q34-2. 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
- 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
- 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
- 4 把握していない
- 5 その他（  ）

Q34-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用（いわゆるみなし健診）している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 8 その他（  ）

【Q34で、「2.実施していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q34-4. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 人員不足、業務負担増加への懸念
- 6 広域連合が実施していない、広域連合からの指示がないため
- 7 不要と判断したため →（その理由：  ）
- 8 その他（  ）

Q34-5. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

- 1 実施に向けて準備中
- 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
- 3 実施の予定はない

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q35. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」（令和5年4月6日付け事務連絡）参照

- 1 同一の対象者である
- 2 同一の対象者でない

Q36. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している
- 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している
- 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 5 通知していない
- 6 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない

【Q36で、「2.全受診者に健診項目の一部の項目について通知している」または「4.一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。（複数回答）

- 1 既往歴
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無
- 3 身長、体重
- 4 BMI
- 5 血圧
- 6 AST、ALT、 $\gamma$ -GT（肝機能検査）
- 7 血清トリグリセライド（中性脂肪）、HDLコレステロール、LDLコレステロール（血中脂質検査）
- 8 血糖検査

- 9 尿中の糖及び蛋白の有無（尿検査）
- 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの

【全ての市町村にお伺いします】

Q37. 健診受診対象者に対して、受診券の送付をしていますか。（事業者による委託の場合を含む）

- 
- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
  - 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
  - 3 個別の受診券の送付はしていない
  - 4 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない
  - 5 その他（  ）

Q38. 健診受診率向上のために、市町村としてどのような取組をしていますか。

- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- 4 SNS等を活用した周知
- 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- 9 自己負担なし
- 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
- 12 その他（  ）

5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q39. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。なお、一体的実施の取組において、抽出条件として活用する場合は選択肢 1～3 の

「健康診査の問診」、保健指導の際に活用される場合は選択肢 5「保健指導における健康状態のアセスメント」に包含されることを想定しています。（複数回答）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（  ）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す ⇒Q41へ

【Q39で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q39-1. 後期高齢者の質問票をどのように活用（説明を含む）しているかについて、健康診査、みなし健診、通いの場等での活用状況をご回答ください。（複数回答）

	健康診査	みなし健診	通いの場等
1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他（ <input type="checkbox"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 受診者へ説明等をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q40. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。（複数回答）

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 3 健康診査での結果を紙でのみ保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙でのみ保管している
- 5 その他（  ）
- 6 保管していない ⇒Q42へ

【Q40で、「1」～「5」（後期高齢者の質問票を保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-1. 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

- 
- 1 知っている
  - 2 知らなかった

Q40-2. 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。（複数回答）

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用

- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 (  )
- 7 保管しているが活用していない

【Q40で、「1」「2」（後期高齢者の質問票をデータ化して保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-3. データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録)
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: (  )  
会社名: (  )
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 (  )

Q40-4. データ登録のタイミングをお答えください。

- 1 定期的 →  か月に1回
- 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q40で、「3」「4」（後期高齢者の質問票を紙でのみ保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q40-5. データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他 (  )

【Q39で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q41. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 (  )

## 6. ガイドライン等の活用状況

Q42. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- ① **高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版**  
 出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>
- 1 活用している
  - 2 活用していない

■活用していない理由 (自由記述 ※任意回答)

Q43. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要等と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。

- (複数回答)
- 1 低栄養に関するプログラム例
  - 2 口腔に関するプログラム例
  - 3 服薬に関するプログラム例
  - 4 身体的フレイル (ロコモティブシンドローム) に関するプログラム例
  - 5 重症化予防 (糖尿病性腎症、その他生活習慣病) に関するプログラム例
  - 6 健康状態不明者への支援プログラム例
  - 7 ポピュレーションアプローチを活用した支援の実施
  - 8 その他 (  )
  - 9 確認したい事項は特になし

**以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です**

※厚生労働行政推進調査事業補助金 (政策科学推進研究事業) (令和5~7年度)

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形の公表はございません。

研究班の詳細: [https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo\\_koreisya](https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya)

【I. 各種ツールや関連資料について、お伺いします】

【「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q44. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない
- 4 未定

【Q44で、「1.ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2.使うことを検討中である」と回答した市町村にお伺いします】

Q44-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）の立案
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（  ）

Q44-2. 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版（国保中央会作成）を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q44で、「3.使う予定はない」「4.未定」と回答した市町村にお伺いします】

Q44-3. 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【「抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q45. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q45で、「1.役立つ」～「4.全く役立たない」と回答した市町村にお伺いします】

Q45-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■ 解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【「一体的実施・実施支援ツール」とその関連資料について、お伺いします】

Q46. 「一体的実施・実践支援ツール」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■ 活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q46で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q46-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 課題分析・対象者の概数把握
- 2 対象者の絞り込み
- 3 対象者リスト作成
- 4 介入記録
- 5 アウトプット評価
- 6 マクロ的評価

【全ての市町村にお伺いします】

Q47. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q47で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q47-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

- 1 事業計画の立案
- 2 対象者の抽出・絞り込み
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 実施内容・結果の記録
- 5 実施内容・結果を活用した事業評価
- 6 その他（  ）

【全ての市町村にお伺いします】

Q48. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

**以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。**



⑩	歯科衛生士会																			
⑪	医療機関																			
⑫	地域包括支援センター※2																			
⑬	社会福祉協議会																			
⑭	大学・研究機関等																			
⑮	商工会議所・商工会																			
⑯	その他 ( )																			

※1 理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会 等

※2 直営を除く

■連携の内容において「その他の連携」に○をしている場合、連携内容をお答えください。（関係機関と連携内容：自由記述）

Q4. 「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑯の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。

- i) 連携が十分に図られているか、また、
- ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。（自由記述）

(関係機関)	i) 連携が十分に図られているかどうか		連携にあたり工夫したこと
① 広域連合		⇒①～⑯で、1あるいは2と回答した場合	
② 都道府県			
③ 国保連合会			
④ 医師会			
⑤ 歯科医師会			
⑥ 薬剤師会			
⑦ 看護協会			
⑧ 栄養士会			
⑨ リハビリ職能団体			
⑩ 歯科衛生士会			
⑪ 医療機関			
⑫ 地域包括支援センター			
⑬ 社会福祉協議会			
⑭ 大学・研究機関等			
⑮ 商工会議所・商工会			
⑯ その他			
⑯ その他の機関名			

Q5. 貴市町村において、一体的実施の取組における強みはありますか。（複数回答）

- 1 担当者の職種や人数等が充実している
- 2 担当者のスキルが高い

<input type="checkbox"/>	3 マニュアル等を整備しており、スキル不足等を補完できている
<input type="checkbox"/>	4 4. 研修会等の機会が確保されており、スキル不足等を補完できている
<input type="checkbox"/>	5 近隣市町村と情報交換ができています
<input type="checkbox"/>	6 広域連合と活発な意見交換が可能な関係性にある
<input type="checkbox"/>	7 広域連合からの支援が充実している（研修会や個別相談対応等）
<input type="checkbox"/>	8 国保連合会からの支援が充実している（研修会や個別相談対応、データの提供・解説等）
<input type="checkbox"/>	9 都道府県の担当窓口が明確で調整等がしやすい
<input type="checkbox"/>	10 都道府県や保健所による助言等の支援が得られる
<input type="checkbox"/>	11 都道府県や保健所から実施の際の協力が得られる
<input type="checkbox"/>	12 関係団体からの助言等の支援が得られる
<input type="checkbox"/>	13 関係団体から実施の際の協力が得られる
<input type="checkbox"/>	14 関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している
<input type="checkbox"/>	15 その他（ <input type="text"/> ）

## 2. 一体的実施の事業実施に向けた準備状況等

【Q7～9は過去に受託経験がなく令和6年度以降受託未定の市町村のみお答えください】

Q7. 一体的実施の受託に向けた課題について該当するものをお答えください。

※課題となっている・課題と感じている場合には「○」、課題になっていない・課題とは感じていない場合には「×」を選択してください。

	課題
<b>① 広域連合との調整</b>	
a. 一体的実施の事業内容・実施の方針の調整	<input type="checkbox"/>
b. 広域連合との調整の機会の設定	<input type="checkbox"/>
<b>② 方針策定等</b>	
c. 市町村が策定する基本的な方針の策定	<input type="checkbox"/>
d. 事業の準備の手順や作業内容の明確化	<input type="checkbox"/>
e. データヘルス計画や介護保険事業計画等既存計画との整合性の確保	<input type="checkbox"/>
<b>③ 課題分析、企画</b>	
f. 地域の課題分析ができる人材の確保	<input type="checkbox"/>
g. 地域の課題分析のためのデータ入手や分析環境の確保	<input type="checkbox"/>
h. 地域の課題分析の方法の確定等	<input type="checkbox"/>
i. 地域の課題の把握	<input type="checkbox"/>
j. 地域の課題に応じた事業の企画・立案	<input type="checkbox"/>
<b>④ 体制構築</b>	
k. 庁内の関係部署の連携体制構築	<input type="checkbox"/>
l. 庁内関係部署との一体的実施の受託時期の合意形成	<input type="checkbox"/>
m. 庁内関係部署との事業内容等に係る合意の形成	<input type="checkbox"/>
n. 企画・調整を担当する医療専門職の確保	<input type="checkbox"/>
o. 地域を担当する医療専門職の確保	<input type="checkbox"/>
p. 庁外の関係機関との連携体制の構築	<input type="checkbox"/>
q. 庁外の関係機関との事業内容等に係る合意の形成	<input type="checkbox"/>
<b>⑤ 実施場所・実施圏域</b>	
r. ハイリスクアプローチの実施の調整	<input type="checkbox"/>
s. ポピュレーションアプローチの実施の調整・通いの場等との事業内容の調整	<input type="checkbox"/>
<b>⑥ その他</b>	
t. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>

Q8. 一体的実施の受託に関する検討状況についてお答えください。

- 1 受託に向けた検討をしている
- 2 受託に向けた検討をしていないが、今後検討する予定
- 3 受託に向けた検討をする予定がない

Q9. 後期高齢者医療の調整交付金の交付を受けたいと考えていますか。

- 1 考えている
- 2 考えていない

【Q10～12は過去に受託していたが現在は中止している市町村のみお答えください】

Q10. 一体的実施の受託を中止した理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 資金不足
- 2 担当者・専門職が不在になり、継続できなくなった
- 3 その他（  ）

Q11. 一体的実施の受託再開についての検討状況をお答えください。

- 
- 1 再開の目処が立っている
  - 2 当面難しいが、目処が立ち次第再開したい
  - 3 再開はしない

【Q11で「1. 再開の目処が立っている」「2. 当面難しいが、目処が立ち次第再開したい」と回答した市町村にお伺いします。】

Q11-1. 一体的実施の受託再開に向けて、課題解決が必要な事項としてあてはまるものをお答えください。（複数回答）

- 1 人材育成
- 2 人材の新規採用
- 3 資金繰りの見直し
- 4 計画の見直し
- 5 関係機関からの協力・支援 → 関係機関名：（  ）
- 6 その他（  ）

Q11-2. 一体的実施の受託再開に向けて、どのような支援があれば再開できるかお答えください。（複数回答）

- 1 企画調整を行うものの配置
- 2 計画書作成の支援・契約書の策定
- 3 人員派遣
- 4 民間事業者の紹介
- 5 ICTによる遠隔指導の導入
- 6 その他（  ）

Q12. 一体的実施の受託中止後、企画調整はないが同様の事業を継続して実施している事業、受託中止に伴い実施を中止した事業についてお答えください。

- 1 受託中止後も継続して実施
- 2 受託中止に伴い実施中止
- 3 受託有無にかかわらず実施していない
- 4 受託中止後に開始

	ハイリスク アプローチ	ポピュレーション アプローチ	保健事業
健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
歯科健診	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
低栄養	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
口腔	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
糖尿病性腎症重症化予防	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
重複多剤	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
身体的フレイル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
健康状態不明者対策	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【ICTの活用状況についてお伺いします】

Q13. 保健事業実施にあたり、ハイリスクアプローチを実施する際にICT機器を活用していますか。

- 
- 1 活用している
  - 2 活用していない
  - 3 活用予定あり

【Q13で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q13-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。（複数回答）

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 (  )

Q14. 保健事業実施にあたり、ポピュレーションアプローチを実施する際にICT機器を活用していますか。

- 1 活用している
- 2 活用していない
- 3 活用予定あり

【Q14で、「1」と回答した市町村にお伺いします】

Q14-1. どのようなICT機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- 1 アプリケーションの使用
- 2 ウェアラブル端末の使用
- 3 オンライン面談の実施
- 4 タブレットの配布
- 5 WEBコンテンツの配信
- 6 データの把握や分析
- 7 その他 (  )

【Q13もしくはQ14で、「1」「3」と回答した市町村にお伺いします】

Q15. ICT機器を活用している(活用を予定している)理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 人材不足を補完するため
- 2 保健指導の質の向上のため
- 3 感染症拡大予防のため
- 4 その他 (  )

【Q13とQ14の両方で、「2. 活用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q16. ICT機器を活用していない理由についてご回答ください。(複数回答)

- 1 財源の確保が困難
- 2 適切に機器を扱える人員がない
- 3 導入方法がわからない
- 4 検討したことがない
- 5 その他 (  )

### 3. 他組織からの支援

【広域連合からの支援についてお伺いします】

Q17. 広域連合から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

【都道府県・国保連合会等からの支援についてお伺いします】

Q18. 都道府県・国保連合会等から、令和6年度中に何らかの支援を受けたことがありますか。

- 1 何らかの支援を受けたことがある
- 2 支援を受けたことはない

Q19. 国民健康保険中央会の「令和6年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」の動画を視聴しましたか。

出典: <https://www.kokuho.or.jp/hoken/support.html>

- 1 視聴した
- 2 視聴していない

【Q19で、「2. 視聴していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q19-1. 視聴していない理由をお答えください。

- 1 知らなかった
- 2 忘れていた
- 3 視聴する時間が確保できなかった
- 4 必要ないと判断した
- 5 その他 (  )

#### 4. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への助言について

Q20. 広域連合が第3期データヘルス計画を運用するにあたって、国から示された方針や手引きの内容等について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q21. 運用中のが第3期データヘルス計画の内容について、どの程度理解していると考えていますか。

- 1 十分に理解して事業に活かしている
- 2 十分に理解しているが活かしていない
- 3 概要程度は理解している
- 4 あまり理解していない
- 5 全く分からない

Q22. 当該広域連合における第3期データヘルス計画の運用に当たり、方針や概要について、広域連合から説明を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

Q23. 第3期データヘルス計画に基づく事業実施への支援（助言や説明、データの提供を含む）を広域連合から受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

【Q23で、「1. 受けている」と回答した市町村にお伺いします】

Q23-1. 広域連合からどのような支援を受けていますか。受けた全ての支援について回答ください。（複数回答）

- 1 市町村別の健康課題の提示
- 2 国データと広域連合のデータの比較
- 3 共通評価指標の提示
- 4 その他 (  )

Q24. 現在運用中の第3期データヘルス計画について、広域連合に意見具申及び調整の機会がありましたか。また貴市町村からの意見が計画策定に反映されましたか。

- 1 意見具申・調整の機会があり、意見は反映された
- 2 意見具申・調整の機会があったが、意見は反映されなかった
- 3 意見具申・調整の機会があったが、意見しなかった
- 4 意見具申・調整の機会がなかった

【後期高齢者の健康診査について、全ての市町村にお伺いします（R6年11月1日時点）】

Q25. 健康診査での結果をデータ化して保管していますか。（KDBシステム等への登録などを含む）

- 1 保管している
- 2 保管していない

【Q25で、「1. 保管している」と回答した市町村にお伺いします】

Q25-1. データ化した結果の入力先をお答えください。（複数回答）

- 1 特定健診システムへの入力（KDBシステムへの登録）
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名：（)  
会社名：（)
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他（)

Q25-2. データ登録のタイミングをお答えください。

- 
- 1 定期的 →  月に1回
- 2 不定期（健診受診者発生ごとなど）

【Q25で、「2. 保管していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q25-3. データ化していない理由をお答えください。（複数回答）

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他（)

Q26. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）を実施していますか。

- 
- 1 実施している
- 2 実施していない
- 3 健診事業は広域連合が主体として運用しているため、わからない

【Q26で、「1.実施している」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-1. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用している場合、質問票の取り扱い状況についてお答えください。

- 
- 1 協力医療機関の全てで使用（協力医療機関数：)
- 2 協力医療機関の一部で使用（協力医療機関数：)
- 3 把握していない

Q26-2. 質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。

- 
- 1 質問票を使用する医療機関全てで入力
- 2 質問票を使用する医療機関の一部で入力
- 3 質問票を使用する医療機関全てで入力していない（別のシステムへの入力の場合等も含む）
- 4 把握していない
- 5 その他（)

Q26-3. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用（いわゆるみなし健診）している場合、市町村の工夫についてお答えください。（複数回答）

- 1 診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を医療機関や関係者に提示
- 2 医療機関の負担に配慮した医療機関への依頼業務の調整
- 3 医療機関等への説明会の実施
- 4 医療従事者の理解促進のための説明資料の作成
- 5 医療関係団体に対し、みなし健診の協力の依頼や調整
- 6 被保険者の理解促進のための説明資料の作成
- 7 被保険者に対する本人同意についての周知・広報
- 8 その他（)

【Q26で、「2」と回答した市町村にお伺いします】

Q26-4. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、その理由についてお答えください。（複数回答）

- 1 関係団体・医療機関との調整が困難
- 2 経費の調整が困難
- 3 実施の方法・手順が不明
- 4 本人の同意が得られないと考えたため
- 5 人員不足、業務負担増加への懸念
- 6 広域連合が実施していない、広域連合からの指示がないため
- 7 不要と判断したため → (その理由: )
- 8 その他 ( )

Q26-5. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用していない場合、今後の意向をお答えください。

- 1 実施に向けて準備中
- 2 実施の必要性や実現可能性等を検討中
- 3 実施の予定はない

【後期高齢者の健診対象除外者について、全ての市町村にお伺いします】

Q27. 健診対象除外者については、後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象※（特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる）と同一の対象者ですか。

※「令和6年度以降における後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象となる健康診査事業の対象者等の取り扱いについて」

(令和5年4月6日付け事務連絡) 参照

- 1 同一の対象者である
- 2 同一の対象者でない

Q28. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- 1 全受診者に健診項目の全項目について通知している
- 2 全受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 3 一部の受診者に健診項目の全項目について通知している
- 4 一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している
- 5 通知していない
- 6 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない

【Q28で、「2.全受診者に健診項目の一部の項目について通知している」または

「4.一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している」と回答した市町村にお伺いします】

Q28-1. 一部項目について通知をしている場合、通知している項目について回答してください。(複数回答)

- 1 既往歴
- 2 自覚症状及び他覚症状の有無
- 3 身長、体重
- 4 BMI
- 5 血圧
- 6 AST、ALT、γ-GT (肝機能検査)
- 7 血清トリグリセライド (中性脂肪)、HDLコレステロール、LDLコレステロール (血中脂質検査)
- 8 血糖検査
- 9 尿中の糖及び蛋白の有無 (尿検査)
- 10 その他、医師が必要と認めるときに行うもの

【全ての市町村にお伺いします】

Q29. 健診受診対象者に対して、受診券の送付をしていますか。(事業者による委託の場合を含む)

- 1 健診受診対象者全員に個別に送付している
- 2 広報誌等で健診について周知の上、希望者に対し送付している
- 3 個別の受診券の送付はしていない
- 4 広域連合が直接健診事業を実施しており、市町村による健診事業は実施していない
- 5 その他 ( )

Q30. 健診受診率向上のために、市町村としてどのような取組をしていますか。(複数回答)

- 1 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組（いわゆるみなし健診）の実施
- 2 健診受診対象者全員に受診券を送付
- 3 かかりつけ医等からの健診受診の重要性の説明など健診受診勧奨の依頼
- 4 SNS等を活用した周知
- 5 インターネット等による24時間予約可能なシステムの活用
- 6 土日・祝日や夕方以降等の健診受診時間の拡大
- 7 通いの場等を活用した健診の重要性の説明
- 8 75歳到達者に対する健診の重要性の説明の機会の設定
- 9 自己負担なし
- 10 健診受診者に対するインセンティブ付与（健康ポイント等）
- 11 市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない
- 12 その他（  ）

### 5. 後期高齢者の質問票の使用状況

Q31. 後期高齢者の質問票を使用する場面・目的をお答えください。なお、一体的実施の取組において、抽出条件として活用する場合は選択肢1～3の「健康診査の問診」、保健指導の際に活用される場合は選択肢5「保健指導における健康状態のアセスメント」に包含されることを想定しています。（複数回答）

- 1 健康診査の問診（特定健診の問診票に代えて使用）
- 2 健康診査の問診（特定健診の問診票と併用）
- 3 健康診査の問診（後期高齢者の質問票に独自で設問を追加して使用）
- 4 通いの場等での健康状態の評価
- 5 保健指導における健康状態のアセスメント
- 6 かかりつけ医をはじめとした地域の医療機関での使用の推進
- 7 その他（  ）
- 8 使用していない ※関係部署間においても一切使用していない場合を指す

⇒Q33へ

【Q31で、「1」～「7」（後期高齢者の質問票を使用している）と回答した市町村にお伺いします】

Q31-1. 後期高齢者の質問票をどのように活用（説明を含む）しているかについて、健康診査、みなし健診、通いの場等での活用状況をご回答ください。（複数回答）

	健康診査	みなし健診	通いの場等
1 健診の結果通知表に問診結果が含まれている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 後期高齢者の質問票の回答結果の受診者の控えがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 後期高齢者の質問票の結果について医師が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4 後期高齢者の質問票の結果について医師以外の医療専門職が説明している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6 受診者へ説明等をしていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q32. 後期高齢者の質問票をどのように保管していますか。（複数回答）

- 1 健康診査での結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 2 通いの場で活用した結果をデータ化して保管（KDBシステム等への登録等）
- 3 健康診査での結果を紙でのみ保管している
- 4 通いの場で活用した結果を紙でのみ保管している
- 5 その他（  ）
- 6 保管していない

⇒Q34へ

【Q32で、「1」～「5」（後期高齢者の質問票を保管している）と回答した市町村にお伺いします】

Q32-1. 後期高齢者の質問票を特定健診等データ管理システムに入力することで質問票データをKDBに搭載できることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らなかった

Q32-2. 後期高齢者の質問票を保管している場合、どのように活用していますか。(複数回答)

- 1 保健指導の実施における個人の健康状態の把握・対象者抽出に活用
- 2 個人の行動変容の評価指標の一つとして活用
- 3 事業評価に活用
- 4 地域における健康課題の整理・分析に活用
- 5 分析した結果を周知・広報に活用
- 6 その他 (  )
- 7 保管しているが活用していない

【Q32で、「1」「2」(後期高齢者の質問票をデータ化して保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q32-3. データ化した結果の入力先をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診等データ管理システムへの入力 (KDBシステムへの登録)
- 2 都道府県または市町村単位での独自のシステムへの入力 →システム名: (  )  
会社名: (  )
- 3 エクセルファイル等への入力
- 4 その他 (  )

Q32-4. データ登録のタイミングをお答えください。

- 
- 1 定期的 →  か月に1回
- 2 不定期 (健診受診者発生ごとなど)

【Q32で、「3」「4」(後期高齢者の質問票を紙でのみ保管している)と回答した市町村にお伺いします】

Q32-5. データ化していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 入力システムの仕様がよくわからない
- 2 データ化のための人件費等の経費確保が困難
- 3 データ化するタイミングがわからない
- 4 紙媒体での把握・管理で十分、紙媒体の方が扱いやすい
- 5 作業に必要な人員・時間の不足
- 6 その他 (  )

【Q31で、「8 使用していない」と回答した市町村にお伺いします】

Q33. 後期高齢者の質問票を使用していない理由をお答えください。(複数回答)

- 1 特定健診の標準的な質問票を使用している
- 2 健診実施機関のシステムが対応していない
- 3 健診実施機関との調整ができていない
- 4 基本チェックリスト等の他の調査票を使用している
- 5 その他 (  )

## 6. ガイドライン等の活用状況

Q34. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

### ① 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

- 
- 1 活用している
- 2 活用していない

■ 活用していない理由 (自由記述 ※任意回答)

Q35. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要等と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。(複数回答)

- 1 低栄養に関するプログラム例
- 2 口腔に関するプログラム例
- 3 服薬に関するプログラム例

- 4 身体的フレイル（ロコモティブシンドローム）に関するプログラム例
- 5 重症化予防（糖尿病性腎症、その他生活習慣病）に関するプログラム例
- 6 健康状態不明者への支援プログラム例
- 7 ポピュレーションアプローチを活用した支援の実施
- 8 その他（  ）

**以下の設問は、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進及び効果検証に係る検証のための研究班」※と合同の設問項目です**

※厚生労働行政推進調査事業補助金（政策科学推進研究事業）（令和5～7年度）

ご回答結果は研究班との共同利用となりますが、市町村名等が特定できる形での公表はございません。

研究班の詳細：[https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo\\_koreisya](https://ktsushita.com/index.php/kenkyuhan-koureisya05/#kenkyuhoukokusyo_koreisya)

**【I. 各種ツールや関連資料について、お伺いします】**

【「一体的実施・KDB活用支援ツール」について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q36. 「一体的実施・KDB活用支援ツール」を活用していますか。

- 1 ツールを用いてデータを抽出し、活用している
- 2 使うことを検討中である
- 3 使う予定はない
- 4 未定

【Q36で、「1.ツールを用いてデータを抽出し、活用している」「2.使うことを検討中である」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）


- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（  ）

Q36-2. 一体的実施・KDB活用支援ツール操作マニュアル1.1版（国保中央会作成）を確認しましたか。

- 1 確認した
- 2 確認していない
- 3 マニュアルがあることを知らなかった

【Q36で、「3.使う予定はない」「4.未定」と回答した市町村にお伺いします】

Q36-3. 一体的実施・KDB活用支援ツールを使用していないが、ツールと同一条件による抽出を行っていますか。

- 1 行っている
- 2 行っていない

【「抽出条件の考え方と保健事業への活用ver.1」とその関連資料について、お伺いします】

出典：<https://www.mhlw.go.jp/content/000917658.pdf>

Q37. 一体的実施の保健事業計画や、一体的実施・KDB活用支援ツール活用の上で、本解説書は役に立っていますか。

- 1 役立つ
- 2 まあまあ役立つ
- 3 あまり役立たない
- 4 全く役立たない
- 5 見ていないので分からない
- 6 ツールを活用していないため読んでいない

【Q37で、「1.役立つ」～「4.全く役立たない」と回答した市町村にお伺いします】

Q37-1. 解説書について、お気づきの点があればお知らせください。

■ 解説書について、お気づきの点（自由記述 ※任意回答）

【「一体的実施・実施支援ツール」とその関連資料について、お伺いします】

Q38. 「一体的実施・実践支援ツール」について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q38で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q38-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

	1 課題分析・対象者の概数把握
	2 対象者の絞り込み
	3 対象者リスト作成
	4 介入記録
	5 アウトプット評価
	6 マクロ的評価

- 1 課題分析・対象者の概数把握
- 2 対象者の絞り込み
- 3 対象者リスト作成
- 4 介入記録
- 5 アウトプット評価
- 6 マクロ的評価

【全ての市町村にお伺いします】

Q39. 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001078813.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）

【Q39で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した市町村にお伺いします】

Q39-1. どのような場面で使っていますか（使おうとしていますか）。（複数回答）

	1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
	2 対象者の抽出
	3 保健事業の優先順位の検討
	4 事業評価
	5 その他（ <span style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px; height: 15px; background-color: #c8e6c9;"></span> ）

- 1 事業計画（各事業対象者の概数把握）
- 2 対象者の抽出
- 3 保健事業の優先順位の検討
- 4 事業評価
- 5 その他（  ）

【全ての市町村にお伺いします】

Q40. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」に

ついて、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典: <https://www.mhlw.go.jp/content/001250007.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用する予定がある
- 3 活用していない

■活用していない理由（自由記述 ※任意回答）



以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。

## 別紙 1-3 都道府県調査票

---

# 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」 一都道府県票一

## 【調査項目】

本調査は、次の4項目について、一体的実施の実施状況及び課題についてお伺いするものです。

1. 広域連合・市町村への支援状況
2. 第4期医療費適正化計画について
3. 「広域連合が策定する第3期データヘルス計画」への支援について
4. ガイドラインの活用状況

## 【ご回答にあたって】

- ※回答は、一体的実施のご担当の方をお願いいたします。
- ※本調査は、特に注意書きがない場合は、令和6年11月現在の状況についてお答えください。
- ※エラーになるため、シートの名前の変更や列・行の挿入・削除等をご遠慮ください。
- ※ご回答いただいた結果は、統計的な処理を行ったうえで報告書にとりまとめ、厚労省HPにて公表予定です。
- ※Webフォーム上の設問番号とは異なるためご注意ください。

### <回答欄について>

- 単一回答のセル :  ... プルダウンメニューより選択肢番号を選び、回答してください
- 複数回答のセル :  ... 当てはまるものすべてに「○」を入れてください
- 自由記載のセル :  ... 数字や文字列（文書）などを記載して回答してください

## 【回答期限】

2024年11月27日（水）

## 【お問い合わせ先】

（株）三菱総合研究所 担当：馬杉、高見、森田、望月

高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査 事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

TEL：0120-958-972（平日10-17時 ※12-13時除く）

MAIL：ittaiteki-survey2024@ml.mri.co.jp

回答者情報をご入力のうえ、「調査票」シートにお進みください。

## ■ 回答者情報

- 都道府県名についてお答えください。※プルダウンからお選びください

都道府県名

- 回答いただく方のお名前、ご所属、ご連絡先についてお答えください。

回答部署名

役職

氏名

電話番号

E-mail

- 一体的実施に係る部署について、部署名をお答えください。

医療保険部門

高齢福祉部門

健康増進部門

その他①

その他②

その他③

その他④

その他⑤

※医療保険部門には国民健康保険制度、後期高齢者医療制度等を所管する部署、  
高齢福祉部門には介護保険制度や高齢者施策を所管する部署、  
健康増進部門には保健衛生や健康づくり施策を所管する部署をお答えください。  
これらを複合的に所管する部署は「その他」に記入してください。

※Webフォーム上の設問番号とは異なるためご注意ください。

## 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る実施状況調査」—都道府県票—

### 1. 広域連合・市町村への支援状況

Q1. 一体的な実施の円滑な推進を支援するため、都道府県として支援している内容と担当部門をお答えください。（主担当：◎、副担当：○）

なお、支援の有無は令和6年度の見込みを含みます。いずれの部門でも支援をしていない場合は「支援していない」に○をつけてください。

実施しているものうち、「広域連合と協働・連携して実施している支援」に該当する場合、

「今後さらに強化したい支援」に該当する場合には、それぞれ選択肢欄の「○」を選択してください。

また、実施している支援内容について、具体的な内容をお答えください。（自由記述）

支援内容は「高齢者の医療の確保に関する法律に基づく高齢者保健事業の実施等に関する指針」を基に作成しています。

※医療保険部門・高齢福祉部門・健康増進部門を複合的に所管する部署は「その他」を選択し、具体的な内容を下部の※1に記入してください。

	担当部門					支 援 し て い な い	広 域 連 合 と 協 働 し て い る 連	い 今 後 さ ら に 強 化 し た	具 体 的 な 内 容
	医 療 保 険 部 門	高 齢 福 祉 部 門	健 康 増 進 部 門	そ の 他 ※ 1					
(支援内容)									
① 市町村単位等で地域の健康課題の分析を行っている									
② 「一体的実施」の実施に向けて、市町村における保健事業の取組状況等の整理・把握・分析を行っている									
③ 市町村及び広域連合に、一体的実施に係る事例等の情報を提供している									
④ 医療関係団体等への協力要請を行っている									
⑤ 広域連合や国保連合会との連携により、市町村支援の体制を構築している									
⑥ 国民健康保険から後期高齢者医療に移行した被保険者に対し、広域連合が継続的な取組を行えるよう、広域連合との連携及び協力を図っている									
⑦ 市町村が取り組む一体的実施の進捗管理を行い、必要に応じて改善に向けた相談・支援をしている									
⑧ 高齢者保健事業の事業評価や効果分析を行っている									
⑨ 一体的実施の事業評価のために、評価方法・評価指標を提示している									
⑩ 保健所の保健師等の専門職を活用した支援を実施している									
⑪ 関係する人材の確保を支援している									
⑫ 人材の育成を支援している									
⑬ 小規模市町村を対象とした支援をしている									
⑭ 特別調整交付金の実施計画書、実施報告書に関する支援・審査をしている									
⑮ 特別調整交付金、地域支援事業交付金等の各制度の交付金を活用するための助言をしている									
⑯ その他 ( )									

※1 その他を選んだ都道府県は、具体的な部門の所掌内容をお答えください。

【Q1で①～⑯のうち、一つでも「支援していない」と回答した方にお伺いします】

Q1-1. 「支援していない」を選択した場合、支援していない理由についてお答えください。（複数回答）

(支援内容)	実 施 で き て い る	市 町 村 が す い で る	か ら 援 ない 方 法 が 分	支 援 の 体 制 が	整 つ て い ない	支 援 す る 体 制 が	そ の 他	具 体 的 な 内 容
① 市町村単位等で地域の健康課題の分析を行っている								
② 「一体的実施」の実施に向けて、市町村における保健事業の取組状況等の整理・把握・分析を行っている								
③ 市町村及び広域連合に、一体的実施に係る事例等の情報を提供している								
④ 医療関係団体等への協力要請を行っている								
⑤ 広域連合や国保連合会との連携により、市町村支援の体制を構築している								
⑥ 国民健康保険から後期高齢者医療に移行した被保険者に対し、広域連合が継続的な取組を行えるよう、広域連合との連携及び協力を図っている								
⑦ 市町村が取り組む一体的実施の進捗管理を行い、必要に応じて改善に向けた相談・支援をしている								
⑧ 高齢者保健事業の事業評価や効果分析を行っている								
⑨ 一体的実施の事業評価のために、評価方法・評価指標を提示している								
⑩ 保健所の保健師等の専門職を活用した支援を実施している								
⑪ 関係する人材の確保を支援している								
⑫ 人材の育成を支援している								
⑬ 小規模市町村を対象とした支援をしている								
⑭ 特別調整交付金の実施計画書、実施報告書に関する支援・審査をしている								
⑮ 特別調整交付金、地域支援事業交付金等の各制度の交付金を活用するための助言をしている								
⑯ その他								

Q2. 各事業における都道府県の担当部門をお答えください。(主担当:◎、副担当:○)

	医療保険部門	高齢福祉部門	健康増進部門	その他	実施していない
① 低栄養					
② 口腔					
③ 服薬（重複・多剤等）					
④ 重症化予防（糖尿病性腎症）					
⑤重症化予防（その他 身体的フレイルを含む）					
⑥健康状態不明者対策					

Q3. 都道府県内の担当部門間で連携を行うために実施している内容をお答えください。（複数回答）

- 1 定期的な打合せの実施
- 2 担当ベースと、管理職ベースでの会議体の設定
- 3 関連計画の情報共有
- 4 補助金の活用状況の確認と事業評価
- 5 必要に応じての相談・連絡
- 6 その他 ( )
- 7 特に連携は行っていない

Q4. 一体的な実施を支援するにあたり、市町村の人材不足が課題となっている場合、どのような支援策を講じていますか。（複数回答）

- 1 人材バンクの紹介
- 2 関係団体への具体的な支援協力依頼
- 3 離島僻地過疎地域への支援
- 4 ICTを活用した取組推進
- 5 コンテンツの提供
- 6 専門職やアドバイザーの育成・派遣
- 7 採用活動の支援
- 8 市町村への相談対応
- 9 その他 ( )
- 10 支援策を講じていない
- 11 市町村の人材不足は課題となっていない

Q5. 一体的な実施を支援するにあたり、市町村の人材不足の課題解決に向けて都道府県や保健所からの広域連合や市町村への支援として今後対応できそうな事項があればお答えください。（自由記述）

【Q4で、1～9 と回答した方にお伺いします】

Q5-1. i) 支援策を講じるにあたり、都道府県として調整・相談等の連携を行う関係機関をお答えください。  
 ii) 具体的な連携内容や分担している役割等をお答えください。（※②広域連合を除く）（自由記述）※任意回答

関係機関	i) 実施有無	ii) 連携内容・分担している役割等
① 国保連合会	<input type="checkbox"/>	
② 広域連合	<input type="checkbox"/>	
③ 保健所	<input type="checkbox"/>	
④ 医師会	<input type="checkbox"/>	
⑤ 歯科医師会	<input type="checkbox"/>	
⑥ 薬剤師会	<input type="checkbox"/>	
⑦ 看護協会	<input type="checkbox"/>	
⑧ 栄養士会	<input type="checkbox"/>	
⑨ リハビリ機能団体	<input type="checkbox"/>	
⑩ 歯科衛生士会	<input type="checkbox"/>	
⑪ 医療機関	<input type="checkbox"/>	
⑫ 外部有識者	<input type="checkbox"/>	

【Q5-1 ②広域連合で、「○」と回答した方にお伺いします】

Q5-2. 広域連合との具体的な連携・協働内容について、当てはまるものをお答えください。（複数回答）

- 1 管内市町村ごとの健康課題の把握
- 2 保健事業の実施状況を把握
- 3 関係部局が連携して、広域連合や市町村に対する専門的見地等からの支援
- 4 事業に係る好事例の横展開
- 5 広域連合や国民健康保険団体連合会と連携し事業の取組結果に対する評価や効果的な取組の分析
- 6 都道府県単位の医療関係団体等に対して、広域連合又は市町村が実施する高齢者保健事業への技術的な援助等を依頼
- 7 関係団体との連携を図り、広域連合と市町村による一体的実施の推進に関する目標を設定する
- 8 その他 ( )

Q6. 国保保険者努力支援制度、都道府県介護インセンティブ指標について、関係団体や都道府県内の担当部署、管内市町村に対して情報共有していますか。

関係機関	実施有無	
	国保保険者努力支援制度	都道府県介護インセンティブ指標
① 関係団体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 担当部署	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 管内市町村	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【Q1で、①に主担当がいると回答した都道府県にお伺いします】

Q6-1. 市町村の健康課題等の分析として行っていることをお答えください。（複数回答）

- 1 市町村単位での健康課題の分析
- 2 管内市町村間の比較による地域の健康課題の分析

- 3 都道府県間、類似市町村間の比較による地域の健康課題の分析
- 4 市町村の高齢化率や地理的な特性などをあわせた分析
- 5 国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険制度との制度横断的な分析
- 6 その他 ( )

Q7. 市町村の健康課題等の分析として、都道府県や保健所からの広域連合や市町村への支援として今後対応できそうな事項があればお答えください。  
(自由記述) ※任意回答

【Q1で、「①を支援している(担当部門あり)」と回答した都道府県にお伺いします】

Q7-1. 分析に用いているデータにはどのようなものがありますか。(複数回答)

- 1 医療費(レセプトデータ)
- 2 後期高齢者医療制度の被保険者に対する健康診査の結果(後期高齢者の質問票を含む)
- 3 特定健康診査の結果
- 4 介護給付費・要介護認定率等
- 5 通いの場等、健康診査以外の場で取得した後期高齢者の質問票の回答結果
- 6 地域特性をとらえる統計データ(例:高齢化率、平均自立期間等)
- 7 独自のアンケート結果
- 8 その他 ( )

【すべての都道府県にお伺いします】

Q8. 一体的な実施の円滑な推進を支援するため、貴都道府県で実施している代表的な支援内容について、下記の①～⑦をお答えください。(最大2事業まで記載してください)

代表的な支援が特にない場合はこちらに○→

⇒Q10へ

- ① 事業名 (自由記述)
- ② 各事業の担当部局・課 (自由記述)
- ③ 財源の種類 (自由記述)
- ④ 支援対象(一つ選択)
  - 1.管内の全ての市町村が対象
  - 2.管内の一部の市町村が対象 ⇒支援対象の市町村数
- ④-1 支援対象の選定方法(一つ選択)
  - 1.市町村/広域連合の手上げ
  - 2.都道府県の打診(指定)
  - 3.広域連合の打診(指定)
  - 4.その他 ⇒具体的に
- ⑤ 市町村支援の手法(複数回答)
  - 1.財政支援
  - 2.情報・資料(データ分析結果を含む)の提供
  - 3.市町村間の情報交換の場の提供
  - 4.講義・伝達研修の実施
  - 5.演習や実地(先進地視察等)など双方向の研修の実施
  - 6.専門家の派遣
  - 7.関係者・関係団体との調整
  - 8.アウトリーチ支援・モデル事業の実施
  - 9.その他 ⇒具体的に
- ⑥ 目標等の設定状況(一つ選択)、具体的な内容(自由記述)
  - 1.設定あり ⇒具体的な設定内容
  - 2.設定なし
- ⑦ 事業の概要 (自由記述) ※参考資料の添付でも可

■ 1 事業目

① 事業名		
② 担当部局・課		
③ 財源の種類		
④ 支援対象		
④-1 支援対象の選定方法		
		1.財政支援
		2.情報・資料(データ分析結果を含む)の提供

⑤ 市町村支援の手法	3.市町村間の情報交換の場の提供		
	4.講義・伝達研修の実施		
	5.演習や実地（先進地視察等）など双方向の研修の実施		
	6.専門家の派遣		
	7.関係者・関係団体との調整		
	8.アウトリーチ支援・モデル事業の実施		
	9.その他 ⇒具体的に		
	⑥ 目標等の設定状況、 具体的な内容		
	事業の概要 ⑦ ※参考資料があれば調査 票とあわせてお送りください		

## ■ 2 事業目

① 事業名		
② 担当部局・課		
③ 財源の種類		
④ 支援対象		
④-1 支援対象の選定方法		
⑤ 市町村支援の手法	1.財政支援	
	2.情報・資料（データ分析結果を含む）の提供	
	3.市町村間の情報交換の場の提供	
	4.講義・伝達研修の実施	
	5.演習や実地（先進地視察等）など双方向の研修の実施	
	6.専門家の派遣	
	7.関係者・関係団体との調整	
	8.アウトリーチ支援・モデル事業の実施	
	9.その他 ⇒具体的に	
⑥ 目標等の設定状況、 具体的な内容		
事業の概要 ⑦ ※参考資料があれば調査 票とあわせてお送りください		

Q9. 一体的実施の取組への支援を踏まえて、都道府県が考える成果やメリット等についてお答えください。（複数回答）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 広域連合における高齢者の保健事業に取り組む体制構築につながった       |
| <input type="checkbox"/> | 2 高齢者の保健事業に係る市町村や広域連合との連携ができるようになった     |
| <input type="checkbox"/> | 3 都道府県として、広域連合や市町村の課題が把握できるようになった       |
| <input type="checkbox"/> | 4 国民健康保険と後期高齢者医療の事業の接続に向けた環境が整った        |
| <input type="checkbox"/> | 5 地域支援事業（介護保険）と高齢者の保健事業を一体的に取り組める環境が整った |
| <input type="checkbox"/> | 6 高齢者の健康状態や生活機能の課題をより把握できるようになった        |
| <input type="checkbox"/> | 7 その他（ <input type="text"/> ）           |

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改定状況についてお伺いします。

Q10. 糖尿病性腎症重症化予防プログラムは令和6年3月に改定版が公表されていますが、貴都道府県において、改定版を踏まえ、プログラムの改定を予定していますか。

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 既に改定した                |
| <input type="checkbox"/> | 2 現在修正作業中であり、今年度中に終了見込み |
| <input type="checkbox"/> | 3 来年度以降見直し              |
| <input type="checkbox"/> | 4 改定の予定はない              |
| <input type="checkbox"/> | 5 知らなかった                |

## 2. 第4期医療費適正化計画について

Q11. 高齢者の保健事業を推進するにあたり、以下の一体的実施関連事項のうち、第4期医療費適正化計画に盛り込んでいる（盛り込む予定である）事項はどれですか。（複数回答）

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1 専門的見地等からの支援                           |
| <input type="checkbox"/> | 2 好事例の横展開                               |
| <input type="checkbox"/> | 3 事業の取組結果に対する評価・分析                      |
| <input type="checkbox"/> | 4 都道府県単位の医療関係団体等に対する広域連合と市町村への技術的な援助の要請 |
| <input type="checkbox"/> | 5 その他（ <input type="text"/> ）           |

## 3. 「広域連合が策定する第3期データヘルス計画」への支援について

Q12. 令和5年11月～令和6年11月の1年間で、広域連合が策定する第3期データヘルス計画の運用に関わっていますか。

- 1 関わっている
- 2 関わっていない

【Q12で「1.関わっている」と回答した都道府県にお伺いします】

Q12-1.「広域連合が策定する第3期データヘルス計画」への支援についてお伺いします。(複数回答)

- 1 健康増進計画・医療費適正化計画等との関連項目の整理
- 2 計画策定のための会議体への出席
- 3 計画策定の材料となるデータや分析結果の提供
- 4 計画策定におけるデータ分析についての助言
- 5 保健事業支援・評価委員会での助言
- 6 計画案に対する広域連合との意見交換
- 7 その他 (  )
- 8 未定

Q12-2. 広域連合と連携が十分に取れていますか。

- 1 十分連携できている
- 2 概ね連携できている
- 3 あまり連携できていない
- 4 全く連携できていない
- 5 連携する必要はない

【Q12-2で「3.あまり連携できていない」「4.全く連携できていない」「5.連携する必要はない」と回答した都道府県にお伺いします】

Q12-3. 連携が不十分な理由をお答えください。

#### 4. ガイドラインの活用状況

Q13. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

出典 <https://www.mhlw.go.jp/content/001239590.pdf>

- 1 活用している
- 2 活用していない

■ 活用していない理由 (自由記述 ※任意回答)

以上で調査は終了です。ご協力いただき、ありがとうございました。  
フェイスシートで、エラー等がないかご確認のうえ、ご提出ください

## **別紙 2-1 実施状況調査(広域連合)の調査結果**

# 【令和6年度 広域連合】

## 1. 取組の体制等

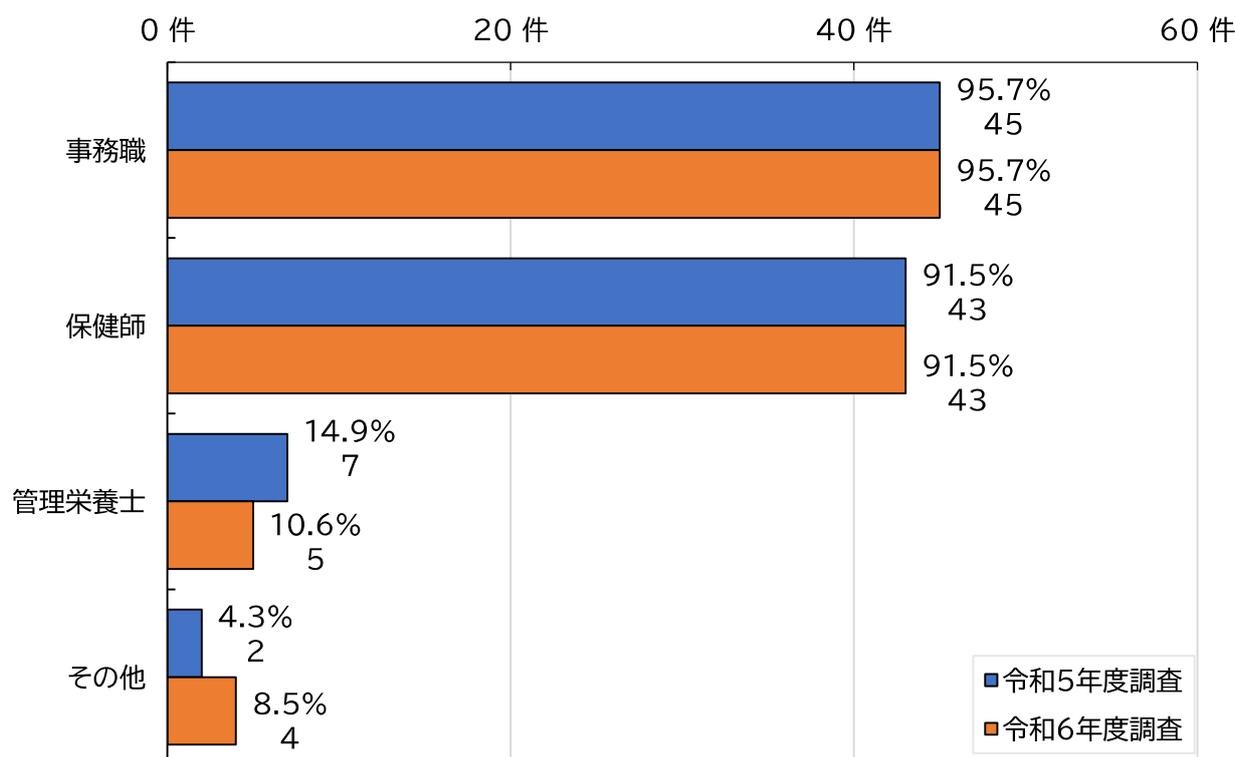
### (1) 職種別職員数

Q1. 広域連合内で一体的実施に携わっている職員数(実人数)を職種別にお答えください。

- 一体的実施に携わる職員数を見ると、事務職が配置されている広域連合は45件であった。
- 保健師が配置されている広域連合は43件であった。
- 管理栄養士が配置されている広域連合は5件であった。

図表 1-1 一体的実施に携わっている職員数(常勤・常勤以外の合計)

(N=47)



# 【令和6年度 広域連合】

図表 1-2 広域連合内で一体的実施に携わる職種別平均職員数・常勤・常勤以外の詳細)

職種	常勤の職員			
	配置がある 広域連合数	常勤人数	常勤のうち、専任者がいる広域連合数	
			常勤のうち、専任者の数	常勤のうち、専任者の数
事務職	45	2.2	17	1.4
保健師	27	1.2	8	1.1
管理栄養士	3	1.0	1	1.0
その他	2	1.0	0	0.0

職種	常勤以外の職員			
	配置がある 広域連合数	常勤以外の職員人数	常勤以外のうち、専任者がいる広域連合数	
			常勤以外のうち、専任者の数	常勤以外のうち、専任者の数
事務職	1	1.0	0	0.0
保健師	28	1.8	7	2.0
管理栄養士	2	1.0	0	0.0
その他	2	1.0	0	0.0

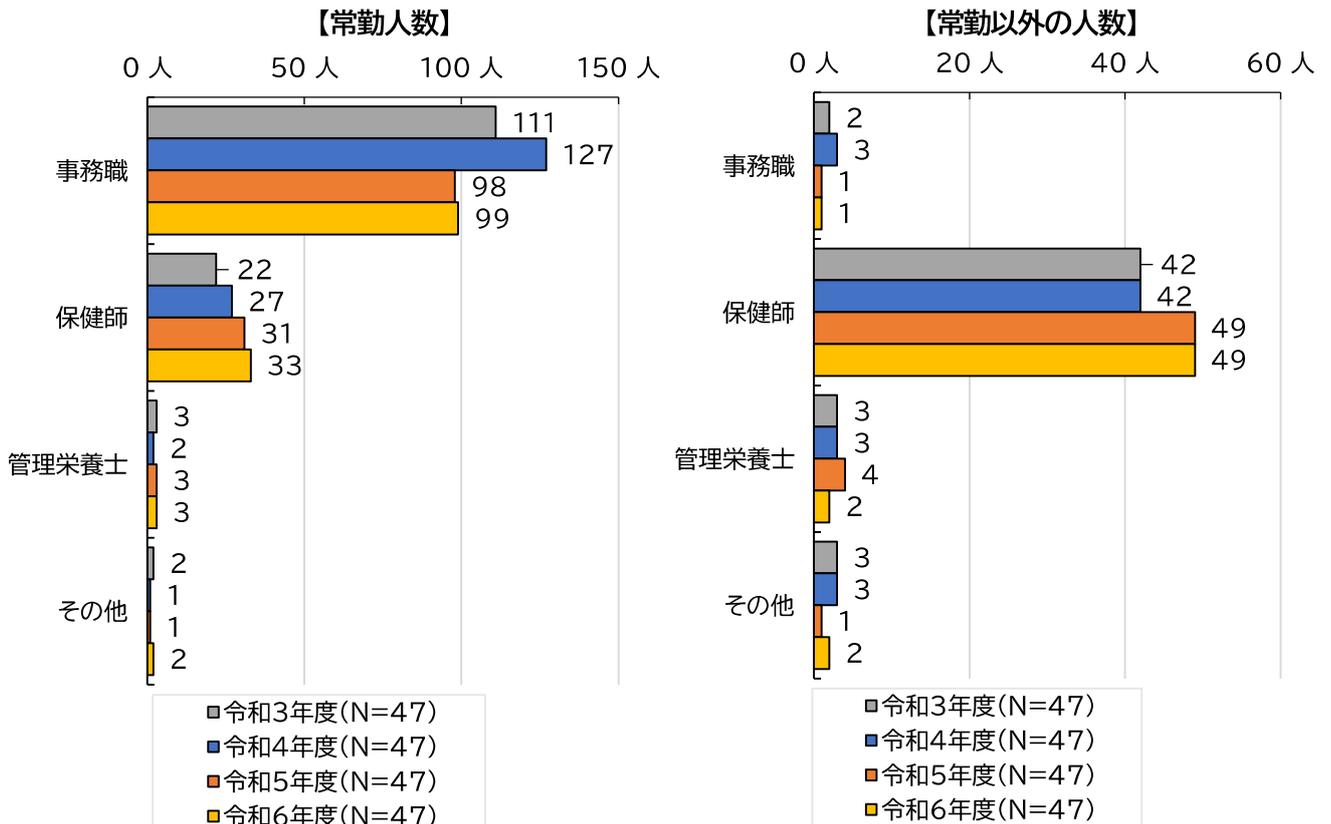
※当該職種・勤務形態の配置がある広域連合の平均実人数を表す

※常勤人数及び常勤以外の職員人数は「配置がある広域連合の平均人数」を示し、専任者の数は「専任者がいる広域連合の平均人数」を示す

- 一体的実施に携わる常勤職員数の経年変化をみると、事務職はこの2年間にはほぼ変わらず、保健師は増加している。

図表 1-3 一体的実施に携わっている職種別職員数(常勤人数) <経年比較>

(N=47)



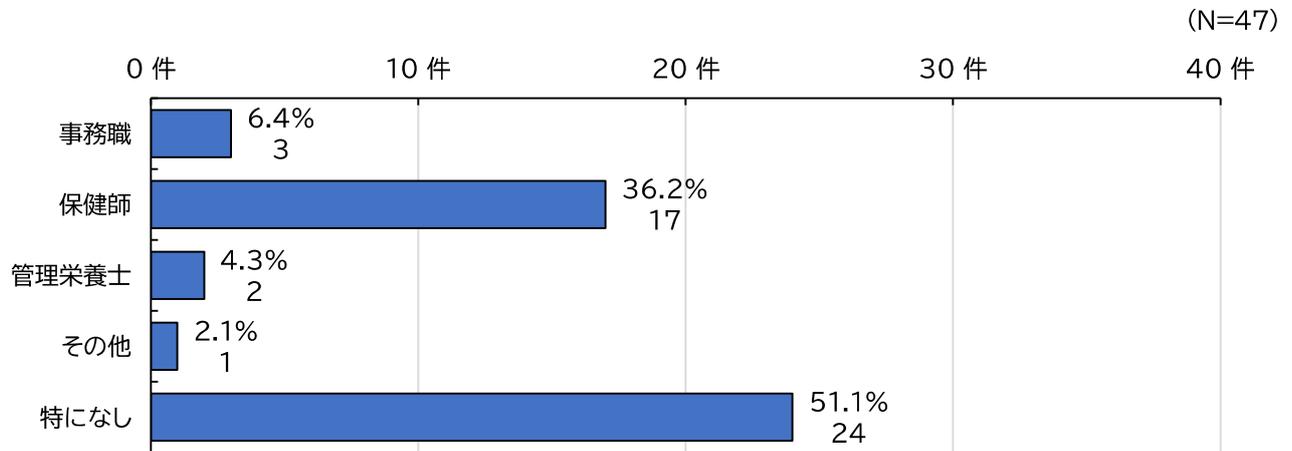
## 【令和6年度 広域連合】

Q2. i) 広域連合において雇用したいが確保が難しい職種がある場合、当該職種についてお答えください。

ii) 確保しようとした職種について、どのように確保を試みたかをお答えください。(自由記述)。

- 広域連合において確保が難しい職種「特になし」を除き「保健師」が最も多く、17件であった。
- その他の欄で「確保が難しい職種はない」と回答した広域連合は24件であった。

図表 1-4 確保が難しい職種



### ■ 職種別の主な確保方法内容

#### ○ 事務職

- ・ 広域連合での人員配置が定められており増員難
- ・ 専門職を優先的に雇用

#### ○ 保健師

- ・ 国保連合会に協力要請(3件)
- ・ ハローワーク等求人募集(5件)
- ・ 公募(3件)
- ・ 市町村へ職員派遣を相談・依頼(4件)
- ・ 看護協会求人サイト登録(2件)
- ・ 看護協会による協力・照会
- ・ 都道府県へ職員採用の周知に関するお願い
- ・ 国保連合会保健師・在宅保健師の会への支援依頼
- ・ 市町の協力

#### ○ 管理栄養士

- ・ 予算・人員の都合により、確保は試みていない(2件)

等

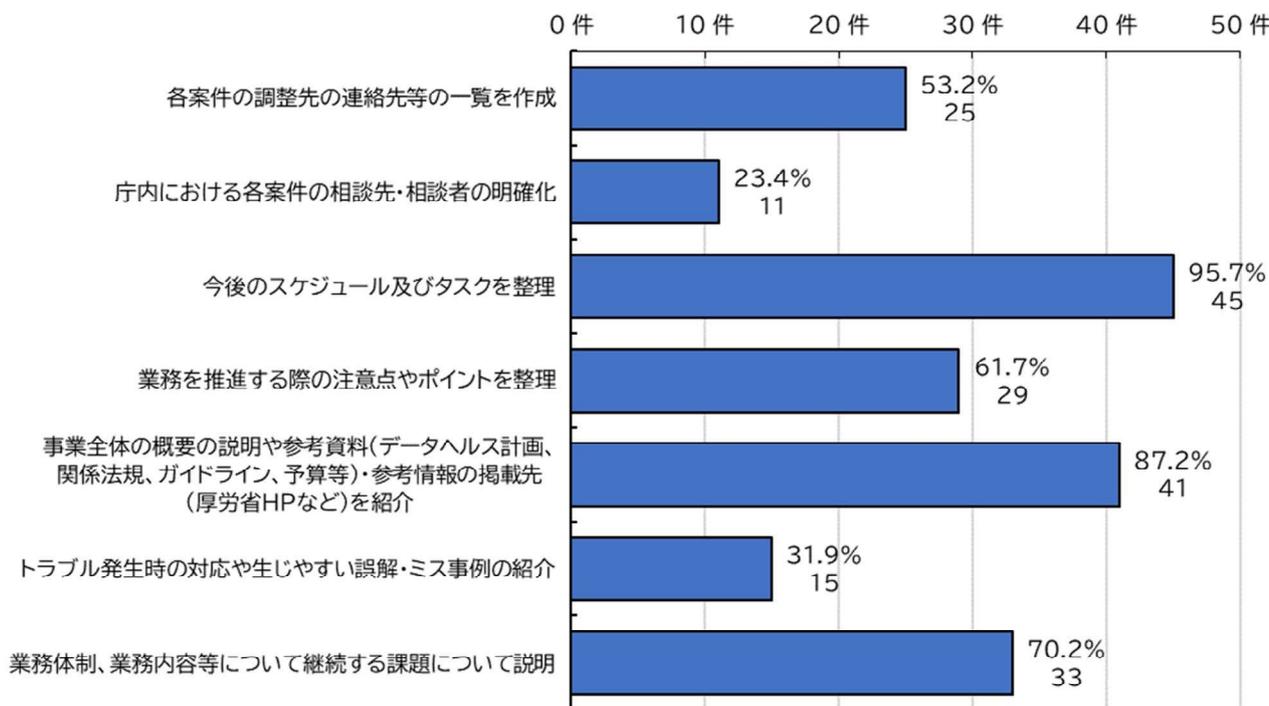
## 【令和6年度 広域連合】

Q3. 担当者の交代等により事業が後退しないように、どのように引継ぎの際の工夫を行っていますか。(複数回答)

- 引継ぎの際の工夫は、「今後のスケジュール及びタスクの整理」が45件(95.7%)で最も多かった。次いで、「事業全体の概要の説明や参考資料(データヘルス計画、関係法規、ガイドライン、予算等)・参考情報の掲載先(厚労省HPなど)を紹介」が41件(87.2%)で多かった。

図表 1-5 引継ぎの際の工夫 (複数回答)

(N=47)



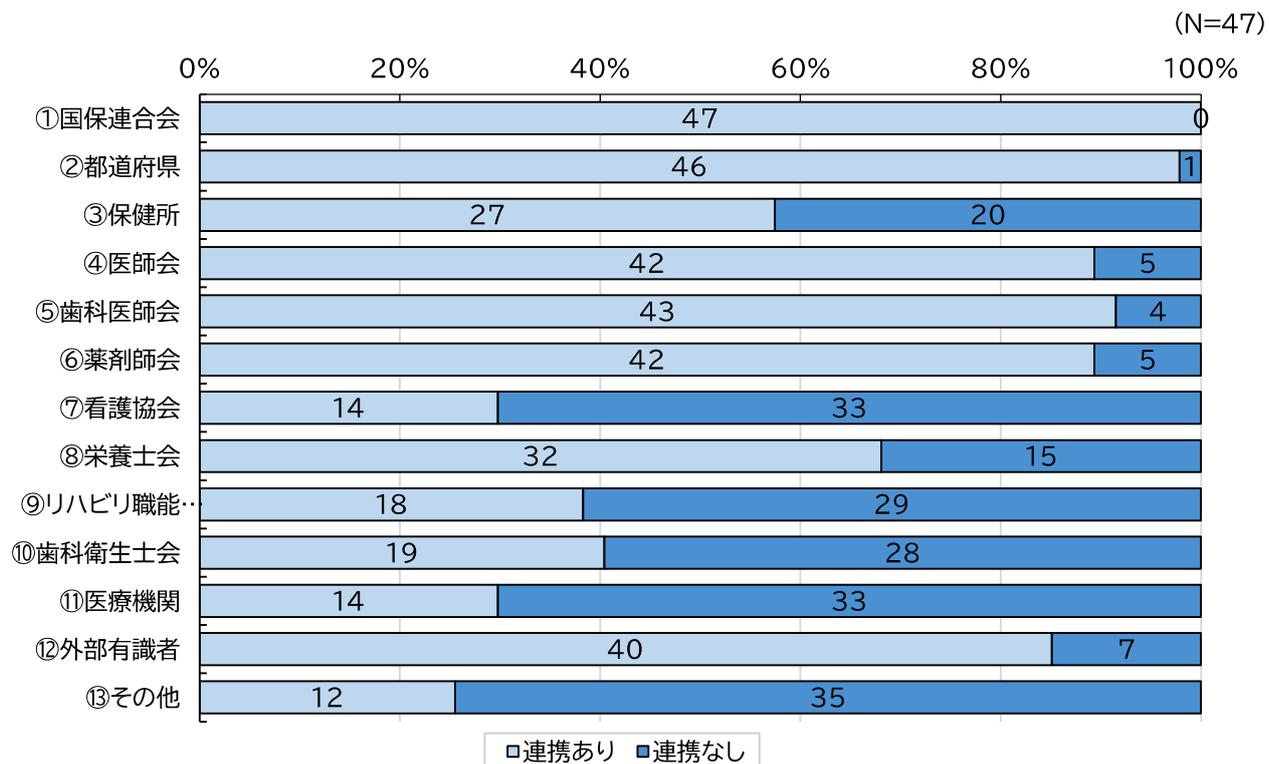
# 【令和6年度 広域連合】

## (2)関係機関別の連携状況

Q4. 次に掲げる関係機関と広域連合との一体的実施に係る連携の内容について、該当するものに○をつけてください。  
(複数回答)いずれの連携も行っていない場合は「連携なし」に○をつけてください。

- 全ての広域連合で「国保連合会」と連携していた。都道府県と連携している広域連合は46件であった。
- 医師会と連携している広域連合は42件、歯科医師会は43件、薬剤師会は42件であった。

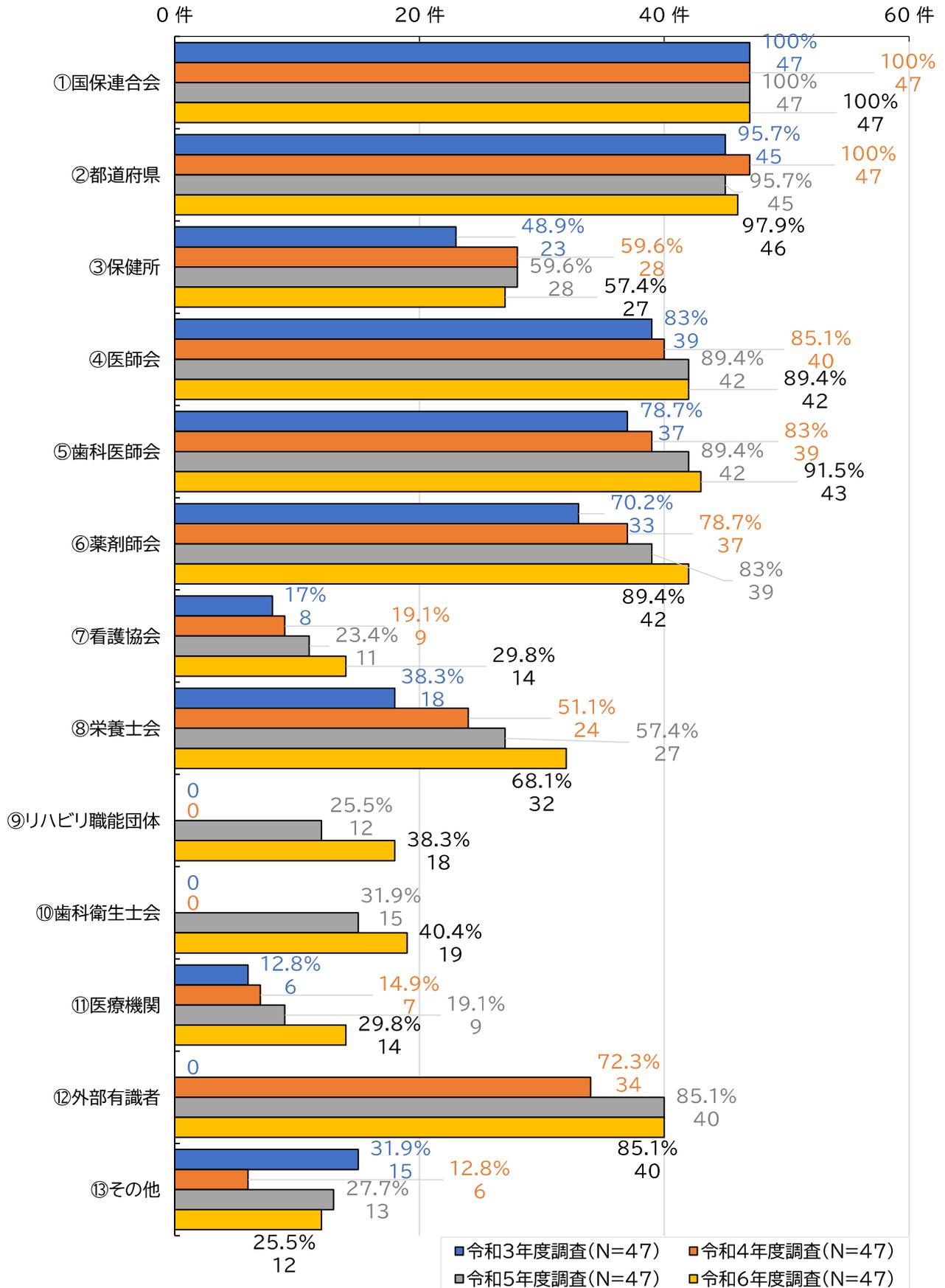
図表 1-6 関係機関別の連携有無



# 【令和6年度 広域連合】

- 医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、栄養士会、医療機関、外部有識者との連携は増加傾向であった。

図表 1-7 関係機関別の連携有無<経年比較>



※令和3年度、令和4年度に調査していない項目は「-」で表記

## 【令和 6 年度 広域連合】

### ■その他の主な内容

- ・ 在宅保健師等の会(3 件)
- ・ ケアマネジャー協会
- ・ 支援評価委員会
- ・ 糖尿病対策推進会議
- ・ シルバー人材センター、老人会、婦人会、被用者保険
- ・ 言語聴覚士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会
- ・ 大学(2件)
- ・ 予防医学協会
- ・ 退職保健師の会

## 【令和6年度 広域連合】

- 各関係機関との連携内容としては、「情報の共有」が多かった。
- 国保連合会や都道府県との連携の内容としては、「情報の共有」や「研修会、会議への参加・共催」が多かった。
- 国保連合会との連携内容では、「地域の課題の分析への参加」、「事業の評価への参加」も多く挙げられた。

図表 1-8 関係機関別の連携内容(複数回答)

	連携のある 広域連合	情報の共有	地域の課題の 分析への参加	実施方法・体 制検討への参加	事業実施への 参加(委託を 含む)	事業等への医 療専門職等の 派遣	勉強会・セミ ナー等への講 師派遣	研修会/会議 への参加・共 催	事業の評価へ の参加	その他の連携
①国保連合会	47	45	28	28	8	2	17	45	32	6
②都道府県	46	45	14	21	2	3	10	41	15	4
③保健所	27	20	3	7	1	-	-	23	3	3
④医師会	42	40	2	10	4	-	-	7	4	3
⑤歯科医師会	43	41	4	12	6	1	3	9	3	3
⑥薬剤師会	42	39	3	15	8	5	5	11	6	3
⑦看護協会	14	11	1	3	1	-	-	5	-	4
⑧栄養士会	32	22	1	6	11	9	4	12	3	4
⑨リハビリ職能団体	18	12	1	4	6	5	3	9	2	1
⑩歯科衛生士会	19	11	1	6	6	5	2	10	1	2
⑪医療機関	14	6	-	2	5	-	3	2	-	-
⑫外部有識者	40	30	14	12	3	1	11	12	21	5
⑬その他	12	10	1	2	2	2	1	5	3	1

### ■その他の連携の主な内容

#### 体制構築

- ・ 企画・調整担当者連絡会議へ参加し、都道府県と連携し、多職種意見交換会を実施
- ・ 厚生局、都道府県、市町村、国保連合会と関係機関連絡会議を実施
- ・ 関係課・国保連合会との連絡会を開催し、市町村支援の方向性の擦り合わせや連携を確認
- ・ 適正服薬支援に係る地域支援体制づくりで連携
- ・ 関係者及び関係団体に対する一体的実施についての協力依頼
- ・ 国保連合会を事務局として、業務委託できる体制が整っている

#### データ・情報提供

- ・ 支援・評価委員会等での情報共有(2件)
- ・ 事業評価等に係るデータ提供
- ・ 長寿医療制度懇話会にて情報提供・意見聴取を実施
- ・ 地域の人材についての情報提供
- ・ データヘルス計画策定など保健事業に係る助言をいただき、適宜情報提供を実施

#### 好事例等の事業内容展開

- ・ 委託先市町の KDB 等のシステム支援・好事例集の作成を委託
- ・ 事業内容について、市町村を対象とするブロック別の会議にて紹介

#### その他

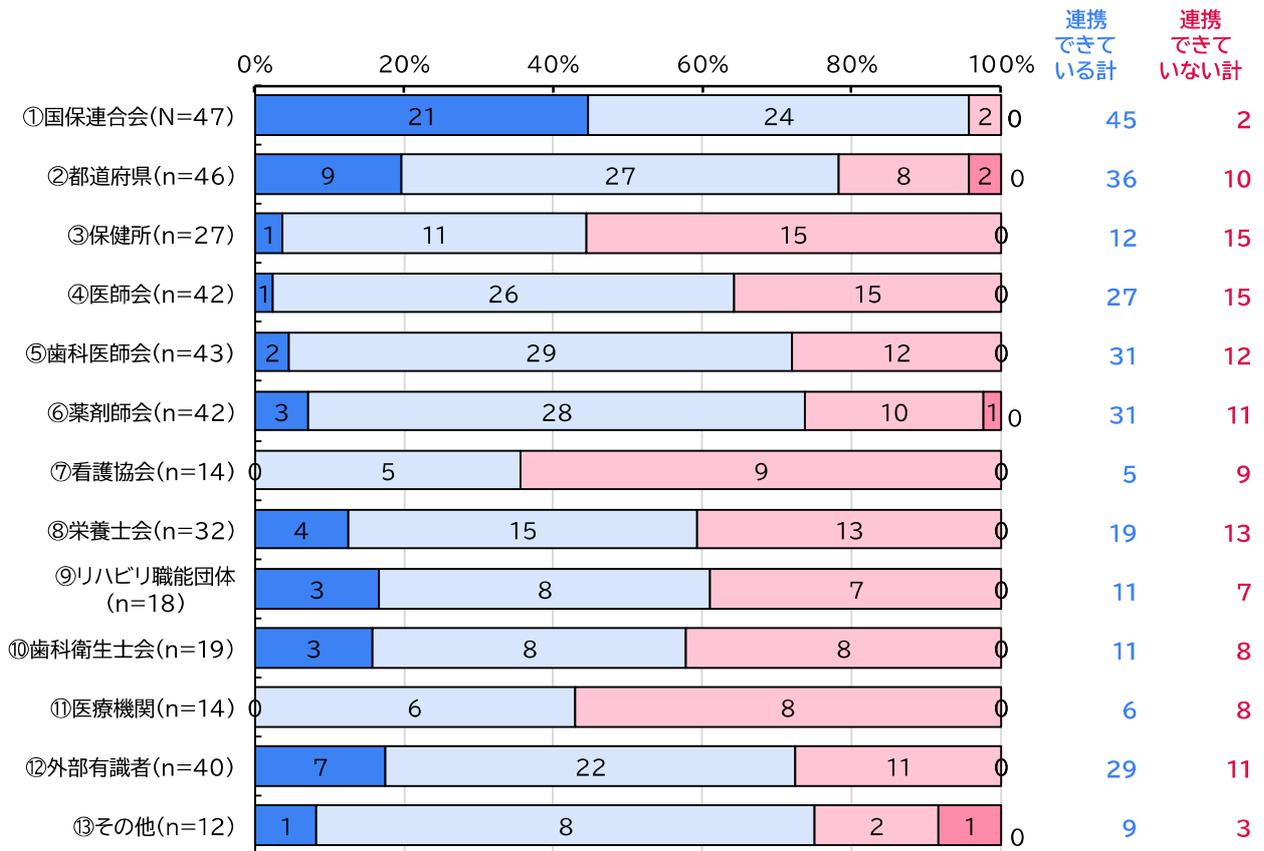
- ・ 市町村で活用できる「慢性心疾患重症化予防のためのマニュアル」を作成委託し、全体研修会で指導。希望する市町村へは個別に実施方法の検討、講師派遣、評価等を実施
- ・ 保健事業の分析研究を委託、市町村へフィードバックし事業評価および効果的な事業実施への見直し
- ・ 市町村支援内容の共有

# 【令和6年度 広域連合】

Q5. 市町村における「一体的実施の取組」の推進にあたり、次の①～⑫の関係機関等との連携が十分に図られていると考えていますか。i) 連携が十分に図られているか、ii) i)で「1.十分に連携できている」「2.概ね連携できている」と回答した場合、連携にあたり工夫したことを具体的にお答えください。iii) i)で「3.あまり連携できていない」「4.全く連携できていない」「5.連携する必要はない」と回答した場合、課題を具体的にお答えください。(自由記述)

- 市町村の「一体的実施の取組」の推進にあたり連携が十分に図れているかと聞いたところ、「十分連携できている」と「概ね連携できている」の合計は、国保連合会で 45 件、都道府県で 36 件であった。
- 地域の医療関係機関等の「十分連携できている」と「概ね連携できている」の合計は、「医師会」で 27 件、「歯科医師会」で 31 件、「薬剤師会」で 31 件であった。

図表 1-9 関係機関との連携の程度



■十分連携できている □概ね連携できている □あまり連携できていない □全く連携できていない □連携する必要はない

## 【令和6年度 広域連合】

### ■連携にあたり工夫したこと

#### ○国保連合会

- ・ 情報共有や研修会の開催協力・共催(12件)
- ・ 定期的に打ち合わせ実施(7件)
- ・ KDBシステム操作研修の実施(5件)
- ・ 随時情報提供及び相談(10件)
- ・ 市町保険者に対して行う研修会に参加して情勢・知識等の共有(2件)
- ・ 国保連合会・都道府県・広域連合で三者協議を実施し、市町への支援内容や方法を協議
- ・ 国保連合会を事務局とした業務委託できる体制を整備

#### ○都道府県

- ・ 情報共有や研修会の開催協力・共催(9件)
- ・ 随時情報提供及び相談(10件)
- ・ 定期的な打合せの実施(6件)
- ・ 県が実施する対市町村向けの一体的実施支援事業に、オブザーバー参加
- ・ 健康課題分析のための資料作成

#### ○保健所

- ・ 研修会・会議等に参加いただき、情報共有や意見交換を実施(3件)
- ・ 糖尿病重症化予防対策推進会議の出席・情報共有
- ・ 市町村との打合せへの出席(3件)
- ・ 一体的実施未実施市町村等の実情を把握し、保健所を身近な相談先として、今後の支援に活かしてもらえるようヒアリングや市町村対象の地区別意見交換会へ参加を依頼
- ・ 随時情報提供及び相談

#### ○医師会

- ・ 医師会広報誌に健診受診率向上に関する記事を掲載
- ・ 研修会等で事業の実施状況を共有(2件)
- ・ 定期的に会議等を実施して相談・報告(4件)
- ・ 健診事業等の一体的実施事業に関して協力を要請(8件)
- ・ 事業説明を行い、事業への理解を得る(7件)
- ・ 健康課題をテーマとした医師向け研修会の開催委託

#### ○歯科医師会

- ・ 懇話会等で協議・助言・協力等いただく(4件)
- ・ 健診基準単価や健診票について意見照会を実施
- ・ 事業説明及び協力依頼・情報共有を実施(5件)
- ・ 定期的に会議等を実施して相談・報告(5件)
- ・ 歯科健診の委託を通し、年間を通して事業の見直しへの相談や情報提供の機会を作ることで連携
- ・ 歯科口腔健診のシステム化から、低栄養防止事業等へ繋ぐ仕組みを構築
- ・ 75歳歯科健診の委託、オーラルフレイル等のパンフレットの作成

#### ○薬剤師会

- ・ 懇話会等で協議・助言・協力等いただく(4件)
- ・ 事業の検討や対象者宅への訪問を実施
- ・ 事業実施に連携・協力いただく(6件)
- ・ 定期的に会議等を実施して相談・報告(4件)

## 【令和6年度 広域連合】

- ・ 事業説明・報告を実施(5件)
- ・ 薬剤師に訪問実施のための事業手引きを作成

### ○看護協会

- ・ 懇話会等で協議・助言・協力等いただく(2件)
- ・ 情報提供と課題の展開のための提案を実施
- ・ フレイル予防をメインとした事業を委託し、被保険者等へ広く周知する方法を協議

### ○栄養士会

- ・ 事業を委託(3件)
- ・ 管理栄養士の市町の保健指導従事支援
- ・ 栄養士派遣の委託事業を通し、実施状況の把握や市町への広報に協力
- ・ 研修会に低栄養に関する講演の講師派遣(2件)
- ・ 事業内容の情報提供、市町村が業務委託できる体制を整備

### ○リハビリ機能団体

- ・ 研修会への参加及びその呼びかけ(2件)
- ・ 事業の内容・実施状況の提供(2件)
- ・ 地域の理学療法士が市町と連携ができるよう依頼
- ・ 事業を委託

### ○歯科衛生士会

- ・ 口腔のハイリスクアプローチの取組拡大のため、歯科衛生士以外も使用できる面談票の作成を業務委託
- ・ 市町村の事業の実施状況の提供、研修会への参加
- ・ 歯科医師会を通じて事業内容等の情報提供、歯科衛生士派遣体制整備

### ○医療機関

- ・ 糖尿病性腎症重症化予防の保健指導や適正服薬相談事業等、一体的実施事業の協力依頼(2件)
- ・ 研修会参加のための周知広報(2件)
- ・ 適正服薬支援事業において相談の可能性のある人数を通知

### ○外部有識者

- ・ 医療懇談会や国保連合会の支援・評価委員会にて情報共有及び助言をいただく(11件)
- ・ 研修会の講師を依頼、協力(8件)
- ・ 情報共有・相談し、助言をいただく(4件)
- ・ 医師および公衆衛生学の専門家に広域連合の保健事業アドバイザーとして委嘱、助言をいただく
- ・ 効果的な実施に向けてまとめた研究結果を市町村へ直接フィードバック報告し、事業評価や見直しに繋げる機会を設ける
- ・ 国保連合会と連携し、支援・評価委員会の内容や方法を協議

等

# 【令和6年度 広域連合】

## ■連携の課題

### ○国保連合会

- ・ セミナーの開催に際した講師の決定が困難
- ・ 事務分担の共有

### ○都道府県

- ・ 関係課が分かれており相談に応じてもらえない、窓口が不明確(2件)
- ・ 市町村支援の具体的な内容を検討できていない
- ・ 年度や担当者により連携にばらつきがある
- ・ 事務分担の共有

### ○保健所

- ・ 保健所との直接的な連携・連絡が難しい(2件)
- ・ 情報共有のみに終始(3件)
- ・ 一部の保健所は連携できているが、全ての保健所の協力・理解を得ることが難しい(2件)

### ○医師会

- ・ 市町村単位では連携が図れているが、広域連合としてさらに積極的な連携が必要
- ・ 協力依頼、事業概要説明、情報共有等に終始(4件)
- ・ 情報共有する場を設けることが出来ていない

### ○歯科医師会

- ・ 市町村単位では連携が図れているが、広域連合としてさらに積極的な連携が必要
- ・ 協力依頼、事業概要説明、情報共有等に終始(5件)
- ・ 直接連携が難しい

### ○薬剤師会

- ・ 市町村単位では連携が図れているが、広域連合としてさらに積極的な連携が必要
- ・ 協力依頼、事業概要説明に終始(2件)
- ・ 担当部署を知らない、連携のノウハウがない

### ○看護協会

- ・ 報告する場面が未整備
- ・ 連携内容の具体化が難しい
- ・ 協力依頼に終始

### ○栄養士会

- ・ 事業委託している市町を通じた連携に終始
- ・ 専門職の派遣依頼等の具体的な対応に積極的に関与できていない
- ・ 周知媒体作成の連携に終始

### ○リハビリ機能団体

- ・ 専門職の派遣依頼等の具体的な対応に積極的に関与できていない
- ・ 情報共有する場を設けることが出来ていない

### ○歯科衛生士会

- ・ 広域連合として連携方法の検討ができていない

## 【令和6年度 広域連合】

- ・ 専門職の派遣依頼等の具体的な対応に積極的に関与できていない

### ○医療機関

- ・ 協力依頼、情報共有のみに終始(2件)
- ・ 医師会を通じて連携しており、広域連合と直接的には連携できていない(3件)

### ○外部有識者

- ・ アドバイザーがおらず、研修会における講師依頼に終始
- ・ 連携する内容が広域連合内で未整理

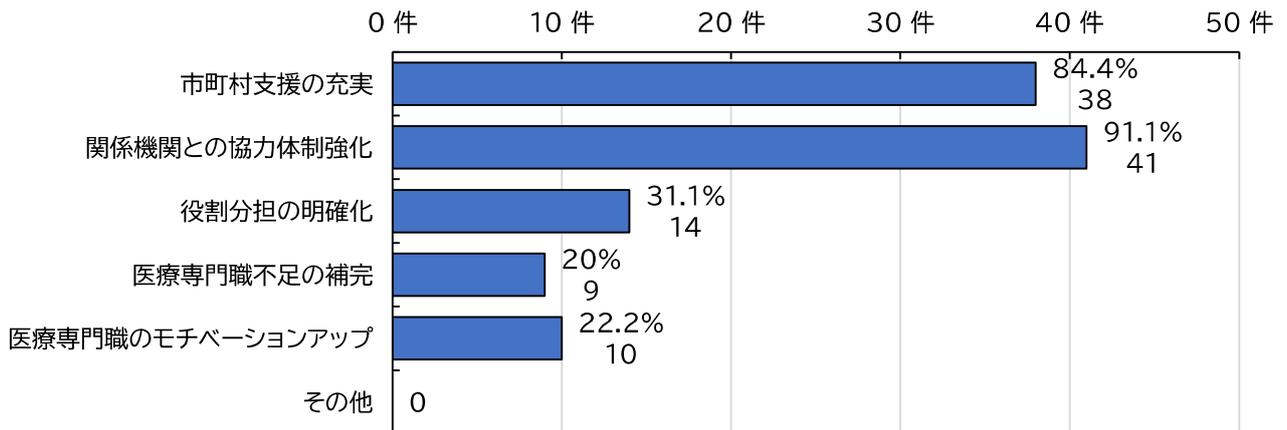
等

Q5-1. 連携が十分に図られたことで、どのような効果がありましたか。(複数回答)

- 連携による効果として、「関係機関との協力体制強化」が 41 件(91.1%)、「市町村支援の充実」が 38 件(84.8%)と多く挙げられた。

図表1-10 図表 連携が十分に図られたことの効果 (複数回答)  
<連携できていると回答した広域連合>

(n=45)



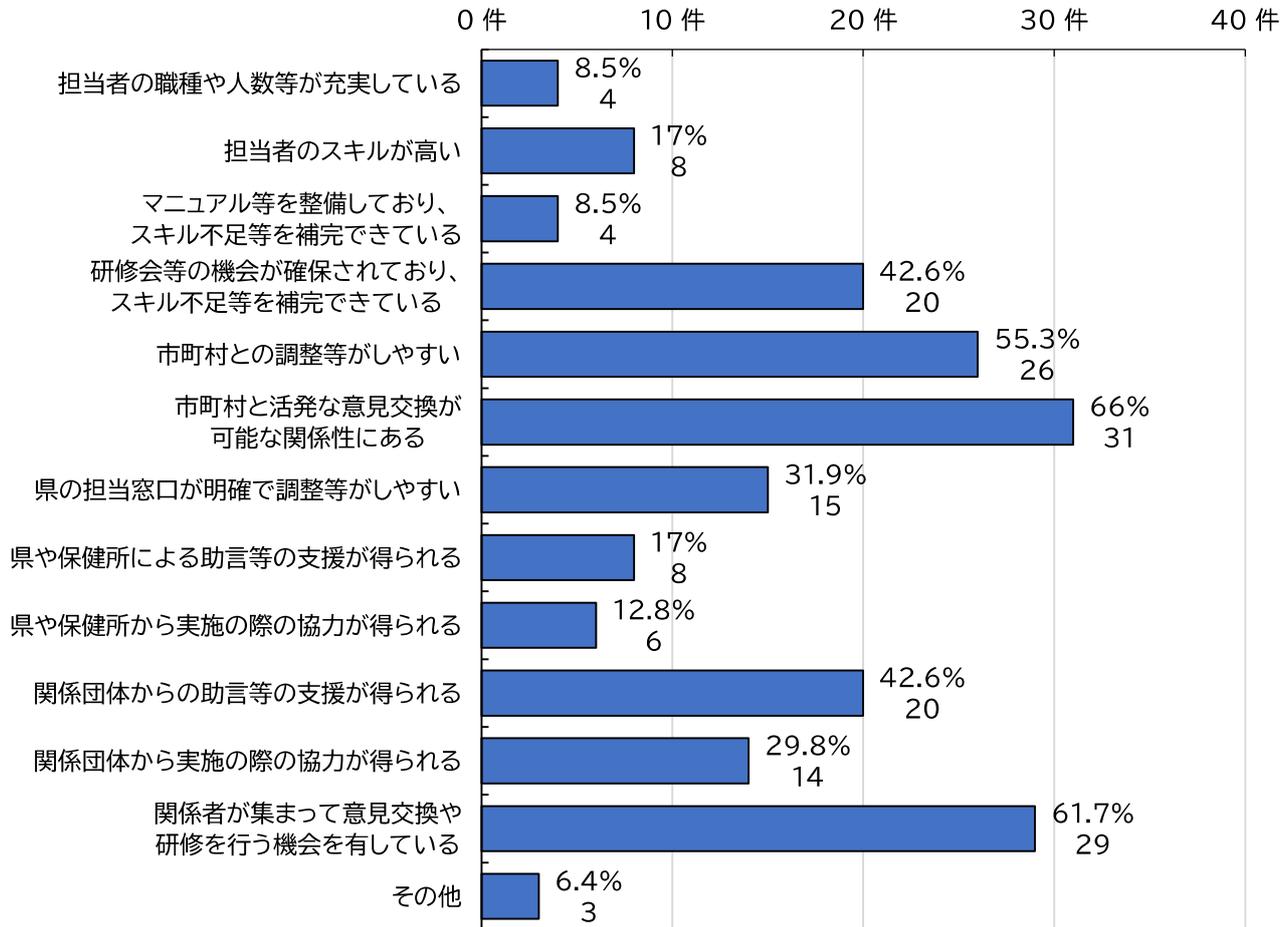
# 【令和6年度 広域連合】

Q6. 貴広域連合において、一体的実施の取組における強みはありますか。(複数回答)

- 一体的実施の取組における強みとして、「市町村と活発な意見交換が可能な関係性にある」が 31 件 (66%)、「関係者が集まって意見交換や研修を行う機会を有している」が 29 件(61.7%)、「市町村との調整等がしやすい」が 26 件(55.3%)、と多く挙げられた。

図表1-11 一体的実施の取組における強み (複数回答)

(N=47)



## ■その他の主な内容

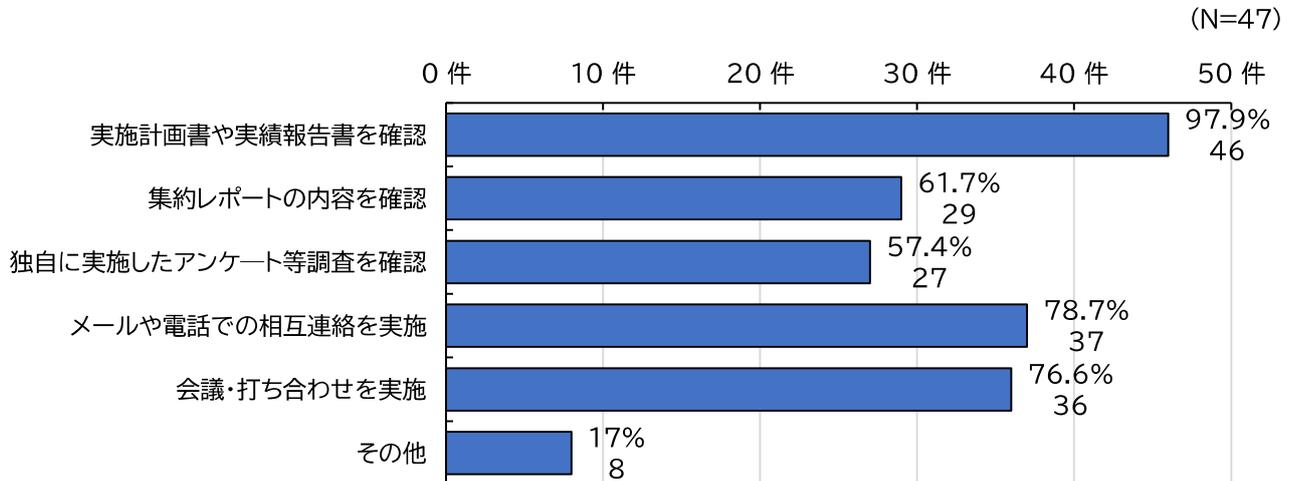
- ・ 企画・調整担当者で常に外部有識者から助言を受けることができる
- ・ 国保連合会との協力・支援体制が充実している
- ・ 有識者が助言者として令和3年度から市町村向けの担当者会議に参加している

## 【令和6年度 広域連合】

Q7. 広域連合では、市町村における一体的実施の実施状況をどのように把握していますか。(複数回答)

- 市町村における一体的実施の実施状況を把握する方法は、「実施計画書や実績報告書を確認」が 46 件(97.6%)、「メールや電話での相互連絡を実施」が 37 件(78.7%)、「会議・打合せを実施」が 36 件(76.6%)であった。

図表1-12市町村における一体的実施の実施状況の把握について（複数回答）



### ■その他の内容

- ・ 市町村を直接訪問し、実施内容や課題についてヒアリング (5 件)
- ・ 県・国保連合会と共催の研修会で把握
- ・ 電話による状況調査にて聞き取り
- ・ 中間報告

等

# 【令和6年度 広域連合】

## 2. 一体的実施の実施・委託に向けた取組状況

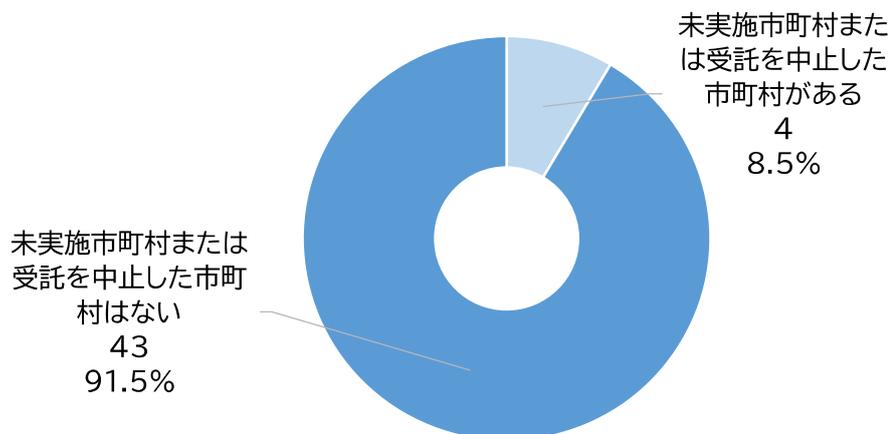
### (1) 未実施市町村・受託中止市町村に対する取組み

Q8.広域連合では、令和7年度末までに一体的実施を実施していない市町村(未実施市町村)または受託を中止した市町村はありますか。

- 一体的実施を未実施または受託中止した市町村がある広域連合は4件(8.5%)であった。

図表2-1 一体的実施未実施・受託中止市町村について

(N=47)

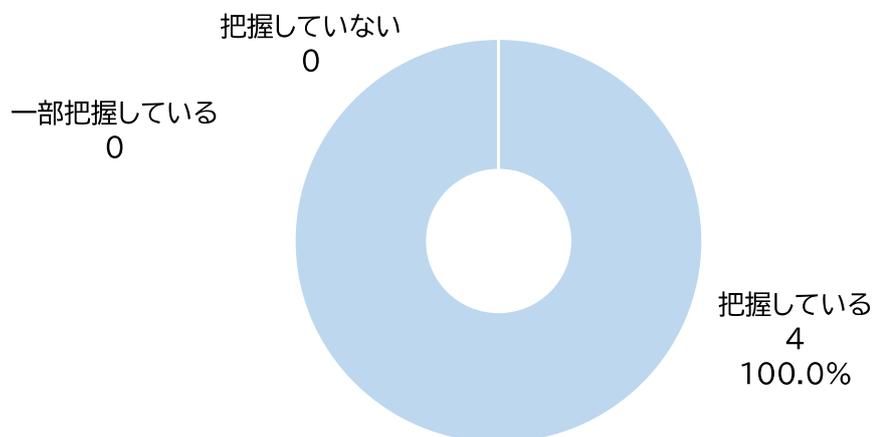


Q8-1.広域連合では、未実施・受託中止市町村の今後の一体的実施に対する意向を把握していますか。

- 未実施市町村のある広域連合4件全件において、未実施市町村の一体的実施に対する意向を把握していた。

図表2-2 未実施・受託中止市町村の今後の一体的実施に対する意向の把握  
<未実施・受託中止の広域連合>

(n=4)



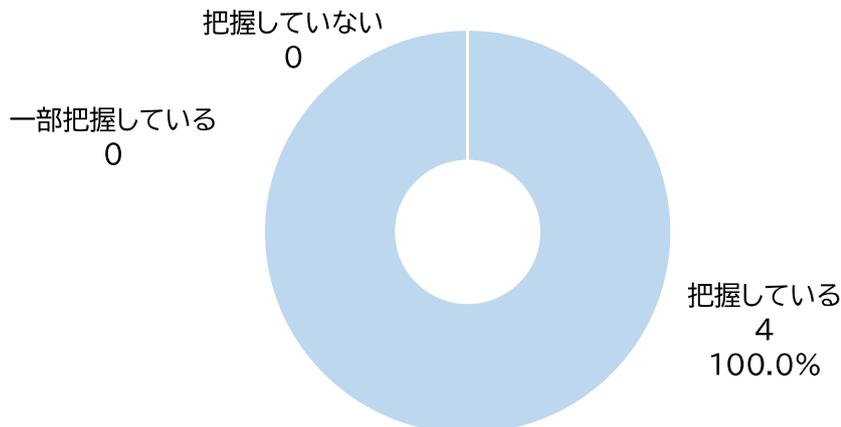
## 【令和6年度 広域連合】

Q8-2.広域連合では、未実施・受託中止市町村の一体的実施が未実施である理由を把握していますか。

- 未実施市町村のある広域連合 4 件全件において、未実施市町村の一体的実施が未実施である理由を把握していた。

図表2-3 未実施・受託中止市町村の今後の一体的実施に対する理由の把握  
<未実施・受託中止の広域連合>

(n=4)

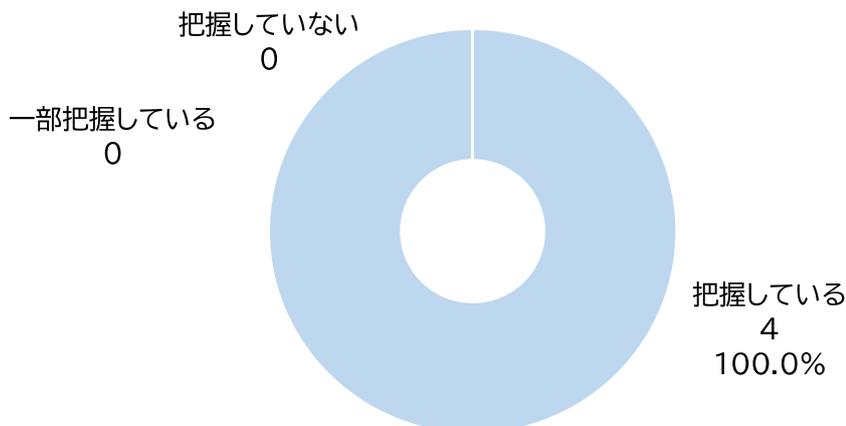


Q8-4. 広域連合では、未実施・受託中止市町村のハイリスク者数を把握していますか。

- 未実施市町村のある広域連合 4 件全件において、未実施・受託中止市町村のハイリスク者数の把握していた。

図表2-4 未実施・受託中止市町村のハイリスク者数の把握  
<意向を「把握している」と回答した広域連合>

(n=4)



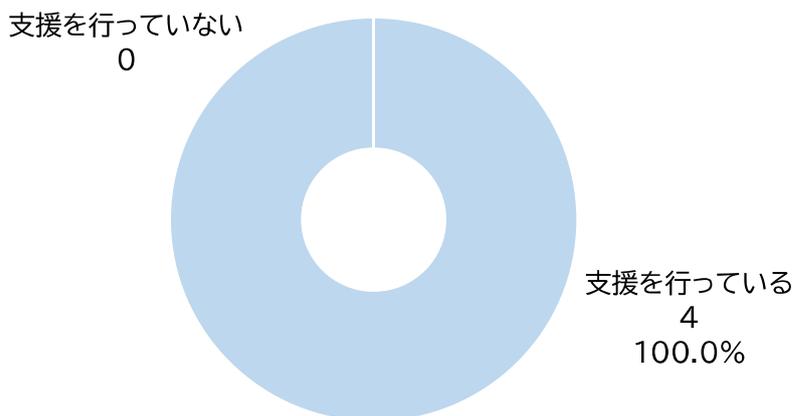
## 【令和 6 年度 広域連合】

Q8-5. 広域連合では、未実施市町村が一体的実施を実施できるよう支援を行っていますか。

- 未実施市町村のある広域連合 4 件全件において、市町村における支援を行っていた。

図表2-5 未実施市町村への一体的実施を実施のための支援  
＜意向を「把握している」と回答した広域連合＞

(n=4)



Q8-6. 未実施・受託中止市町村に行っている支援を具体的にご記載ください。(自由記述)

### ■未実施市町村への具体的な支援内容

- ・ 訪問により個別ヒアリングし、事業概要の説明、市町村の実情把握、計画書案の作成・記載方法の説明等を実施
- ・ 管轄の保健所へも足を運び、協力体制についてヒアリングや助言をいただく
- ・ 一体的実施の基礎情報に係るデータ分析結果、契約方法の説明、スケジュールに合わせた事務や事業の展開等の情報提供
- ・ Web にて一体的実施再開に向けて準備することや町の現状課題に係るデータ提供等し、現地アドバイザーを派遣して具体的に助言・支援を実施し、ヒアリングを通じて予算作成にかかる助言や準備状況の確認を実施
- ・ 一体的実施に関する研修会を 2 回開催して事業概要や KDB データ活用の方法、他市町村の事業データの共有、好事例の紹介を行い、希望があれば個別で Web や訪問を通じた事業説明を実施

等

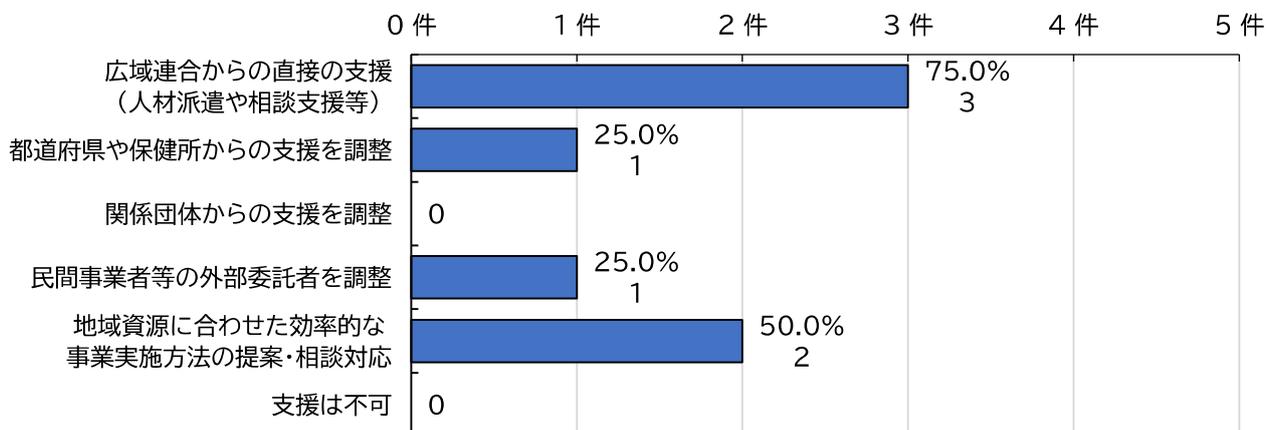
## 【令和6年度 広域連合】

Q8-7. 今後、一体的実施が未実施・受託中止の市町村に対する支援の可能性はありますか。(複数回答)

- 未実施市町村のある広域連合4件において、広域連合からの直接の支援の可能性のある広域連合が3件あった。関係団体からの支援を調整する可能性がある広域連合はなかった。

図表2-6 未実施市町村への支援の可能性（複数回答）  
 <意向を「把握している」と回答した広域連合>

(n=4)

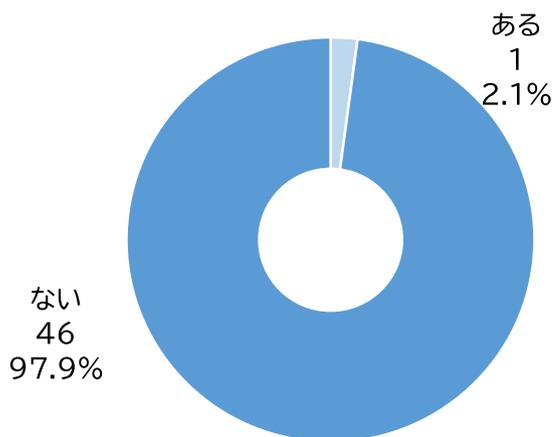


Q9. 広域連合では、現行一体的実施を行っているが継続が困難な市町村(または困難となることが見込まれる市町村)はありますか。

- 一体的実施を行っているが継続困難な市町村(または困難となることが見込まれる市町村)がある広域連合は、1件であった。

図表2-7 継続が困難な市町村有無

(N=47)



# 【令和 6 年度 広域連合】

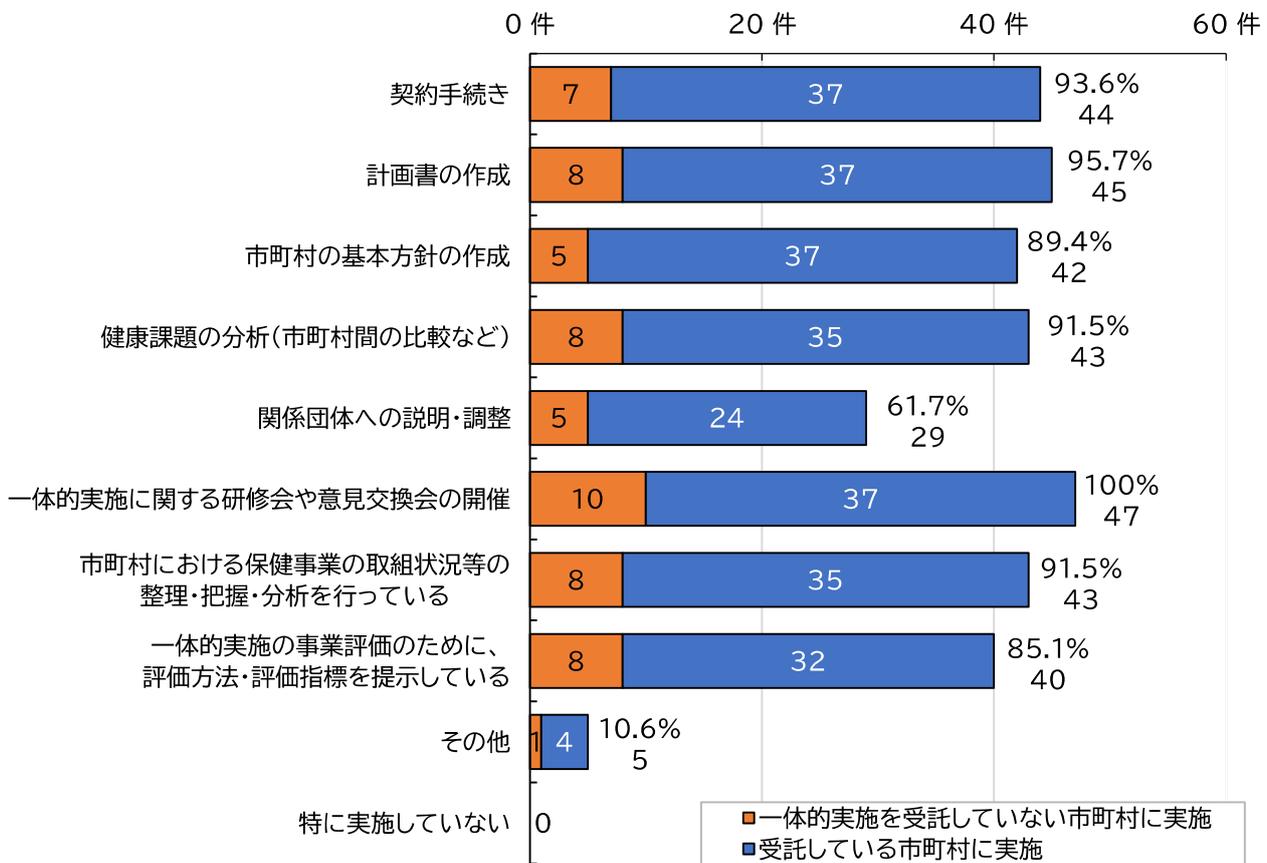
## (2)市町村への働きかけ・支援

Q10. 令和 6 年度時点で、①一体的実施に係る市町村への働きかけや支援として実施しているものについてお答えください。「実施の有無」は今年度の見込みを含めてお答えください。①のうち、全ての構成市町村ではなく、②一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施している支援がある場合は、該当するものをお答えください。(複数回答)

- 一体的実施の委託に向けた取組として「一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」、「契約手続き」、「計画書の作成」、「一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」が多く挙げられた。
- 一体的実施を受託していない市町村に対して特に実施されている取組として「一体的実施に関する研修会や意見交換会の開催」、「計画書の作成」、「健康課題の分析(市町村間の比較など)」、「市長さんにおける保健事業の取り組み状況等の整理・把握・分析」、「一体的実施の事業評価のための評価方法・評価指標の提示」が多く挙げられた。

図表2-8 一体的実施の委託に向けた取組の実施状況（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 訪問等による事業ヒアリング・打合せ(2件)
- ・ 委託事業者の情報収集と事業への展開
- ・ 都道府県独自の補助金事業にて備品購入等を補助
- ・ 市区町村の関係部局と直接対話

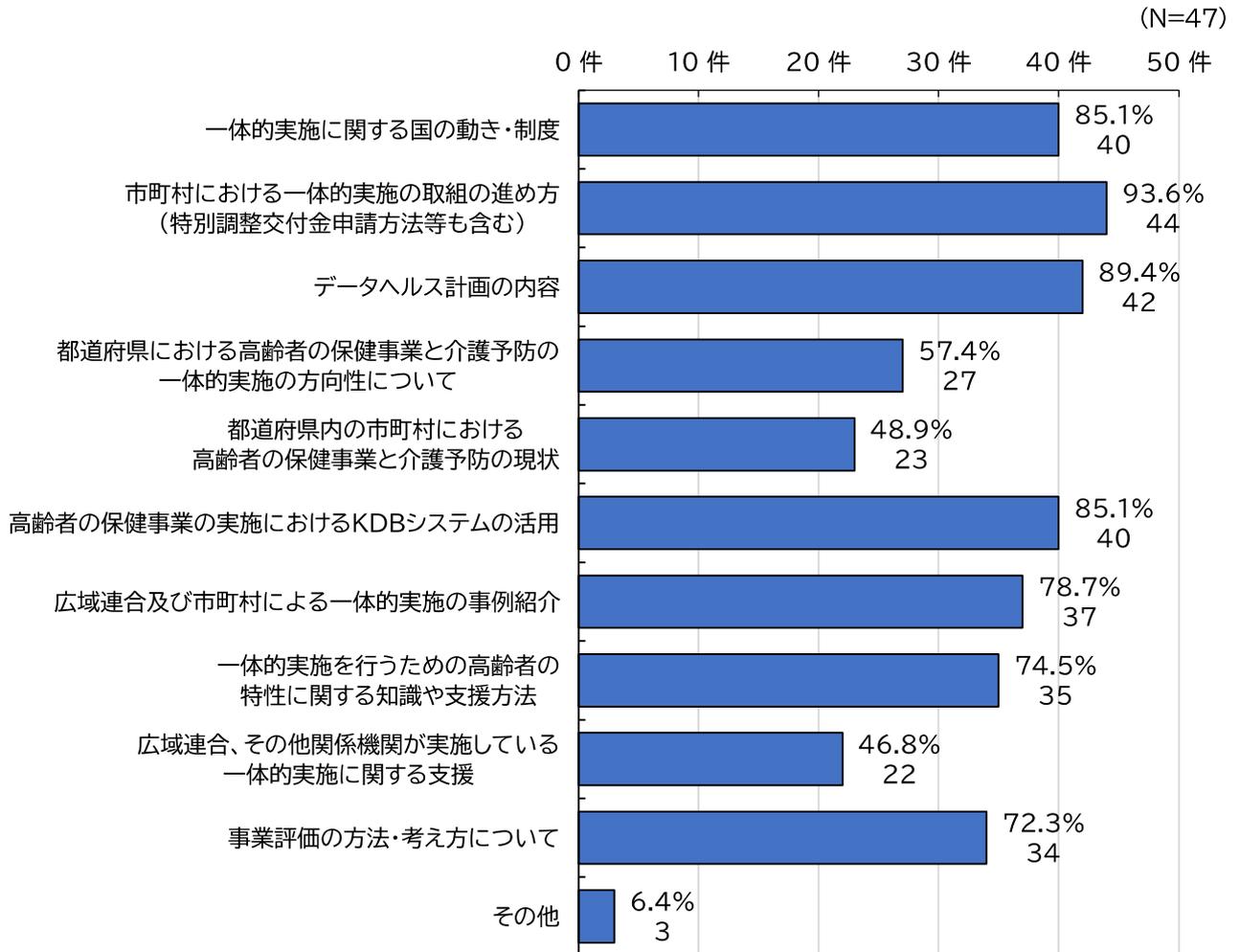
## 【令和6年度 広域連合】

Q10-1. i)研修会の内容をお答えください。(複数回答)

ii)各研修会の主催と共催をお答えください。なお、複数パターンがある場合、最も一般的なものをお答えください。

- 研修会の内容については「市町村における一体的実施の取組の進め方(特別調整交付金申請方法等も含む)」、「データヘルス計画の内容」、「一体的実施に関する国の動き・制度」、「高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用」が上位に挙げられた。

図表2-9 研修会の内容 (複数回答)



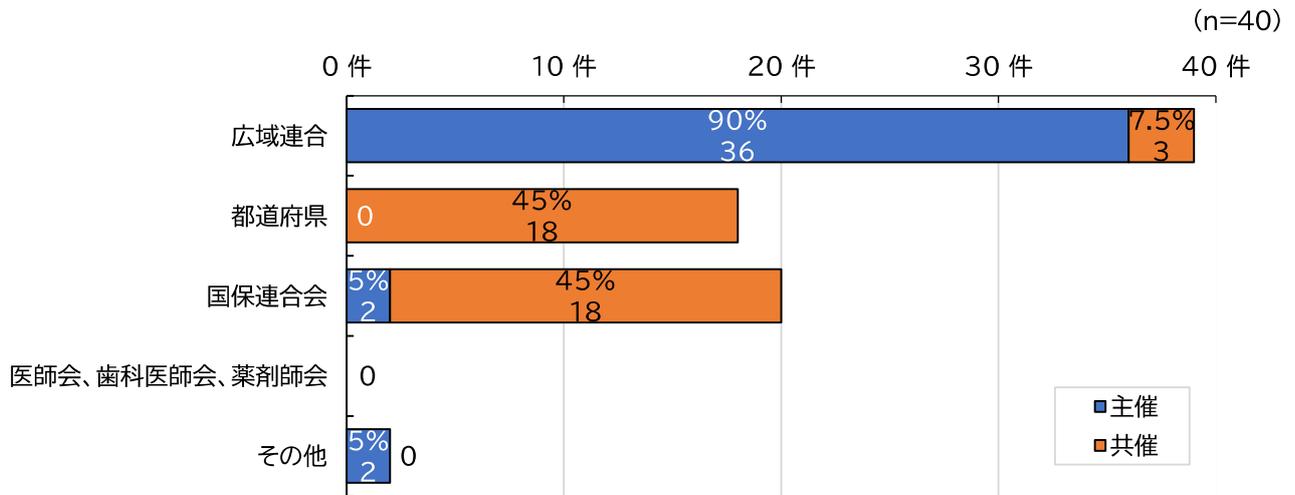
### ■その他の主な内容

- ・ 企画調整担当の情報・意見交換(2件)
- ・ 外部有識者による講義

## 【令和6年度 広域連合】

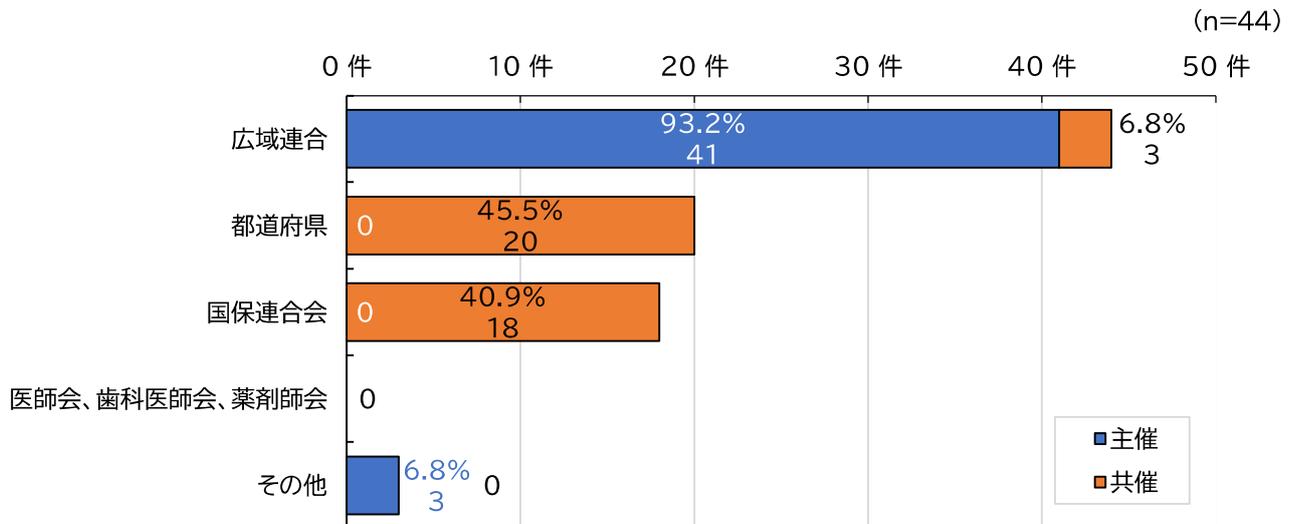
- 一体的実施に関する国の動き・制度の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-10 研修会の内容（一体的実施に関する国の動き・制度）



- 市町村における一体的実施の取組の進め方(特別調整交付金申請方法等も含む)の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

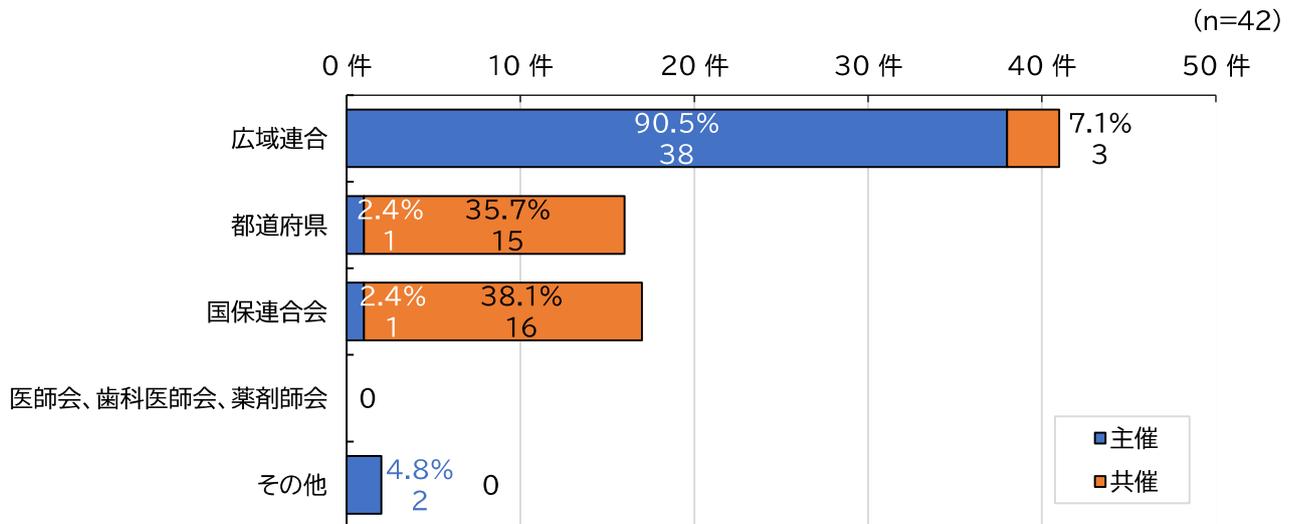
図表2-11 研修会の内容（市町村における一体的実施の取組の進め方(特別調整交付金申請方法等も含む)



## 【令和6年度 広域連合】

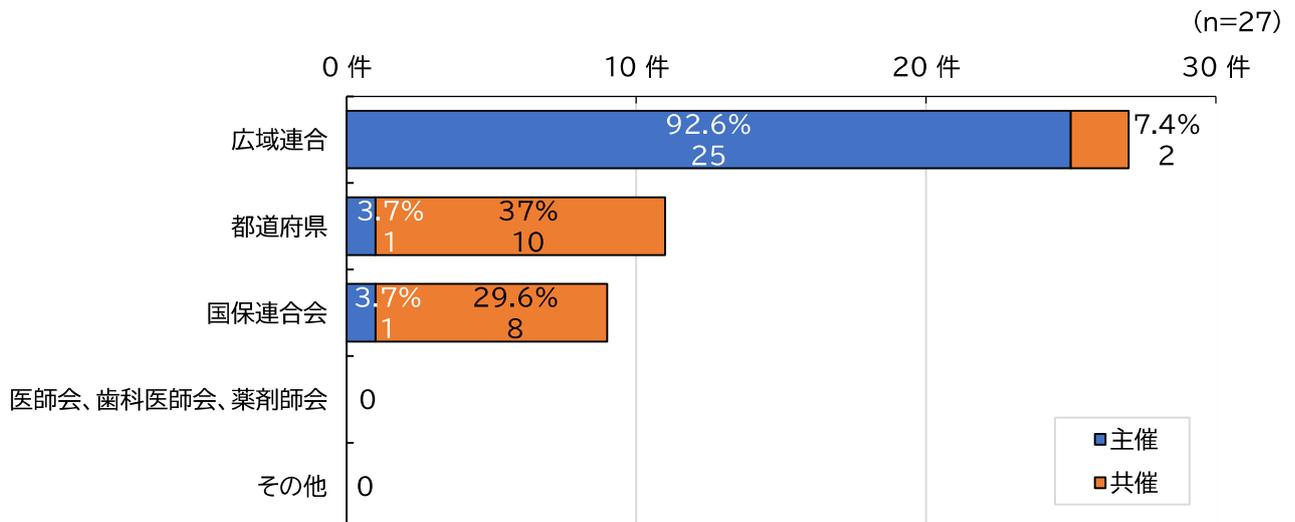
- データヘルス計画の内容の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-12 研修会の内容（データヘルス計画の内容）



- 都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性についての研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

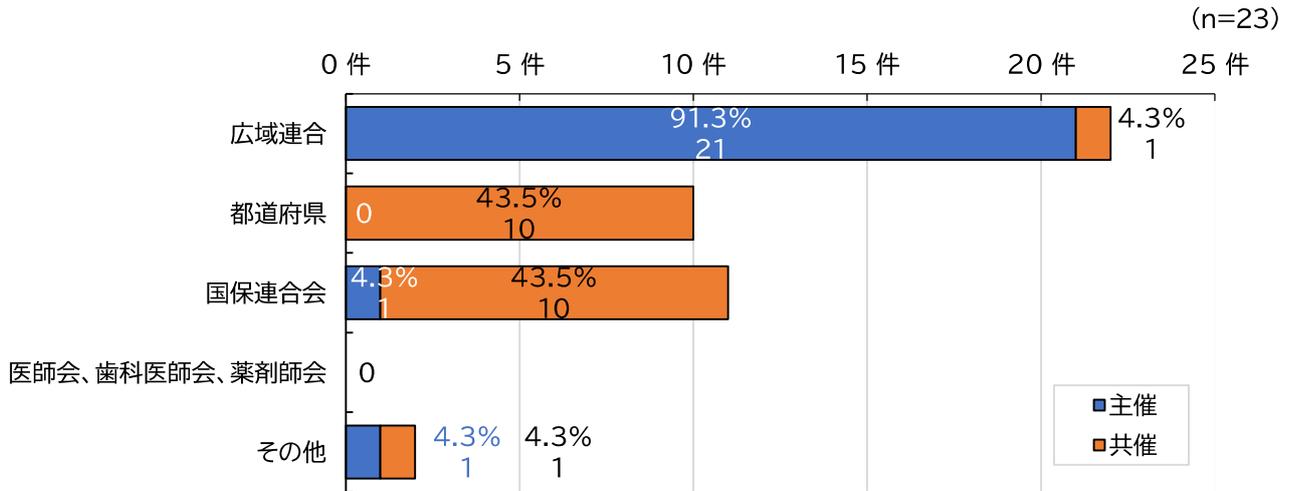
図表2-13 研修会の内容（都道府県における高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の方向性について）



## 【令和6年度 広域連合】

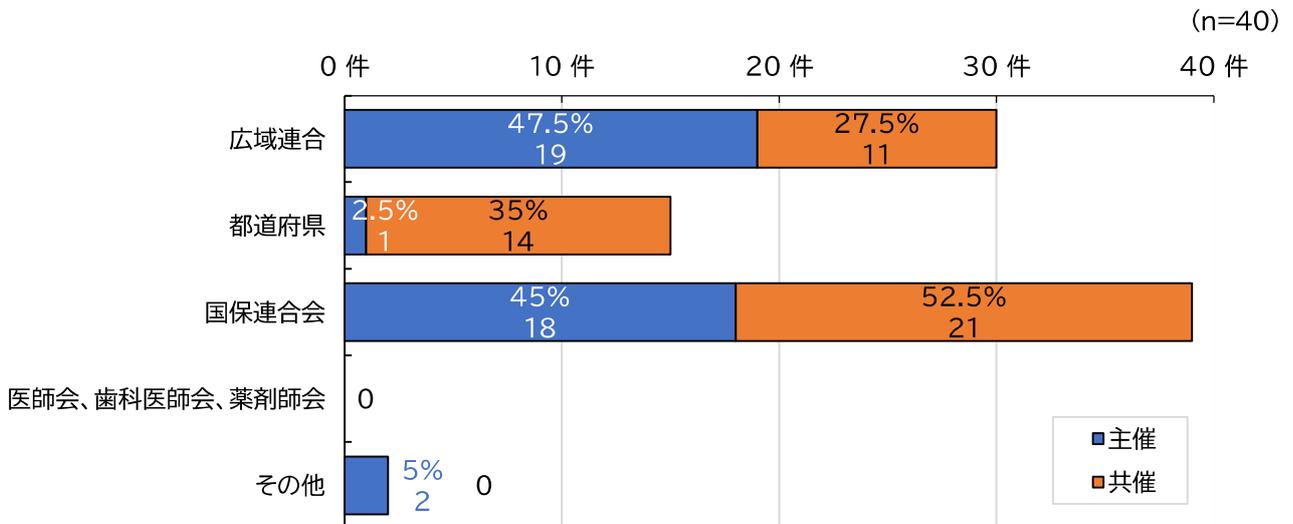
- 都道府県内の市町村における高齢者の保健事業と介護予防の現状の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-14 研修会の内容（都道府県内の市町村における高齢者の保健事業と介護予防の現状）



- 高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用の研修会は、広域連合が主催するのが最も多く、次いで国保連合会が主催するものが多い。

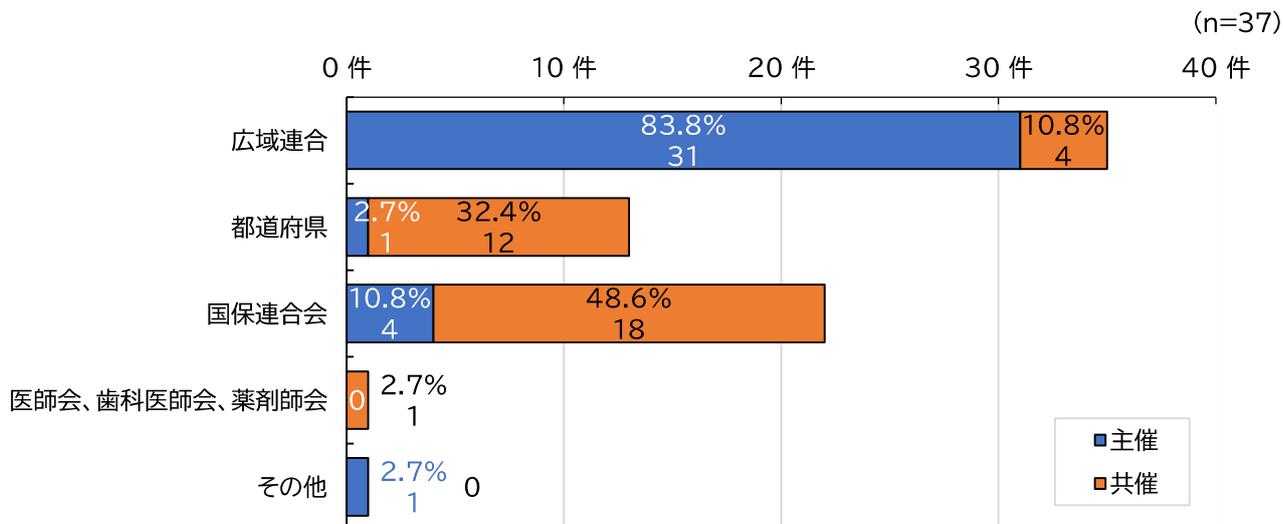
図表2-15 研修会の内容（高齢者の保健事業の実施におけるKDBシステムの活用）



## 【令和6年度 広域連合】

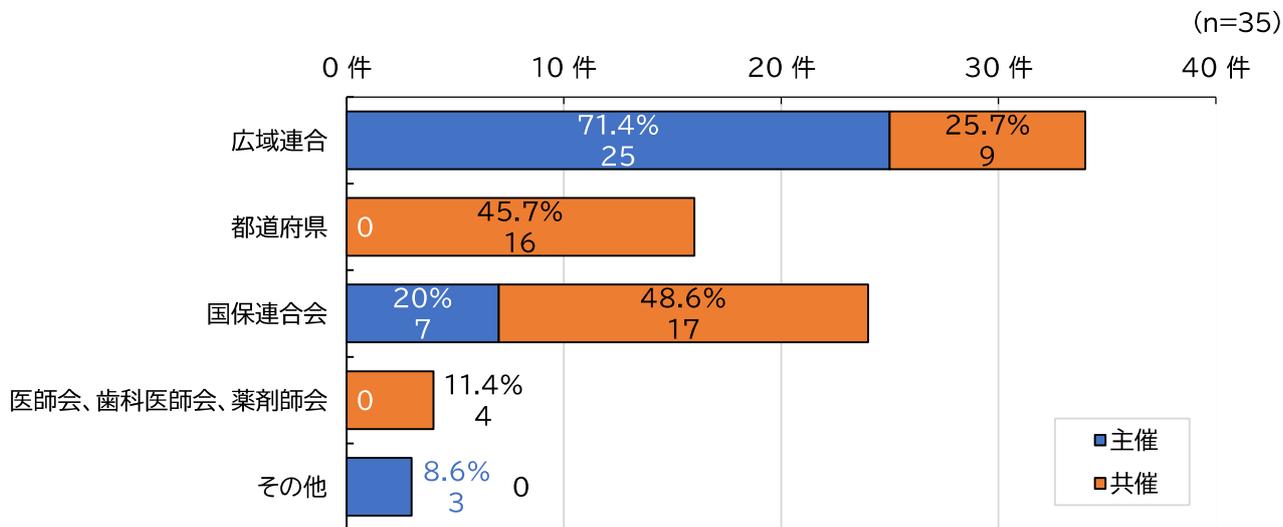
- 広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-16 研修会の内容（広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介）



- 一体的実施を行うための高齢者の特性に関する知識や支援方法の研修会は、広域連合が主催するものが多く、次いで国保連合会が主催するものが多い。
- 医師会、歯科医師会、薬剤師会が共催するものもある。

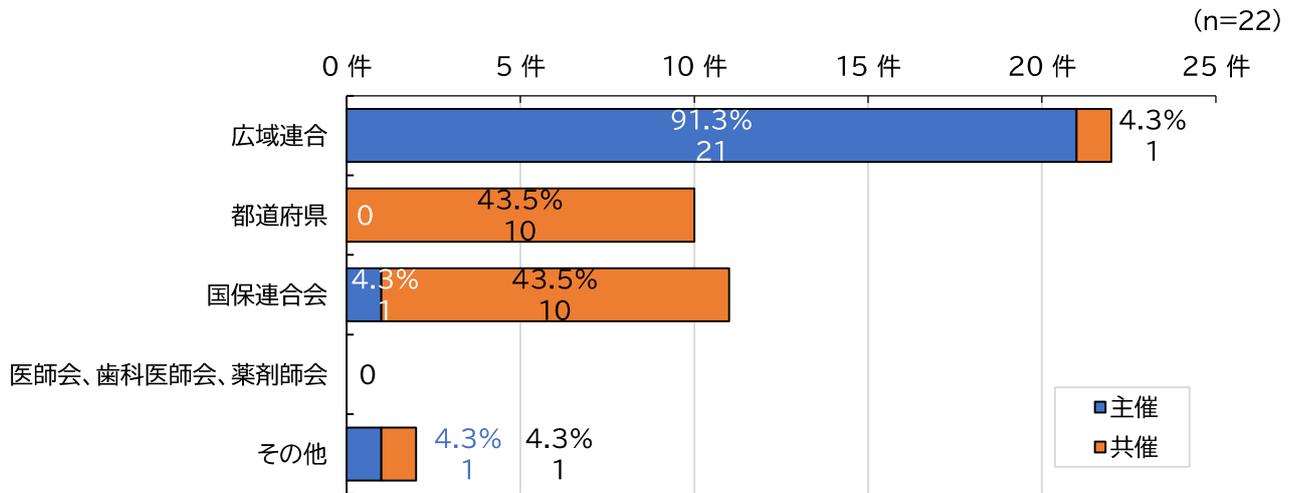
図表2-17 研修会の内容（一体的実施を行うための高齢者の特性に関する知識や支援方法）



## 【令和6年度 広域連合】

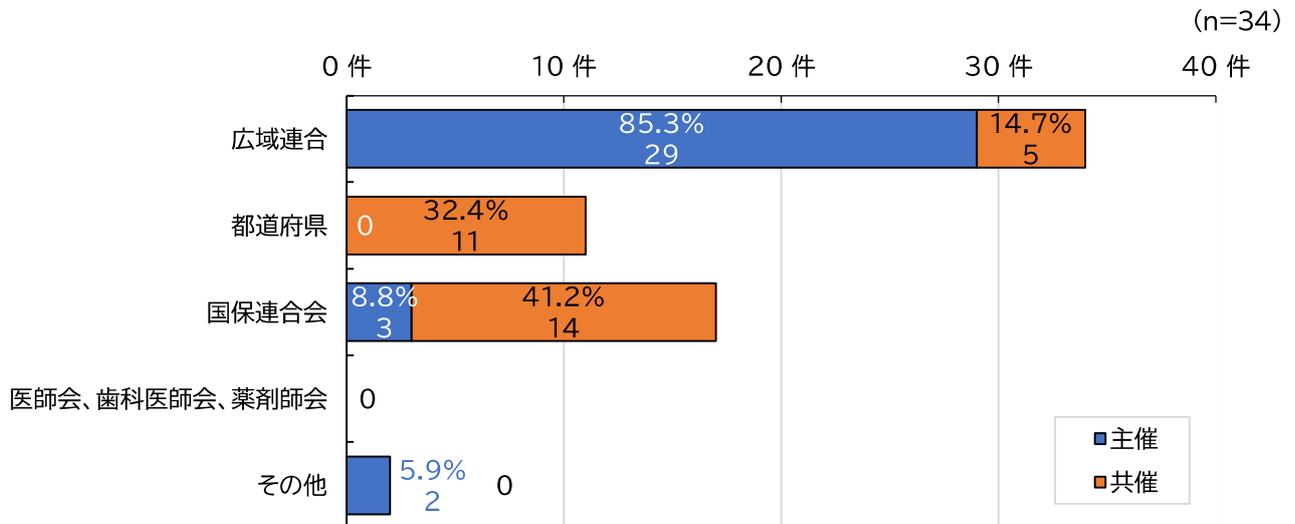
- 広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介の研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-18 研修会の内容（広域連合及び市町村による一体的実施の事例紹介）



- 事業評価の方法・考え方についての研修会は、広域連合が主催し、都道府県や国保連合会が共催するものが多い。

図表2-19 研修会の内容（事業評価の方法・考え方について）



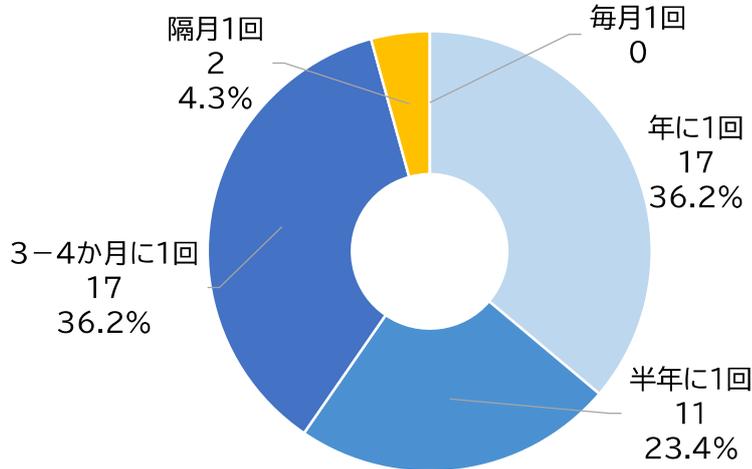
## 【令和6年度 広域連合】

Q10-2. 研修会の開催頻度として最も近いものをお答えください。複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。

- 研修会の開催頻度は年に1回と3～4ヶ月に1回がそれぞれ17件(36.2%)であった。

図表2-20 研修会開催頻度  
 <意見交換会や研修会を実施している広域連合>

(N=47)



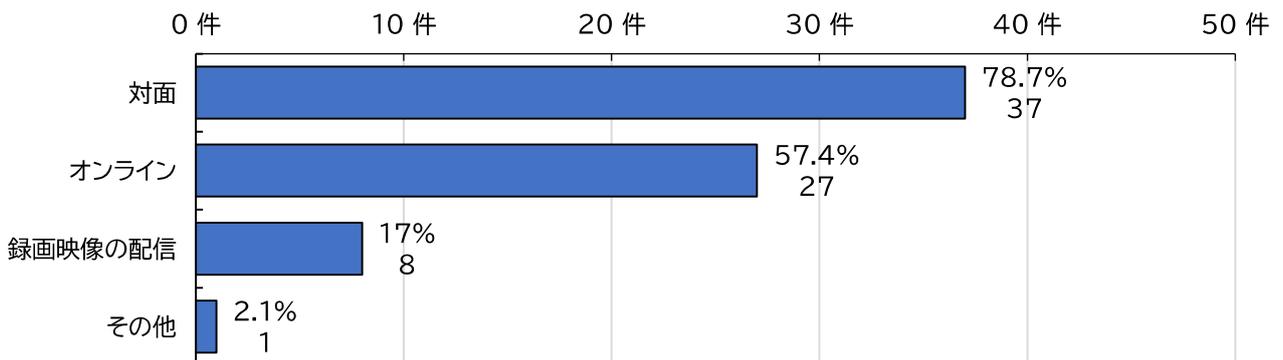
Q10-3. 研修会の実施方法をお答えください。

複数の研修会を開催している場合は、最も注力している研修会についてお答えください。なお、併用している場合は複数をご選択ください。

- 研修会の実施方法は対面が37件(78.7%)とオンラインが27件(57.4%)が多かった。

図表2-21 研修の実施方法

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 意見交換会は集合形式、他研修会はオンライン

# 【令和6年度 広域連合】

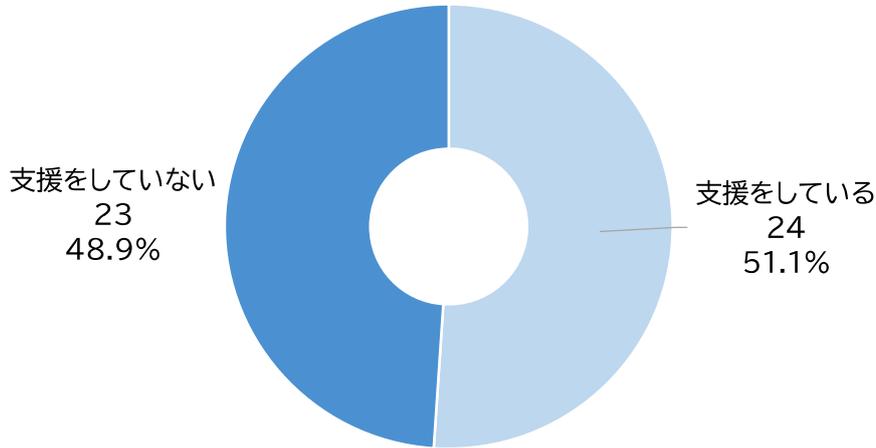
## (3)ICT 機器を活用した支援

Q11. 保健事業実施にあたり、ICT 機器を活用した支援をしていますか。

- 保健事業実施に当たり、ICT 機器を活用した支援をしている広域連合は 24 件(51.1%)であった。

図表2-22 ICT 機器を活用した支援有無

(N=47)



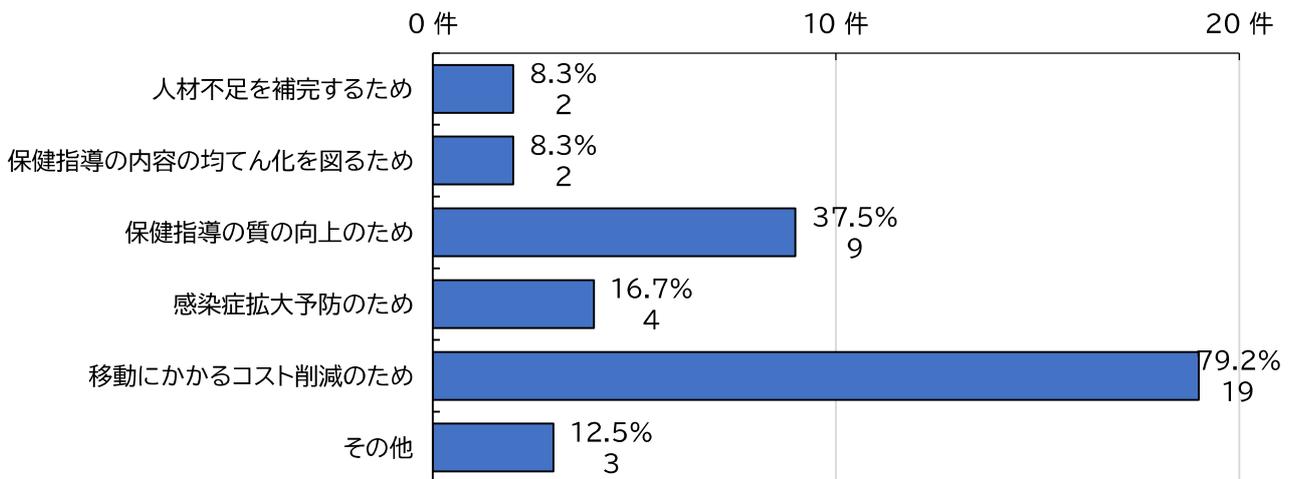
Q11-1. ICT 機器を活用した支援を行っている理由についてご回答ください。(複数回答)

- ICT 機器を活用した支援を行っている理由として「移動にかかるコスト削減のため」が最も多く挙げられた。

図表2-23 ICT 機器を活用した支援を行っている理由 (複数回答)

<ICT 機器を活用した支援をしている広域連合>

(n=24)



# 【令和6年度 広域連合】

## ■その他の主な内容

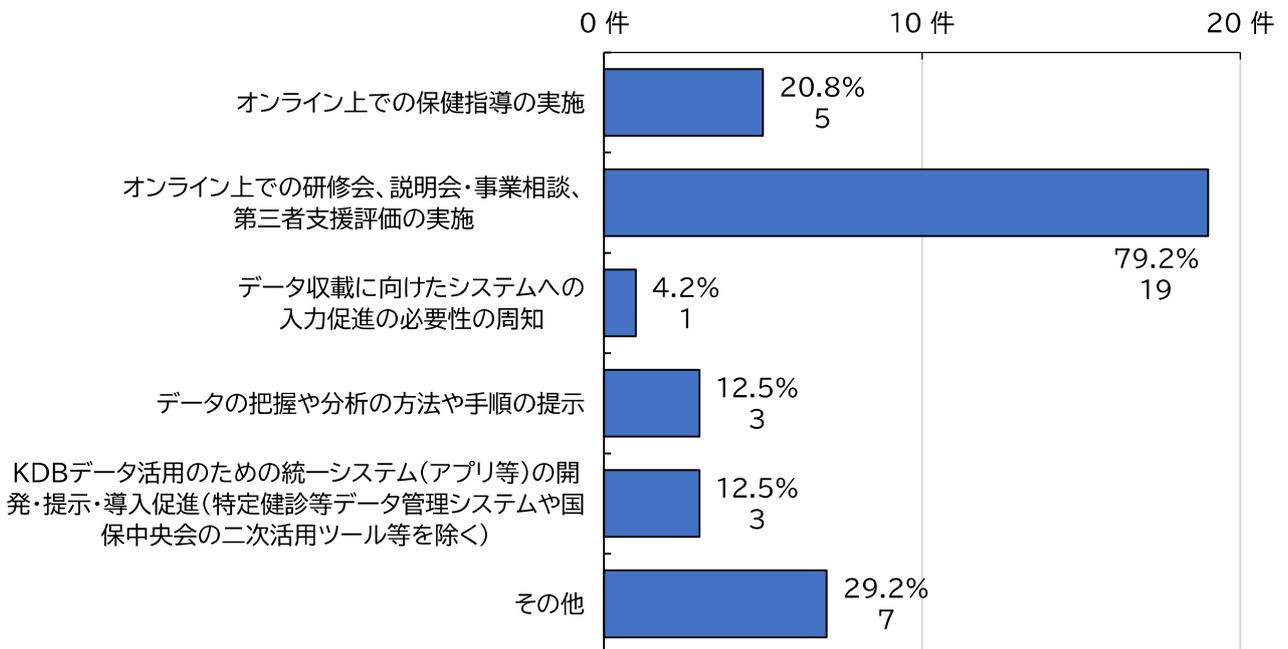
- ・ 利便性向上のため
- ・ 市町の負担軽減のため
- ・ 業務効率化のため

Q11-2. どのように ICT 機器の活用を行っていますか。(複数回答)

- ICT 機器の活用方法として「オンライン上での研修会、説明会・事業相談、第三者支援評価の実施」が最も多く挙げられた。

図表2-24 ICT 機器の活用方法（複数回答）  
 <ICT 機器を活用した支援をしている広域連合>

(n=24)



## ■その他の主な内容

- ・ ヒアリング(相談会)の実施
- ・ オンライン会議
- ・ 認知機能評価
- ・ 歯科口腔健診の場で健診結果を点数化し、歯科医師又は歯科衛生士からの保健指導を実施
- ・ 実施計画・実績報告

等

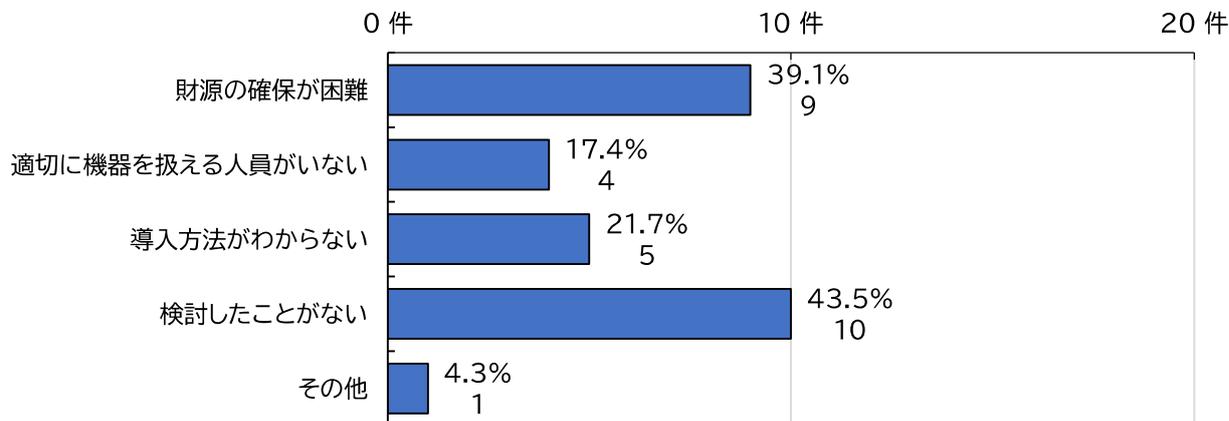
## 【令和6年度 広域連合】

Q11-3. ICT 機器を活用していない理由についてご回答ください(複数回答)

- 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組を実施していない理由として「検討したことがない」と「財源の確保が困難」が多く挙げられた。

図表2-25 ICT 機器を活用していない理由（複数回答）  
<ICT 機器を活用していない広域連合>

(n=23)



### ■その他の内容

- ・ 保健事業実施に有効活用できるデバイスが判然としないため

## 【令和6年度 広域連合】

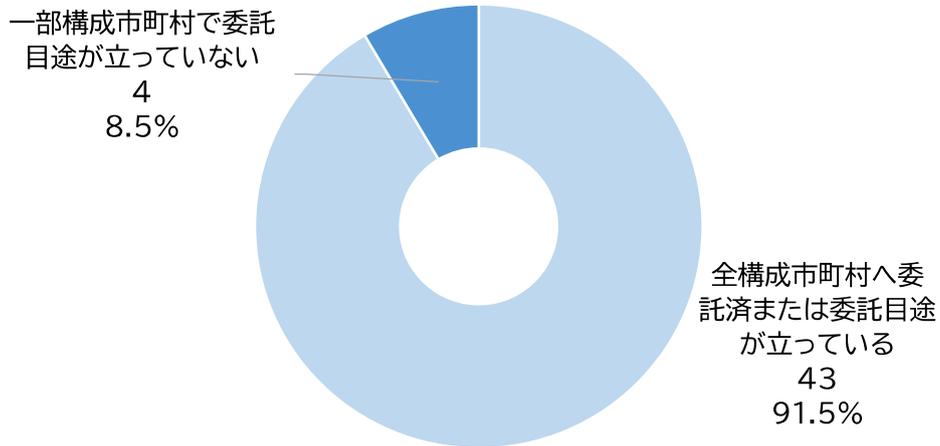
### (4)市町村への委託

Q12. 現時点で全構成市町村へ委託済または全構成市町村で委託目途が立っていますか。

- 全構成市町村へ委託済または全構成市町村で委託目途が立っているのは43件(91.5%)であった。

図表2-26 委託の目途について

(N=47)



## 【令和 6 年度 広域連合】

Q12-1. 全構成市町村への委託を進めるにあたり、工夫したことや効果のあった支援内容及びその取組による変化をお答えください。(自由記述)

### ■委託を進めるにあたり工夫したことや効果のあったこと

- ・ 実施検討中の市町村へ訪問し、医療専門職・事務職に対して一体的実施の概要や交付基準の説明を実施し、実施中の保健事業の一体的実施への取り入れ等の相談を実施
- ・ 個別に担当部署及び幹部職員へ実施に向けて協議を実施（2件）
- ・ 未実施市町村を訪問・オンライン会議によりヒアリングし、説明・助言を実施（11件）
- ・ 実施市町村に対する連携会議に未実施市町村の参加を促し、内容の理解や情報共有を推進（3件）
- ・ 既存事業と地域健康課題を整理して市町村の負担が少ない方法を検討（2件）
- ・ 実施予定の市町に対し、状況調査と計画書作成の支援や庁内連携の支援を実施
- ・ 市町村訪問において、一体的実施事業説明・事例紹介・予算関係等についての意見交換し、課題把握や不明な点に関しての助言等を実施（2件）
- ・ 事業の検討が進まない場合、具体的に用意すべき案を明示し、市町村が動き出しやすいよう支援
- ・ 国保連合会にも情報を共有し、一体的実施の実施課題等踏まえて支援を行っていただいた
- ・ 意見交換会等を実施
- ・ 未実施の市町に対して、ハイリスクアプローチのプレ事業として訪問指導事業の委託事業、ポピュレーションアプローチのプレ事業として通いの場への講師派遣事業を実施

等

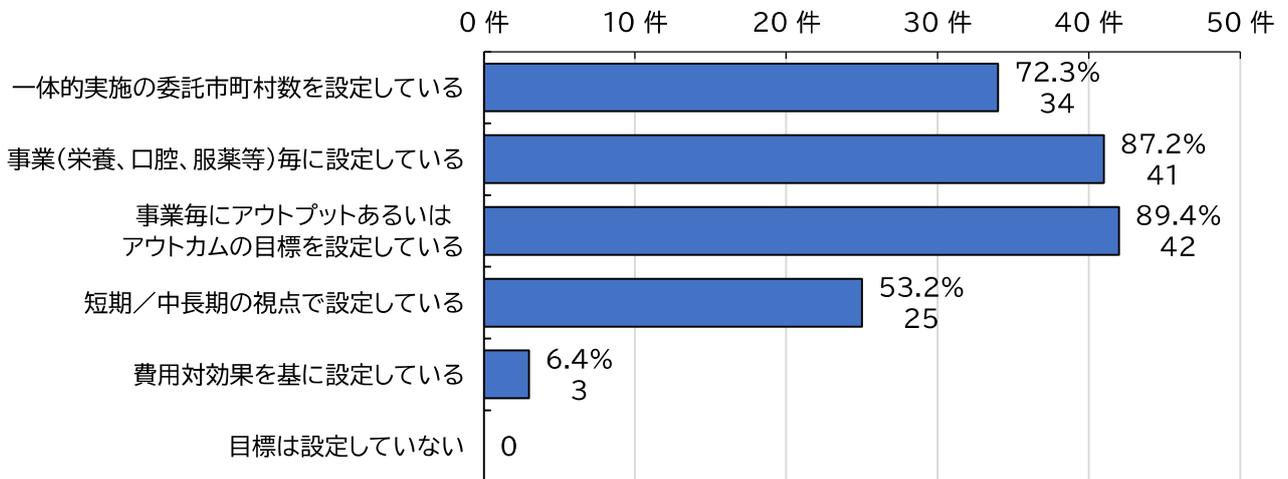
## 【令和6年度 広域連合】

Q13. 一体的実施の目標の設定状況をお答えください。(複数回答)

- 一体的実施の目標設定として「事業毎にアウトプットあるいはアウトカムの目標を設定している」と「事業(栄養、口腔、服薬等)毎に設定している」が多く挙げられた。

図表2-27 一体的実施の目標の設定状況 (複数回答)

(N=47)

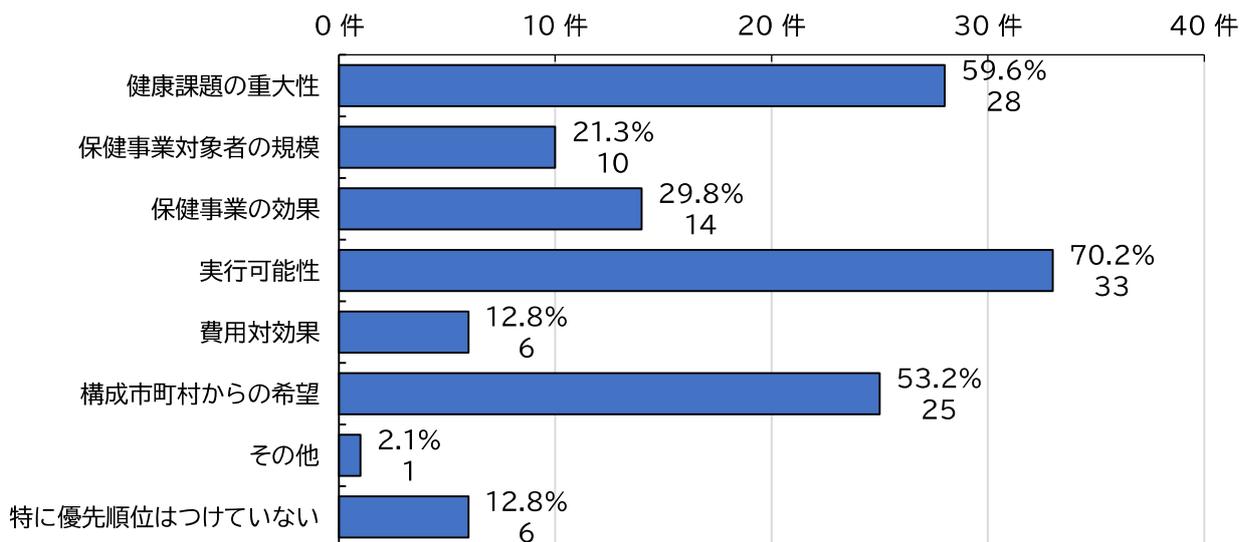


Q14. 市町村に委託する保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。(複数回答)

- 優先順位をつける際に考慮した点として「実行可能性」と「健康課題の重大性」が多く挙げられた。

図表2-28 委託する保健事業の優先順位付けで考慮した点(複数回答)

(N=47)



### ■その他の内容

- ・ 医療費分析の結果

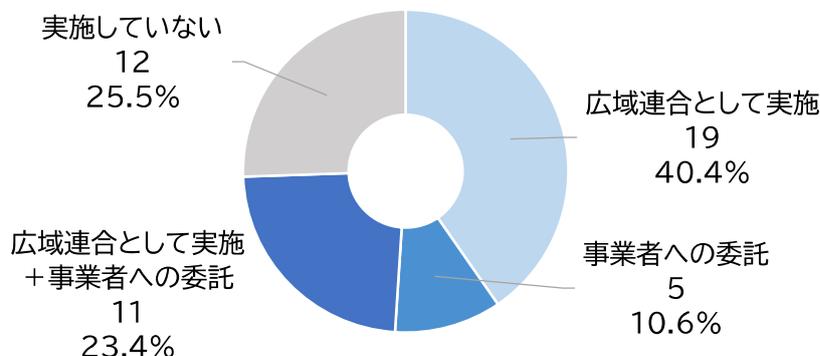
## 【令和6年度 広域連合】

Q15. i)以下の事業について広域連合として実施している場合に○を、実施していない場合に×を付けてください。  
ii)事業者等への委託(市町村への委託を除く)をしている場合に○を、していない場合に×を付けてください。

- 事業評価のための研究分析等の事業は、「広域連合として実施」が19件(40.4%)、「事業者への委託」が5件(10.6%)、その両方で実施している広域連合が11件(23.4%)であった。

図表2-29 事業実施の委託状況(事業評価のための研究分析等の事業)

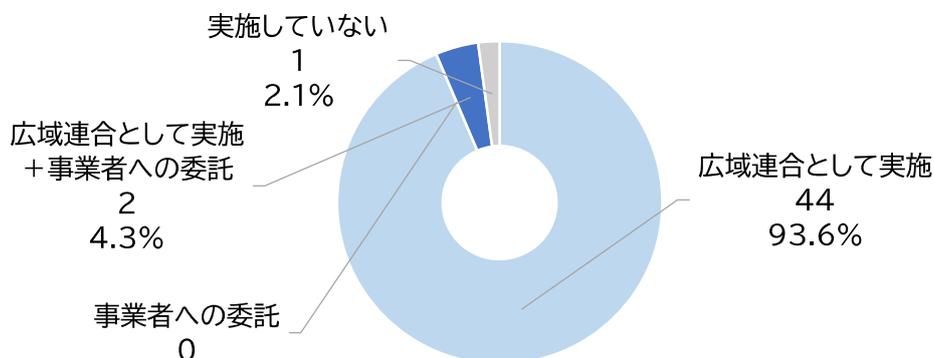
(N=47)



- 保健事業に係る市町村等との連絡・調整等の事業は、「広域連合として実施」が44件(93.6%)、「事業者への委託」が0件、その両方で実施している広域連合が2件(4.3%)であった。

図表2-30 事業実施の委託状況(保健事業に係る市町村等との連絡・調整等の事業)

(N=47)

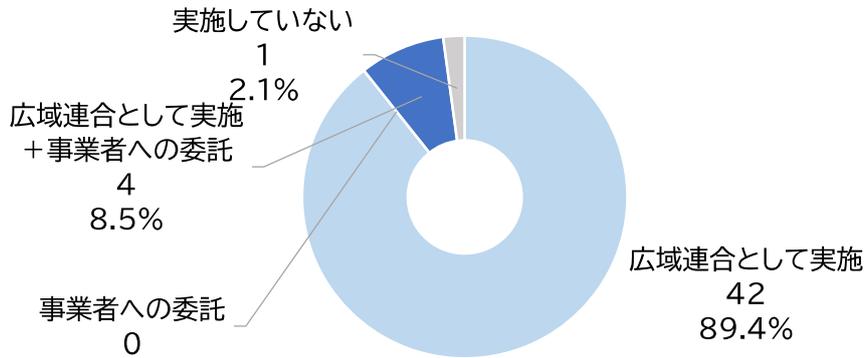


## 【令和6年度 広域連合】

- 一体的実施の推進のための事業は、「広域連合として実施」が42件(89.4%)、「事業者への委託」が0件、その両方で実施している広域連合が4件(8.5%)であった。

図表2-31 事業実施の委託状況(一体的実施の推進のための事業(研修会開催や市町村支援等))

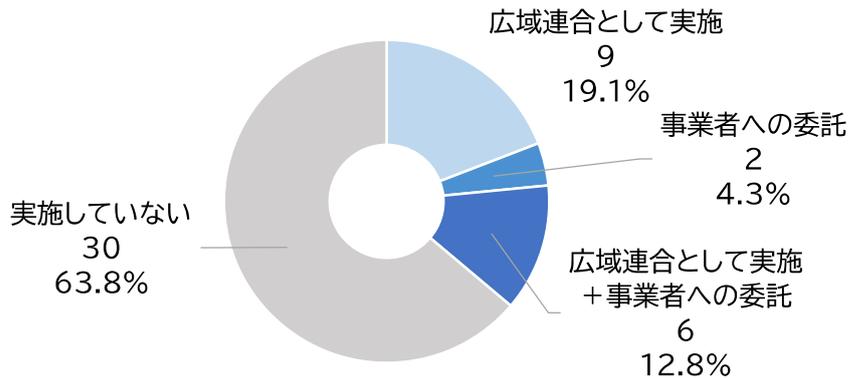
(N=47)



- 健康教育・健康相談等の事業は、「広域連合として実施」が9件(19.1%)、「事業者への委託」が2件(4.3%)、その両方で実施している広域連合が6件(12.8%)であった。

図表2-32 事業実施の委託状況(健康教育・健康相談等の事業)

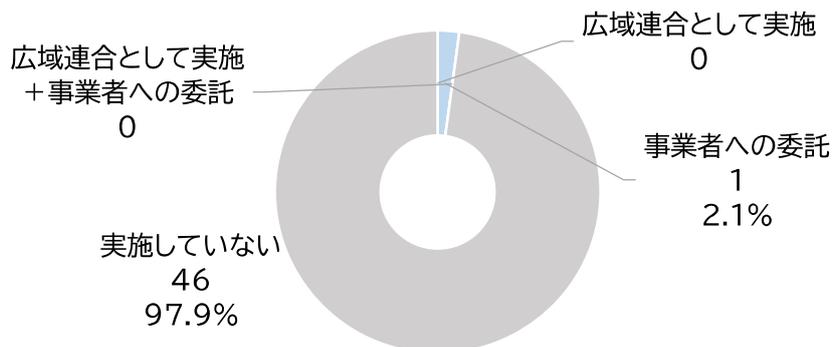
(N=47)



- 医療資源が限られた地域の保健事業は、「事業者への委託」が1件(2.1%)であった。

図表2-33 事業実施の委託状況(医療資源が限られた地域の保健事業)

(N=47)

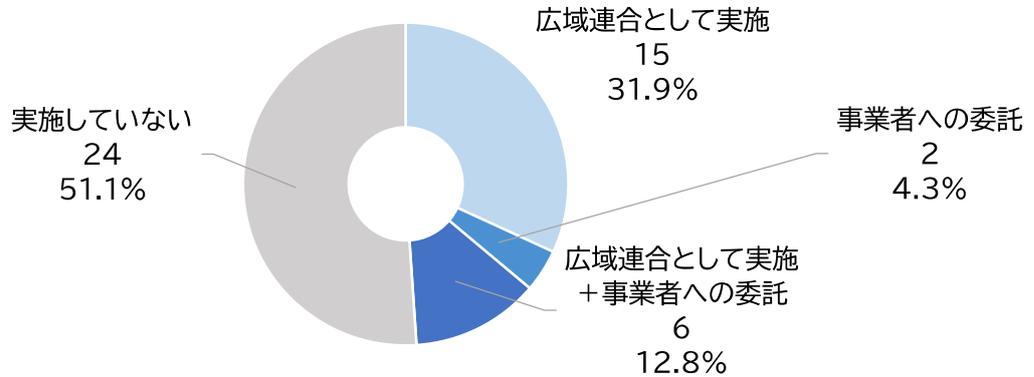


## 【令和6年度 広域連合】

- 被保険者の健康増進のために必要と認められる事業は、「広域連合として実施」が15件(31.9%)、「事業者への委託」が2件(4.3%)、その両方で実施している広域連合が6件(12.8%)であった。

図表2-34 事業実施の委託状況(被保険者の健康増進のために必要と認められる事業)

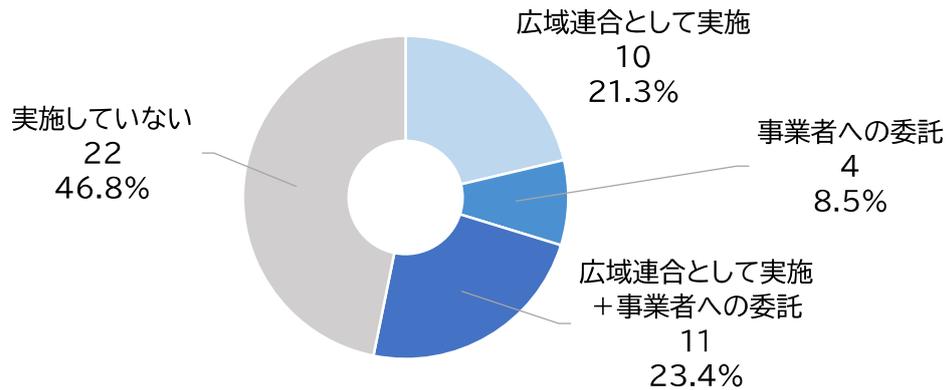
(N=47)



- 広域連合が実施する低栄養・重症化予防の取組の事業は、「広域連合として実施」が10件(21.3%)、「事業者への委託」が4件(8.5%)、その両方で実施している広域連合が11件(23.4%)であった。

図表2-35 事業実施の委託状況(広域連合が実施する低栄養・重症化予防の取組)

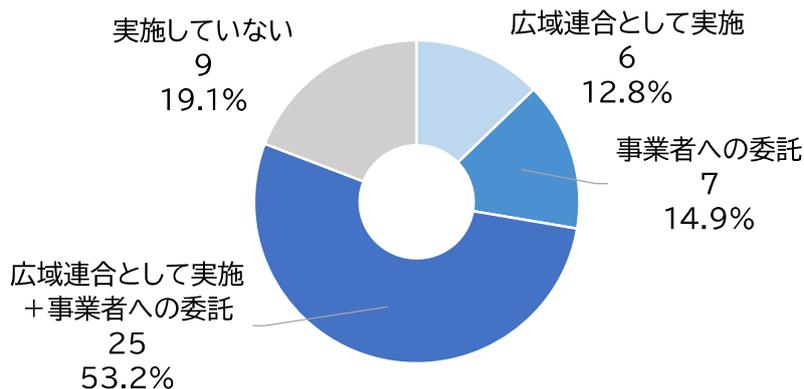
(N=47)



- 広域連合が行う重複投薬・多剤投与等への相談・指導の取組は、「広域連合として実施」が6件(12.8%)、「事業者への委託」が7件(14.9%)、その両方で実施している広域連合が25件(53.2%)であった。

図表2-36 事業実施の委託状況(広域連合が行う重複投薬・多剤投与等への相談・指導の取組)

(N=47)



# 【令和6年度 広域連合】

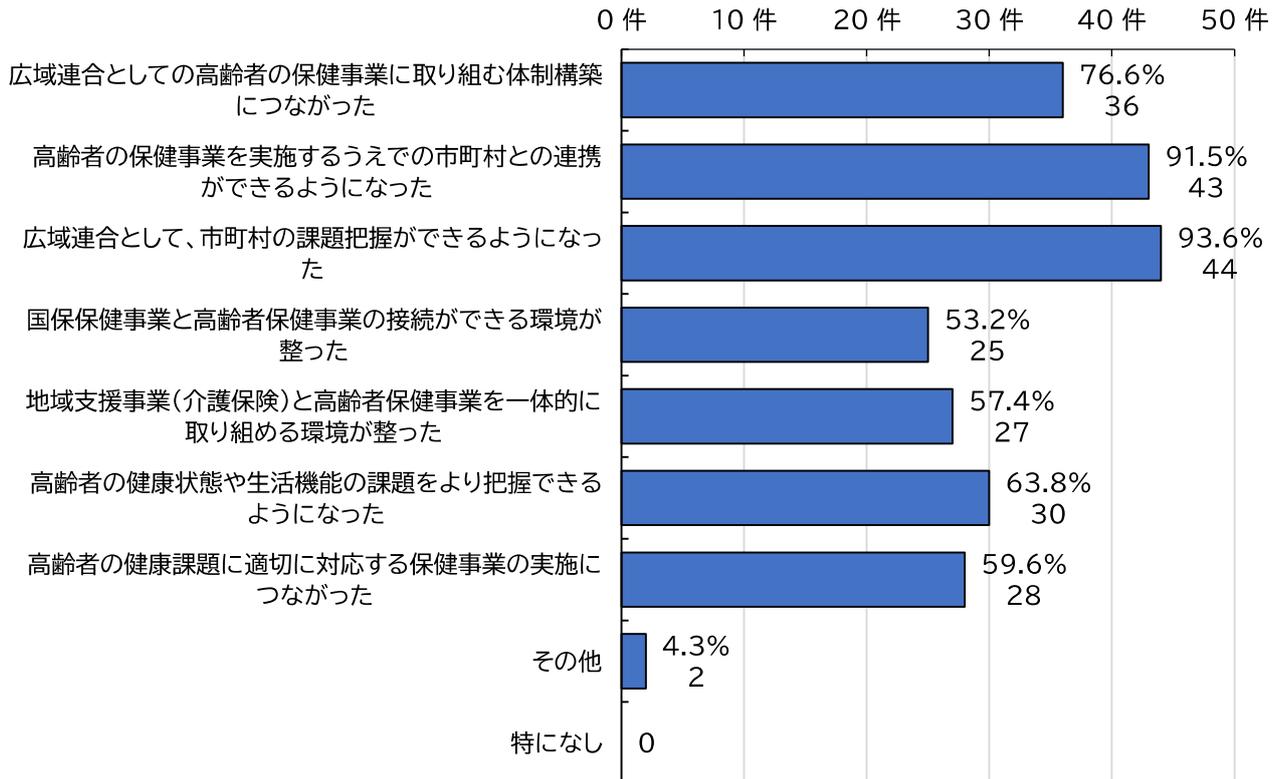
## (5)一体的実施の取り組み

Q16. 広域連合と構成市町村が一体的実施に取り組んだことで、これまでにどのような効果があったと感じますか。(複数回答)

- 一体的実施による効果として優先順位をつける際に考慮した点として「広域連合として、市町村の課題把握ができるようになった」が最も多く挙げられた。
- 次に、「高齢者の保健事業を実施するうえでの市町村との連携ができるようになった」が多く挙げられた。

図表2-37 一体的実施による効果（複数回答）

(N=47)



### ■その他の内容

- ・ 県・国保連合会との連携強化
- ・ 地域実情に応じた細やかな保健事業の実施

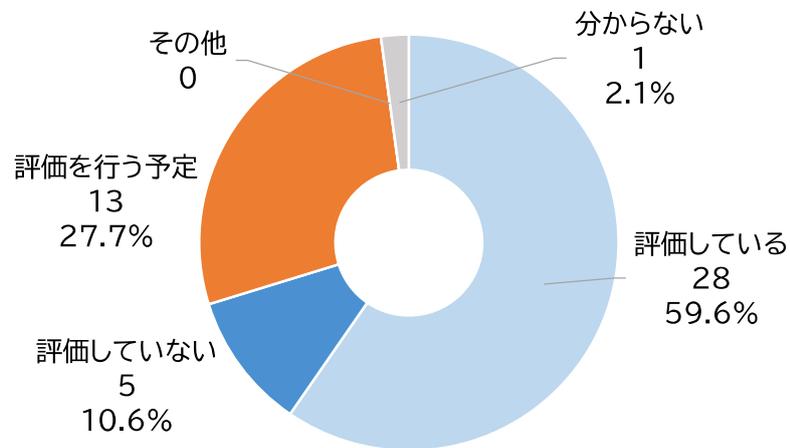
## 【令和6年度 広域連合】

Q17. 広域連合として一体的実施を委託したことを年度単位で事業評価していますか。

- 評価を行っている広域連合は28件(59.6%)、評価を行っていない広域連合は5件(10.6%)、評価を行う予定の広域連合は13件(27.7%)であった。

図表2-38 効果測定の実施状況

(N=47)



# 【令和6年度 広域連合】

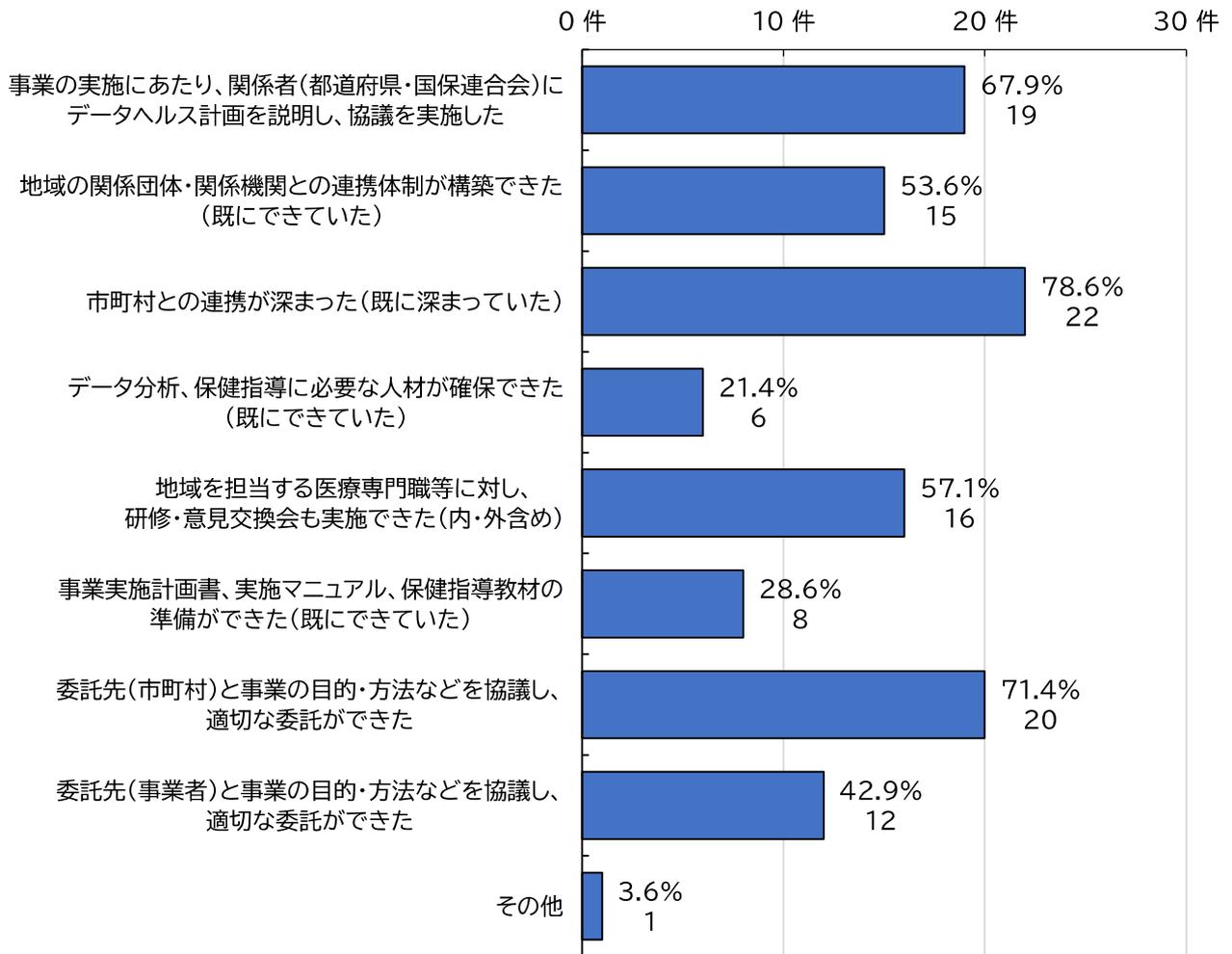
## (6)委託市町村の評価

Q17-1.広域連合による事業評価で、昨年度実施したストラクチャー評価について、当てはまるものをお答えください。  
(複数回答)

- 「市町村との連携が深まった(既に深まっていた)」、「委託先(市町村)と事業の目的・方法などを協議し、適切な委託ができた」、「事業の実施にあたり、関係者(都道府県・国保連合会)にデータヘルス計画を説明し、協議を実施した」が多く挙げられた。

図表2-39 ストラクチャー評価について(複数回答)  
<事業評価している広域連合>

(n=28)



### ■その他の主な内容

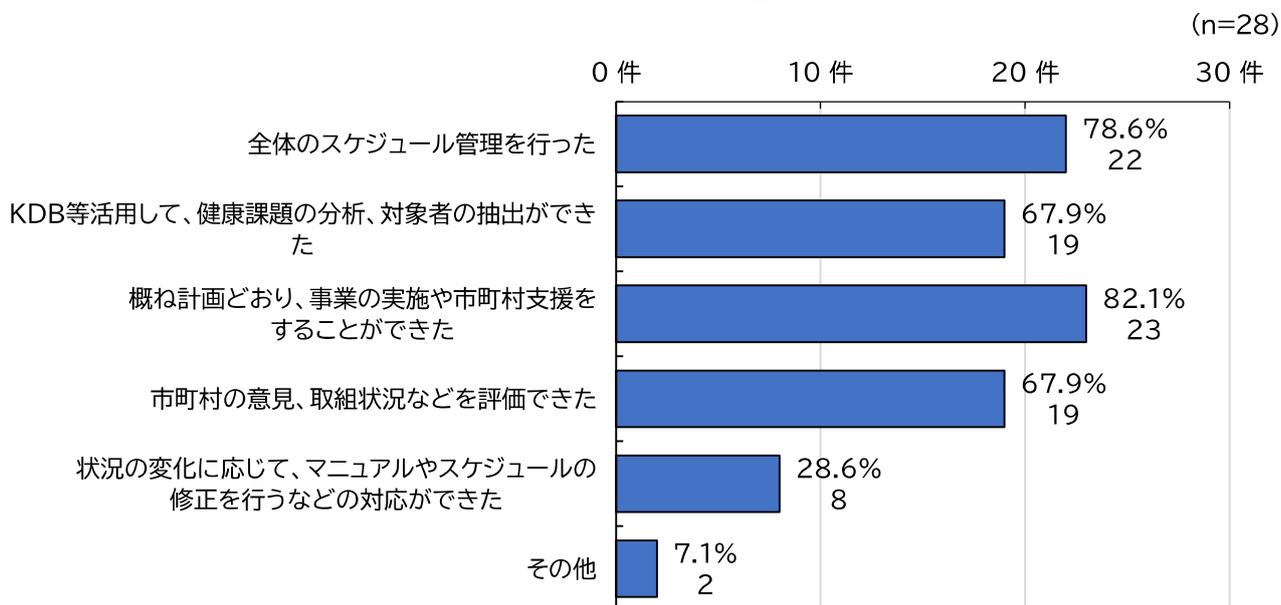
- ・ 実施予定市町村に係る必要な財源を確保

## 【令和6年度 広域連合】

Q17-2. 広域連合による事業評価で、昨年度実施したプロセス評価について、当てはまるものをお答えください。  
(複数回答)

- 「概ね計画どおり、事業の実施や市町村支援をすることができた」、「全体のスケジュール管理を行った」が多く挙げられた。

図表2-40 プロセス評価について（複数回答）  
<事業評価している広域連合>



### ■その他の主な内容

- ・ 事業実施の参考となるような薬剤師会等の講演や意見交換等を行った

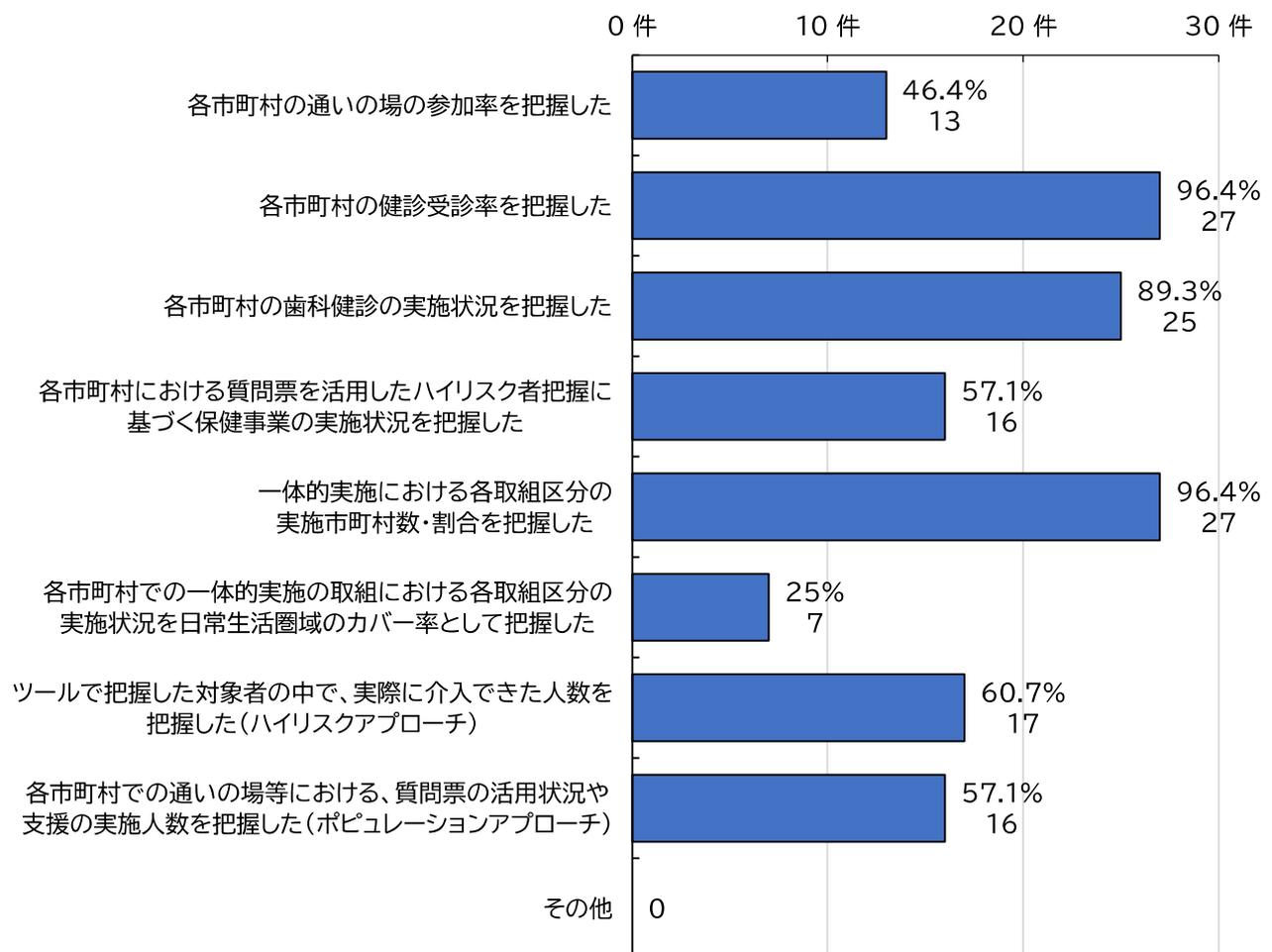
## 【令和6年度 広域連合】

Q17-3. 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトプット評価について、当てはまるものをお答えください。(複数回答)

- 「各市町村の健診受診率を把握した」、「一体的実施における各取組区分の実施市町村数・割合を把握した」、「各市町村の歯科健診の実施状況を把握した」、が多く挙げられた。

図表2-41 アウトプット評価について（複数回答）  
 <事業評価している広域連合>

(n=28)

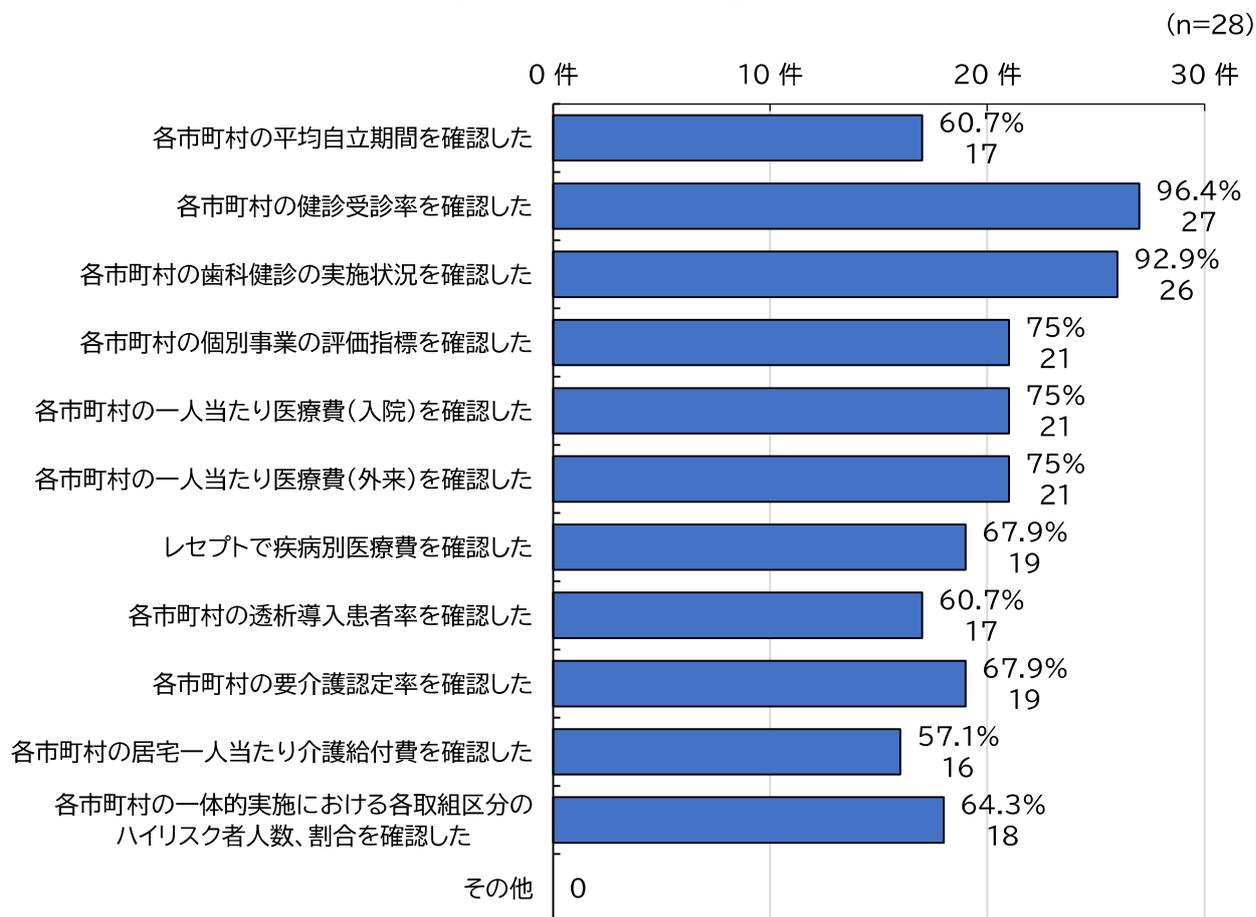


## 【令和6年度 広域連合】

Q17-4. 広域連合による事業評価で、昨年度実施したアウトカム評価について、当てはまるものをお答えください。(複数回答)

- アウトカム評価について、「各市町村の健診受診率を確認した」と「各市町村の歯科検診の実施状況を確認した」が多く挙げられた。

図表2-42 アウトカム評価について（複数回答）  
 <事業評価している広域連合>



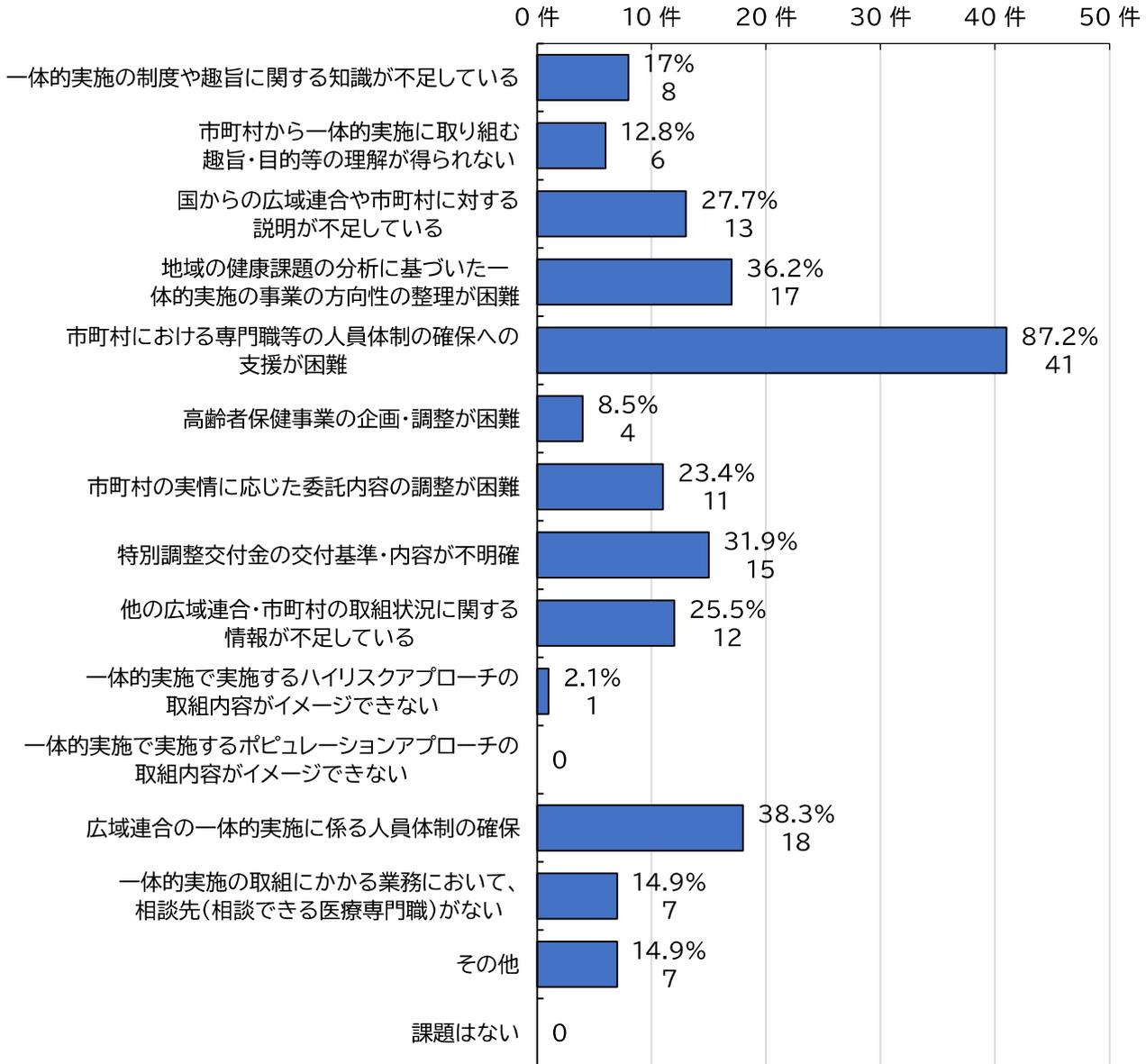
# 【令和6年度 広域連合】

Q18. i) 一体的実施に取り組むに当たって、広域連合として課題となっていることをお答えください。(複数回答)

- 一体的実施における広域連合としての課題として「市町村における専門職等の人員体制の確保への支援が困難」が最も多く挙げられた。

図表2-43 一体的実施における広域連合としての課題（複数回答）

(N=47)



## ■その他の主な内容

- ・ 費用対効果の測定・事業評価のためのエビデンスが不足
- ・ 被保険者への広報が難しい
- ・ 単年での成果が出にくく、長期のアウトカム指標が立てにくい
- ・ 広域連合職員の地域支援事業の知識不足

等

## 【令和6年度 広域連合】

Q19. ii) 一体的実施に取り組むに当たっての課題解決に向けて行っている取組について、具体的にお答えください。

### ■各項目における取組の主な内容

#### ○一体的実施の制度や趣旨に関する知識が不足している

- ・ 企画・調整担当者の会議を開催、説明を実施(2件)
- ・ 一体的実施の担当者だけでなく、次長、班長、班員が個別ヒアリングに同行
- ・ 研修等への参加(3件)

#### ○市町村から一体的実施に取り組む趣旨・目的等の理解が得られない

- ・ 研修会や訪問による説明(3件)
- ・ 未実施町村に直接伺い、ヒアリングをして一体的の目的を現状にすり合わせしながら説明を実施

#### ○国からの広域連合や市町村に対する説明が不足している

- ・ 意見交換会において厚生局に説明を依頼
- ・ 国への要望提出(2件)
- ・ ガイドラインや交付要件等を熟読し、広域連合から市町村に説明及び質問に可能な限り回答できるよう準備(2件)

#### ○地域の健康課題の分析に基づいた一体的実施の事業の方向性の整理が困難

- ・ 市町に訪問し、ヒアリングを実施
- ・ KDB システムデータを分析し、市町村に情報提供
- ・ 市町を比較できるよう健康課題を提示し、市町担当者に取組依頼

#### ○市町村における専門職等の人員体制の確保への支援が困難

- ・ 事業者、関係団体等への業務委託を推奨(4件)
- ・ ポピュレーションアプローチにおける講師派遣等、関係団体への協力依頼(4件)
- ・ 県を通じて職能団体への協力を獲得
- ・ 好事例等の情報を提供(3件)
- ・ 人材確保を行う場合の経費を補助対象とする広域連合独自の補助金制度を実施

#### ○高齢者保健事業の企画・調整が困難

- ・ 企画・調整担当職員向けの研修会を実施
- ・ 各市町村の実施状況を横展開で情報提供

#### ○市町村の実情に応じた委託内容の調整が困難

- ・ 好事例の取り組み発表・紹介
- ・ 個別訪問支援等を行い、市町村の実情を把握して相談対応を実施
- ・ 市町村に現状データを提供し、取組む必要性が高い事業を提案

#### ○特別調整交付金の交付基準・内容が不明確

- ・ 厚生労働省・厚生局へ疑義照会を実施(9件)
- ・ 不明確な部分について、広域連合として取り扱いを指定(2件)
- ・ 交付要件を熟読し、担当者の理解を深化

#### ○他の広域連合・市町村の取組状況に関する情報が不足している

- ・ 厚生労働省が行っている研修会の事例発表で情報収集(3件)
- ・ 他の広域連合が集まる会議等にて情報収集(5件)

## 【令和6年度 広域連合】

- ・ 厚生労働省のホームページを参照(3件)

### ○一体的実施で実施するハイリスクアプローチの取組内容がイメージできない

- ・ 複数の領域でハイリスクの対象となる者へ複数の医療専門職が同時に訪問支援

### ○広域連合の一体的実施に係る人員体制の確保

- ・ 国保連合会への協力依頼
- ・ 人事担当へ人員拡充を提案(2件)
- ・ 委託可能な事業を委託
- ・ ハローワーク等へ求人募集(3件)

### ○一体的実施の取組にかかる業務において、相談先(相談できる医療専門職)がない

- ・ 先進他広域連合に積極的に問い合わせ
- ・ 都道府県の関係課や保健所へ協力を求め、連絡会を開催

等

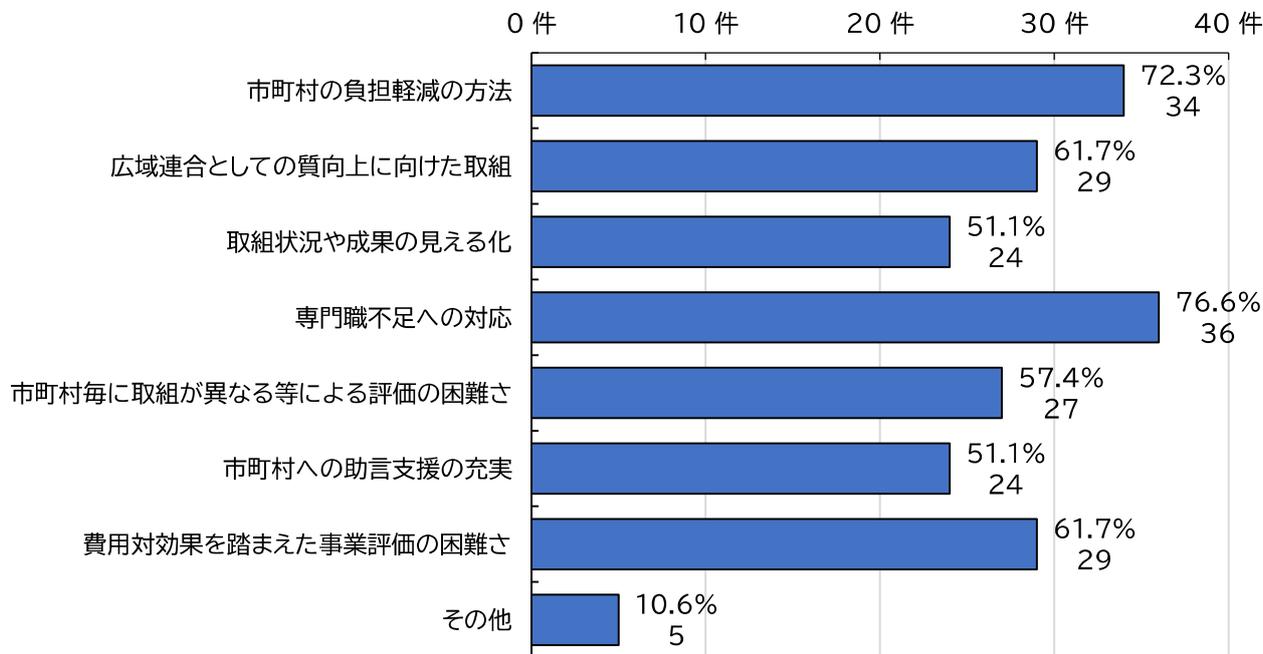
## 【令和6年度 広域連合】

Q20. 委託済市町村の支援にあたり、広域連合として課題となっていることをお答えください。(複数回答)

- 市町村の支援における広域連合としての課題として「専門職不足への対応」、「市町村の負担軽減の方法」が多く挙げられた。

図表2-44 委託済市町村の支援にあたっての課題（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 関係機関・関係団体との連携体制の構築
- ・ 交付上限を超えた人件費
- ・ 市町村のスキル向上に効果的な支援
- ・ 事業評価が難しく、事業の効果が確認しにくい

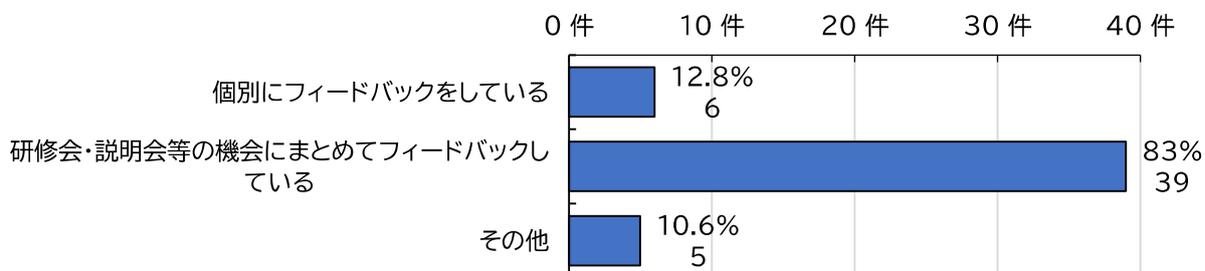
## 【令和6年度 広域連合】

Q21.広域連合として一体的実施を委託したことを年度単位で事業評価し、構成市町村に対しフィードバックをしていますか。(複数回答)

- 構成市町村へのフィードバックは「研修会・説明会等の機会にまとめてフィードバックしている」が多く挙げられた。

図表2-45 構成市町村に対するフィードバック（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

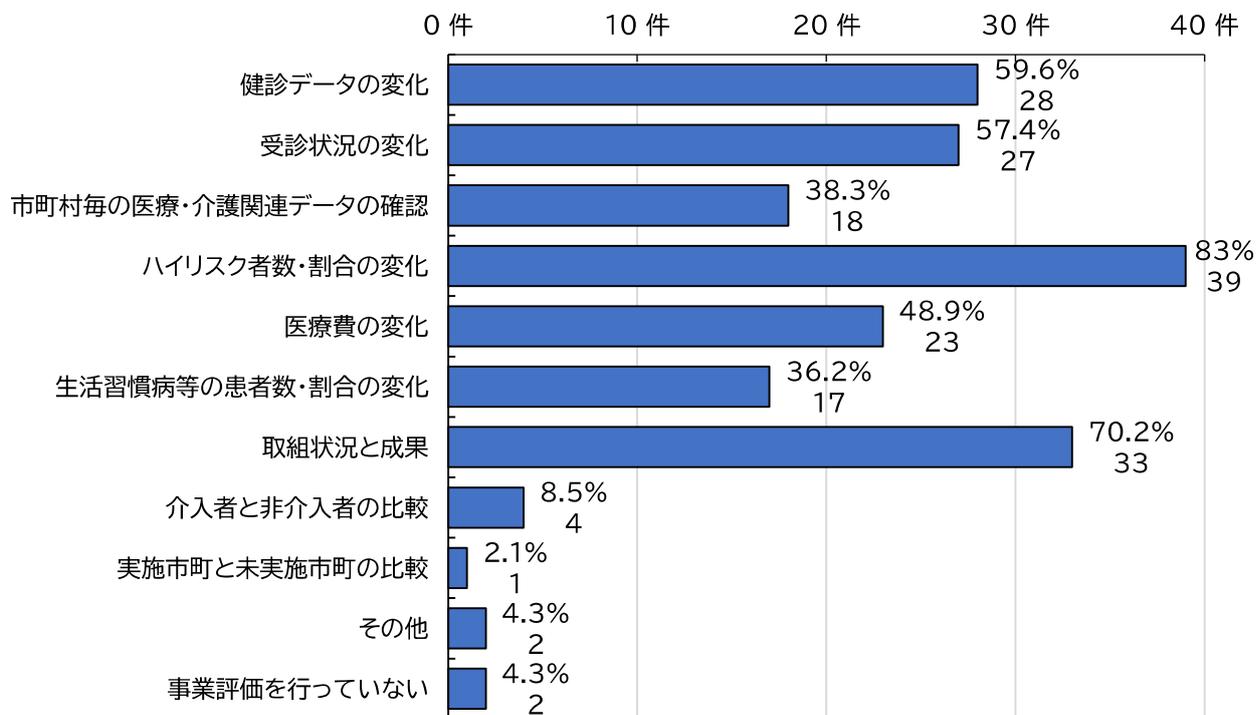
- ・ 個別事業評価を HP に掲載
- ・ フィードバックをしていない(4件)

Q22. 広域連合として行う具体的な事業評価方法についてお答えください。(複数回答)

- 広域連合として行う具体的な事業評価方法については、「ハイリスク者数・割合の変化」と「取組状況と成果」が多く挙げられた。

図表2-46 具体的な評価方法（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 事業実施市町村数
- ・ 取組事業数の変化

### 3. データヘルス計画の運用

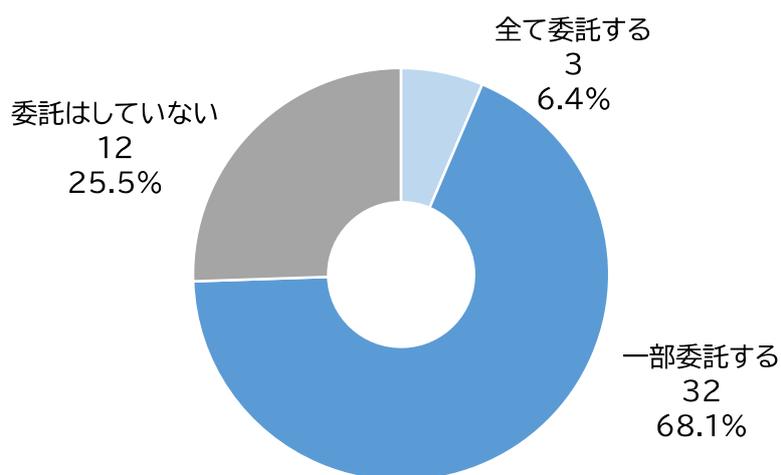
#### (1) 運用状況・策定時のプロセス

Q23.第3期データヘルス計画の策定について、下図のi～viiiにおける事業者等への委託の範囲(予定含む)をお答えください。

- 「全て委託する」が3件(6.4%)、「一部委託する」が32件(68.1%)、「委託はしていない」が12件(25.5%)であった。

図表3-1 委託の範囲

(N=47)



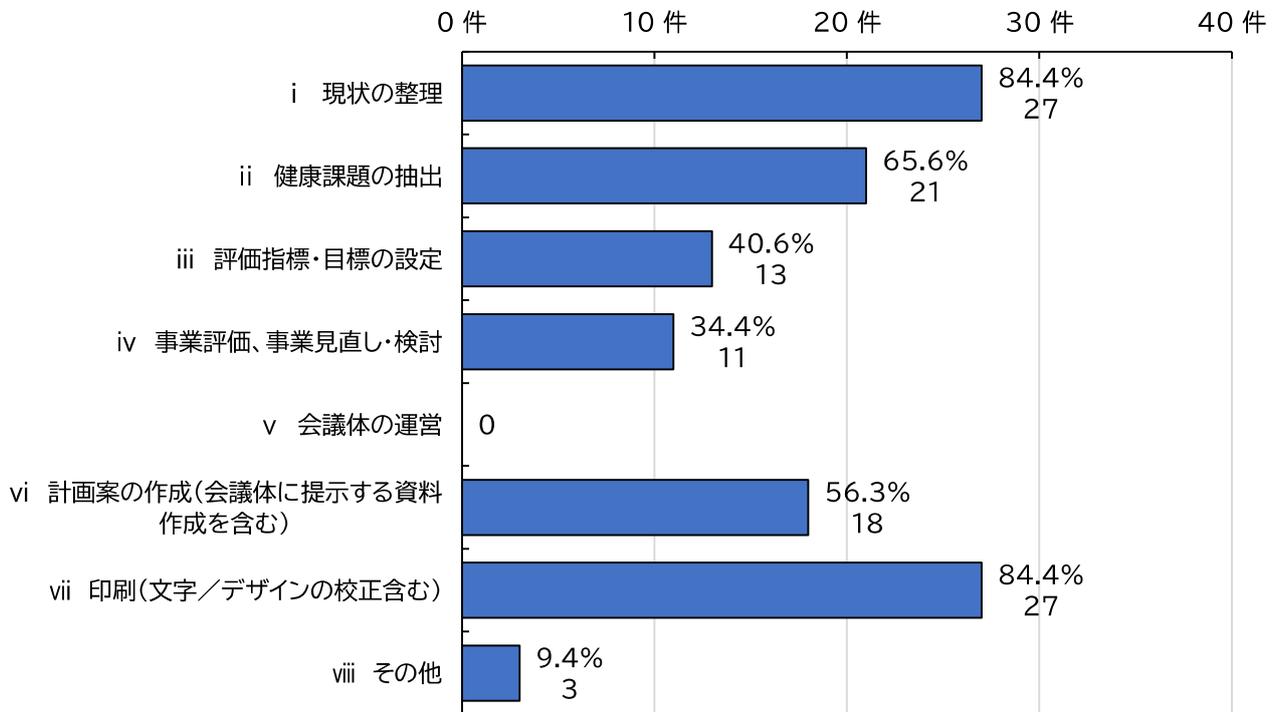
# 【令和6年度 広域連合】

Q23-1.事業者等へ委託している範囲を教えてください。(複数回答)

- 事業者等への委託の範囲は、「現状の整理」と「印刷」が多く挙げられた。

図表3-2 委託の範囲（複数回答）＜一部委託している広域連合＞

(n=32)



## ■その他の主な内容

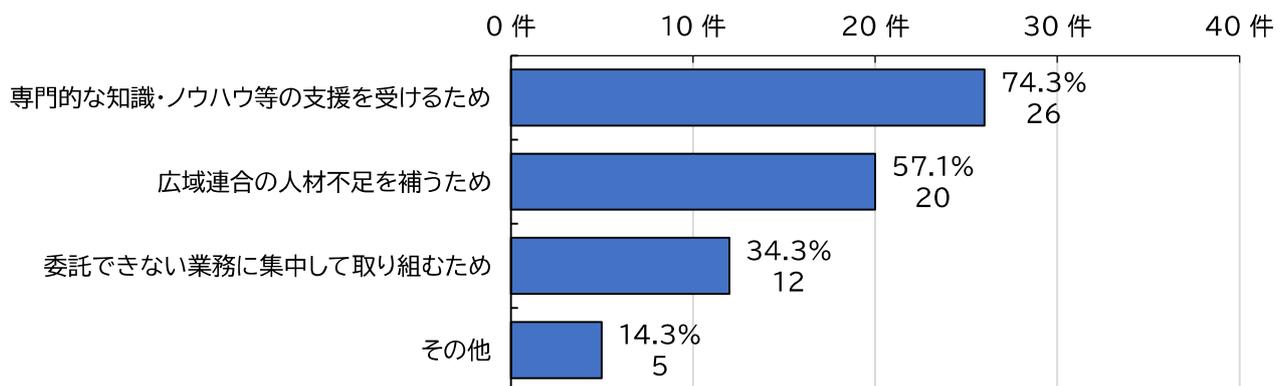
- ・ データ分析
- ・ 一部の医療費等分析に係るデータ抽出、グラフ化
- ・ i～iv、viiについての提案

Q23-2. 事業者等に委託した理由を教えてください。(複数回答)

- 委託の理由は「専門的な知識・ノウハウ等の支援を受けるため」と「広域連合の人材不足を補うため」が多く挙げられた。

図表3-3 委託の理由（複数回答）＜全てあるいは一部委託の場合＞

(n=35)



## 【令和6年度 広域連合】

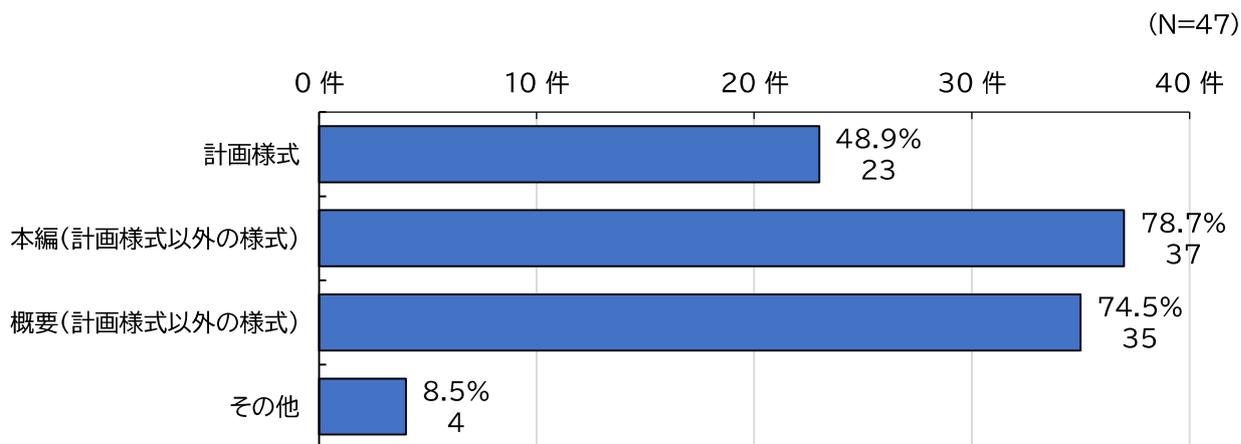
### ■その他の主な内容

- ・ 分析するデータ量が多く、広域連合では扱えないため
- ・ 医療と介護の分析、データ等の加工を要する専門的技術が必要なため
- ・ 第2期データヘルス計画が業者委託されており、それまでの分析結果等活用するため
- ・ 製本技術がないため
- ・ 保健事業に係るデータ分析を依頼するため

Q24.データヘルス計画として公表しているものをお答えください。(複数回答)

- データヘルス計画として公表しているのは「本編」と「概要」が多く挙げられた。

図表3-4 データヘルス計画として公表（複数回答）



### ■その他の主な内容

- ・ 医療費等の分析結果の資料
- ・ 策定に用いたデータ集
- ・ 資料編
- ・ 図表一覧

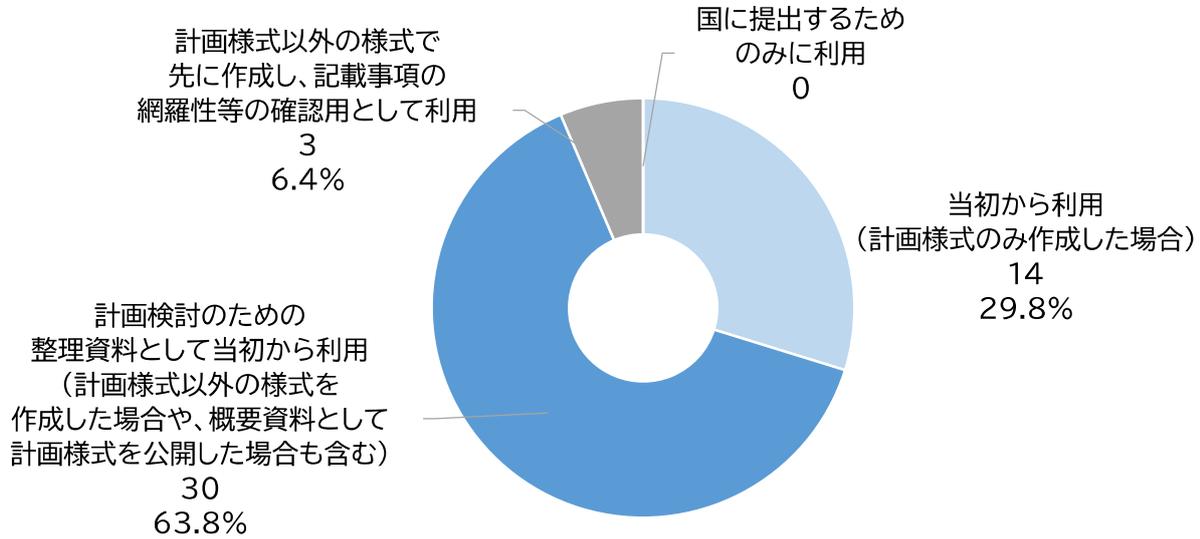
## 【令和6年度 広域連合】

Q25.データヘルス計画策定において、計画様式をどのように利用しましたか。

- 計画様式については、「計画検討のための整理資料として当初から利用」が30件(63.8%)であった。

図表3-5 データヘルス計画様式の利用方法

(N=47)

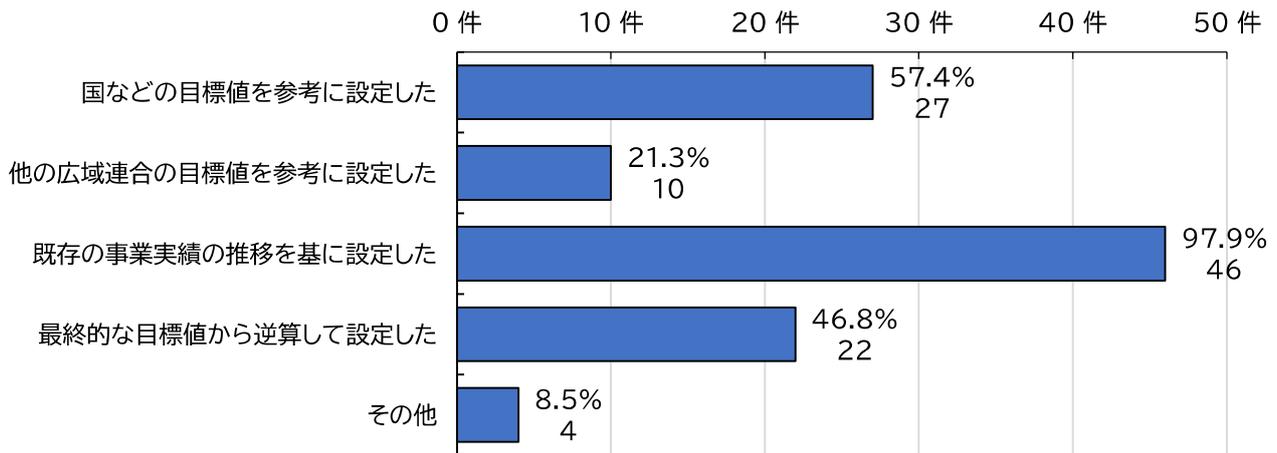


Q26.計画策定時、目標値の設定にあたって何を根拠に設定しましたか。(複数回答)

- 目標値の設定根拠として、「既存の事業実績の推移を基に設定した」が46件と最も多く、次いで「国などの目標値を参考に設定した」が27件と多かった。

図表3-6 計画策定時の目標値設定の根拠 (複数回答)

(N=47)



### ■その他の主な内容

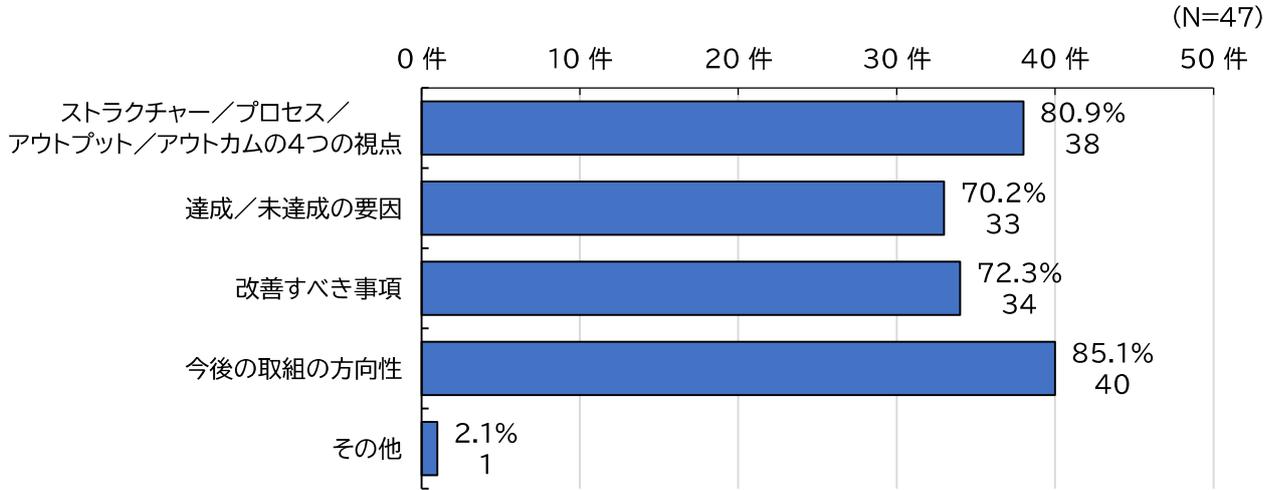
- ・ 支援評価委員会からの助言
- ・ 市町村への調査
- ・ 県の関連計画の目標値
- ・ 有識者からの意見

## 【令和6年度 広域連合】

Q27.計画の中間・最終評価では、どのような視点で評価を実施する予定ですか。(複数回答)

- 計画の中間・最終評価での視点は、「今後の取組の方向性」と「ストラクチャー／プロセス／アウトプット／アウトカムの4つの視点」が多く挙げられた。

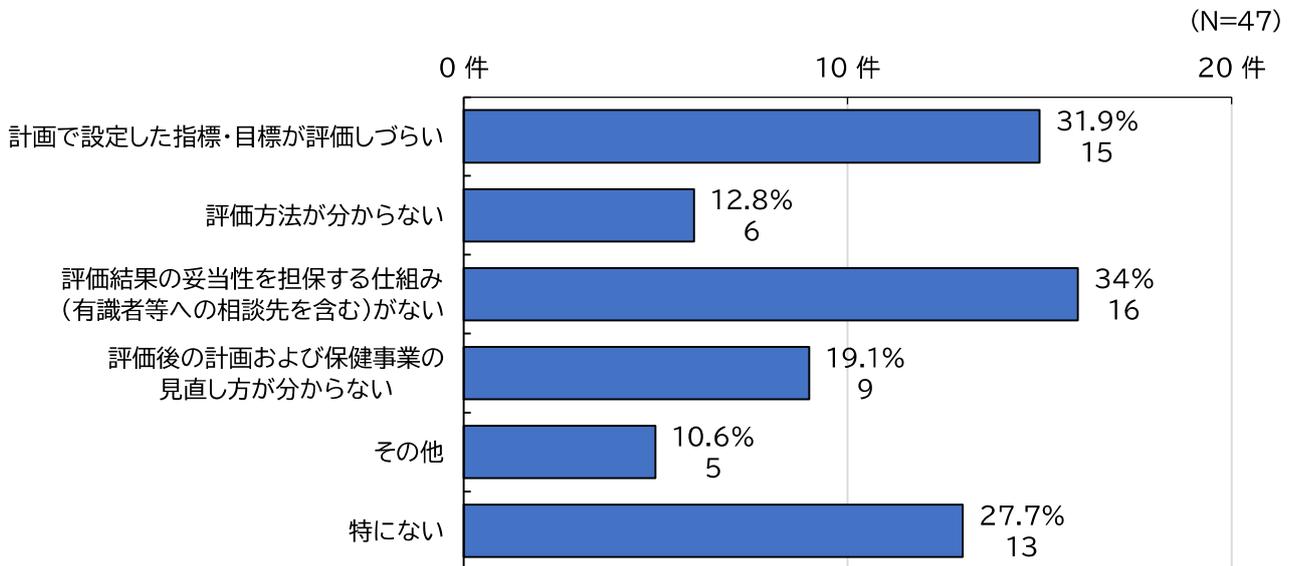
図表3-7 計画の中間・最終評価での視点 (複数回答)



Q28.計画の評価をするうえでの課題をお答えください。(複数回答)

- 計画評価時の課題として「評価結果の妥当性を担保する仕組みがない」と「計画で設定した指標・目標が評価しづらい」が多く挙げられた。

図表3-8 計画評価時の課題 (複数回答)



### ■その他の主な内容

- ・ 市町村の対象者の抽出基準が異なるため評価しづらい
- ・ 市町村間の格差がある
- ・ 健診受診率が低いので目標値の妥当性の判断が難しい
- ・ 項目により評価できる時期が異なり評価しづらい

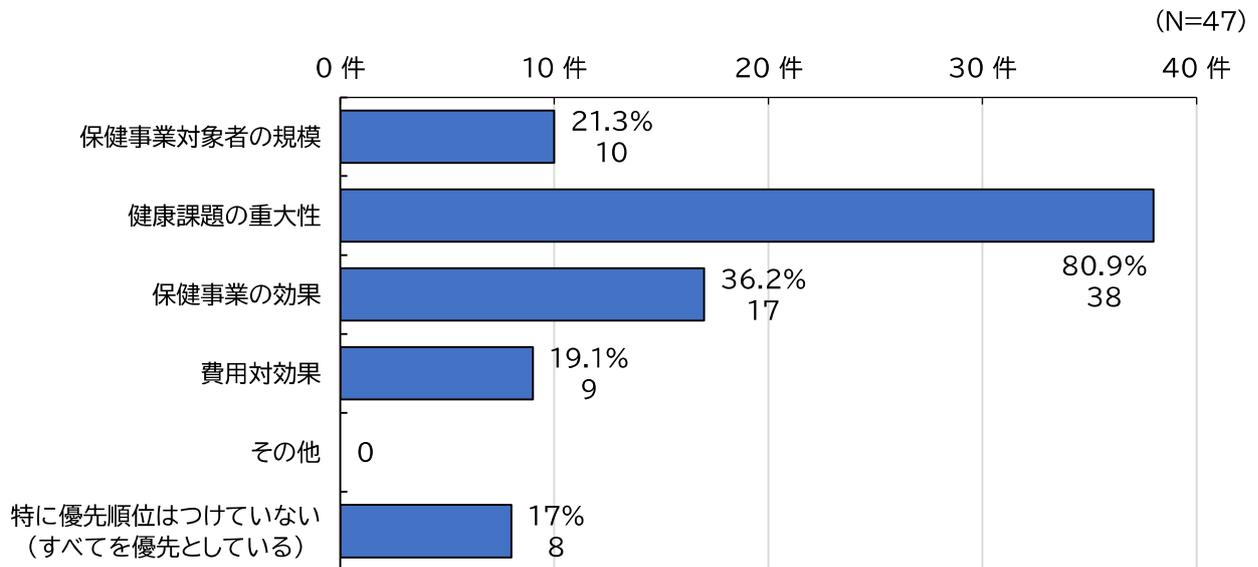
等

## 【令和6年度 広域連合】

Q29.計画に記載している保健事業について、優先順位を付ける際に考慮した点を教えてください。(複数回答)

- 優先順位をつける際に考慮した点として「健康課題の重大性」が多く挙げられた。

図表3-9 保険事業において優先順位の考慮点 (複数回答)

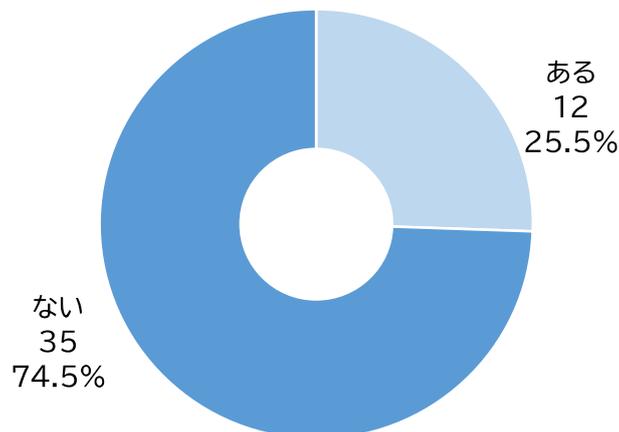


Q30. i)保健事業の優先順位をつけるうえでの課題はありましたか。

- 優先順位をつけるうえでの課題は「ある」が12件(25.5%)であった。

図表3-10 保健事業において優先順位づけ課題

(N=47)



## 【令和6年度 広域連合】

Q30-1. ii)課題があった場合、具体的にどのような課題がありましたか。(自由記述)

### ■課題の具体的な内容

- ・ 健康課題の優先順位、及び健康課題と保健事業の関係性の整理
- ・ 県内でも市町村により健康課題が異なる
- ・ 特定の取組を必須とするには市町への説明や準備が不十分
- ・ データ分析の結果から導き出される課題に対する取組を整備するには、マンパワー不足であり、十分な検討が困難
- ・ 保健事業の対象者抽出の基礎データになる健康診査及び歯科健康診査の受診率の低さ
- ・ 重要とされる健康課題に具体的な根拠が不足
- ・ 費用対効果などを考慮して優先順位を付けた結果、対策を講じることのできる課題は効果が上げやすいため優先となり、大きな課題の優先度が下がってしまう
- ・ 各市町村に重症化予防等の目標等があり、目標の設定が難しい

等

Q31. データヘルス計画の策定にあたり、前期計画から特に強化した保健事業があれば教えてください。(自由記述 ※任意回答)

### ■データヘルス計画の策定にあたり前期計画から特に強化した保健事業

- ・ 一体的実施事業 (11 件)
- ・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 (3 件)
- ・ 健康診査受診勧奨事業 (12 件)
- ・ 高齢者健診(みなし健診) 口腔機能低下防止対策
- ・ 歯科健康診査(口腔機能検査を含) (9 件)
- ・ オーラルフレイル対策事業 (8 件)

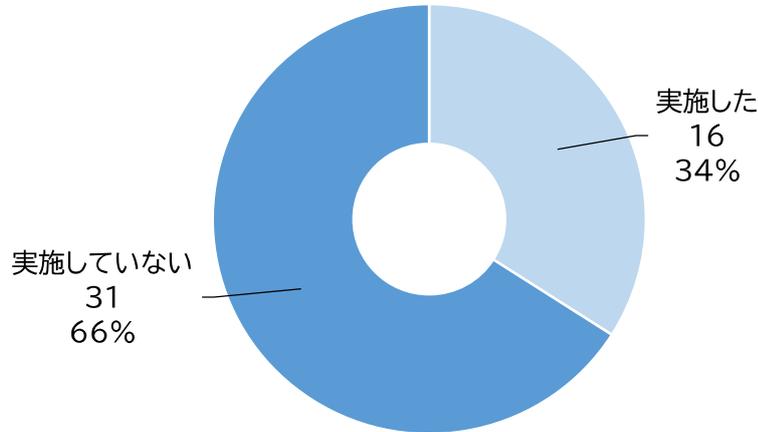
## 【令和6年度 広域連合】

Q32. i) データヘルス計画の策定にあたり、地域資源の把握・質的情報の分析を行いましたか。

- 地域資源の把握・質的情報の分析を「実施した」は16件(34%)であった。

図表3-11 地域資源の把握・質的情報の分析実施

(N=47)



Q32. ii) 実施した場合、分析・把握した内容を具体的に教えてください。(自由記述)

### ■実施した場合、分析・把握した内容

- ・ 医師会等の地域の医療関係団体と現状や課題等の情報共有を行い、個別保健事業の目標や実施内容に反映
- ・ 市町村訪問や市町村保健事業担当者連絡会議のグループワーク等を通じて、市町村の担当者から地域特有の疾病や施設の設置、利用状況、医療情報などを把握
- ・ 通いの場の状況の推移(2件)
- ・ パブリックコメントの募集(3件)
- ・ 調剤薬局に対し適正服薬指導の実情調査を行い、対象者への個別通知の効果について把握
- ・ 医療懇談会にて、より現実的な目標を設定
- ・ 後期高齢者に対しアンケート調査を実施し、普段の服薬状況や日常生活での行動を調査
- ・ データヘルス意見交換会の際に、市町村専門職より地域の状況について課題と感じていることや思いについて意見聴取

等

Q32. iii) 実施しなかった理由を具体的に教えてください。(自由記述)

### ■実施しなかった主な理由

- ・ 具体的な分析までは至っていない(3件)
- ・ 時間・人員の確保が困難(4件)
- ・ 地域資源や質的情報も様々であるため、独自で分析が困難
- ・ 数値では把握できないものであり、分析が困難
- ・ 必要性の認識・検討不足(3件)
- ・ 定量的データによる計画策定を実施
- ・ 直接地域や住民と接することが少なく、分析・活用が困難

等

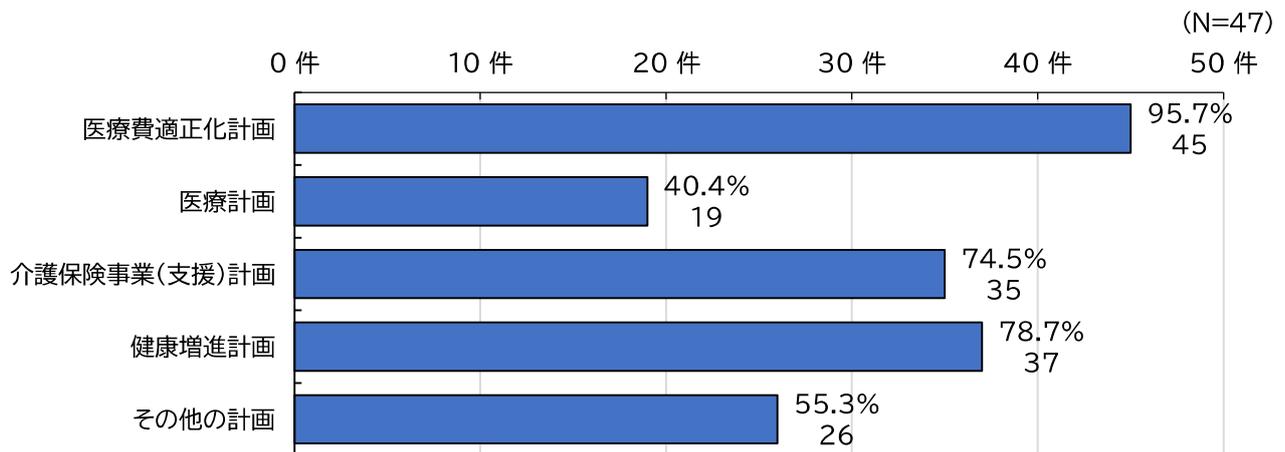
# 【令和6年度 広域連合】

## (2) 第3期データヘルス計画策定の振り返り

Q33.データヘルス計画策定にあたって整合性を図った”他の法定計画等”を教えてください。また、整合性を図ることで、データヘルス計画の記載事項で見直し(追加も含む)を行ったことがあれば、具体的に教えてください。(複数回答、具体的事項は自由記述 ※任意回答)

- 整合性を図った他の法定計画等は、「医療費適正化計画」、「健康増進計画」、「介護保険事業(支援)計画」が多く挙げられた。

図表3-12 整合性を図った他の法定計画等



### ■見直しを行った主な内容

#### ○医療費適正化計画

- ・ 後発医薬品使用促進事業におけるアウトカム評価指標の目標値について整合性を図った
- ・ 重複頻回受診者訪問指導事業を医薬品の適正使用に関する事業に再構築
- ・ 医療費の推移に関する見直し(2件)
- ・ 適正投薬の推進を盛り込んでおり、服薬の優先順位を上げた
- ・ 指標・目標を把握し整合性を確認、後期高齢者にかかる数値目標を入れる
- ・ 透析関連について方向性等の整合性を確認
- ・ 計画照会時に意見の整合を確認
- ・ 医療費適正化計画の掲載データをデータヘルス計画にも掲載し、医療に関する分析を実施

#### ○医療計画

- ・ 計画照会時に意見の整合を確認

#### ○介護保険事業(支援)計画

- ・ 通いの場の参加率の都道府県数値を確認
- ・ 要介護認定率や通いの場の参加割合を新たに盛り込んだ
- ・ 計画照会時に意見の整合を確認

#### ○健康増進計画

- ・ 介護予防と認知症に対する理解と対応を政策としてあげ、達成できるよう原因疾患の生活習慣病(糖尿病、高血圧)に対する取り組みとフレイル対策を推進
- ・ 口腔健診のデータが反映されるよう情報提供
- ・ 計画照会時に意見の整合を確認

#### ○その他の計画

## 【令和6年度 広域連合】

- ・ 市町データヘルス計画において、生活習慣病の発症および重症化予防をきっかけ、一体的実施でも継続した介入ができるよう協働・連携体制を構築
- ・ 市町村の国保連合会のデータヘルス計画策定に反映されるよう情報提供

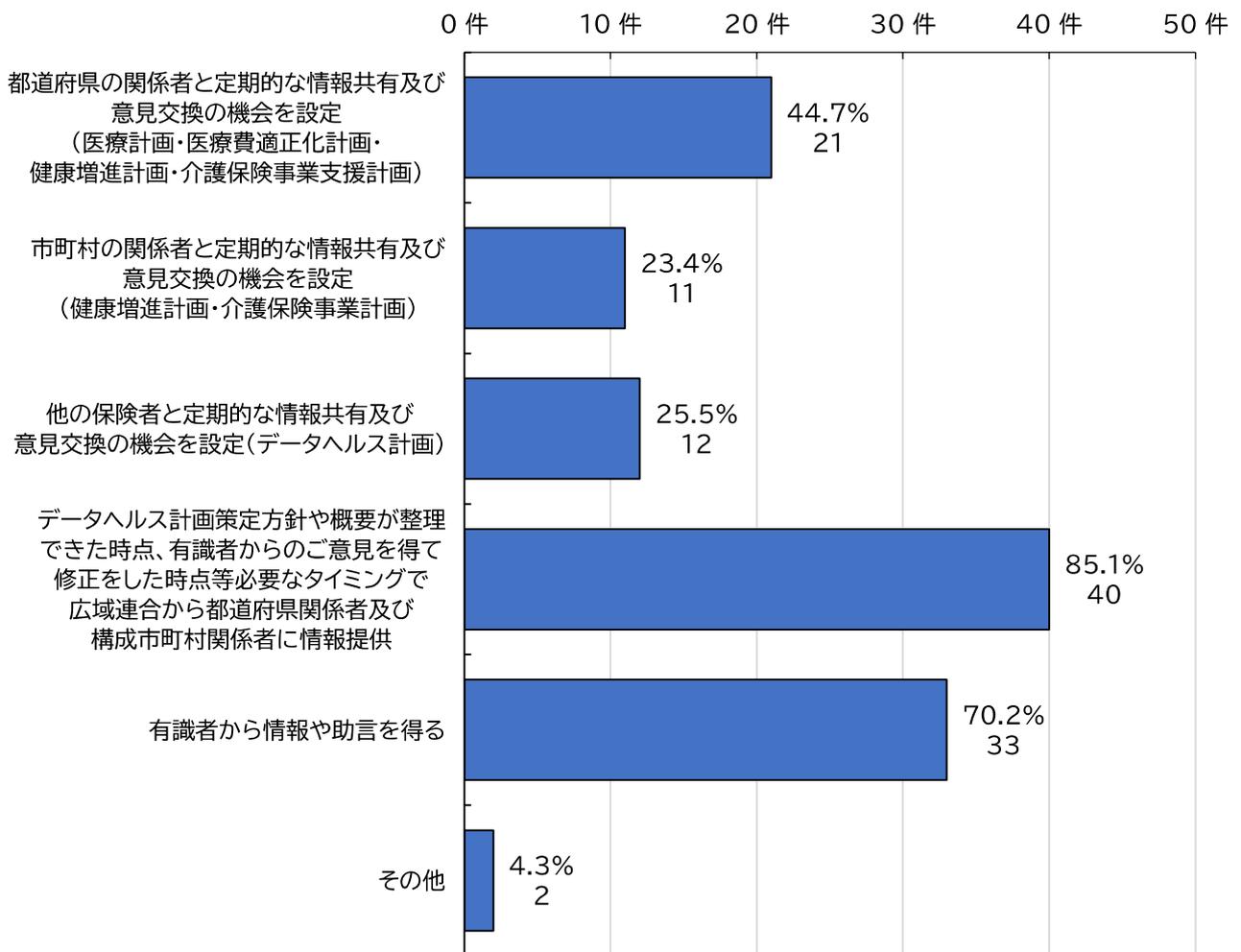
等

Q34. 第3期データヘルス計画を策定するにあたっては、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮することとされていますが、具体的にどのような取組をしていましたか。(複数回答)

- 第3期データヘルス計画と他の保健医療関係の計画との整合性を取るうえで考慮していることとして「データヘルス計画策定方針や概要が整理できた時点、有識者からのご意見を得て修正をした時点等必要なタイミングで広域連合から都道府県関係者及び構成市町村関係者に情報提供」が最も多く挙げられた。
- 次に「有識者から情報や助言を得る」が多く挙げられた。

図表3-13 他の保健医療関係の計画との整合性考慮のための取組み（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 電話等で県担当者に確認
- ・ 計画素案の段階で県内市町村や県を対象として意見募集を実施

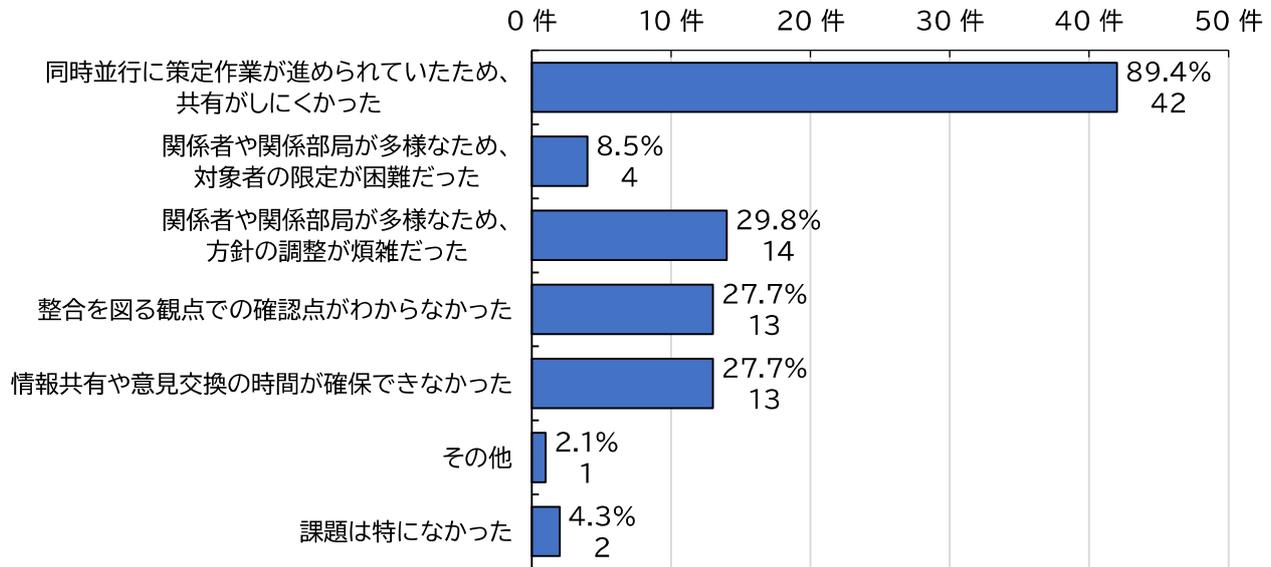
## 【令和6年度 広域連合】

Q35. 第3期データヘルス計画を策定する際、他の保健医療関係の計画との整合性を考慮するにあたっての課題はありますか。(複数回答)

- 他の保健医療関係の計画との整合性を考慮するにあたっての課題は、「同時並行に策定作業が進められていたため、共有がしにくかった」が最も多く挙げられた。

図表3-14 他の保健医療関係の計画との整合性を考慮するにあたっての課題（複数回答）

(N=47)

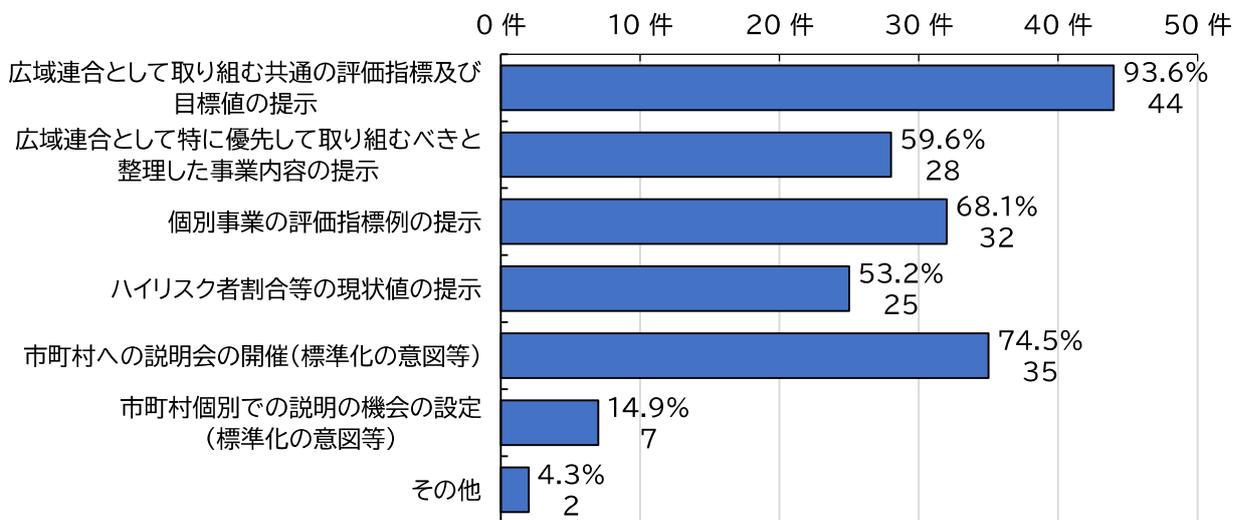


Q36. 第3期データヘルス計画の策定段階において、構成市町村の保健事業を標準化するにあたり、広域連合としてどのような取組を行っていましたか。(複数回答)

- 構成市町村の保健事業の標準化にむけて広域連合で行っている取組として「広域連合として取り組む共通の評価指標及び目標値の提示」が最も多く挙げられた。

図表3-15 構成市町村の保健事業を標準化のための取組（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 一体的実施事業における企画調整担当者会での説明
- ・ 全市町村および都道府県に対して計画素案を参考配布

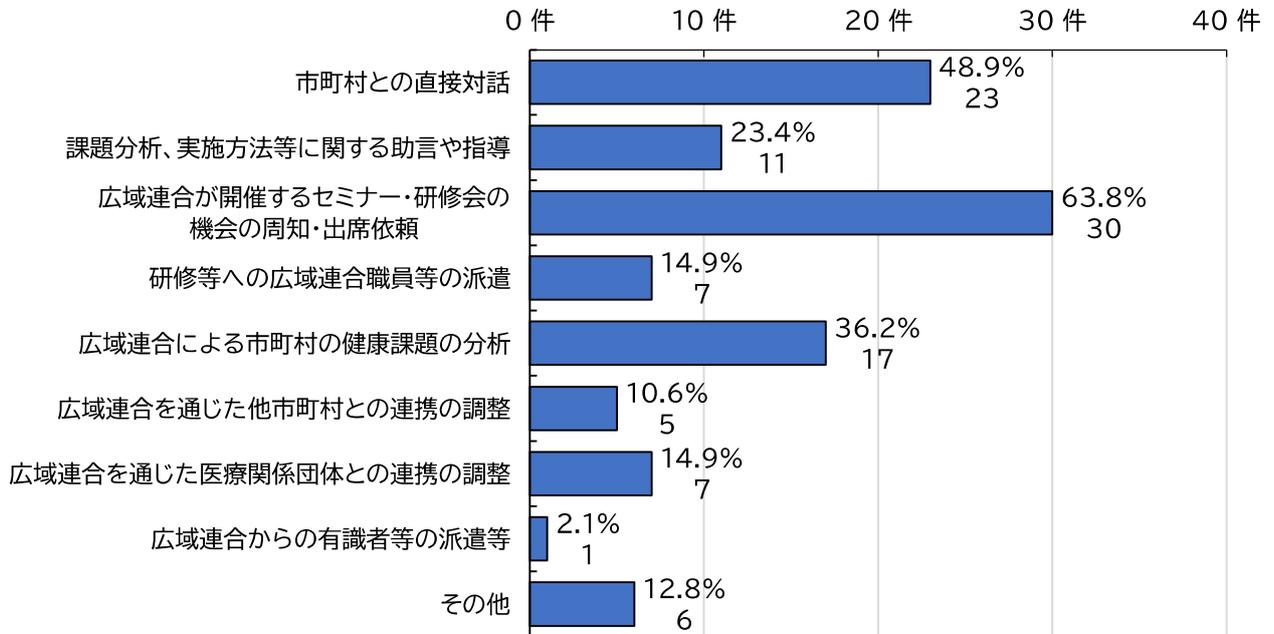
## 【令和6年度 広域連合】

Q37. 第3期データヘルス計画の策定にあたり、広域連合の方針等の理解を促すため、市町村に対してどのような取組を実施しましたか。(複数回答)

- 広域連合の方針等の理解を促すために行われている取組として「広域連合が開催するセミナー・研修会の機会の周知・出席依頼」が最も多く挙げられた。

図表3-16 広域連合の方針理解のための市町村への取組（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 会議等にて計画の説明や意見聴取
- ・ HP 等での意見募集
- ・ 計画案の提示・意見照会
- ・ 市町村との会議及び書面等での説明
- ・ 県内全市町村の会議にて計画策定の手引きについて説明
- ・ 市町対象の研修会開催

# 【令和6年度 広域連合】

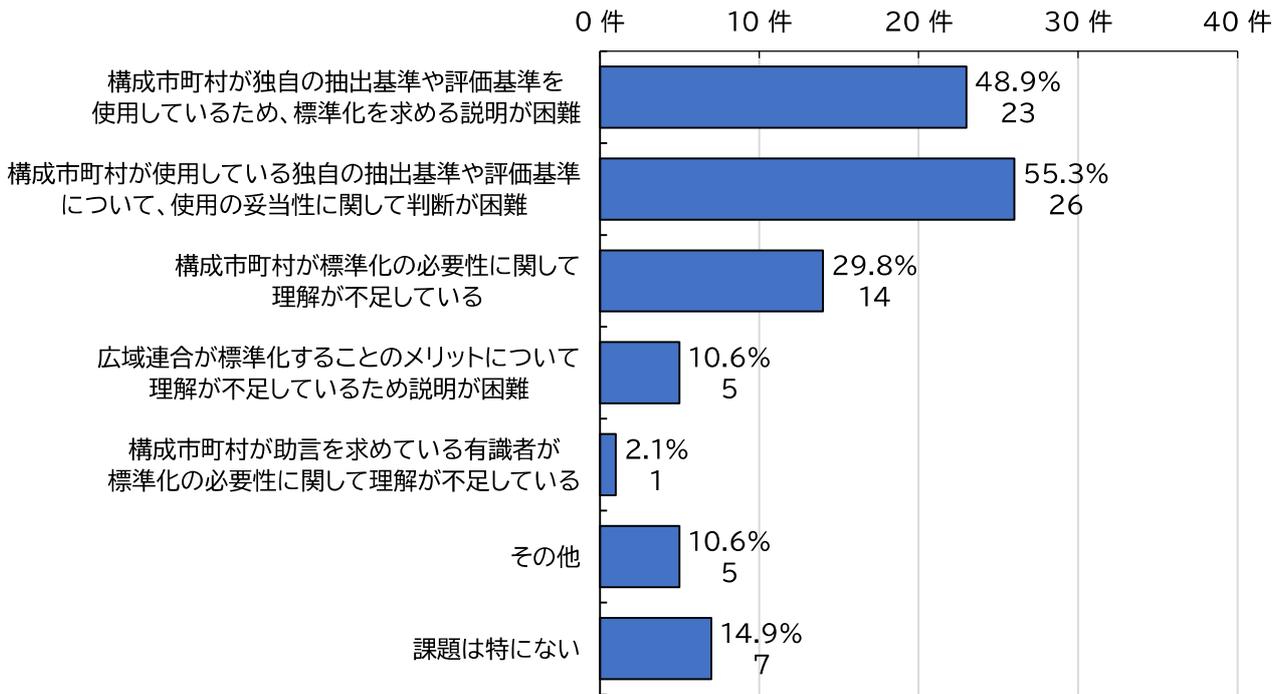
## (3) 第3期データヘルス計画の標準化・他計画との調整

Q38. 第3期データヘルス計画により、広域連合内で標準化を進めていくにあたってどのような課題があると考えていますか。(複数回答)

- 広域連合内で標準化を進めるうえでの課題として「構成市町村が独自の抽出基準や評価基準を使用しているため、標準化を求める説明が困難」が最も多く挙げられた。

図表3-17 広域連合内で標準化を進めるにあたっての課題（複数回答）

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ データ不完全な市町村がある中での KDB を用いたデータ分析
- ・ 標準化に関し説明する広域連合からの機会の設定
- ・ マンパワー不足
- ・ 市町村の実施状況が標準化された指標に当てはめにくい場合があり、指標の取り扱いを検討する必要あり
- ・ 各市町村の取組状況による推進状況のばらつきを踏まえた支援の困難さ

# 【令和 6 年度 広域連合】

Q39. 標準化を進めるにあたっての課題について、国や国保連合会、都道府県、有識者等により必要な支援がある場合は、誰にどのような支援をしてもらいたいのか具体的に記載ください。(自由記述 ※任意回答)

## ■国や国保連合会、都道府県、有識者等に具体的に支援してもらいたい内容

### ○国、国保連合会

- ・ 標準化の周知、必要性の説明(4 件)
- ・ 健診時の質問票の使用を必須とする仕組みへ変更
- ・ 市町村への具体的な保健事業の説明
- ・ 市町への KDB 活用支援ツール等の普及
- ・ 対象者について研修会の動画で印象に残るように説明

### ○都道府県

- ・ 標準化の周知、必要性の説明(3件)
- ・ 市町村への具体的な保健事業の説明

### ○有識者等

- ・ 標準化の周知、必要性の説明 (2件)
- ・ 各取組の成果分析の支援

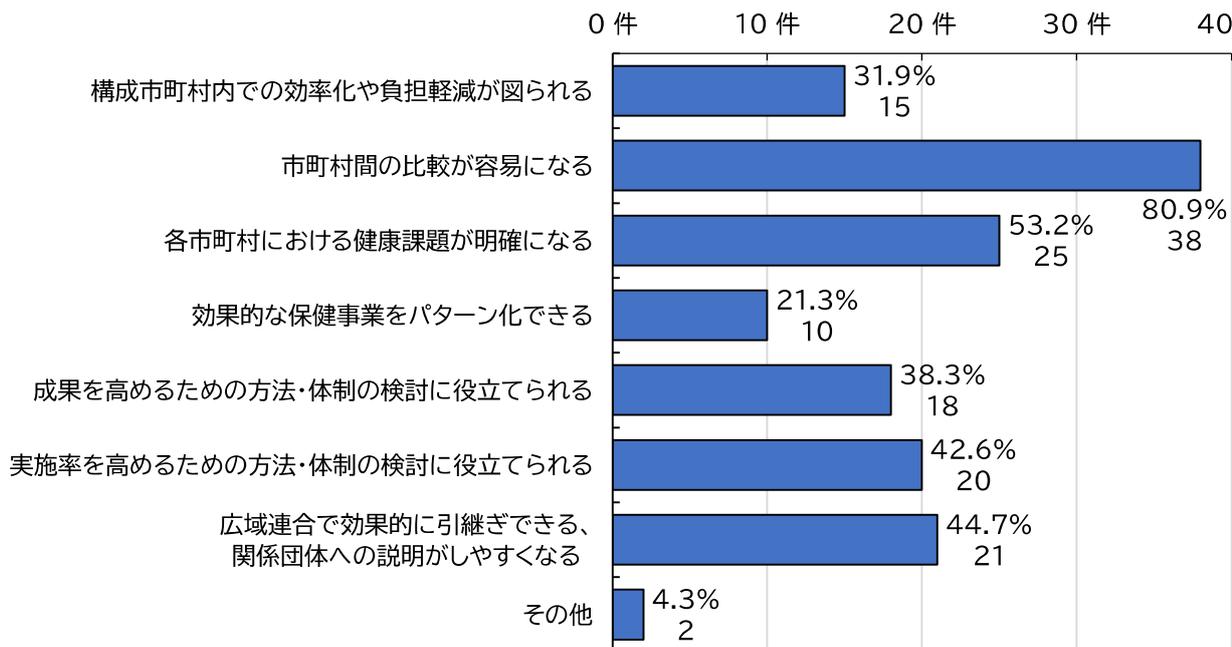
等

Q40. 第 3 期データヘルス計画の標準化を進めることにより、広域連合ではどのような効果を期待していますか。(複数回答)

- 第 3 期データヘルス計画の標準化を進めることにより期待される効果として「市町村間の比較が容易になる」が最も多く挙げられた。

図表3-18 データヘルス計画の標準化により期待している効果 (複数回答)

(N=47)



# 【令和6年度 広域連合】

## ■その他の主な内容

- ・ 他広域連合との比較が可能になる

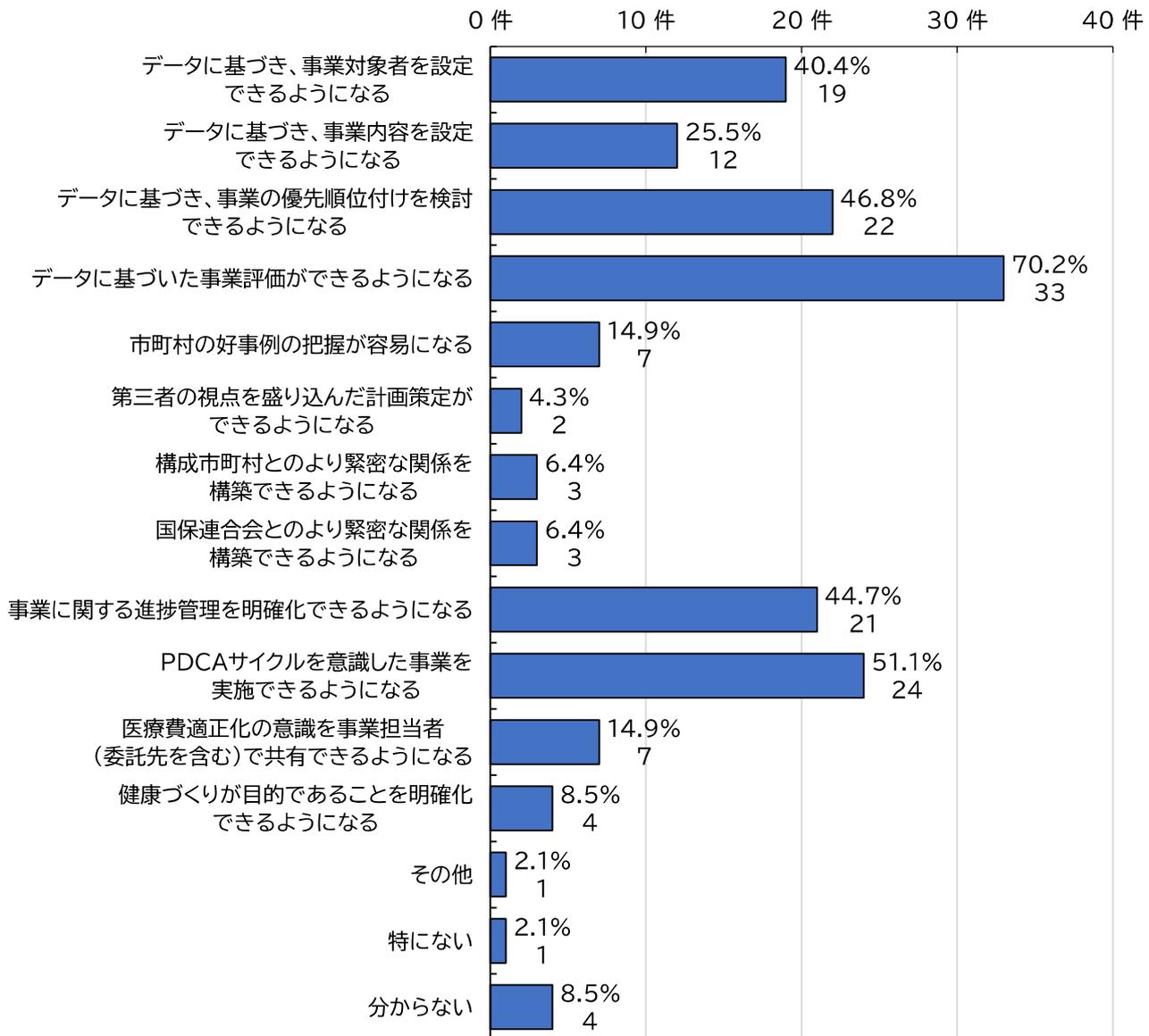
等

Q41. データヘルス計画の策定【特に標準化】によって見込まれる変化について、お答えください。(複数回答)

- データヘルス計画の策定【特に標準化】によって見込まれる変化について、「データに基づいた事業評価ができるようになる」が最も多く挙げられた。

図表3-19 データヘルス計画の策定により見込まれる変化（複数回答）

(N=47)



## ■その他の主な内容

- ・ 市町村間の比較が容易になる

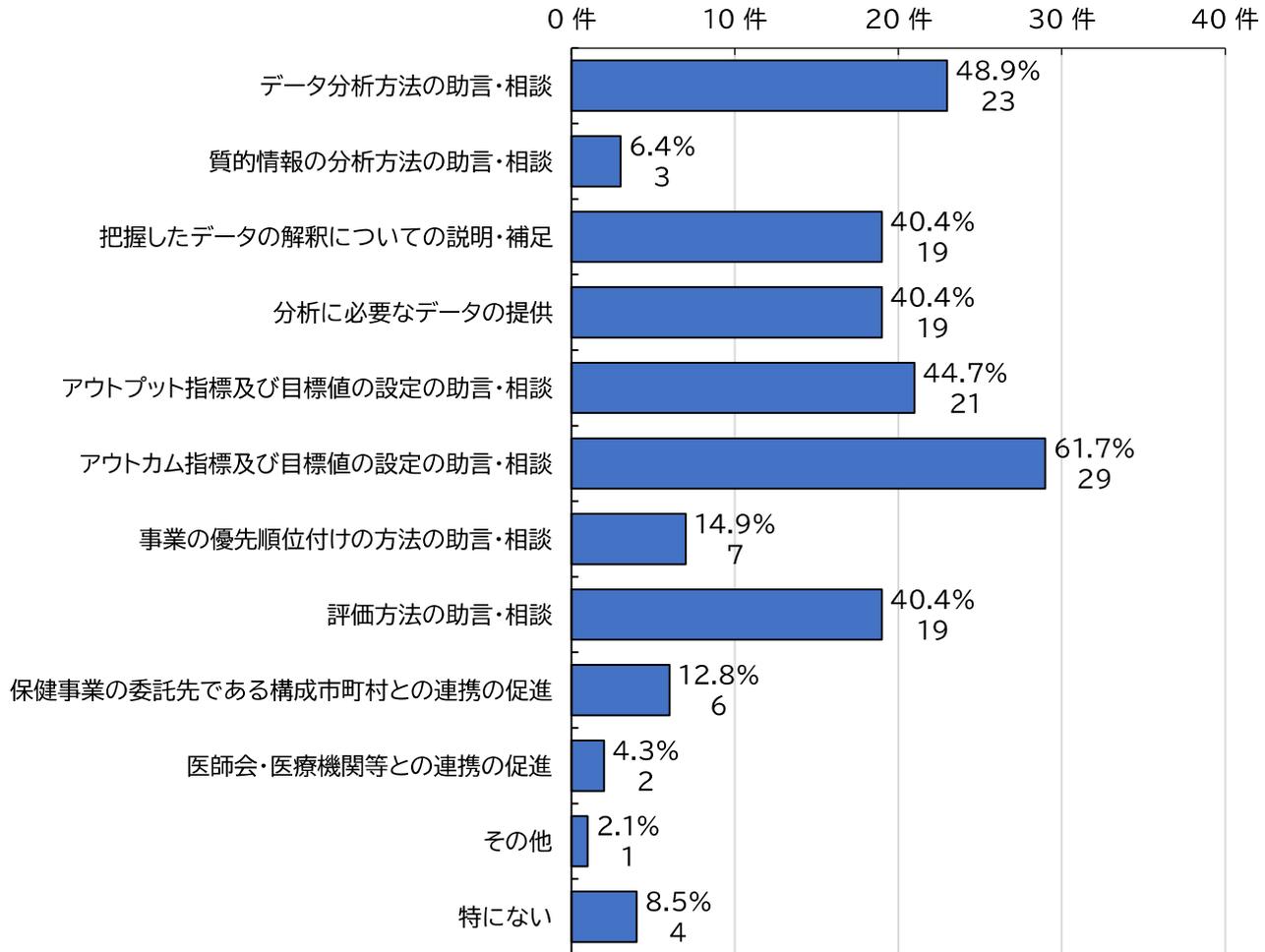
# 【令和6年度 広域連合】

Q42. データヘルス計画を策定する際に、受けた支援内容を教えてください。(複数回答)

- データヘルス計画を策定する際に、受けた支援内容として、「アウトカム指標及び目標値の設定の助言・相談」が最も多く挙げられた。

図表3-20 データヘルス計画の策定の際の支援内容（複数回答）

(N=47)



## ■その他の主な内容

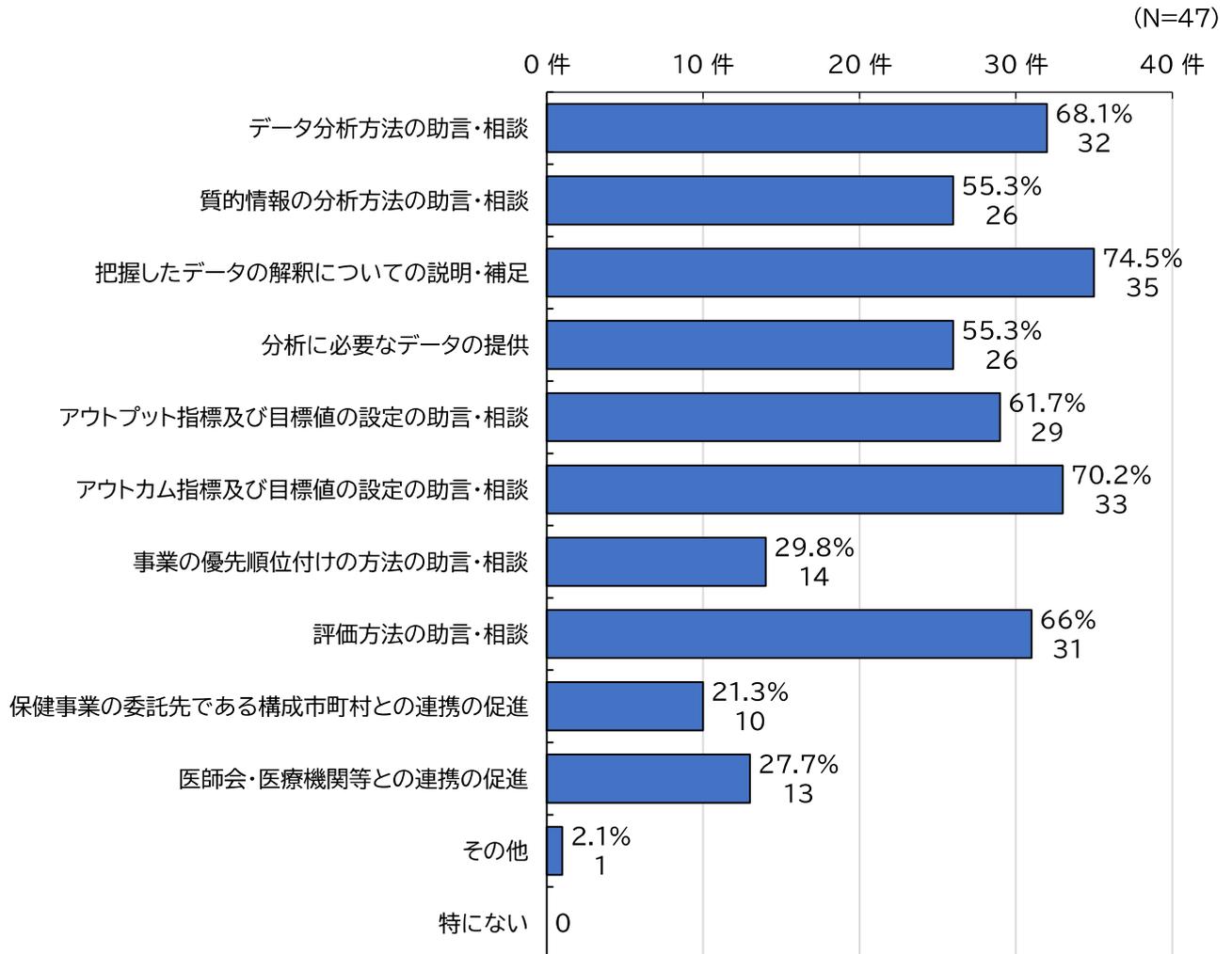
- ・ 計画案の妥当性

## 【令和6年度 広域連合】

Q43. 今後の中間見直しや次期データヘルス計画を策定するうえで、支援を受けたい内容を教えてください。(複数回答)

- 今後の中間見直しや次期データヘルス計画を策定するうえで、支援を受けたい内容として、「把握したデータの解釈についての説明・補足」が最も多く挙げられた。

図表3-21 データヘルス計画の策定の際に受けたい支援内容（複数回答）



### ■その他の主な内容

- ・ 共通評価指標にもとづく全国の数値の一覧

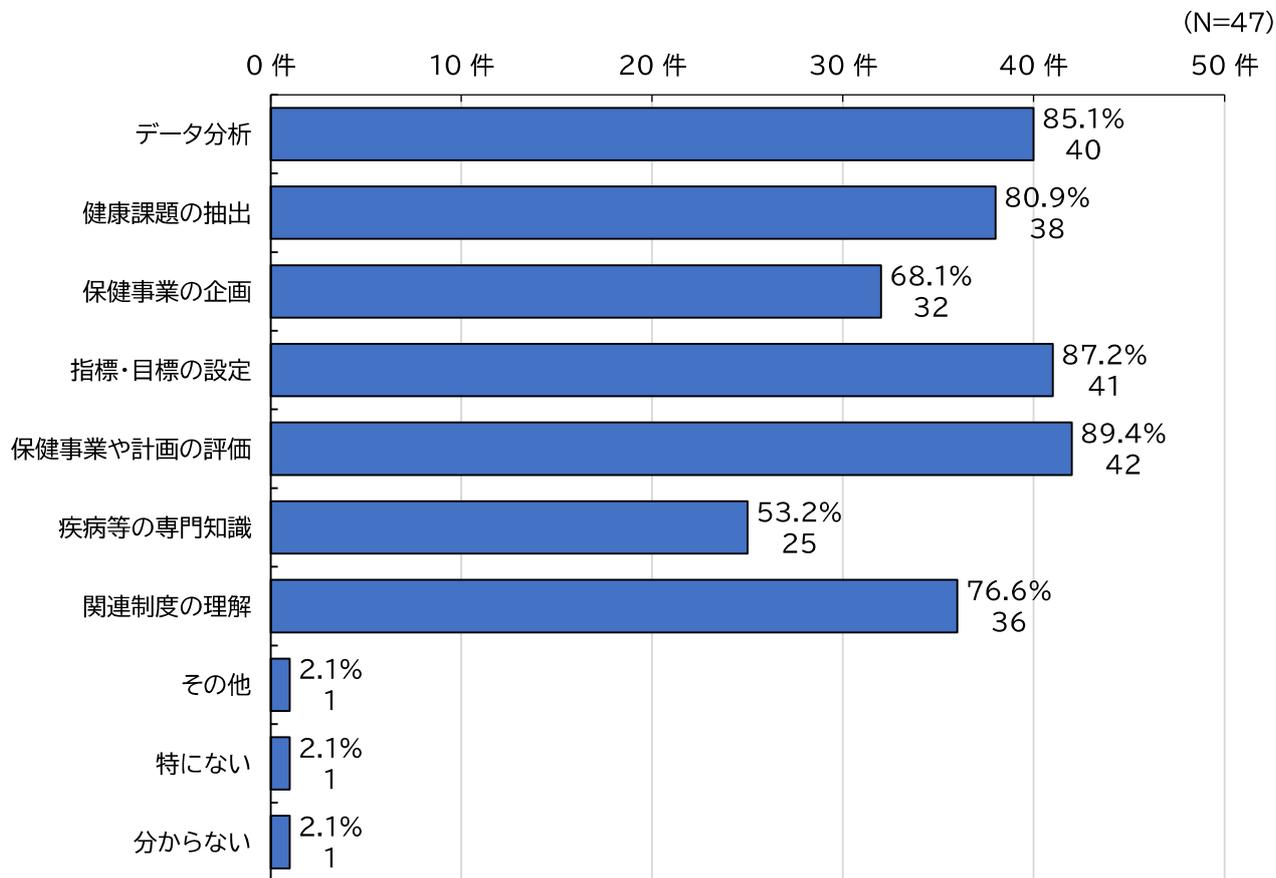
## 【令和6年度 広域連合】

### (4) 第3期データヘルス計画策定に関連した支援・スキル

Q44. データヘルス計画の策定のために、広域連合の担当職員にはどのようなスキルが必要だと考えますか。(複数回答)

- 担当職員に必要なスキルとして「保健事業や計画の評価」が最も多く挙げられた。
- 次いで、「指標・目標の設定」と「データ分析」が多く挙げられた。

図表3-22 担当職員に必要なスキル (複数回答)



#### ■その他の主な内容

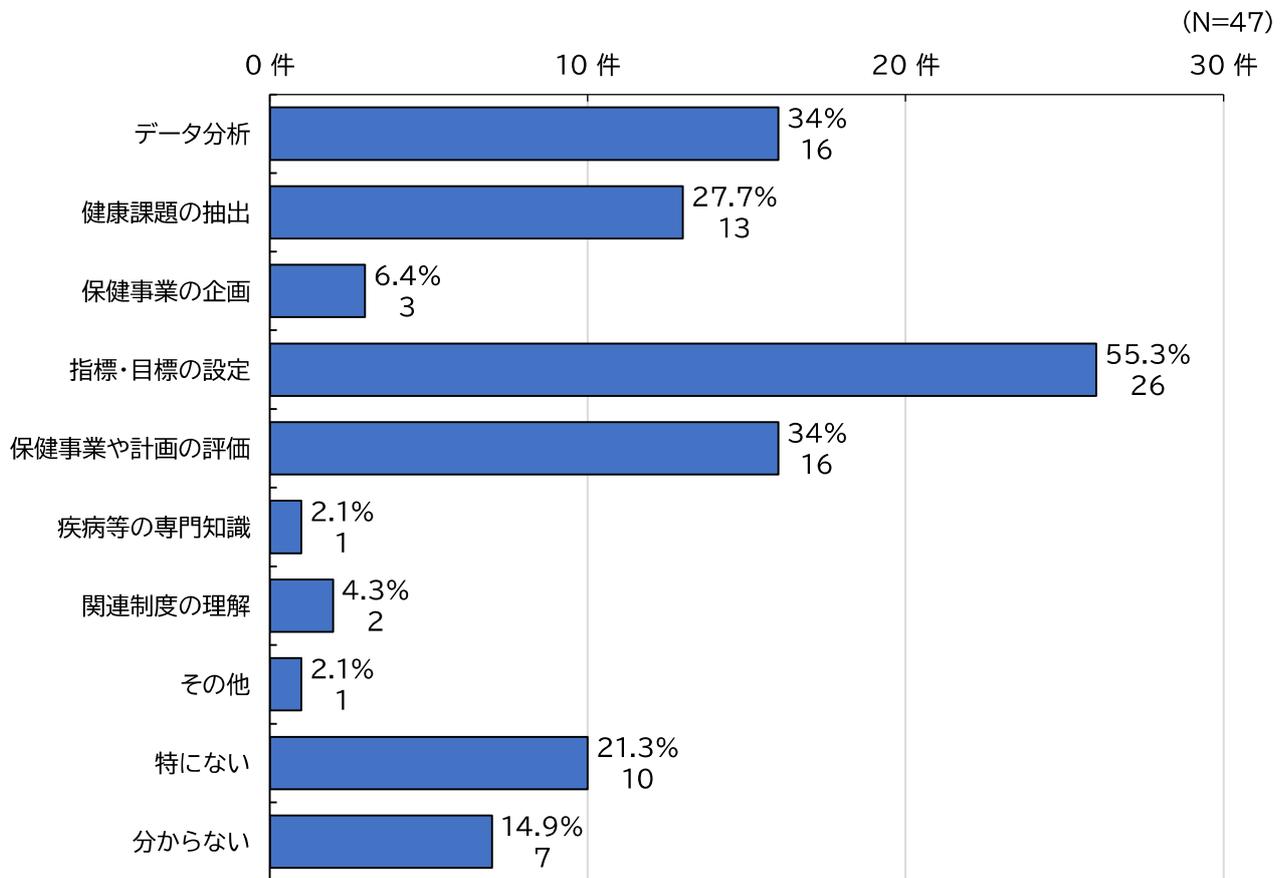
・ 個々の保健事業ごとの費用対効果・医療費削減効果を分析する統計学的・医療経済学的な知識・理解

## 【令和6年度 広域連合】

Q45. 計画様式の提示や共通評価指標の設定条件や各種ツール等により、負荷が軽減されたスキルを教えてください。

- 設定条件や各種ツール等により、負荷が軽減されたスキルとして「指標・目標の設定」が最も多く挙げられた。

図表3-23 設定条件や各種ツール等により、負荷が軽減されたスキル（複数回答）

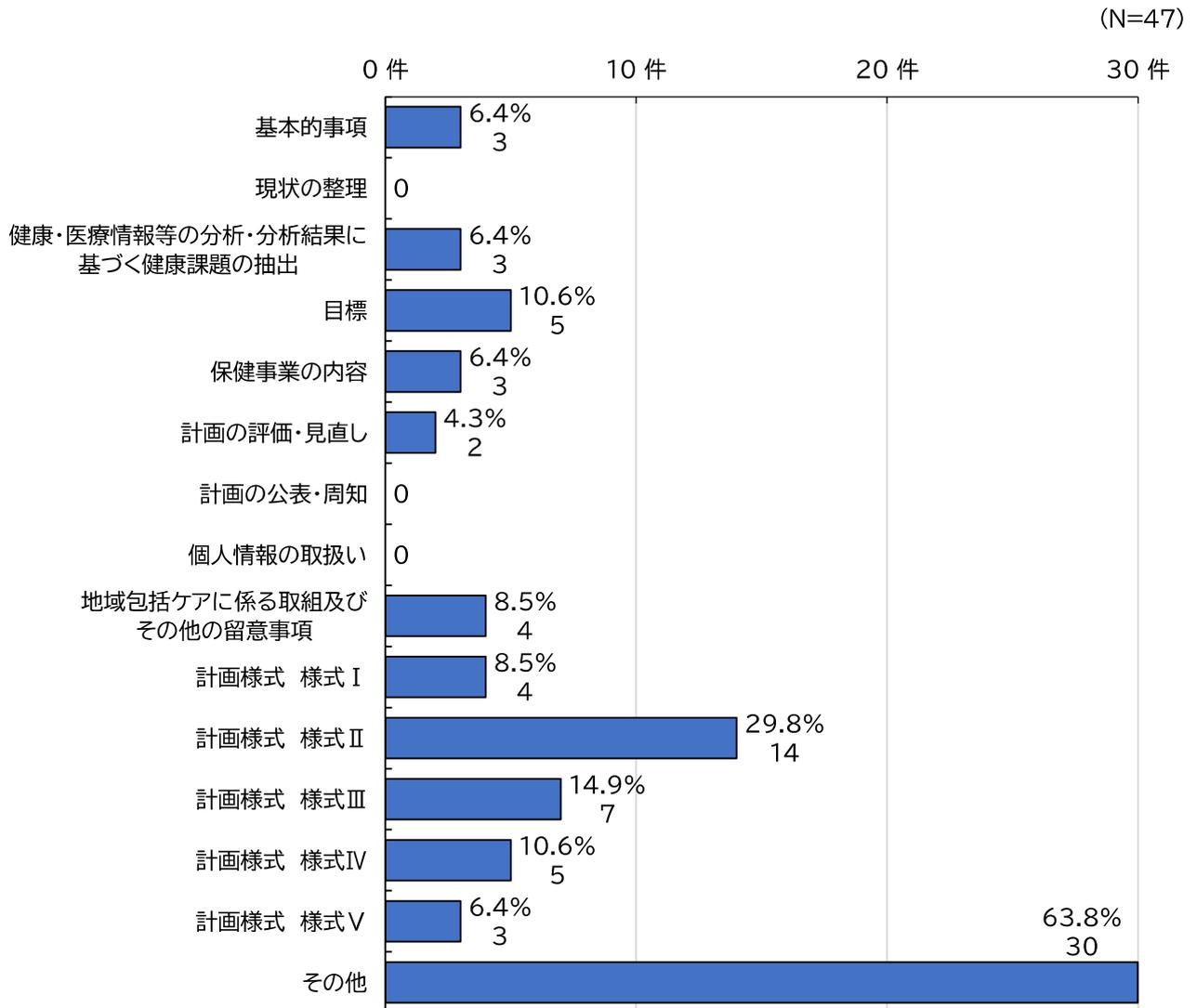


## 【令和6年度 広域連合】

Q46.『高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)策定の手引き』(令和5年3月30日改正)のなかで、「2. 計画に記載すべき事項」や計画様式において見直し(例示の追加も含む)を図ってほしい事項があるか教えてください。見直しを図ってほしい事項がある場合には、見直しを図ってほしい事項とその具体的な内容を記載してください

- 『高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)策定の手引き』で見直してほしい事項として、「その他」を除くと「計画様式 様式Ⅱ」が最も多く挙げられた。

図表3-24 『高齢者保健事業の実施計画(データヘルス計画)策定の手引き』で見直してほしい事項  
(複数回答)



### ■その他の主な内容

- ・ 計画様式(3件)
- ・ エクセル様式に当てはめようとする、かなり読みにくい資料となるため、項目ごとに見やすく整理が必要
- ・ 中間評価について
- ・ 健診データの利用について
- ・ 一体的実施・実践支援ツール

等

# 【令和6年度 広域連合】

## ■見直しを図ってほしい主要内容

### ○基本的事項

- ・ (3)保険者及び関係者が果たすべき役割(2件)

### ○健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

- ・ 複数の参考例示の記載、追加(2件)

### ○目標

- ・ 共通評価指標のアウトプット(6項目)とアウトカム(一体的実施支援ツールの抽出基準)
- ・ 例示の追加
- ・ 個別事業(一体的実施)の評価指標例
- ・ アウトプット「重症化予防(その他、身体的フレイルを含む)」の評価指標統一

### ○保健事業の内容

- ・ 例示の追加

### ○地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

- ・ 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項
- ・ 地域包括ケアに係る分析や課題抽出、保健事業等について、項目の目的の明示や記載内容の例示追加

### ○計画様式 様式Ⅰ

- ・ 前期計画との連動性

### ○計画様式 様式Ⅱ

- ・ 複数の参考例示の記載、追加(2件)
- ・ 活用できるデータ出典の例示
- ・ 「健康医療情報等の整理」欄
- ・ データの記載方法
- ・ 健診受診率の算出方法の早期提示
- ・ 医療費等、大きい項目の分析内容を明確化
- ・ 広域連合の直近データと比較する全国の公表データ
- ・ 記載様式
- ・ 介護度別有病率(疾病別)と要介護認定有無別の有病率(疾病別)の欄を別に作成

### ○計画様式 様式Ⅲ

- ・ 様式の構成
- ・ 国平均や他県の数値を目安として前年度内に提示
- ・ 一体的実施以外で行っている事業を足す項目を追加

### ○計画様式 様式Ⅳ

- ・ ストラクチャーは大きく変化することではなく事業で重なることが多いことを踏まえ、記載方法を改正
- ・ プロセス評価の「概要」とストラクチャー評価の「概要」の書き分けについて例示を追加

### ○計画様式Ⅴ

- ・ 記載内容

# 【令和6年度 広域連合】

## ○その他

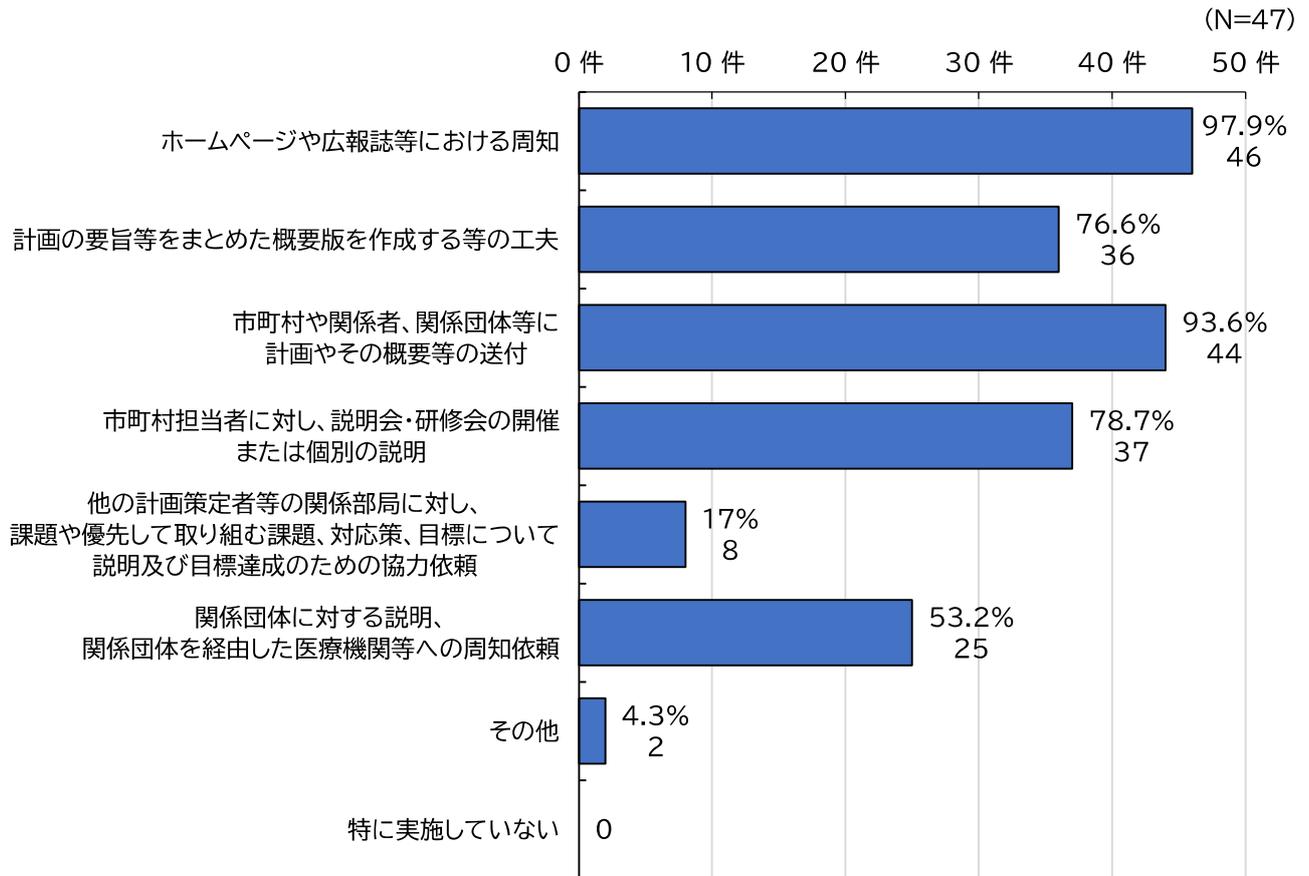
- ・ 説明会の時期
- ・ 「他の法定計画等との調和」について、例示の追加及び簡単なチェック表の作成

等

Q47. 第3期データヘルス計画の運用に向けて、策定したデータヘルス計画の内容及び広域連合の方針について、構成市町村や関係者等に周知するために実施した事項をお答えください。(複数回答)

- 構成市町村や関係者等に周知するために実施した事項として、「ホームページや広報誌等における周知」が最も多く挙げられた。
- 次いで、「市町村や関係者、関係団体等に計画やその概要等の送付」が多く挙げられた。

図表3-25 構成市町村や関係者等に周知するために実施した事項（複数回答）



## ■その他の主な内容

- ・ パブリックコメント
- ・ 運営懇話会の委員への説明・周知

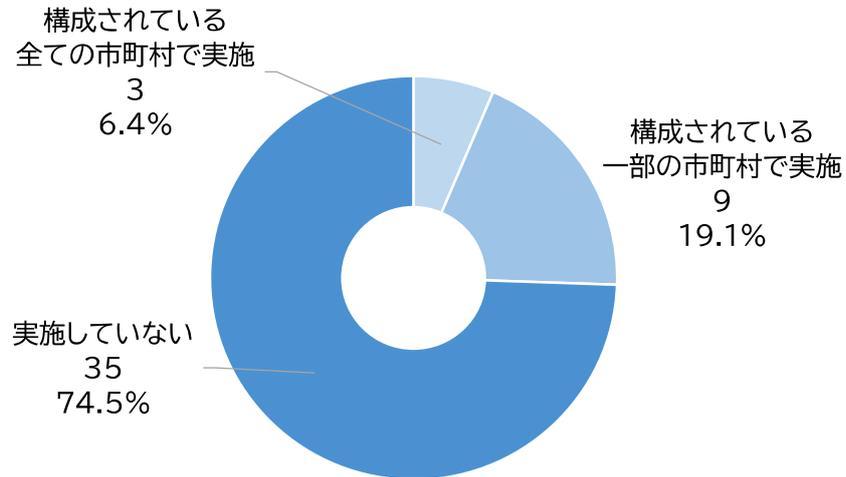
(5) 後期高齢者の健康診査

Q48. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組(いわゆるみなし健診)を広域連合として統一して実施していますか。

- みなし健診の実施は、「実施している」(一部、全市町村)が 12 件(25.5%)、「実施していない」が 35 件(74.5%)であった。

図表3-26 みなし健診の実施の有無

(N=47)



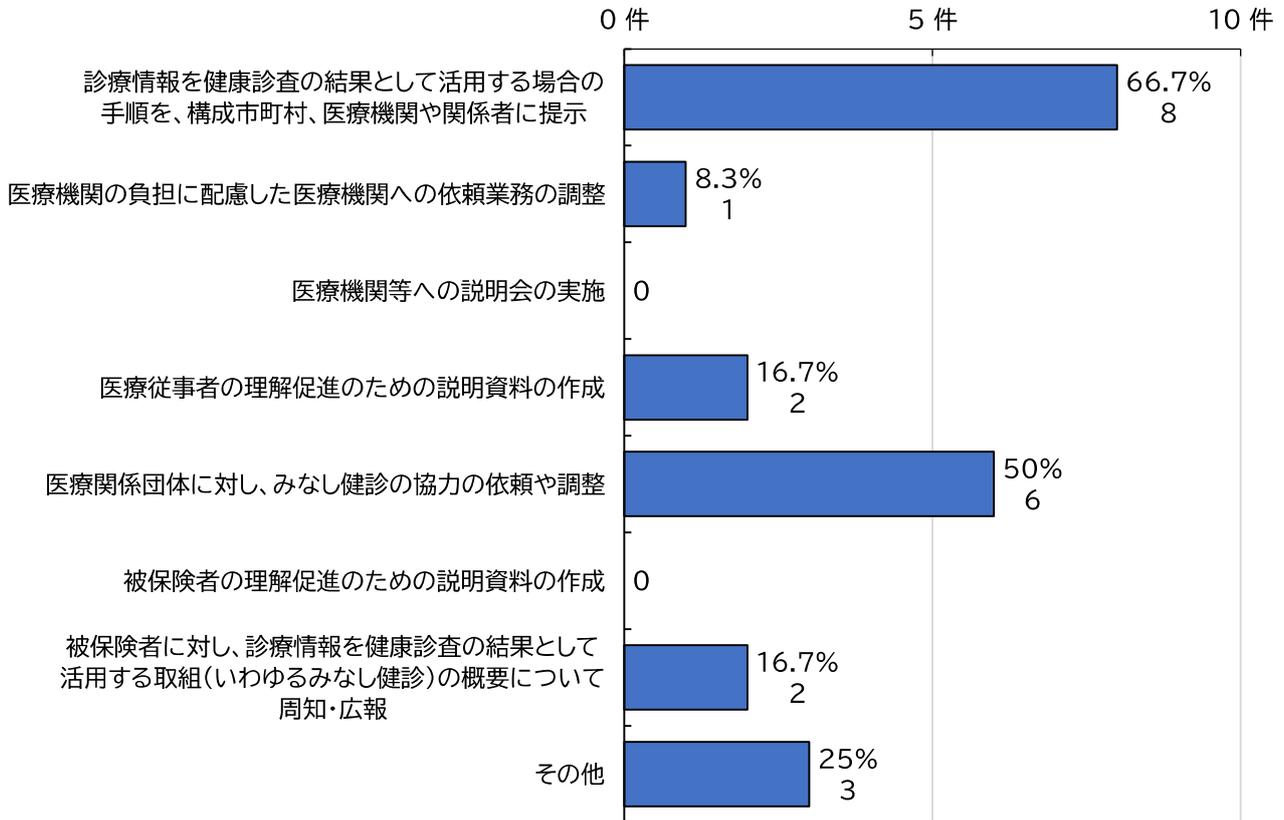
## 【令和6年度 広域連合】

Q48-1.広域連合として、統一して診療情報を健康診査の結果として活用する(いわゆるみなし健診)を実施するためにどのような取組を行っていますか。(複数回答)

- みなし健診のための取組として、「診療情報を健康診査の結果として活用する場合の手順を、構成市町村、医療機関や関係者に提示」が最も多く挙げられた。

図表3-27 みなし健診の実施のための取組（複数回答）

(n=12)



### ■その他の主な内容

- ・ 広域連合から市町村に要綱改正やフォーマットの説明と関係資料の送付
- ・ 市町村担当者への周知
- ・ 市町村への実施勧奨

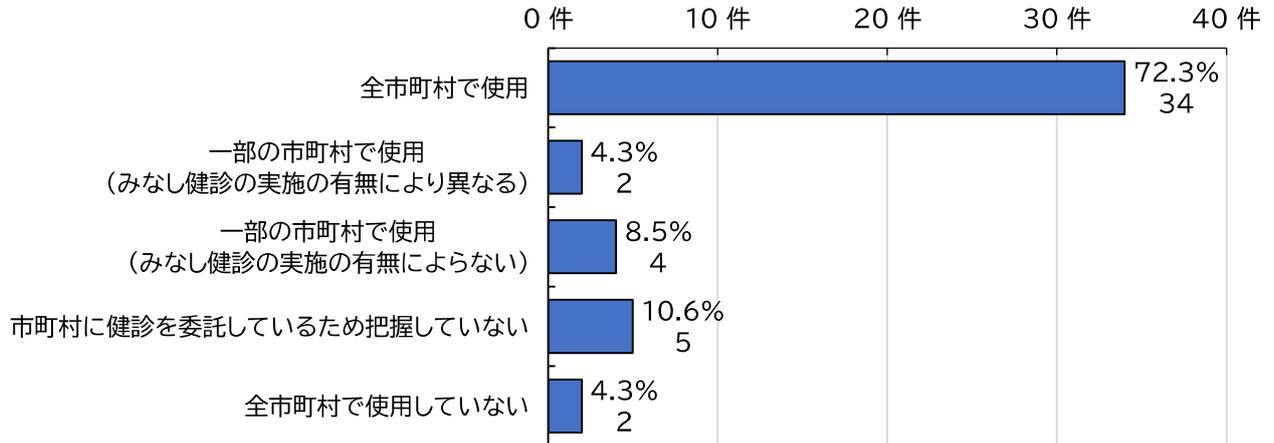
## 【令和6年度 広域連合】

Q49. 健康診査(診療情報を健康診査の結果として活用する場合(いわゆるみなし健診を含む))において、後期高齢者の質問票をどのように取り扱っていますか。

- 後期高齢者の診療情報を健康診査の結果として活用する取組を実施している広域連合において、後期高齢者の質問票を「全市町村で使用」とする広域連合が34件(72.3%)あった。

図表3-28 後期高齢者の質問票の取り扱い(複数回答)

(N=47)

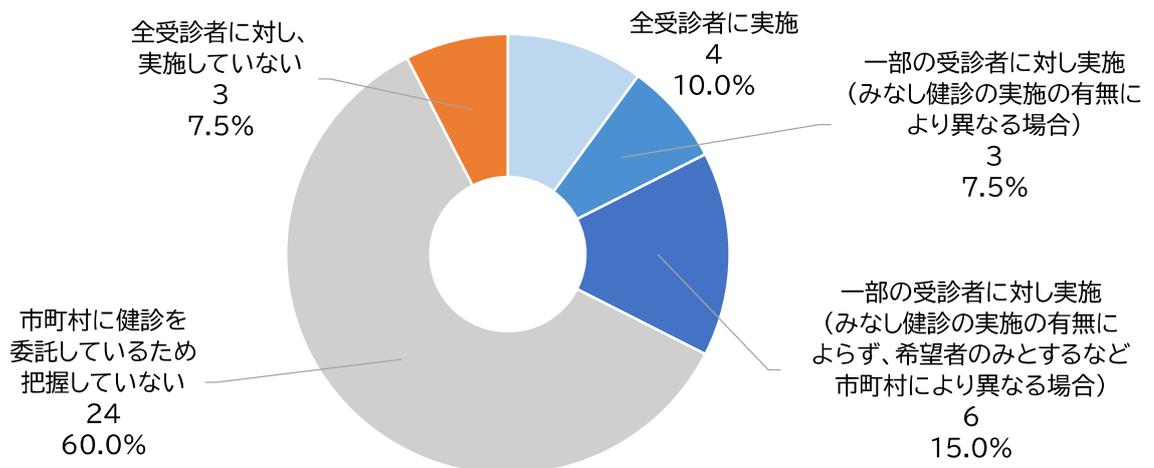


Q49-1. 質問票を活用している場合、質問票の結果について被保険者本人に対して面談や文書等によるフィードバックをしていますか。

- 質問票の結果に対するフィードバックについて、「市町村に健診を委託しているため把握していない」が最も多く挙げられた。

図表3-29 質問票の結果に対するフィードバック

(n=40)



### ■その他の主な内容

- ・ みなし健診
- ・ 保健指導における健康状態のアセスメント結果

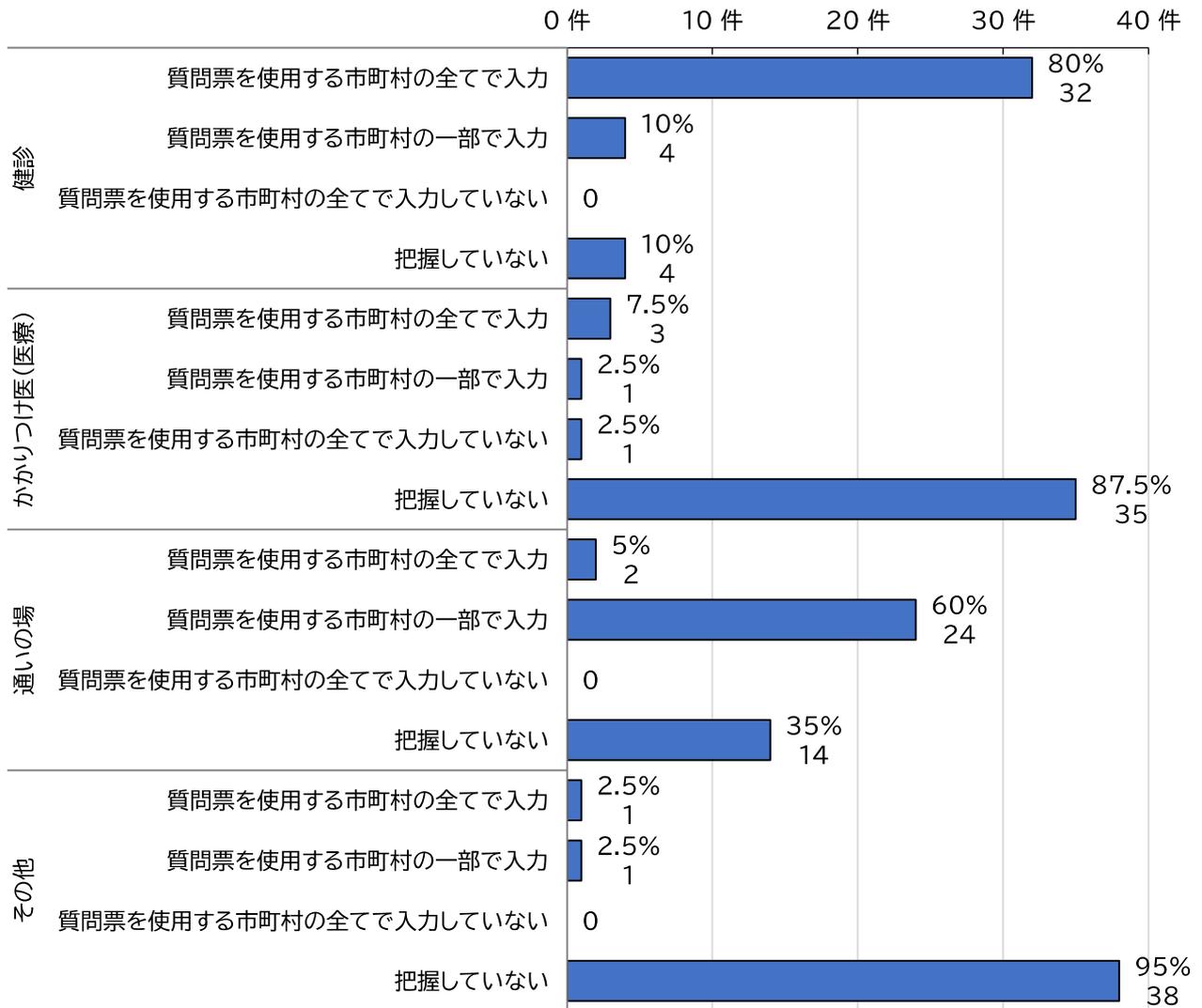
# 【令和6年度 広域連合】

Q49-2. 後期高齢者の質問票を使用している場合、特定健診等データ管理システムに入力を行っていますか。それぞれの場面についてお答えください。

- 後期高齢者の診療情報を健康診査の結果として活用する取組を実施している広域連合において、後期高齢者の質問票を使用している場合、健診の場面では「質問票を使用する市町村の全てで入力」している場合が多く、かかりつけ医(医療)の場面では「把握していない」、通いの場では「質問票を使用する市町村の一部で入力」が多かった。

図表3-30 特定健診等データ管理システムへの入力（複数回答）

(n=39)

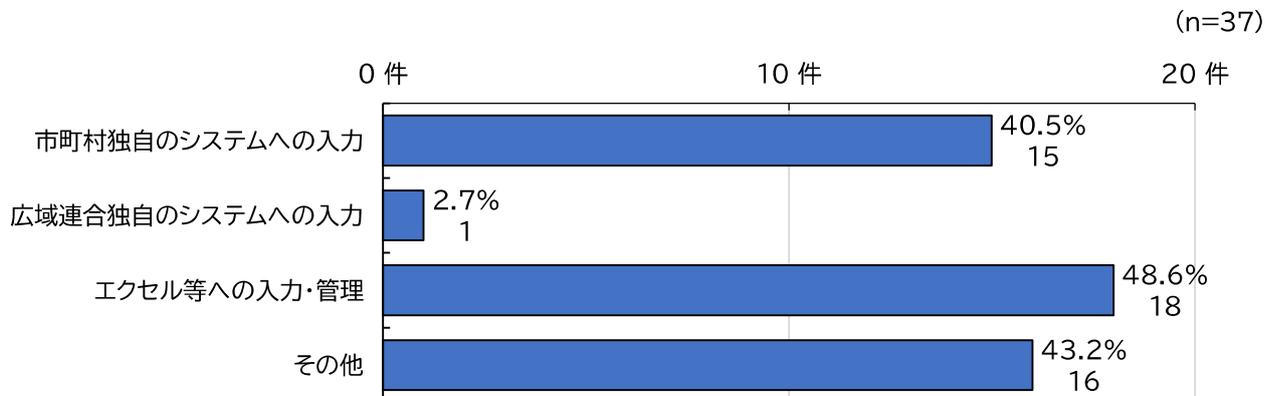


## 【令和6年度 広域連合】

Q49-3.別のシステム等への入力を行っていますか。(複数回答)

- 後期高齢者の診療情報を健康診査の結果として活用する取組を実施している広域連合では、後期高齢者の質問票を使用している場合、「その他」を除くと、「エクセル等への入力・管理」が最も多く、次いで「市町村独自のシステムへの入力」が多かった。

図表3-31 別のシステム等への入力（複数回答）



### ■その他の主な内容

- ・ 把握できていない(10件)
- ・ KDBシステムに入力(2件)
- ・ 市町村独自のシステムに入力
- ・ 国保連合会のシステムへの入力
- ・ 特定健診等データ管理システムに入力している市町村あり

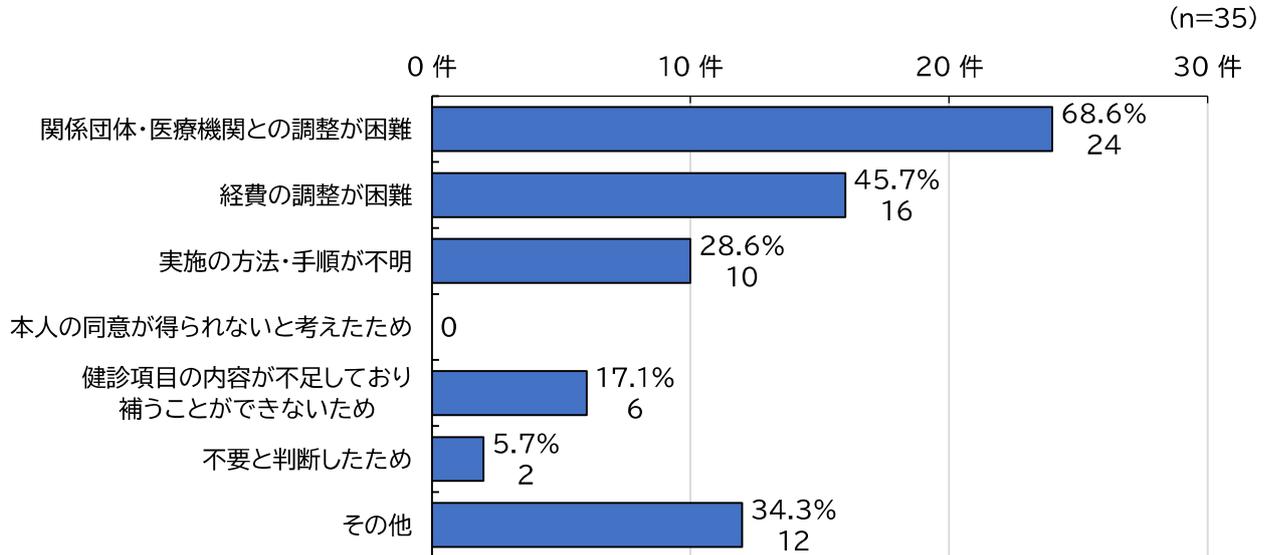
等

## 【令和6年度 広域連合】

Q48-2. 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組(いわゆるみなし健診)を実施していない理由をお答えください。(複数回答)

- みなし健診を実施していない理由として、「関係団体・医療機関との調整が困難」が最も多く挙げられた。

図表3-32 みなし健診を実施していない理由（複数回答）



### ■不要と判断した理由

- ・ 関係団体との連携や費用面から個別健診推進の方が効果的と判断
- ・ 定期受診をしている人に対する保健指導の必要性

### ■その他の主な内容

- ・ 現在実施検討中(2件)
- ・ 市町に健診事業を委託しており、みなし健診の実施の有無も市町に委ねている
- ・ 特別調整交付金と同様、医療機関からの情報提供と保健指導を市町村への補助の基準として設定しているが、現在市町村から申請がない
- ・ 体制構築中
- ・ 被保険者本人の同意の確認方法が課題
- ・ 健診は市町村委託により実施しているため、市町村と医療機関の調整により実施している市町村も存在
- ・ 市町村によって不要との声があるため、導入する効果が見込めず、国保連合会や医師会と検討中
- ・ 制度構築に至っていない
- ・ 事務負担の増加見込みの困難さ

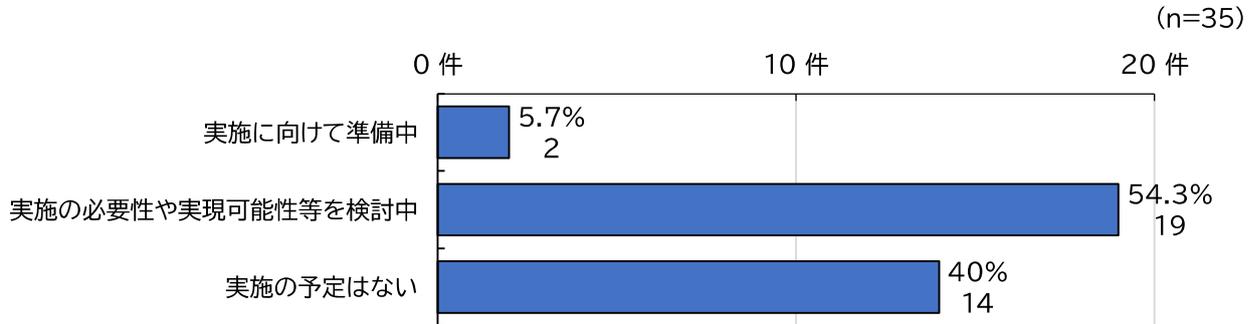
等

## 【令和6年度 広域連合】

Q48-3.医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組(いわゆるみなし健診)について、今後の意向についてお答えください。

- 医療機関からの診療情報を健康診査の結果として活用する取組について「実施の必要性や実現可能性等を検討中」である広域連合は19件であった。

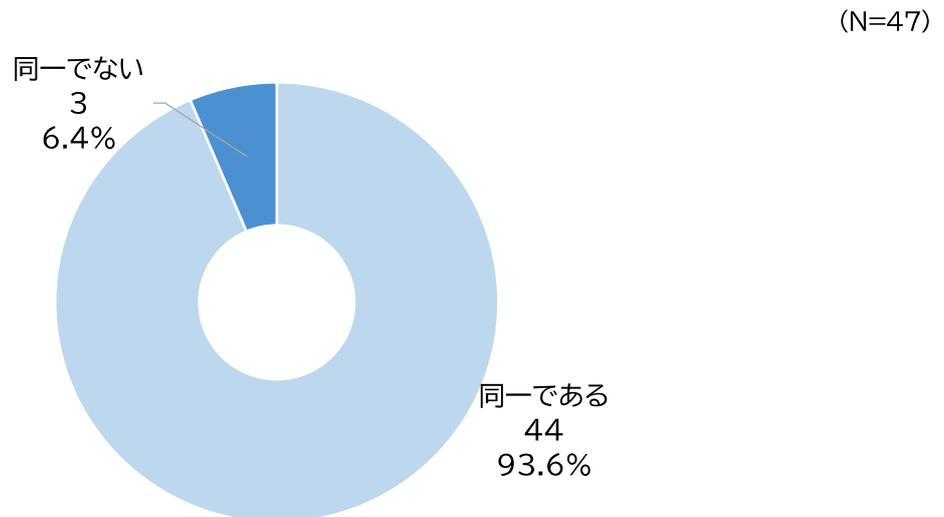
図表3-33 いわゆるみなし健診の今後の意向



Q50.後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象(特定健康診査及び特定保健指導の対象除外者に準ずる)と同一の対象者ですか。

- 健診対象除外者と後期高齢者医療制度事業費補助金の交付対象が同一の対象者であるのは44件であった。

図表3-34 健康診査と後期高齢者医療制度事業費補助金交付の対象者



### ■同一でない理由

- ・ 健診除外告示第5号と第6号のみ除外
- ・ 当年度中に特定健康診査又はそれに相当する健康診査を受診した者、及び、特定し高齢者用受領証の交付対象者は対象除外者と設定
- ・ 生活習慣病のため定期に通院しているものを対象外としているが、R7年度実施要綱から対象者とする予定

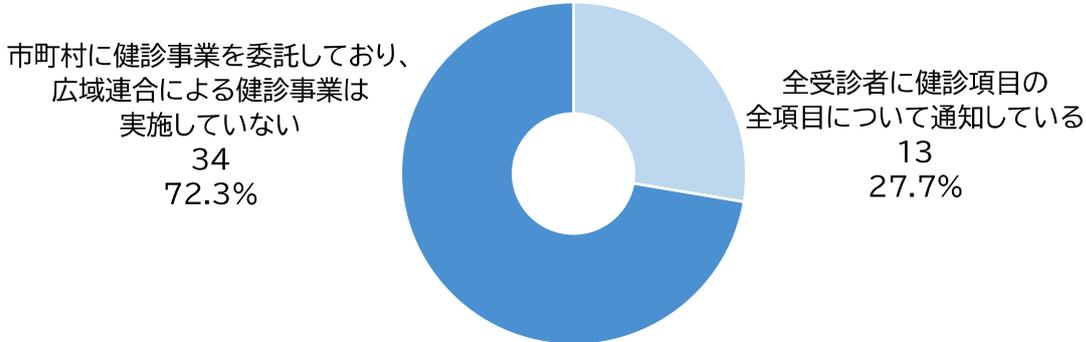
## 【令和6年度 広域連合】

Q51. 健診受診者に対し、結果の通知をすることとしていますか。

- 健診受信者への結果通知について、「市町村に健診事業を委託しており、広域連合による健診事業は実施していない」が34件(72.3%)であった。

図表3-35 健診受診者への結果の通知

(N=47)



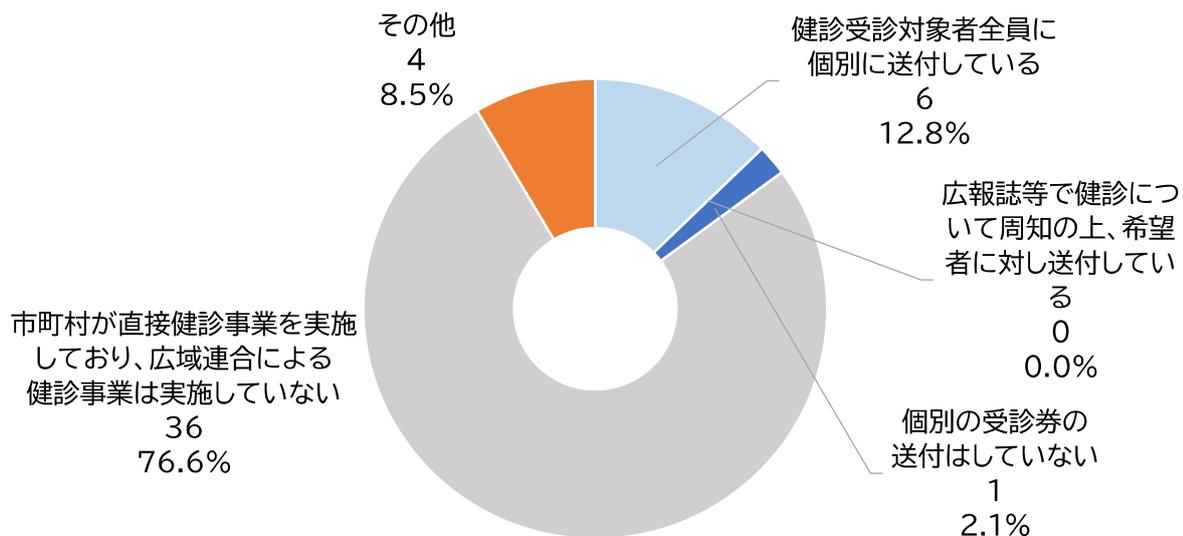
※全受診者に健診項目の一部の項目について通知している、一部の受診者に健診項目の全項目について通知している、一部の受診者に健診項目の一部の項目について通知している、通知していないはそれぞれ0

Q52. 健診受診対象者に対して、広域連合が統一して受診券の送付をしていますか。(事業者による委託の場合を含む)

- 広域連合からの健診の受診券の送付は「市町村が直接健診事業を実施しており、広域連合による健診事業は実施していない」が36件(76.6%)であった。

図表3-36 広域連合から受診券の送付

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 受診券発行対象の方にのみ個別に送付し、除外対象者以外の受診券発行希望者には申し込みにより発送(2件)
- ・ 独自設定除外者等を除いた健診受診対象者全員に個別送付
- ・ 市町から個別に送付しているが、送付対象者が異なる

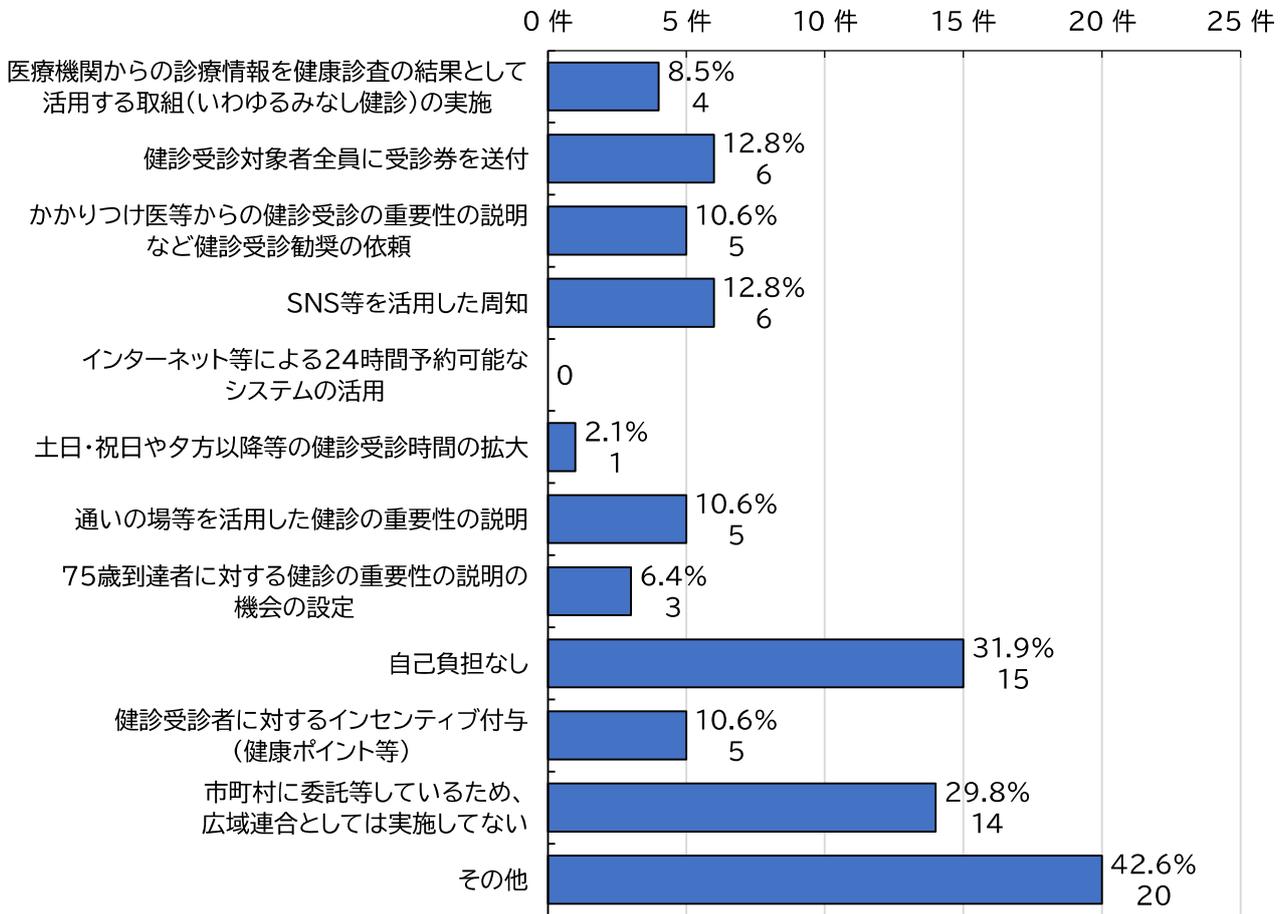
# 【令和6年度 広域連合】

Q53. 健診受診率向上のために、広域連合としてどのような取組をしていますか。(複数回答)

- 健診受診率向上のための取組は、「その他」を除くと、「自己負担なし」が最も多かった。
- 次に、「市町村に委託等しているため、広域連合としては実施していない」が多かった。

図表3-37 健診受診率向上のための取組（複数回答）

(N=47)



## ■その他の主な内容

- ・ 健診の受診勧奨チラシを被保険者証年次更新時に同封、市町村が実施する人間ドック費用助成事業の財源補助
- ・ 健康診査未受診者受診促進事業
- ・ 地元紙や広域連合の広報誌へ受診啓発広告掲載(2件)
- ・ 75歳到達者へ健診の周知、未受診者への勧奨通知費用補助
- ・ 医療機関無受診者、前年度健診未受診者へ健診受診勧奨通知を発送
- ・ 医療費通知等の広域連合から被保険者への郵便物に受診勧奨の文言を記載して周知(2件)
- ・ 集団健診を市町村に委託し、身近で健診を受診できる環境づくり
- ・ 健診受診率向上のための取組を実施している市町村への費用補助
- ・ 市町村における好事例について情報提供(2件)
- ・ 受診勧奨ポスターの作成(2件)
- ・ 受診勧奨対象者リストの提供

等

#### 4. ガイドラインの活用状況

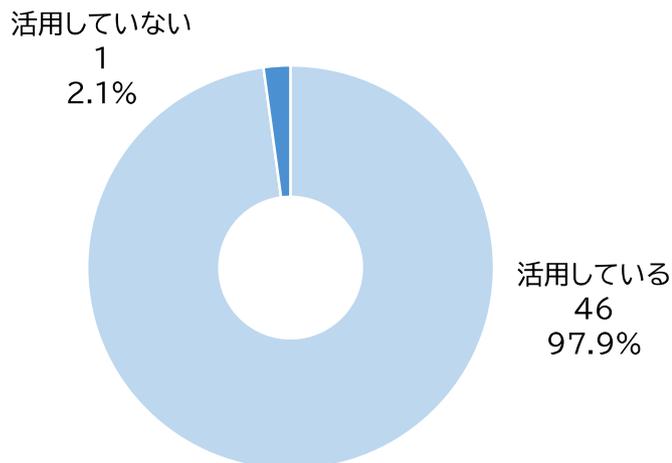
##### (1) 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版

Q54. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版について、活用状況と活用していない場合の理由をお答えください。

- ガイドラインの活用状況は、「活用している」が46件(97.9%)だった。

図表4-1 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版」の活用状況

(N=47)

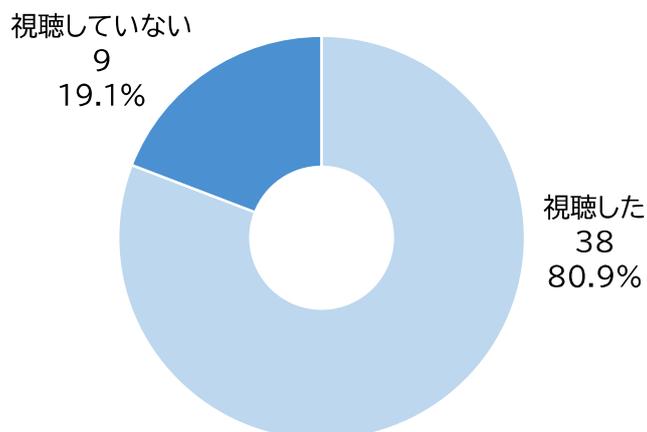


Q55. 厚生労働省のホームページに掲載されているガイドライン(第3版)の解説動画を視聴しましたか。

- ガイドライン(第3版)の解説動画は、「視聴した」が38件(80.9%)であった。

図表4-2 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版」の解説動画視聴

(N=47)



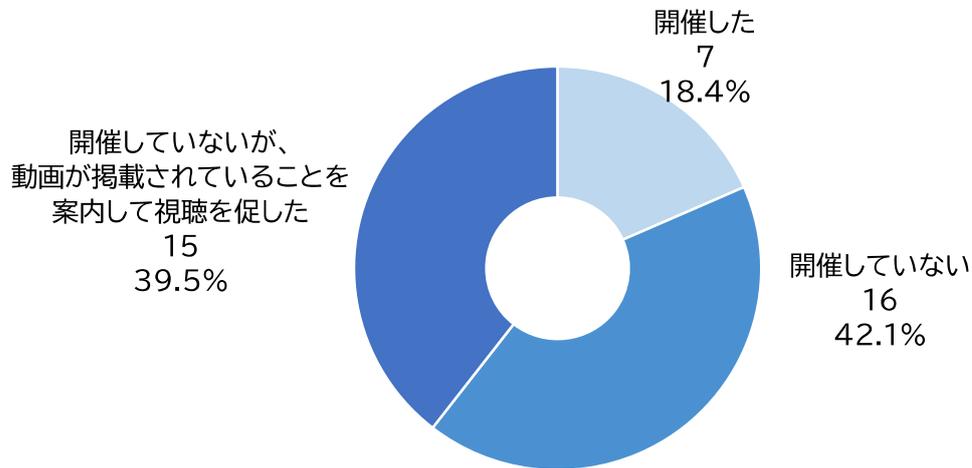
## 【令和6年度 広域連合】

Q55-1. ガイドライン(第3版)について、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- 研修会の開催については、「開催していない」が16件(42.1%)で最も多かった。
- 次に、「開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した」が15件(39.5%)であった。

図表4-3 研修会の開催 <解説動画を視聴した広域連合>

(n=38)

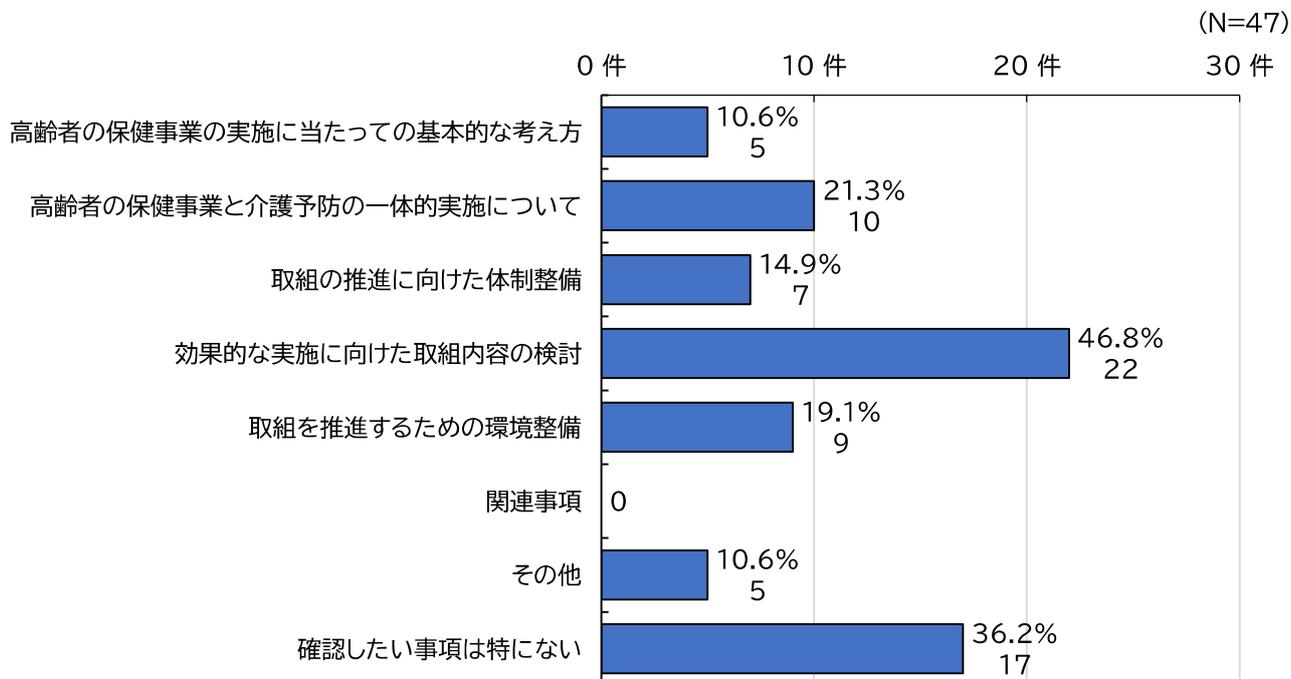


## 【令和6年度 広域連合】

Q56. 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要と考える項目がある場合、該当項目についてお答えください。

- 高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版の内容について、より詳しい解説が必要と考える項目として、「効果的な実施に向けた取組内容の検討」が多く挙げられた。

図表4-4 より詳しい解説が必要と考える項目（複数回答）



### ■その他の主な内容

- ・ 項目毎の評価・分析
- ・ 評価指標と評価に向けての準備
- ・ 介護予防事業と一体的実施事業の効率的な実施方法
- ・ 実践編の充実
- ・ 各事業の困難事例とその対応の紹介

# 【令和6年度 広域連合】

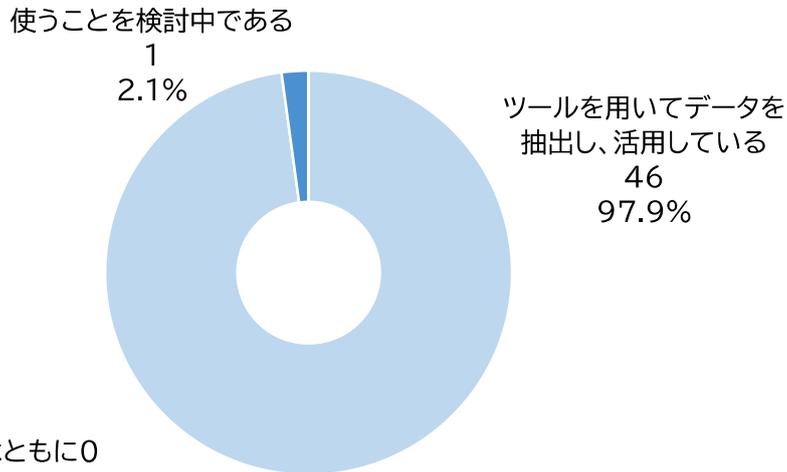
## (2)国保中央会・研究班等の作成資料

Q57.「一体的実施・KDB 支援ツール」を活用していますか。

- 「一体的実施・KDB 活用支援ツール」の活用状況を聞いたところ、「ツールを用いてデータを抽出し、活用している」が 46 件(97.9%)であった。

図表4-5 「一体的実施・KDB 支援ツール」の活用状況

(N=47)



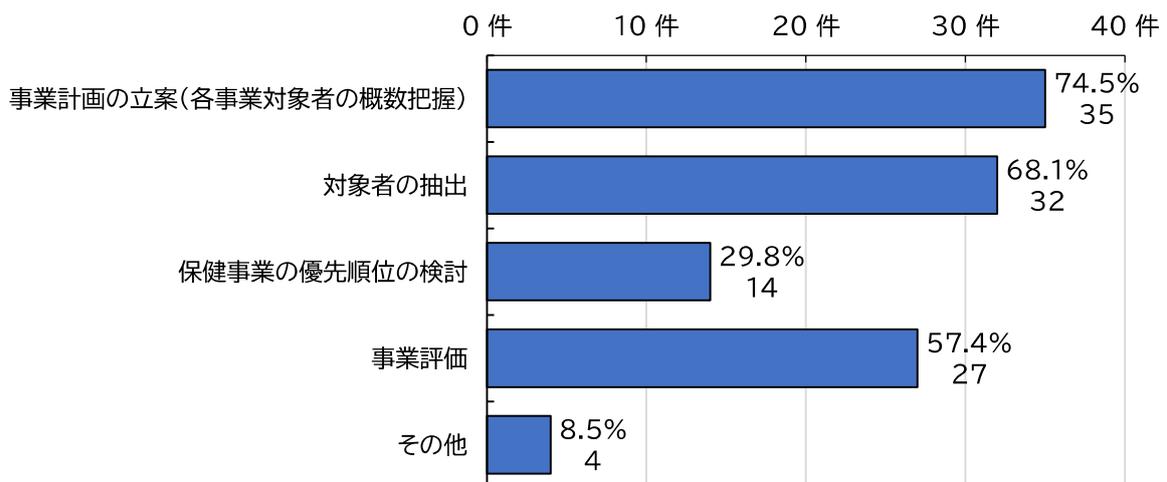
※使う予定はない、未定 はともに0

Q57-1. どのような場面で使っていますか(使おうとしていますか)。(複数回答)

- 「一体的実施・KDB 活用支援ツール」を活用(予定含む)している広域連合に活用場面を聞いたところ、「事業計画(各事業対象者の概数把握)」が 35 件、「対象者の抽出」が 32 件で上位に挙げられた

図表4-6 「一体的実施・KDB 支援ツール」の活用場面 (複数回答)  
 <「一体的実施・KDB 支援ツール」を活用(予定)している広域連合>

(N=47)



### ■その他の主な内容

- ・ 国の様式作成
- ・ 共通評価指標抽出(2 件)
- ・ データヘルス計画のハイリスク者数の抽出
- ・ データ分析

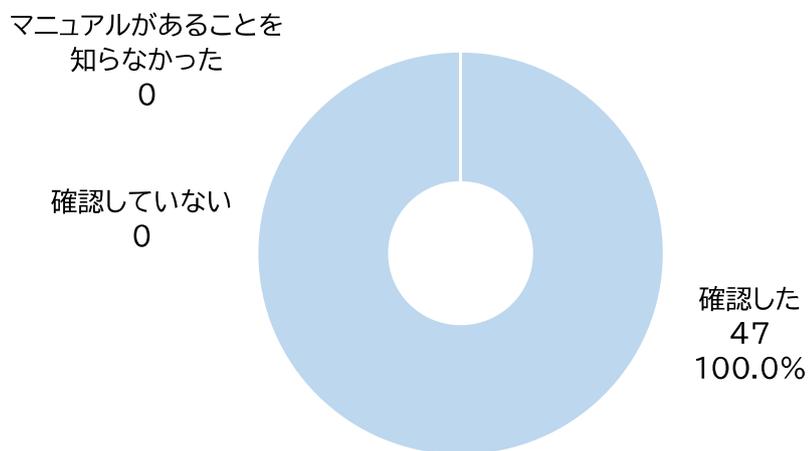
## 【令和6年度 広域連合】

Q58. 国保中央会作成の一体的実施・KDB 活用支援ツール操作マニュアル 1.1 版を確認しましたか。

- 「一体的実施・KDB 活用支援ツール操作マニュアル 1.1 版」は全ての広域連合が確認した。

図表4-7 一体的実施・KDB 活用支援ツール操作マニュアル 1.1 版の確認

(N=47)

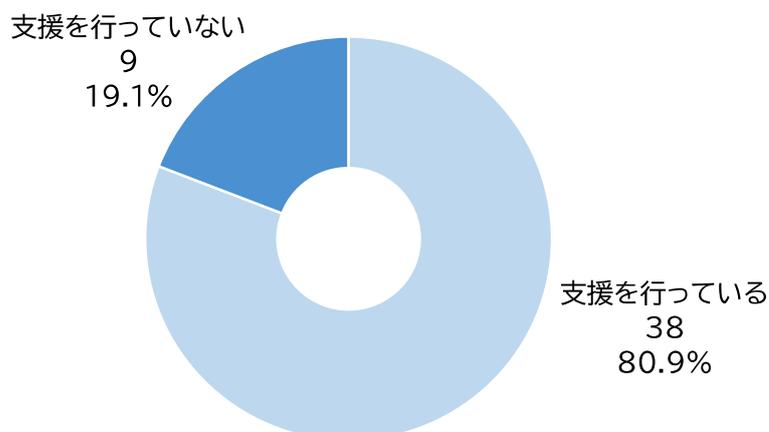


Q59. 構成市町村に対し、一体的実施・KDB 活用支援ツール活用に関する支援を行っていますか。

- 構成市町村に対し、一体的実施・KDB 活用支援ツール活用に関する支援を行っている広域連合は 38 件(80.9%)であった。
- 支援を行っていないと回答したのは 9 件(19.1%)であった。

図表4-8 一体的実施・KDB 活用支援ツール活用に関する支援

(N=47)



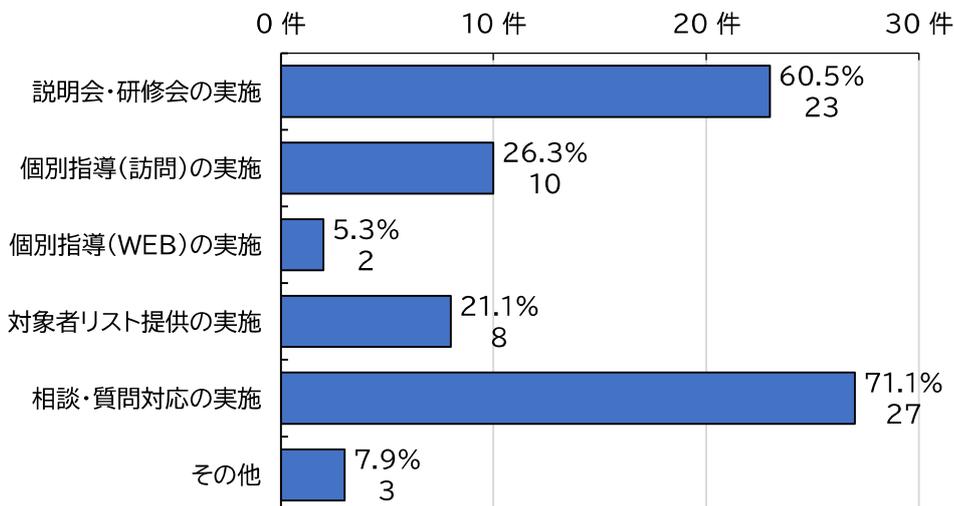
## 【令和6年度 広域連合】

Q59-1. 【Q59 で、「1.支援を行っている」と回答した広域連合】 どのような支援を行っていますか。(複数回答)

- 支援を行っている広域連合(38件)において、支援の内容は「相談・質問対応の実施」、「説明会・研修会の実施」が多く挙げられた。

図表4-9 一体的実施・KDB活用支援ツール活用に関する支援（複数回答）  
 <支援を行っている広域連合>

(n=38)



### ■その他の主な内容

- ・ 国保連合会に依頼(2件)
- ・ ツールのダウンロード

Q59-2. 【Q59 で、「2.支援を行っていない」と回答した広域連合】 支援を行っていない理由をお答えください。(自由記述 ※任意回答)

### ■主な支援を行っていない理由

- ・ 支援ツール使用している市町村がほとんどなく、評価指標抽出程度の使用
- ・ 市町村が各々でやりやすい方法を選択
- ・ 国保連合会が支援を実施(6件)

Q59-3. 【Q59 で、「2.支援を行っていない」と回答した広域連合】 貴広域連合がツールを使用されるにあたり、困っていることがあればご記入ください。(自由記述 ※任意回答)

### ■ツールを使用するにあたり困っていること

- ・ 抽出時点による数値の変化、抽出条件の限定
- ・ KDB システムで抽出した結果、ツールを用いて抽出した結果が大きく異なるため、適切な結果がどちらか事業ごとで検討が必要

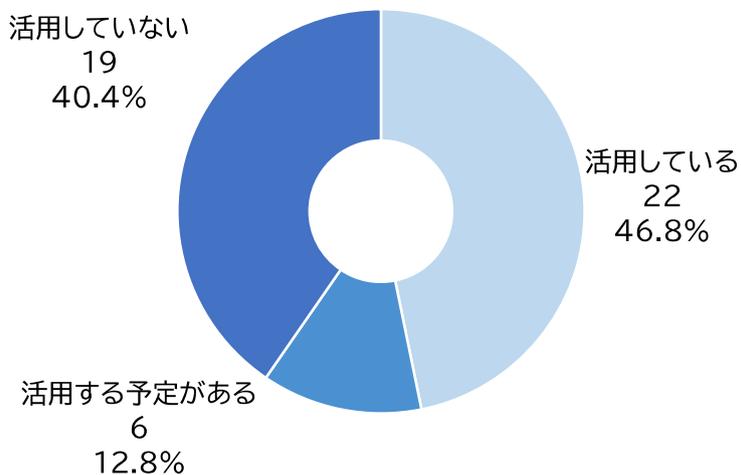
## 【令和6年度 広域連合】

Q60. 「一体的実施・実践支援ツール」を活用していますか

- 「一体的実施・KDB活用支援ツール」の活用状況を聞いたところ、「活用している」が22件(46.8%)、「活用する予定がある」が6件(12.8%)、「活用していない」が19件(40.4%)であった。

図表4-10 一体的実施・実践支援ツールの活用

(N=47)



### ■「一体的実施・実践支援ツール」、活用していない理由

- ・ 時間不足
- ・ すでに他の補完ツールを使用している市町村が多く、国保保健事業と同じツールを使用して対象者抽出等を実施
- ・ ハイリスク者数の把握はできるが、評価には活用ができない
- ・ 活用するためのスキル不足
- ・ 一体的実施・KDB活用支援ツールを活用

等

## 【令和6年度 広域連合】

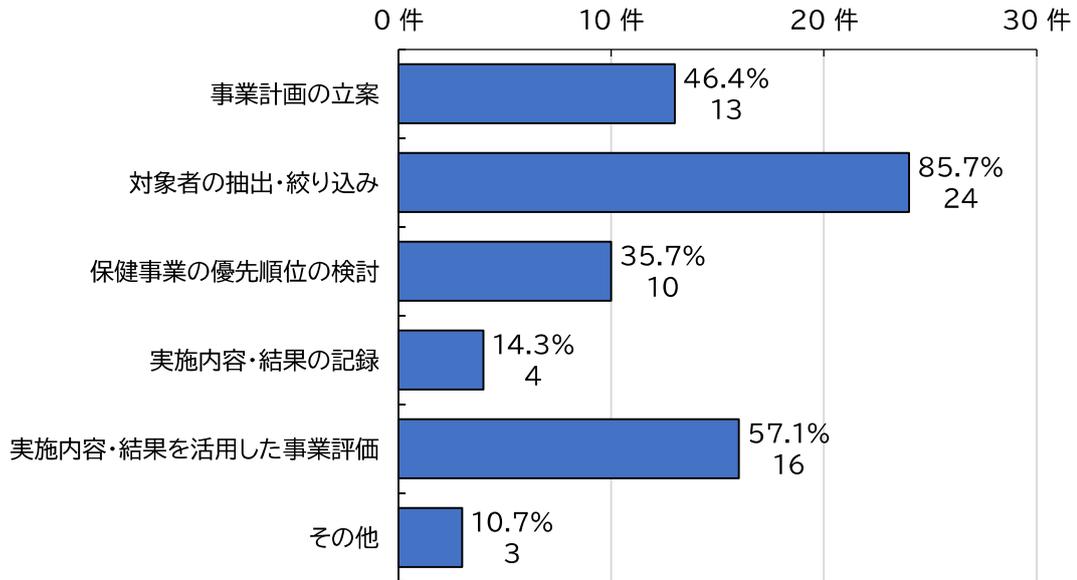
Q60-1.【Q60で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合】どのような場面で使っていますか(予定を含む)。(複数回答)

- 「一体的実施・KDB 活用支援ツール」を活用(予定含む)している広域連合に活用場面を聞いたところ、「対象者の抽出・絞り込み」が24件、「実施内容・結果を活用した事業評価」が16件で上位に挙げられた。

図表4-11 一体的実施・実践支援ツールの活用場面（複数回答）

<活用している・活用する予定がある広域連合>

(n=27)



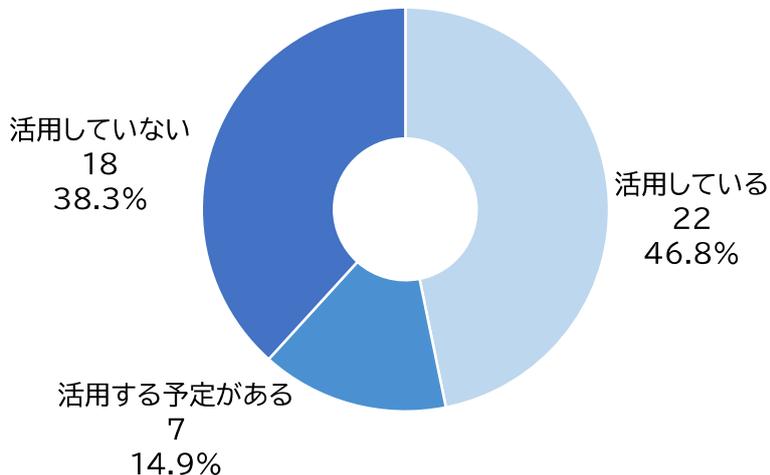
## 【令和6年度 広域連合】

Q61.「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」を活用していますか。

- 「一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編」の活用状況を聞いたところ、「活用している」が 22 件(46.8%)、「活用する予定がある」が 7 件(14.9%)、「活用していない」が 18 件(38.3%)であった。

図表4-12 一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用 実践・評価編の活用

(N=47)



### ■活用していない理由

- ・ 時間不足
- ・ すでに他の補完ツールを使用している市町村が多く、国保保健事業と同じツールを使用して対象者抽出等を実施
- ・ 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」を活用
- ・ 状況把握のため広域連合事業集計は実施したが、市町村が積極的に活用することで全体の評価が可能となるものであるため
- ・ 広域連合全体への活用には不向き

等

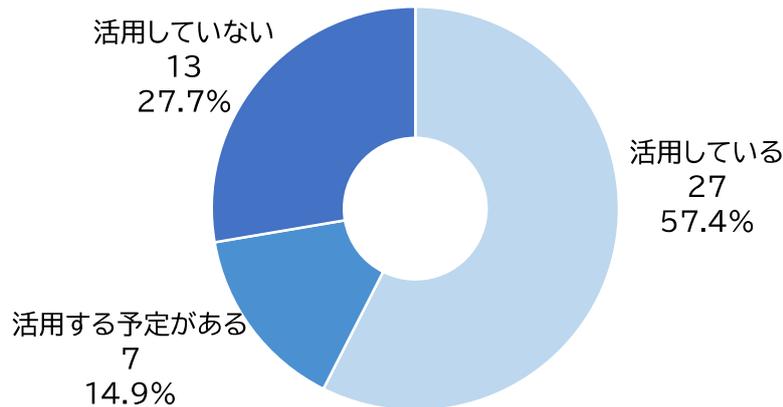
## 【令和6年度 広域連合】

Q62. 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」を活用していますか。

- 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」の活用状況を聞いたところ、「活用している」が27件(57.4%)、「活用する予定がある」が7件(14.9%)、「活用していない」が13件(27.7%)であった。

図表4-13 「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第3版を踏まえた一体的実施・実践支援ツールの保健事業への活用」の活用

(N=47)



### ■活用していない理由

- ・ 時間不足
- ・ 内容の理解不足、活用困難な市町あり
- ・ 事業の進め方・考え方の例として参考になる一方、市町村の解説書に沿った取り組みは任意のため
- ・ 実践支援ツールを活用する機会なし

Q62-1. どのような場面で使っていますか(予定を含む)。(自由記述 ※任意回答)

### ■主な使用場面

- ・ 企画・調整担当者会
- ・ 支援・評価委員会(2件)
- ・ 市町村の事業内容等の確認
- ・ 市町村からの質問対応(4件)
- ・ 評価指標の設定
- ・ 市町村へのヒアリング
- ・ 新規担当者の知識習得、各関係団体の役割の確認、実施方法の確認等
- ・ ハイリスクの対象者の特徴把握及びその説明資料作成
- ・ 事業評価(2件)
- ・ 対象者の抽出

等

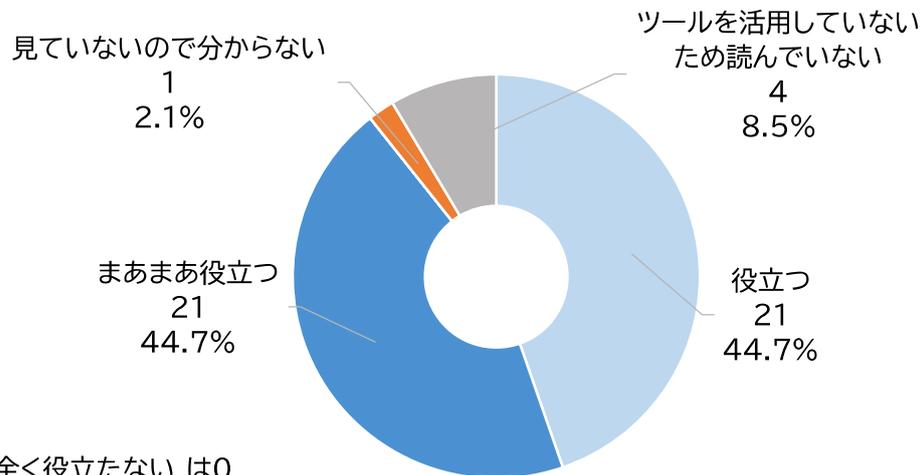
## 【令和6年度 広域連合】

Q63. 一体的実施の保健事業計画や一体的実施・KDB 活用支援ツールのツール活用の上で、本解説書(抽出条件の考え方と保健事業への活用 ver.1)は役に立っていますか。

- 抽出条件の考え方と保健事業への活用 ver.1 の評価については、「役立つ」と「まあまあ役立つ」がそれぞれ 21 件(44.7%)で、多く挙げられた。

図表4-14 抽出条件の考え方と保健事業への活用 ver.1 の評価

(N=47)



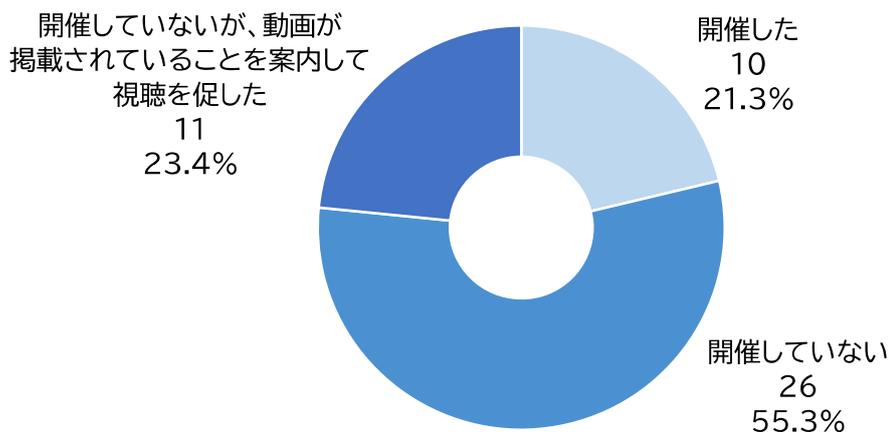
※あまり役立たない、全く役立たない は0

Q64. 厚生労働省・国保中央会共催の「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進に向けた研修会」における動画を活用して、広域連合内または構成市町村や関係者に対して研修会を開催しましたか。

- 市町村や関係者に対する研修会の開催を聞いたところ、「開催した」が 10 件(21.3%)、「開催していない」が 26 件(55.3%)、「開催していないが、動画が掲載されていることを案内して視聴を促した」が 11 件(23.4%)であった。

図表4-15 市町村や関係者に対する研修会の開催

(N=47)



## 【令和6年度 広域連合】

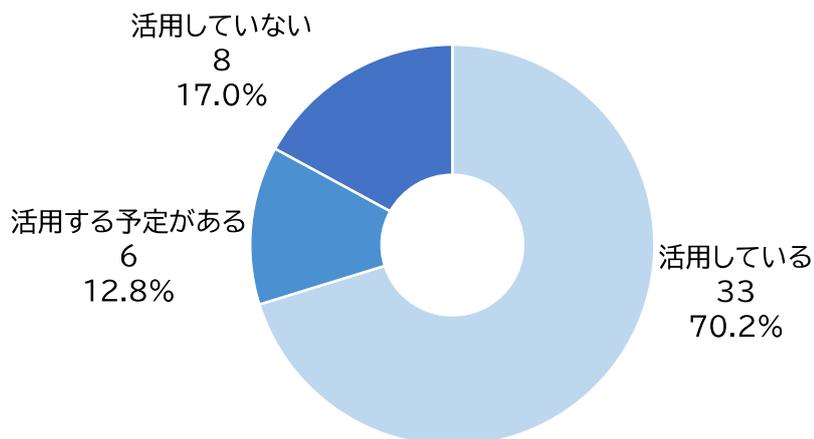
### (3)一体的実施計画書集約レポート

Q65. 実施計画書の集約レポートを活用していますか。

- 「実施計画書の集約レポート」の活用状況を聞いたところ、「活用している」が 33 件(70.2%)、「活用する予定がある」が 6 件(12.8%)、「活用していない」が 8 件(17.0%)であった。

図表4-16 実施計画書の集約レポートの活用

(N=47)



#### ■活用していない主な理由

- ・ 活用するための時間不足
- ・ 活用するための十分なスキル不足
- ・ すでに他の補完ツールを使用している市町村が多く、国保保健事業と同じツールを使用して対象者抽出等を実施
- ・ 状況把握はできるが、評価・支援への活用は困難(2件)
- ・ 一体的実施・KDB 活用支援ツールを活用(2件)
- ・ 広域連合の被保険者数が多く、本ツールではデータの取込み不能

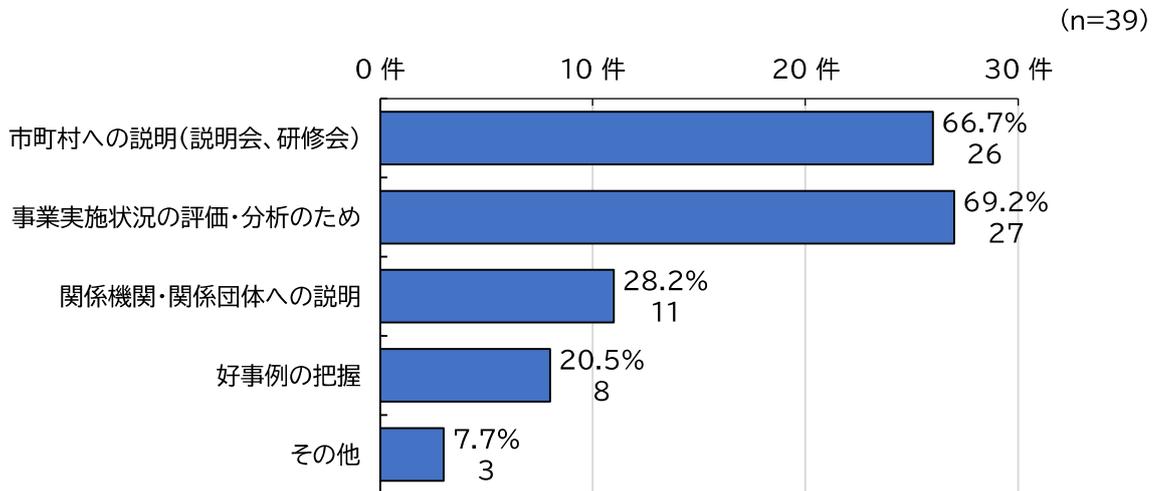
等

## 【令和6年度 広域連合】

Q65-1. 【Q65 で、「1.活用している」「2.活用する予定がある」と回答した広域連合にお伺いします】どのような場面で使っていますか(予定を含む)。

- 実施計画書の集約レポートの利用場面については「事業実施状況の評価・分析のため」が最も多かった。
- 次いで、「市町村への説明(説明会、研修会)」が多く挙げられた。

図表4-17 実施計画書の集約レポートの利用場面（複数回答）  
<活用している・活用する予定がある広域連合>



### ■その他の主な内容

- ・ 市町村の取組の把握・確認(2件)
- ・ 市町村への説明(個別訪問)